



## 操作マニュアル

協栄産業株式会社

2022年 4月 1日版

# 目次

1. ログイン	1
1.1 ログイン	1
2. プロジェクト・物件一覧	2
2.1 ホームタブ	3
2.1.1 CSV出力	3
2.1.2 EXCEL出力	4
2.1.3 インポート	5
2.1.4 エクスポート	7
2.2 ファイル	8
2.2.1 フォルダ登録	8
2.2.2 プロジェクト登録	9
2.2.3 物件登録	12
2.2.4 情報修正	14
2.2.5 総括表出力	17
2.2.6 コピー	21
2.2.7 貼り付け	22
2.2.8 削除	23
2.2.9 アップロード	24
2.2.10 ファイル一覧	25
2.2.11 ゴミ箱を開く	26
2.2.12 ゴミ箱を空にする	28
2.2.13 データ容量確認	29
2.3 表示	30
2.3.1 表示パターンの登録	30
2.3.2 ソートON/OFF	31
2.3.3 フィルタON/OFF	31
2.3.4 全物件表示	32
2.3.5 検索	33
2.3.6 再検索	35
2.3.7 絞込み	36
2.3.8 絞込み解除	37
2.4 物件共通	38
2.4.1 物件設定	38
2.4.2 鑑・要項書情報	41
2.4.3 見積書印刷書式	43
2.5 マスタ	59
2.5.1 各種マスタ設定	60
2.5.2 汎用名称マスタ	67
2.5.3 世代管理・世代マスタ	68
2.5.4 物件管理マスタ入出力	69
2.6 オプション	72
2.6.1 データ取込	72
2.6.2 データ提供	84
2.6.3 ユーザー設定	88
2.6.4 排他ロックの解除	89
2.6.5 属性色設定	90

2. 6. 6	動作環境設定	91
2. 6. 7	バージョン情報	95
2. 7	ヘルプ	96
2. 7. 1	FAQ	96
3.	見積書入力	97
3. 1	ホームタブ	102
3. 1. 1	上書き保存	102
3. 1. 2	開く	103
3. 1. 3	見積書印刷	104
3. 1. 4	総括表出力	108
3. 1. 5	コード集計物件作成	109
3. 1. 6	COMPASS標準TXT出力	111
3. 1. 7	BCS出力	112
3. 1. 8	EXCEL出力	113
3. 1. 9	COMPASS標準CSV出力	114
3. 1. 10	閉じる	115
3. 2	お気に入り	116
3. 2. 1	設定	116
3. 3	ファイル	119
3. 3. 1	アップロード	119
3. 3. 2	ファイル一覧	119
3. 4	編集	120
3. 4. 1	元に戻す	121
3. 4. 2	やり直し	121
3. 4. 3	切り取り	122
3. 4. 4	コピー	122
3. 4. 5	貼り付け	122
3. 4. 6	貼り付け(回数指定)	123
3. 4. 7	マイナス貼り付け	124
3. 4. 8	前行データ貼り付け	125
3. 4. 9	クリア	125
3. 4. 10	行挿入	126
3. 4. 11	計行挿入	126
3. 4. 12	コメント行挿入	127
3. 4. 13	下位階層を含む行削除	128
3. 4. 14	選択階層のみ行削除	128
3. 4. 15	行削除	129
3. 4. 16	規格挿入	130
3. 4. 17	規格削除	130
3. 4. 18	排除	131
3. 4. 19	検索・置換	133
3. 4. 20	表紙作成	143
3. 4. 21	物件差分比較	146
3. 5	表示	148
3. 5. 1	表示列パターン登録	149
3. 5. 2	列幅を既定値に戻す	154
3. 5. 3	フローティング	155
3. 5. 4	透明度	156
3. 5. 5	1行表示	157
3. 5. 6	2段表示	158
3. 5. 7	入力不可項目の設定	159

3. 5. 8	カーソルの移動	160
3. 5. 9	ウィンドウ固定ON/OFF	161
3. 5. 10	新しいウィンドウで表示	162
3. 5. 11	左右に並べて表示	163
3. 5. 12	上下に並べて表示	163
3. 6	属性	164
3. 6. 1	属性	165
3. 6. 2	明細	167
3. 6. 3	コメントC	168
3. 6. 4	コメントP	168
3. 6. 5	小々計	169
3. 6. 6	小計	169
3. 6. 7	計	170
3. 6. 8	中計	170
3. 6. 9	大計	171
3. 6. 10	合計	171
3. 6. 11	改計	172
3. 6. 12	総計	172
3. 6. 13	参考計	173
3. 6. 14	消費税	173
3. 6. 15	関係切り	174
3. 6. 16	改頁	174
3. 6. 17	番号無	175
3. 6. 18	現場管理費	176
3. 6. 19	諸経費	177
3. 6. 20	別紙内訳	178
3. 7	明細	185
3. 7. 1	計算式クリア	186
3. 7. 2	単価チェック	187
3. 7. 3	数量チェック	187
3. 7. 4	割掛け	188
3. 7. 5	シミュレーション	190
3. 7. 6	グループ参照	195
3. 7. 7	再集計	196
3. 7. 8	NET⇒提出コピー	196
3. 7. 9	掛率を100%に戻す	197
3. 7. 10	NET提出クリア	198
3. 7. 11	単価マスタ自動セット	198
3. 7. 12	マイナス変換	200
3. 7. 13	カンマ除去	200
3. 7. 14	明細合算	201
3. 7. 15	数量小数桁一括変換	202
3. 7. 16	数量=0行削除	202
3. 7. 17	コメントP行一括削除	203
3. 7. 18	数量小数部0除去	203
3. 7. 19	名称規格文字数変換	204
3. 7. 20	現階層値引一括計算	208
3. 8	オプション	209
3. 8. 1	物件設定	209
3. 8. 2	鑑・要項書情報	211
3. 8. 3	番号マスタ	213
3. 8. 4	単位マスタ	214
3. 8. 5	端数調整区分マスタ	215
3. 8. 6	名称文字数	216

3. 8. 7	規格文字数	.....	216
3. 8. 8	付箋色	.....	217
3. 8. 9	改頁破線ON/OFF	.....	218
3. 8. 10	法定福利費自動計算	.....	219
3. 8. 11	ログイン情報	.....	220
3. 9	参照	.....	221
3. 9. 1	科目・細目選択	.....	221
3. 9. 2	マスタ参照	.....	222
3. 9. 3	単価マスタ登録	.....	225
3. 10	下見積	.....	226
3. 10. 1	業者見積比較	.....	226
3. 10. 2	見積依頼出力	.....	234
3. 11	科目別集計	.....	235
3. 11. 1	科目別集計	.....	235
3. 12	ヘルプ	.....	237
3. 12. 1	キー操作	.....	237
3. 12. 2	FAQ	.....	238
4.	バックアップ	.....	239

# 1. ログイン

## 1.1 ログイン

ユーザID(使用者、ユーザ)、パスワードを入力します。



ログイン

KYOEI  
COMPASS 2.0

Ver.2.0.0.0

ユーザID admin

パスワード

パスワード変更

ログイン キャンセル

- ① ユーザIDの入力  
ユーザIDを入力します。  
前回接続したユーザIDが初期状態で表示されます。
- ② パスワードの入力  
選択したユーザIDに設定されているパスワードを入力して下さい。
- ③ ログイン情報のクリア  
前回システム運用中に、何らかの理由により正常終了しなかった場合、そのログインは使用できない状態になります。  
このような場合、[ログイン情報クリア]を実行します。
- ④ パスワードの変更  
パスワード変更ボタンをクリックするとパスワードの変更画面が表示されます。

登録されているユーザIDのパスワードを変更します。



パスワード変更

ユーザID admin

現在のパスワード

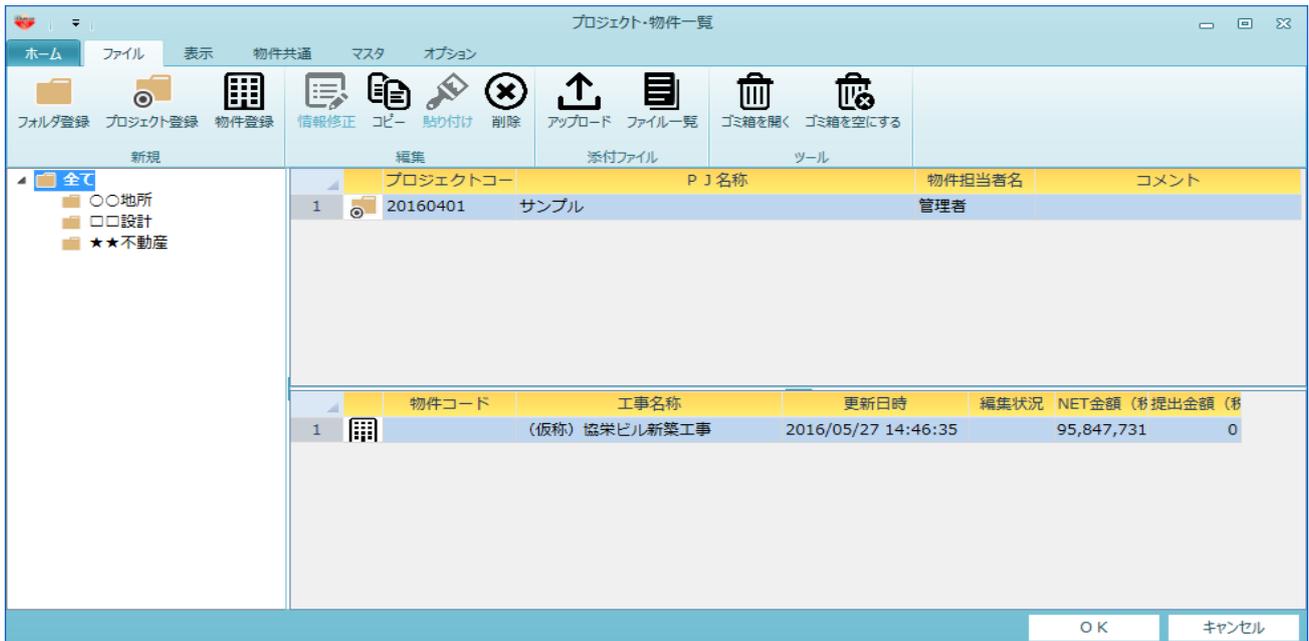
新しいパスワード

新しいパスワードの再入力

パスワード変更 キャンセル

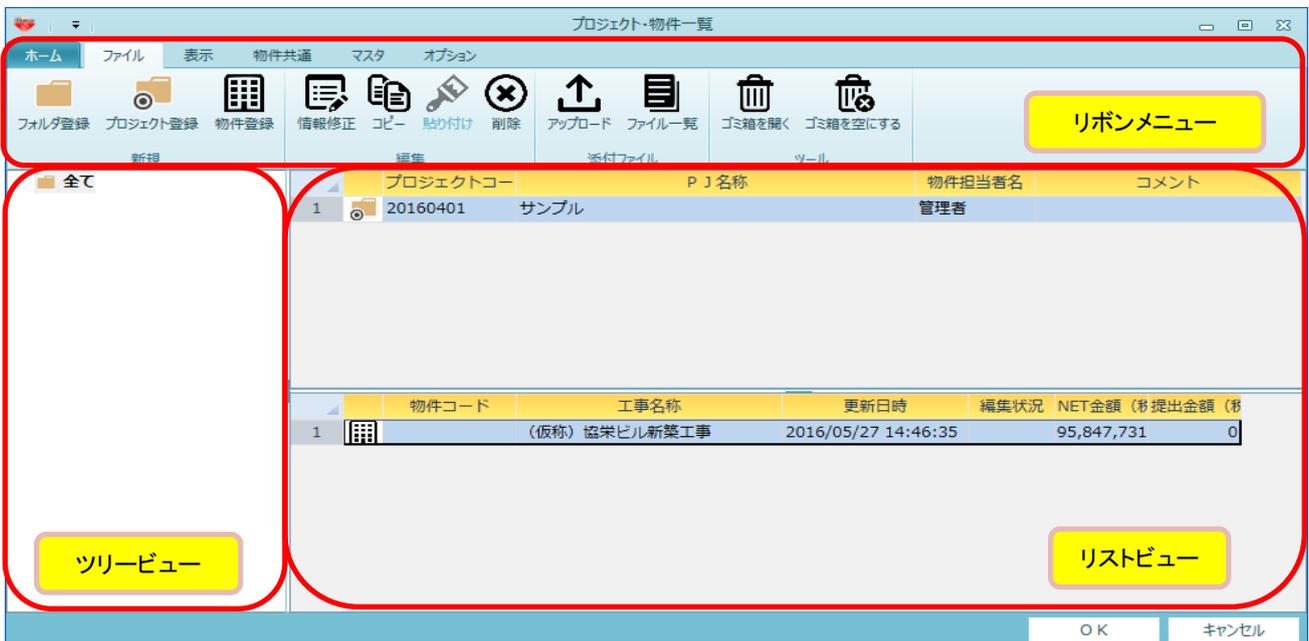
## 2. プロジェクト・物件一覧

ログインに成功すると、プロジェクト・物件一覧画面が表示されます。



この画面から、見積書の新規作成、修正、削除、ファイル出力、印刷などを行います。

### 1) 画面各部の名称



## 2. 1 ホームタブ

### 2. 1. 1 CSV出力

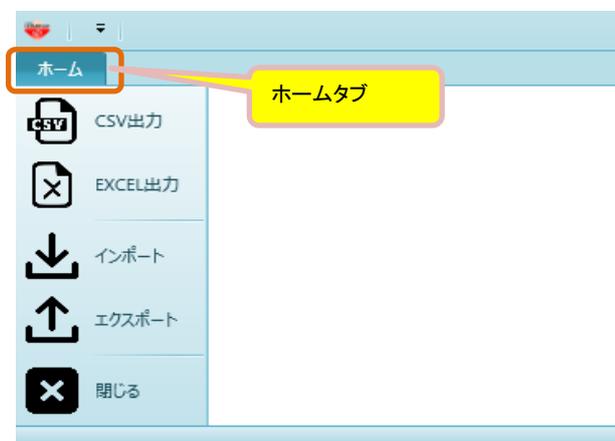
プロジェクト・物件一覧画面に表示されている内容を、CSVファイルに出力する機能。

1)画面左のツリービューで、CSVファイルに出力したいフォルダをクリックします。

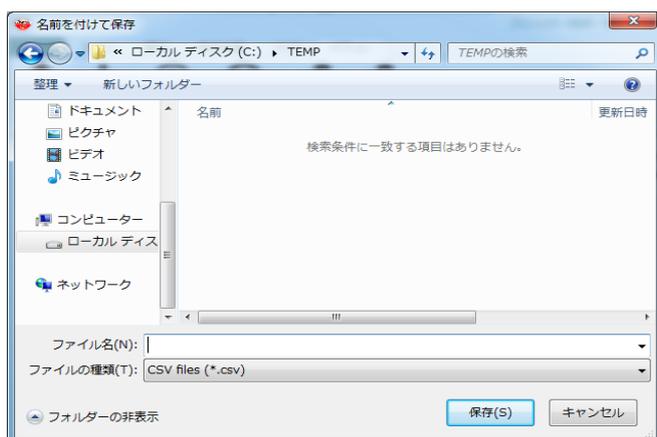


選択したフォルダ配下のフォルダ、プロジェクト、物件が出力対象となります。  
すべてを出力したい時は「全て」を選択します。

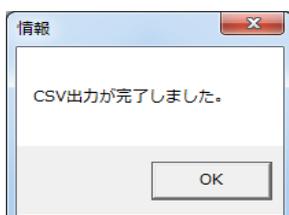
2)リボンメニューのホームタブをクリックし、[CSV出力]を選択します。



3)名前を付けて保存画面が表示されるので、出力先を選択し、ファイル名を付けます。



4)メッセージが表示されたら処理終了です。



## 2. 1. 2 EXCEL出力

プロジェクト・物件一覧画面に表示されている内容を、EXCELファイルに出力する機能。

1)画面左のツリービューで、EXCELファイルに出力したいフォルダをクリックします。

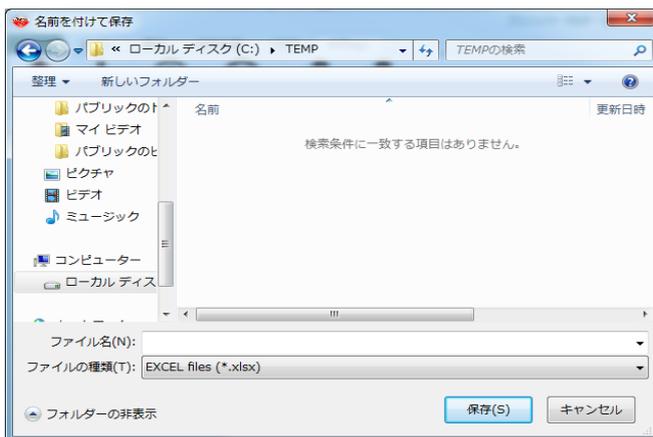


選択したフォルダ配下のフォルダ、プロジェクト、物件が出力対象となります。  
すべてを出力したい時は「全て」を選択します。

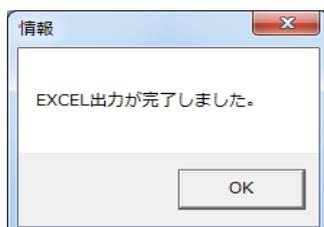
2)リボンメニューのホームタブをクリックし、[EXCEL出力]を選択します。



3)名前を付けて保存画面が表示されるので、出力先を選択し、ファイル名を付けます。



4)メッセージが表示されたら処理終了です。



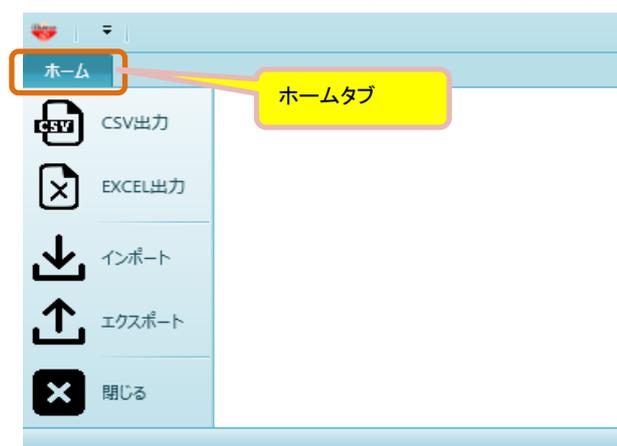
## 2. 1. 3 インポート

エクスポート機能で出力したプロジェクトや物件の情報を取り込む機能。

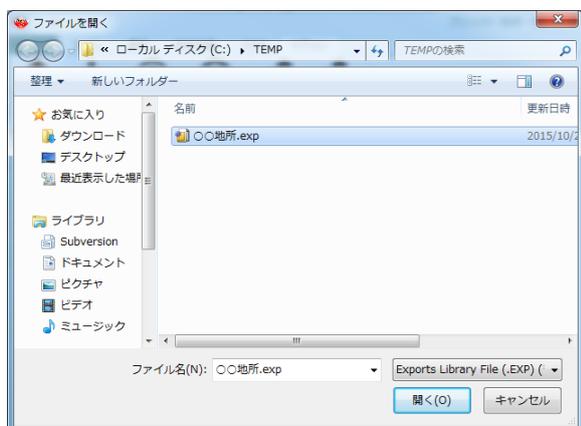
- 1) 画面左のツリービューで、インポート機能で登録するプロジェクトや物件を登録したいフォルダをクリックします。



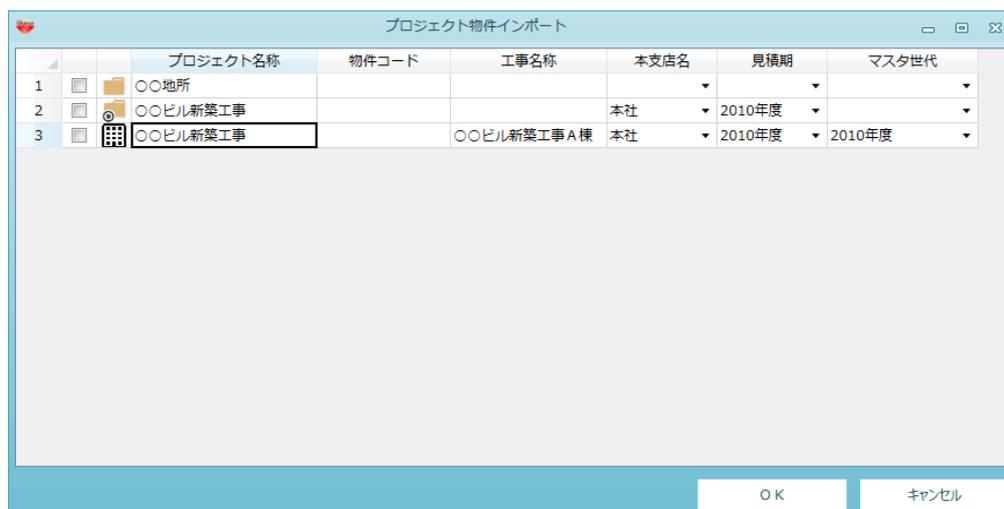
- 2) リボンメニューのホームタブをクリックし、[インポート]を選択します。



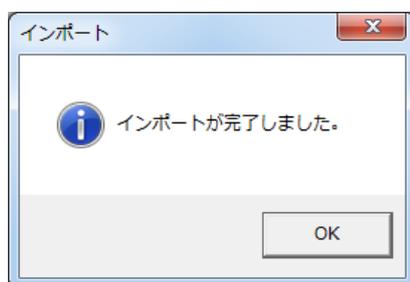
- 3) ファイルを開く画面が表示されるので、エクスポートファイルを選択「開く」をクリックします。



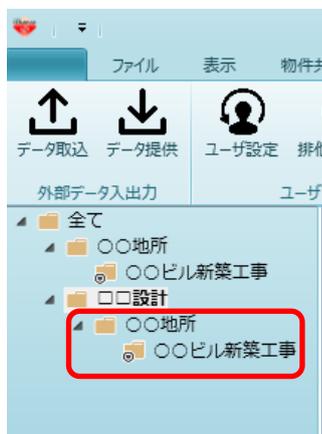
4)プロジェクト・物件インポート画面が表示されるので、取り込みたいフォルダや物件を選択しOKをクリックします。



5)メッセージが表示されたら処理終了です。



6)先に指定したフォルダに、エクスポートデータが復元されているのが確認できます。



## 2. 1. 4 エクスポート

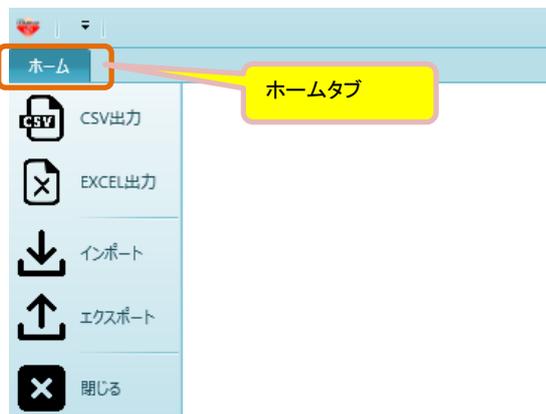
プロジェクトや物件の情報をファイルに出力します。  
エクスポートで出力した物件データはインポート機能で戻すことができます。  
物件データのバックアップ、パソコンの移設、同じCOMPASS/SSを持つ元請けへの納品などの目的で使用します。

1) 画面左のツリービューで、エクスポートしたいフォルダをクリックします。

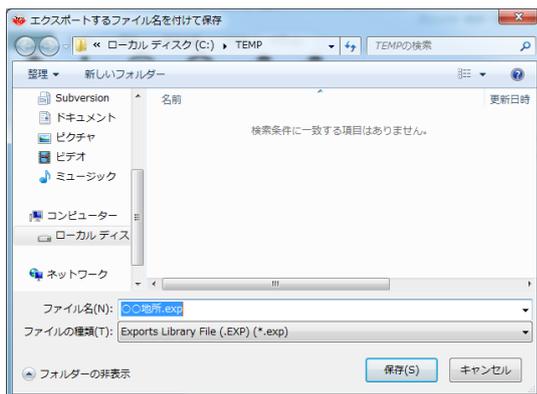


選択したフォルダ配下のフォルダ、プロジェクト、物件が出力対象となります。  
すべてを出力したい時は「全て」を選択します。

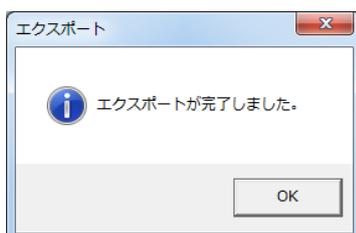
2) リボンメニューのホームタブをクリックし、[エクスポート]を選択します。



3) 名前を付けて保存画面が表示されるので、出力先を選択し、ファイル名を付けます。



4) メッセージが表示されたら処理終了です。

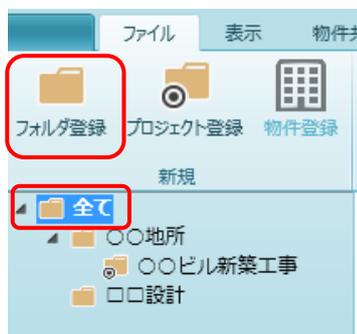


## 2.2 ファイル

### 2.2.1 フォルダ登録

見積物件を管理しやすくするために、ツリービューにフォルダを作成することができます。

- 1) ツリービューでフォルダを選択し、[ファイル]タブの[フォルダ登録]をクリックします。  
(選択したフォルダの直下に新しいフォルダが作成されます。)



- 2) フォルダの新規登録画面が表示されます。



- ・フォルダコード : フォルダに対して管理する番号が何かあれば入力します。
- ・フォルダ名称 : 管理・分類したいフォルダの名前の入力します。
- ・本支店 : フォルダに対する属性として、本支店が割り当てられる時に設定します。
- ・見積期 : フォルダに対する属性として、見積期が割り当てられる時に設定します。

上記項目を設定し、OKをクリックします。

- 3) 設定したフォルダが指定の場所に作成されます。



## 2.2.2 プロジェクト登録

見積物件を登録するためのプロジェクトを作成することができます。

- 1) プロジェクトを作成したいフォルダをクリックし、リボンメニューの[ファイル]タブの中から[プロジェクト登録]をクリックします。



- 2) プロジェクト新規登録画面が表示されます。

プロジェクト新規登録

プロジェクト情報1 | プロジェクト情報2 | コメント

プロジェクトコード:

プロジェクト名称: ■ 駅前再開発プロジェクト

本支店名: 本社

見積期: 2015年度

発注主:

建設地:

工事場所:

工事区分:

物件担当者: 管理者 administrator

設計区分:

設計事務所名:

着工年月日: 年 月 日

竣工年月日: 年 月 日

工事期間: 年 ヶ月

決定区分:

年月日: 1 日付の選択 15 2 日付の選択 15  
3 日付の選択 15 4 日付の選択 15

見積担当者: 建築    
電気   衛生    
空調   その他

杭工法種別:

外部グレード:  内部グレード:

OK キャンセル

### ①プロジェクト情報1

- ・プロジェクトコード : 社内にプロジェクトの管理コードがあれば入力します。
- ・プロジェクト名 : プロジェクトの名称を入力します。
- ・本支店名 : フォルダ登録時に指定してある場合は、その設定が継承されるので変更できません。
- ・見積期 : フォルダ登録時に指定してある場合は、その設定が継承されるので変更できません。

- ・発注主 : 発注主を選択または入力します。
- ・建設地 : 建設地を選択または入力します。
- ・工事場所 : 工事場所を入力します。
- ・工事区分 : 工事区分(新築、増築…)を選択または入力します。
- ・物件担当者 : 物件全体の担当者を選択または入力します。
- ・設計区分 : 設計区分(当社設計、他社設計…)を選択または入力します。
- ・設計事務所名 : 設計事務所名を選択または入力します。
- ・着工年月日 : 着工年月日を入力します。
- ・竣工年月日 : 竣工年月日を入力します。
- ・決定区分 : 決定区分(作業中、見積決裁、失注…)を選択します。
- ・年月日1～年月日4 : 着工、竣工以外に自由に使える日付欄を4つ用意しています。
- ・見積担当者 : 建築、設備ごとの見積担当者を選択または入力します。
- ・杭工法種別 : 杭工法(既成杭、場所打杭)の種別を選択または入力します。
- ・外部グレード : 外部仕上のグレード(A, B, C)を選択または入力します。
- ・内部グレード : 内部仕上のグレード(A, B, C)を選択または入力します。

## ②プロジェクト情報2

- ・精概算区分 : 精概算区分(通常、明細、概算)を選択または入力します。
- ・受注方式 : 受注方式(特命、競争)を選択または入力します。
- ・受注形式 : 受注形式を選択または入力します。
- ・複合単価 : 複合単価(単一、複合)の別を選択します。
- ・官民区分 : 官民区分(官庁、民間)を選択または入力します。
- ・設備工事 : 設備工事(含む、別途)を選択または入力します。
- ・JV区分 : JV区分(一般工事、協力施工時事1…)を選択または入力します。
- ・共同企業体名 : JV区分がJVの時のみ共同企業体名を入力します。
- ・建物用途<主> : 建物の主な用途を選択または入力します。
- ・特定建物用途指数<主> : 住戸数、ベッド数、室数などを選択または入力します。

- ・建物用途<副1>: 建物の主な用途を選択または入力します。
- ・特定建物用途指数<副1>: 住戸数、ベッド数、室数などを選択または入力します。
- ・建物用途<副2>: 建物の主な用途を選択または入力します。
- ・特定建物用途指数<副2>: 住戸数、ベッド数、室数などを選択または入力します。
- ・構造: 構造(RC、SRC...)を選択または入力します。
- ・階数: 地下、地上、塔屋の階数を入力します。
- ・多棟フラグ: 多棟の時、チェックをつけます。
- ・棟数: 複数棟があればその棟数を入力します。
- ・住戸数: 住宅の場合、住戸数を入力します。
- ・平均階高: 建物の平均階高を入力します。
- ・軒高: 軒高を入力します。
- ・敷地面積: 敷地面積を入力します。
- ・建築面積: 建築面積を入力します。
- ・法延床面積: 法定延床面積を入力します。
- ・施延床面積: 施工延床面積を入力します。
- ・延容積: 延容積を入力します。

### ③コメント

- ・コメント1～4: コメント入力として自由に入力可能です。
- ・備考: 備考として入力が可能です。

### ④OKをクリックすると、ツリービューに登録したプロジェクトが表示されます。



※プロジェクト登録の入力画面にある、建設地や工事区分などのプルダウンに表示される項目は、リボンメニューの[マスタ]タブの中の[各種マスタ設定]や[汎用名称マスタ]で追加・変更ができます。

## 2.2.3 物件登録

プロジェクト情報を共有する物件を登録します。(第1回提出、VE案1など)

- 1) 物件を作成したいプロジェクトをクリックし、リボンメニューの[ファイル]タブの中から[物件登録]をクリックします。



- 2) 物件新規登録画面が表示されます。

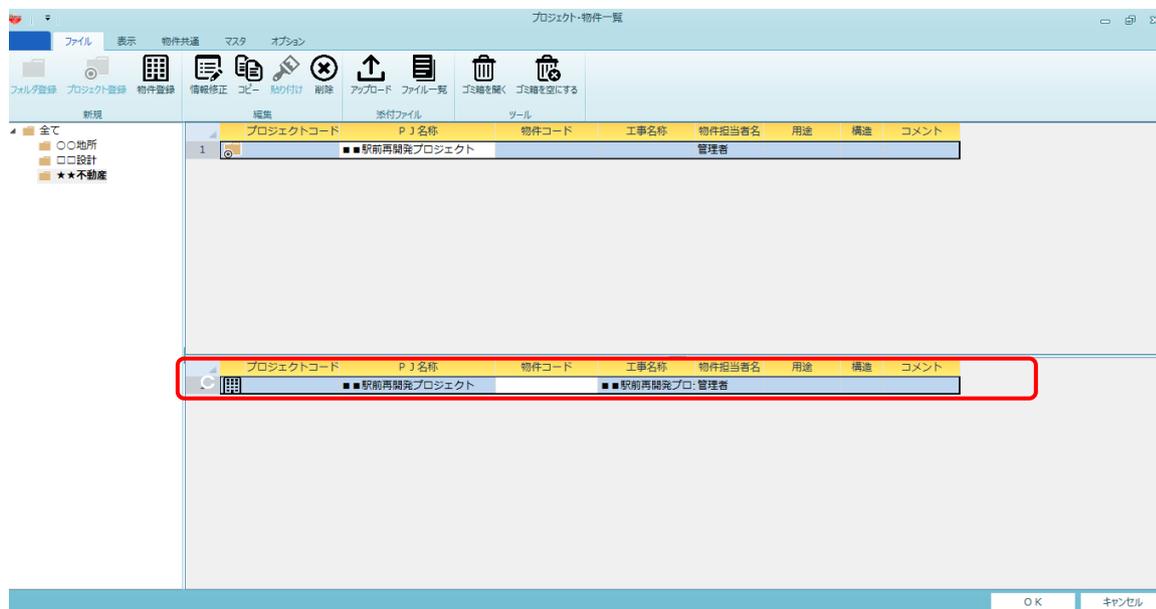
A screenshot of the '物件新規登録' (Object New Registration) form. The form is titled '物件新規登録' and has tabs for '物件情報1', '物件情報2', and 'コメント'. The '物件情報1' tab is active. The form contains various input fields and dropdown menus. The '工事名称1' field is filled with '駅前再開発プロジェクト'. The '工事名称2' field is filled with '東館新築工事'. The '本店名' dropdown is set to '本社'. The '見積期' dropdown is set to '2015年度'. The '物件担当者' dropdown is set to '管理者' and the 'administrator' text is visible. The '設計区分' dropdown is empty. The '設計事務所名' dropdown is empty. The '着工年月日' field is empty. The '竣工年月日' field is empty. The '工事期間' field is empty. The '決定区分' dropdown is empty. The '年月日' section has four date selection buttons, each with a calendar icon and the number '15'. The '見積担当者' section has dropdown menus for '建築', '電気', '空調', '衛生', and 'その他'. The '杭工法種別' dropdown is empty. The '外部グレード' and '内部グレード' dropdowns are empty. The 'マスタ世代' dropdown is set to '2015年度'. At the bottom, there are buttons for '他物件参照', 'OK', and 'キャンセル'.

※プロジェクト登録の内容が継承されて初期表示されます。  
プロジェクト登録で入力した内容と異なる部分だけ変更してください。

### 【プロジェクト登録画面にない項目】

- ・物件コード : 社内で管理している物件コードがあれば、これを入力します。
- ・工事名称1、2 : 工事名称を入力します。
- ・マスタ世代 : 種目、科目、細目などのマスタは、世代管理ができるようになっています。何年度のマスタを利用するかをここで選択します。
- ・他物件参照 : 他の登録物件を指定して、その物件が持っている登録情報を流用したい時に使用します。

3) OKをクリックすると、リストビューに登録した物件が表示されます。



## 2.2.4 情報修正

フォルダ情報、プロジェクト情報、物件情報を後から修正する時に使用します。

登録内容を修正したい時は、リストビューに修正したいフォルダやプロジェクト、物件を表示させ、該当行を選択した状態でリボンメニューの[ファイル]タブから[情報修正]を選択します。  
(または、右クリックで[情報修正]を選択)

### 1) フォルダ情報の修正

- ① 修正したいフォルダをクリックし、リボンメニューの[ファイル]タブの中から[情報修正]をクリックします。

	プロジェクトコード	P J 名称	物件担当者名
1	2016010	(仮称) ○○ビル新築工事	管理者
2	2016020	(仮称) ●●●マンション新築	管理者
3	2016030	(仮称) ○○○病院新築工事	管理者
4	2016050	■駅前再開発プロジェクト	担当A
5	2016101-1	□□ビル新築工事	担当A
6	2016040	(仮称) ○○○マンション	担当A

- ② フォルダ情報が表示されます。修正後、[OK]ボタンをクリックします。

フォルダ情報修正

フォルダコード: 2016

フォルダ名称: 102期

本支店: 本社

見積期: 2016年度

OK      キャンセル

## 2) プロジェクト情報の修正

- ① 修正したいプロジェクトをクリックし、リボンメニューの[ファイル]タブの中から[情報修正]をクリックします。



- ② プロジェクト情報が表示されます。修正後、[OK]ボタンをクリックします。

プロジェクト情報修正

プロジェクト情報1 | プロジェクト情報2 | コメント

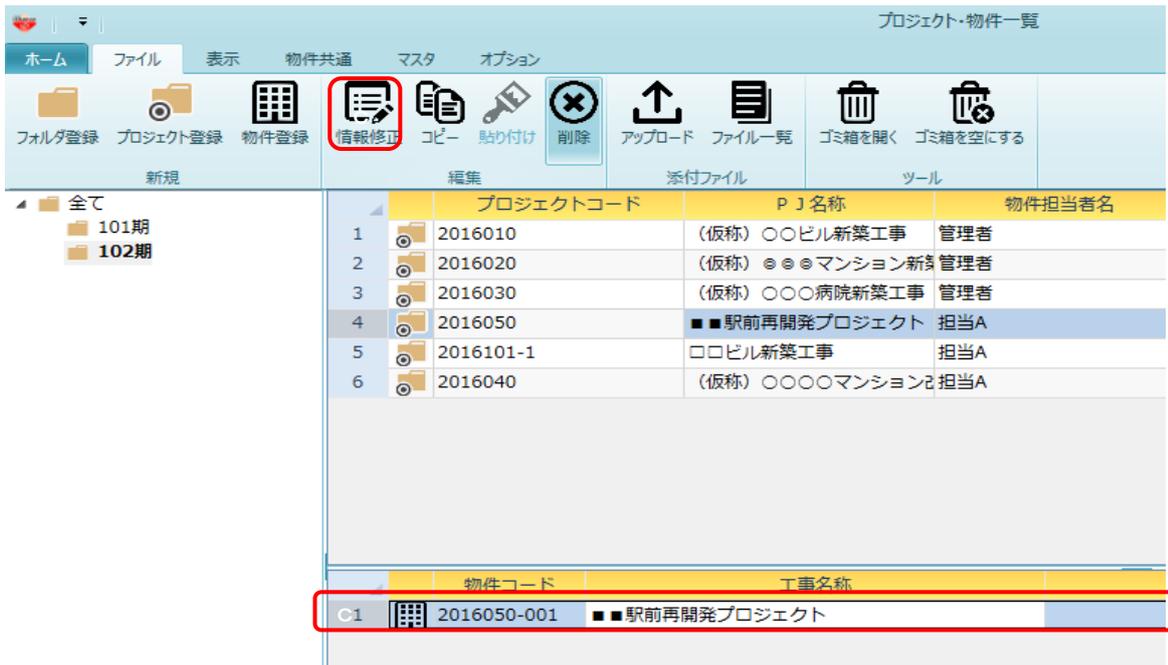
プロジェクトコード: 2016050  
プロジェクト名称: ■ 駅前再開発プロジェクト

本店店名: 本社  
見積期: 2016年度  
発注主: ○○不動産  
建設地: 東京都  
工事場所: 東京都大田区平和島  
工事区分: 増改築  
物件担当者: 担当A (TANTOA)  
設計区分: 他社設計  
設計事務所名: □□□設計事務所  
着工年月日: 2017年 1月 10日  
竣工年月日: 2019年 10月 31日  
工事期間: 2年 10ヶ月  
決定区分: 当社決定  
年月日: 1 2016/12/01 2 日付の選択 3 日付の選択 4 日付の選択  
見積担当者: 建築 担当A (TANTOA) 電気 衛生 空調 その他  
杭工法種別: 既製杭  
外部グレード: A 内部グレード: A

OK キャンセル

### 3) 物件情報の修正

①修正したい物件をクリックし、リボンメニューの[ファイル]タブの中から[情報修正]をクリックします。



②物件情報が表示されます。修正後、[OK]ボタンをクリックします。

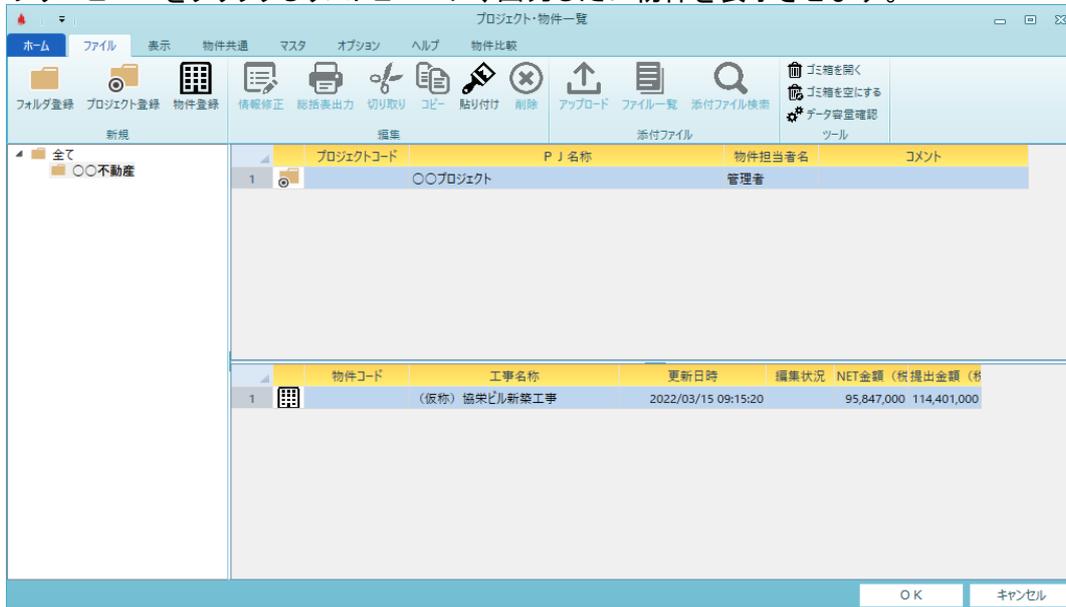
物件コード	2016050-001		
工事名称1	■ ■ 駅前再開発プロジェクト		
工事名称2	東館新築工事		
本店名	本社		
見積期	2016年度		
発注主	○○不動産		
建設地	東京都		
工事場所	東京都大田区平和島		
工事区分	増改築		
物件担当者	担当A	TANTOA	
設計区分	他社設計		
設計事務所名	□□□設計事務所		
着工年月日	2017年	1月	10日
竣工年月日	2019年	10月	31日
工事期間	2年 10ヶ月		
決定区分	当社決定		
年月日	1 2016/12/01	2 日付の選択	15
	3 日付の選択	4 日付の選択	15
見積担当者	建築 担当A	TANTOA	
	電気		衛生
	空調		その他
杭工法種別	既製杭		
外部グレード	A	内部グレード	A
マスタ世代	2016年度 (単価A)		

他物件参照      OK      キャンセル

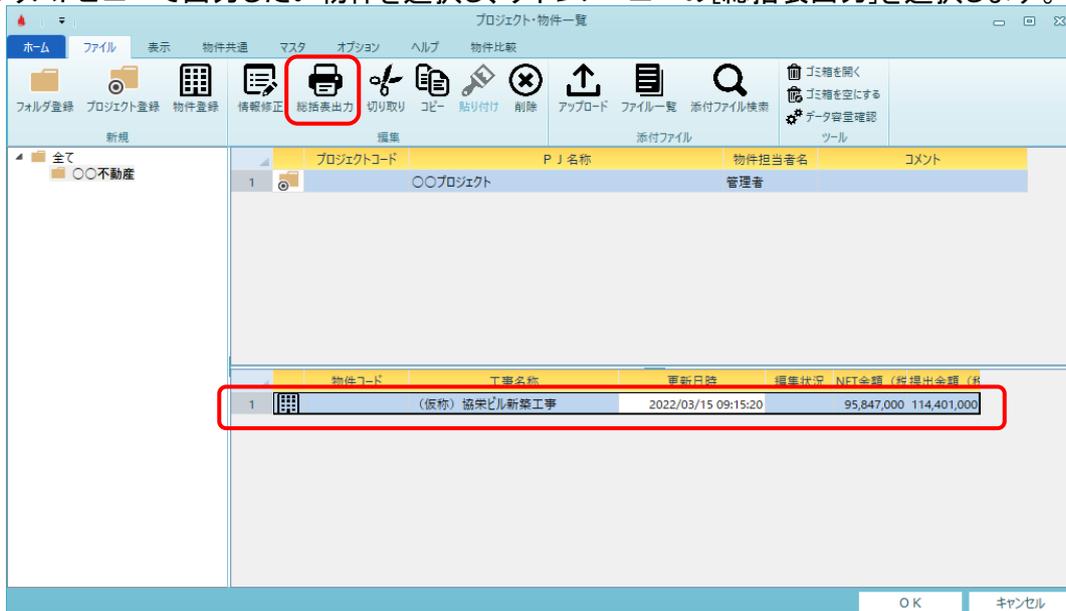
## 2.2.5 総括表出力

選択した物件の総括表を出力します。

1) ツリービューをクリックしリストビューに、出力したい物件を表示させます。



2) リストビューで出力したい物件を選択し、リボンメニューの[総括表出力]を選択します。



3) 出力する設定を選択し、[単独・並列]ボタン、または[棟別]ボタンをクリックします。



#### 4) 単独・並列で出力

①粗利益を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

② 印字するNET提出区分、工種および計行を選択します。

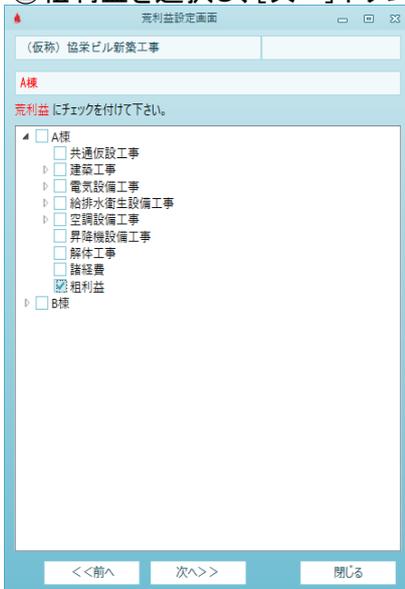
③一覽設定画面で、出力内容を確認し、[EXCEL出力]ボタンをクリックして総括表を出力します。

## 5) 棟別で出力

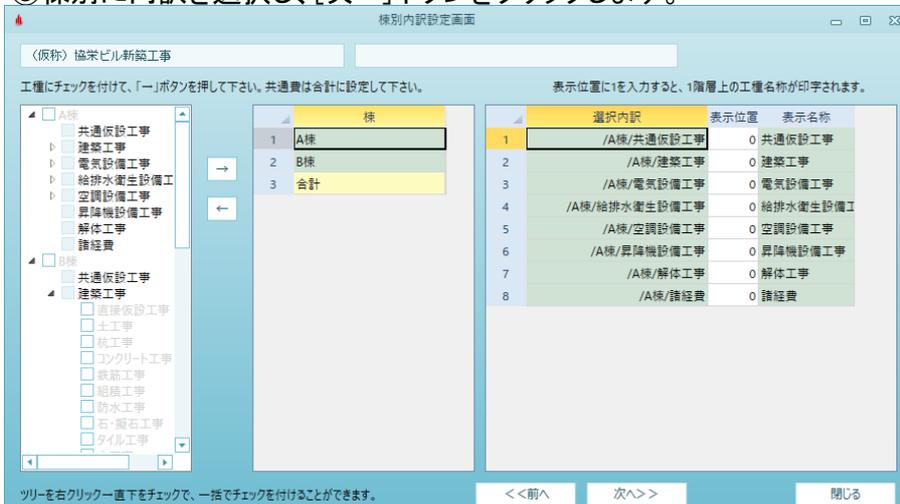
①棟名を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



②粗利益を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



③棟別に内訳を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



選択内訳	表示位置	表示名称
/A棟/共通仮設工事	0	共通仮設工事
/A棟/建築工事	0	建築工事
/A棟/電気設備工事	0	電気設備工事
/A棟/給排水衛生設備工事	0	給排水衛生設備工事
/A棟/空調設備工事	0	空調設備工事
/A棟/昇降機設備工事	0	昇降機設備工事
/A棟/解体工事	0	解体工事
/A棟/諸経費	0	諸経費

③一覧設定画面で、出力内容を確認し、[EXCEL出力]ボタンをクリックして総括表を出力します。

一覧設定画面

〈仮称〉協栄ビル新築工事

内訳書金額	252,802,000	114,401,000	114,401,000
タイトル	合計	A棟	B棟
面積選択	法定延床面積	法定延床面積	法定延床面積
面積(m2)	0	0	0
工事原価	228,802,000	114,401,000	114,401,000
荒利益	24,000,000	12,000,000	12,000,000
荒利率	9.49%	9.49%	9.49%
工事価格	252,802,000	126,401,000	126,401,000

● 荒利益を入力  
● 工事価格を入力

計レベル	項目	金額	金額	金額
1	共通仮設工事	15,040,000	7,520,000	7,520,000
2	建築工事	125,814,000	62,907,000	62,907,000
3	電気設備工事	14,950,000	7,475,000	7,475,000
4	給排水衛生設備工事	12,502,000	6,251,000	6,251,000
5	空調設備工事	9,696,000	4,848,000	4,848,000
6	昇降機設備工事	16,800,000	8,400,000	8,400,000
7	解体工事	2,800,000	1,400,000	1,400,000
8	雑経費	31,200,000	15,600,000	15,600,000

プレビュー    EXCEL出力    工事概要    <<前へ    一時保存    閉じる

## 2.2.6 コピー

フォルダ情報、プロジェクト情報、物件情報をコピーし、別のフォルダなどに貼り付ける目的で使  
用します。

1) ツリービューをクリックしリストビューに、コピーしたいフォルダやプロジェクトを表示させます。



2) リストビューでコピーしたいフォルダやプロジェクトを選択し、リボンメニューの[コピー]を選択  
します。



※コピー対象となるのは、ツリービューでクリックしたものではなく、リストビューで選択されている  
ものとなります。

## 2. 2. 7 貼り付け

コピーしたフォルダ情報、プロジェクト情報、物件情報を貼り付けます。

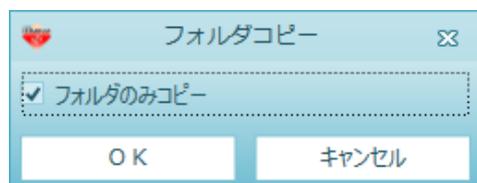
1) 貼り付けたい場所をツリービューでクリックします。



2) リボンメニューの貼り付けをクリックします。



3) 配下の情報もコピーするか否かを選択します。



上記はフォルダをコピーした時に表示される画面です。  
「フォルダのみコピー」にチェックが付いていると、配下の情報はコピーされません。

4) OKをクリックすると、貼り付け処理が行われます。

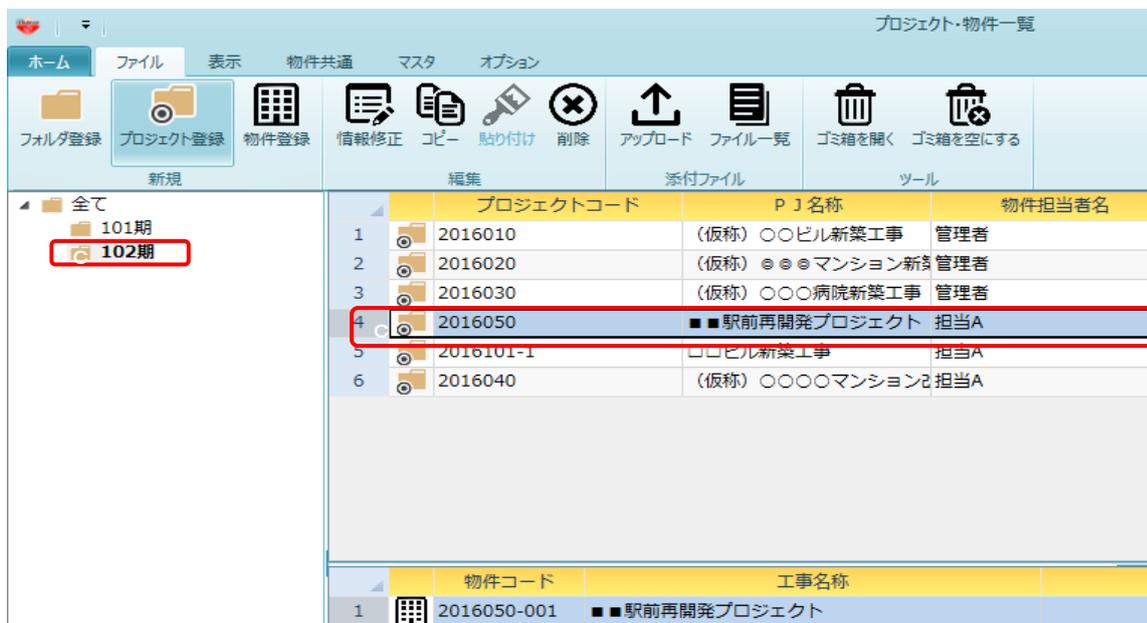


## 2.2.8 削除

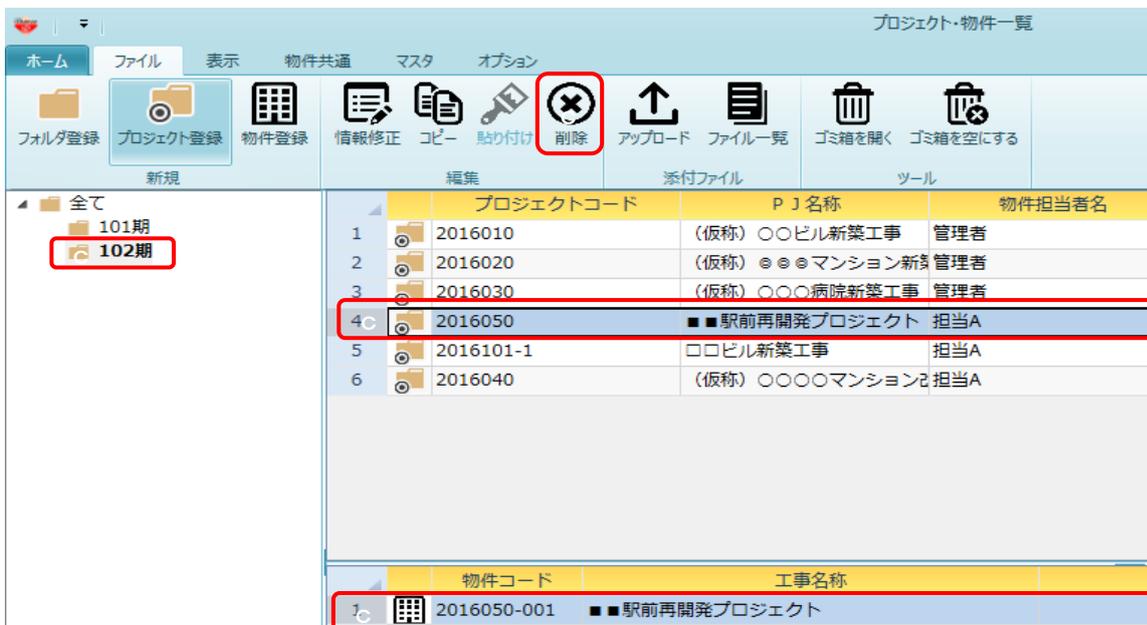
フォルダやプロジェクト、物件を削除します。削除したデータはゴミ箱に保存されます。

登録データを削除したい時は、リストビューに修正したいフォルダやプロジェクト、物件を表示させ、該当行を選択した状態でリボンメニューの[ファイル]タブから[削除]を選択します。  
(または、右クリックで[削除]を選択)

1) ツリービューをクリックしリストビューに、削除したいフォルダやプロジェクト、物件を表示させます。



2) リストビューで削除したいフォルダやプロジェクト、物件を選択し、リボンメニューの[削除]をクリックします。



※フォルダ削除の場合、フォルダ内のプロジェクト、物件も削除されます。

※プロジェクト削除の場合、プロジェクト内の物件も削除されます。

削除したフォルダ、プロジェクト、物件はゴミ箱に保存され、復元できます。  
ゴミ箱で削除すると完全に削除されます。

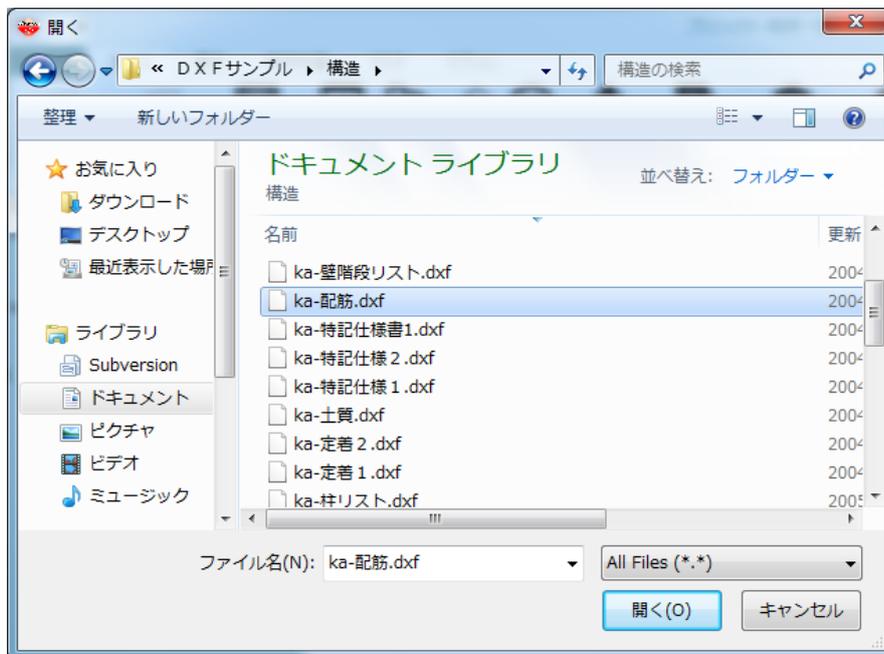
## 2.2.9 アップロード

図面ファイル、カタログファイルや見積ファイルなどを、フォルダやプロジェクト単位で管理することがで

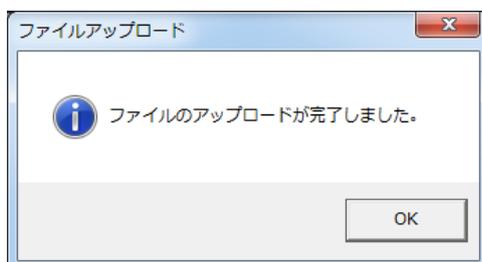
- 1) ツリービューでフォルダまたはプロジェクトをクリックし、リボンメニューの[アップロード]をクリックします。



- 2) ファイル選択のダイアログが表示されるので、アップロードしたいファイルを選択します。



- 3) アップロードが完了すると、メッセージが表示されます。



※アップロードされたファイルを確認するのは、[ファイル一覧]で行います。

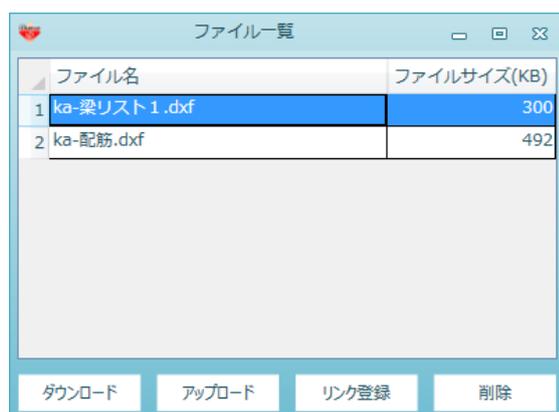
## 2. 2. 10 ファイル一覧

アップロードされたファイルの一覧画面を表示します。

- 1) ファイル一覧を表示したいフォルダまたはプロジェクトをツリービューでクリックし、リボンメニューの[ファイル一覧]をクリックします。



- 2) ファイル一覧画面が表示されます。



- ①ダウンロード  
ファイルを選択し、ダウンロードボタンをクリックすることで、アップロードされたファイルを自分のパソコンにダウンロードすることができます。
- ②アップロード  
この画面からさらに、ファイルをアップロードすることができます。
- ③リンク登録  
アップロードするのではなく、リンクを設定するだけの時に使用します。
- ④削除  
ファイル一覧の情報を削除します。

## 2. 2. 11 ゴミ箱を開く

削除したフォルダやプロジェクト、物件はゴミ箱で管理されています。

1) リボンメニューの[ファイル]タブから、[ゴミ箱を開く]をクリックします。

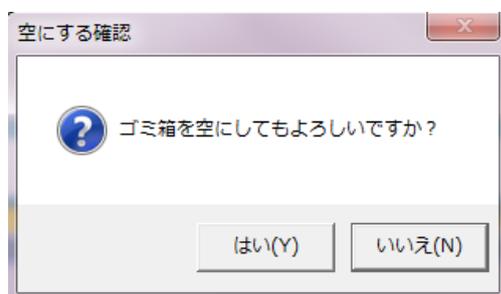


2) ゴミ箱が表示されます。



### ①空にする

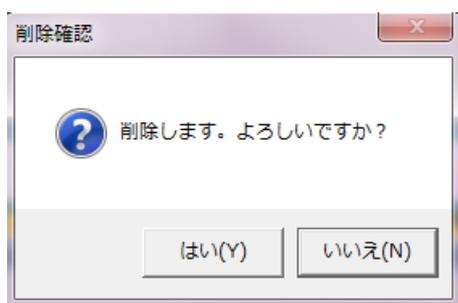
ゴミ箱の登録内容をすべて削除します。  
削除したフォルダ、プロジェクト、物件は復元できません。



「はい」ですべて削除されます。

## ②削除

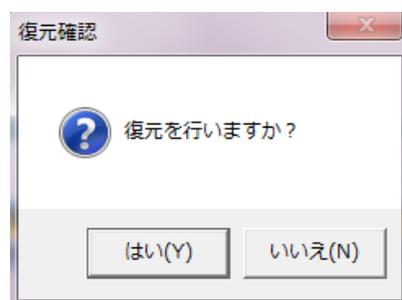
ゴミ箱から削除したい行にチェックをつけることにより、ゴミ箱から削除されます。削除したフォルダ、プロジェクト、物件は復元できません。



「はい」で削除されます。

## ③元に戻す

チェックをつけたフォルダやプロジェクト、物件を元に復元させます。



「はい」で復元されます。

## ④キャンセル

[ゴミ箱を開く]を終了します。

## 2. 2. 12 ゴミ箱を空にする

削除したフォルダやプロジェクト、物件はゴミ箱で管理されています。

「2. 2. 10 ゴミ箱を開く」を起動して表示される画面から、[空にする]ボタンをクリックした時と同じ機能となります。

削除したフォルダ、プロジェクト、物件は復元できません。

## 2. 2. 13 データ容量確認

サーバーのデータ容量の確認を行います。

1)リボンメニューの[ファイル]タブから、[データ容量確認]をクリックします。

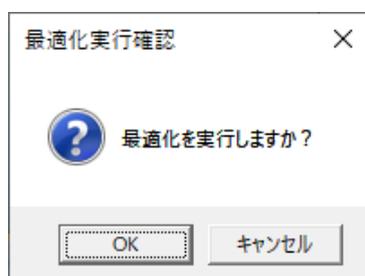


2)データ容量確認が表示されます。



### ①最適化

サーバーの最適化を行います。



「OK」で最適化されます。

### ②閉じる

データ容量確認画面を閉じて、プロジェクト・物件一覧画面へ戻ります。

## 2.3 表示

### 2.3.1 表示列パターンの登録

プロジェクト・物件一覧に表示する項目を変更します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[表示列パターンの登録]をクリックします。



2)表示列パターン画面が表示されます。  
「プロジェクト」または「物件」を選択し、表示する項目をチェックします。



#### ①更新

選択した表示列に更新します。

#### ②OK

選択した表示列に更新して画面を閉じ、プロジェクト・物件一覧の表示列を更新します。

#### ③キャンセル

データ保存確認画面を表示して閉じます。

#### ④インポート



エクスポートで作成された表示列パターンファイルを取込みます。

#### ⑤エクスポート



画面表示されている表示列パターンをファイル出力します。

## 2.3.2 ソートON/OFF

プロジェクト・物件一覧の表示列を選択して登録内容の昇順、降順に並び替えます。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[ソートOFF]をクリックします。

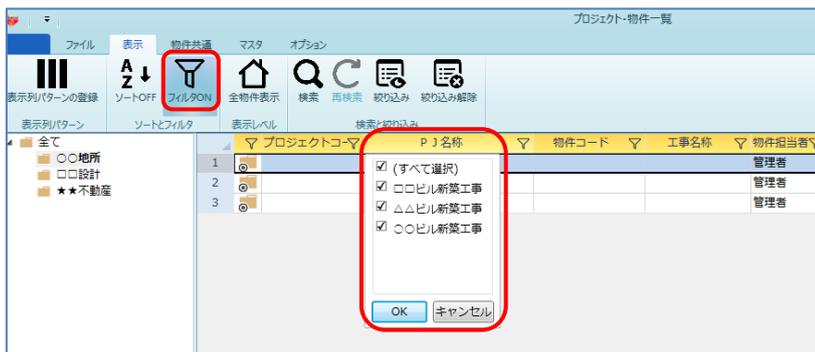


2)表示列をクリックすると登録内容の昇順、降順に並び替えて表示します。

## 2.3.3 フィルタON/OFF

プロジェクト・物件一覧の表示列を選択して登録内容の絞り込みをします。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[フィルタOFF]をクリックします。



2)表示列をクリックすると登録リストが表示され、チェックボックスをオン/オフにして、登録内容の表示/非表示を切り替えます。

## 2.3.4 全物件表示

プロジェクト・物件一覧にログイン者の担当プロジェクト、物件のみを表示します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[全物件表示]をクリックします。

The screenshot shows the 'プロジェクト・物件一覧' (Project/Property List) screen. The ribbon menu is set to '表示' (Display). The '全物件表示' (All Objects Display) button, represented by a house icon, is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table lists project details:

プロジェクトコード	PJ名称	物件担当者名	コメント	建築主名称
1 2016010	(仮称) ○○ビル新築工事	管理者		
2 2016020	(仮称) ●●●マンション新築	管理者		
3 2016030	(仮称) ○○○病院新築工事	管理者		
4 2016050	■駅前再開発プロジェクト	担当A		○○不動産
5 2016101-1	□ビル新築工事	担当A		
6 2016040	(仮称) ○○○マンション	担当A		

Below this table, a summary table is visible:

物件コード	工事名称	更新日時	編集状況	NET金額 (税抜)
1 2016010-001	(仮称) ○○ビル新築工事	2016/10/20 10:57:51		1,097,542

2) [担当物件のみ表示]に切り替わり、ログイン者の担当プロジェクト、物件のみが表示されます。

・ログイン者が「管理者」の場合、1)の画面より、「管理者」のみのプロジェクト、物件が表示されます。

The screenshot shows the same software interface, but the ribbon menu is now set to '表示' (Display) and the '担当物件のみ表示' (Display Only Assigned Objects) button, represented by a house icon with a checkmark, is highlighted with a red box. The table below shows only the projects managed by the user:

プロジェクトコード	PJ名称	物件担当者名	コメント	建築主名称
1 2016010	(仮称) ○○ビル新築工事	管理者		
2 2016020	(仮称) ●●●マンション新築	管理者		
3 2016030	(仮称) ○○○病院新築工事	管理者		

The summary table below remains the same:

物件コード	工事名称	更新日時	編集状況	NET金額 (税抜)
1 2016010-001	(仮称) ○○ビル新築工事	2016/10/20 10:57:51		1,097,542

※「担当者物件のみ表示」をクリックすると全物件表示に切り替わります。

## 2.3.5 検索

プロジェクト名称、本支店名、工事名称などを入力して物件の検索を行います。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[検索]をクリックします。



2)検索条件入力画面が表示されます。

工事名称、本支店名など文字列が入力できる欄はあいまい検索が適用されます。

The screenshot shows the '検索' (Search) dialog box. It has three tabs: '入力項目 1', '詳細項目 2', and '詳細項目 3'. The '入力項目 1' tab is active. The form contains the following fields: 'プロジェクト名称', '工事名称', 'プロジェクトコード', '本文店名' (dropdown), '見積期' (dropdown), '物件コード', '工事場所', '着工年月日' (date range), '竣工年月日' (date range), 'コメント', '備考', '発注主' (dropdown), '設計事務所名' (dropdown), and '物件担当者' (dropdown). At the bottom, there are buttons for 'クリア', 'OK', and 'キャンセル'.

3)「詳細」をクリックすると詳細検索項目を入力できます。

This is a close-up of the search dialog box, showing the '詳細' (Detailed) tab selected. The fields '発注主', '設計事務所名', and '物件担当者' are visible. The '詳細' button is highlighted with a red circle. The 'クリア' (Clear) button is also visible at the bottom.

## ・入力項目1

検索

入力項目1 | 詳細項目2 | 詳細項目3

プロジェクト名称

工事名称

プロジェクトコード

本支店名

見積期

物件コード

工事場所

着工年月日

竣工年月日

コメント

備考

発注主

設計事務所名

物件担当者

▲ 詳細

見積担当者

建築

電気

空調

衛生

その他

建設地

工事区分

設計区分

決定区分

クリア

OK

キャンセル

## ・入力項目2

検索

入力項目1 | 詳細項目2 | 詳細項目3

工事期間

年月日

1 日付の選択 [15] ~ 日付の選択 [15]

2 日付の選択 [15] ~ 日付の選択 [15]

3 日付の選択 [15] ~ 日付の選択 [15]

4 日付の選択 [15] ~ 日付の選択 [15]

杭工法種別

外部グレード

内部グレード

マスタ世代

精算区分

受注方式

受注形式

複合単価

● 単一

● 複合

官民区分

設備工事

JV区分

共同企業体名

建物用途

特定建物用途指数

機能数量

構造

クリア

OK

キャンセル

## ・入力項目3

検索

入力項目1 | 詳細項目2 | 詳細項目3

階数

地上

地下

PH

平均階高

軒高

敷地面積

建築面積

法延床面積

施延床面積

延床積

登録年月日

更新年月日

NET金額 (税抜)

提出金額 (税抜)

NET金額 (税込)

提出金額 (税込)

多様フラグ

棟数

住戸数

坪単価 (NET)

坪単価 (提出)

クリア

OK

キャンセル

## 2.3.6 再検索

検索で入力した条件に一致した次プロジェクトの先頭行にカーソル移動して表示します。

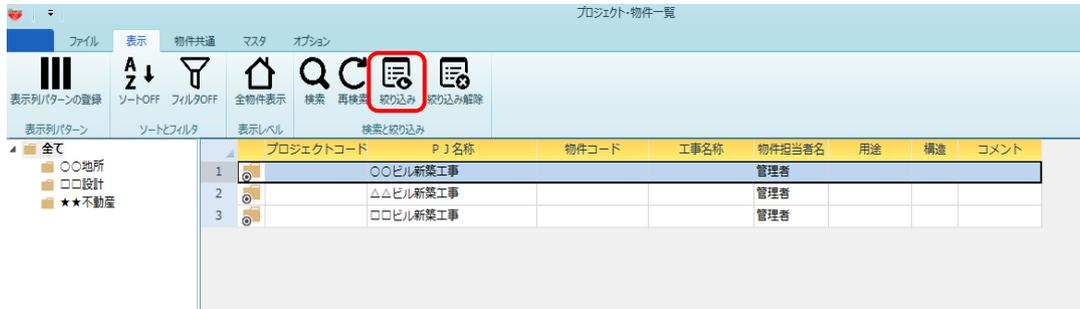
1)リボンメニューの[表示]タブから、[再検索]をクリックします。



## 2. 3. 7 絞り込み

絞り込み用条件に一致した物件のみで階層を作成して全て開いて表示します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[絞り込み]をクリックします。



2)絞り込み条件入力画面が表示されます。

工事名称、本支店名など文字列が入力できる欄はあいまい検索が適用されます。

絞り込み

入力項目 1 | 詳細項目 2 | 詳細項目 3

プロジェクト名称

工事名称

プロジェクトコード

本支店名

見積期

物件コード

工事場所

着工年月日

竣工年月日

コメント

備考

発注主

設計事務所名

物件担当者

▼ 詳細

クリア OK キャンセル

3)「詳細」をクリックすると詳細検索項目を入力できます。

発注主

設計事務所名

物件担当者

▼ 詳細

クリア

※詳細の入力項目1、2、3は、2. 3. 5 検索に同じです。

## 2.3.8 絞り込み解除

絞り込み状態を解除して全プロジェクトを表示します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[絞り込み解除]をクリックします。



The screenshot shows a software interface with a ribbon menu. The '表示' (Display) tab is active, and the '絞り込み解除' (Remove Filter) button is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table displays project information.

	プロジェクトコード	P J 名称	物件コード	工事名称	物件担当者名	用途	構造	コメント
1	◎	〇〇ビル新築工事			管理者			
2	◎	△△ビル新築工事			管理者			
3	◎	□□ビル新築工事			管理者			

## 2. 4 物件共通

物件共通で設定する、「物件設定」、「鑑・要項書情報」、「見積書印字書式」は物件新規作成時の規定値になります。

この規定値は、物件新規作成で各物件にコピーされ変更できます。

「物件設定」、「鑑・要項書情報」は見積書入力の3. 8オプションで、「見積書印字書式」は見積書入力の3. 1. 3見積書印刷の書式設定で変更できます。

### 2. 4. 1 物件設定

物件の新規作成時の明細既定、割掛・シミュレーション既定、消費税情報、物件一覧色の既定

1)リボンメニューの[物件共通]タブから、[物件設定]をクリックします。



新規で物件を作成したときの明細既定、割掛・シミュレーション既定、消費税情報、物件一覧色の既定値を設定します。



### ①明細既定設定

- ・名称欄文字数 : 名称欄の文字数を「32文字」、「20文字」を選択します。
- ・規格欄文字数 : 規格欄の文字数を「32文字」、「20文字」を選択します。
- ・規格開始行区分 : 規格名称の開始行を「下段」、「上段」、「次行上段」から選択します。
- ・印刷時均等割 : 印刷時の名称欄の均等割付を「しない」、「上段のみする」、「上段のみする」、「上下段両方する」から選択します。
- ・明細追加時既定端数調整 : 明細追加時の単価の端数調整単位を「整数」、「シミュレーション」から選択します。
- ・明細追加時既定金額端数調整 : 明細追加時の金額の端数調整単位を「整数」、「四捨五入」から選択します。
- ・既定数量丸め少数点桁数区分 : 数量丸めの少数桁数を選択します。
- ・既定数量端数丸め方法区分 : 数量丸めの端数処理を選択します。
- ・印詳区計行名称印刷区分 : 未使用
- ・印詳内訳計行名称印刷区分 : 未使用
- ・小々計行名称 : 小々計行の名称規定値を設定します。
- ・小計行名称 : 小計行の名称規定値を設定します。
- ・計行名称 : 計行の名称規定値を設定します。
- ・中計行名称 : 中計行の名称規定値を設定します。
- ・大計行名称 : 大計行の名称規定値を設定します。
- ・合計行名称 : 合計行の名称規定値を設定します。
- ・改計行名称 : 改計行の名称規定値を設定します。
- ・総計行名称 : 総計行の名称規定値を設定します。
- ・参考計行 : 参考計行の名称規定値を設定します。
- ・消費行名称 : 消費税行の名称規定値を設定します。
- ・内部計行名称 : 内部計行の名称規定値を設定します。
- ・外部計行名称 : 外部計行の名称規定値を設定します。

### ②割掛・シミュレーション既定設定

- ・数量をコピーする : 割掛・シミュレーションで「数量」をコピーするか初期値を設定します。
- ・単位をコピーする : 割掛・シミュレーションで「単位」をコピーするか初期値を設定します。
- ・単価をコピーする : 割掛・シミュレーションで「単価」をコピーするか初期値を設定します。
- ・未登録単位を計算対象にする : 単位マスタに未登録の単位を割掛・シミュレーションの対象にするか初期値を設定します。
- ・マスタ単位をセットする : 割掛・シミュレーションでマスタ単位をセットする初期値を設定します。
- ・別紙明細実行指定を実行する : 割掛・シミュレーションで別紙明細実行指定を実行するか初期値を設定します。

### ③単価マスタ自動セット設定

- ・コード検索条件 : 単価マスタ自動セットで検索条件の初期値を設定します。
  - 全文字一致のみ : 部位、材料、及び規格文字のすべてが一致した場合のみ、対象とします。
  - 部位文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも材料、規格文字が一致した場合、対象とします。
  - 規格文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも部位、材料文字が一致した場合、対象とします。
  - 部位、規格文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも材料文字のみ一致した場合、対象とします。
  - 全コード一致のみ : 部位、材料、及び規格コードのすべてが一致した場合のみ、対象とします。
  - 部位コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合でも材料、規格コードが一致した場合、対象とします。
  - 規格コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合でも部位、材料コードが一致した場合、対象とします。
  - 部位、規格コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合

でも材料コードのみ一致した場合、対象とします。

- ・明細単価セット条件 : 単価マスタ自動セットで明細単価をセットする条件の初期値を設定します。  
明細単価=¥0のみセット: セットする単価番号の単価が「0」の時のみセットします。  
すべて上書きする: セットする単価番号の単価が「0」でない場合でも、セットします。
- ・単価マスタ採用単価 : セットする単価マスタの単価を選択します。
- ・単価マスタ採用単価掛率 : 単価マスタからセットするときの掛け率を設定します。  
単位は「%」、整数3桁で設定します。
- ・単価マスタ採用単価NET提出区分 : 単価マスタからセットする時の単価にセットするか設定します。
- ・建築既定端数調整 : 単価マスタからセットする時の端数調整の初期値を設定します。
- ・端数丸め方法 : 単価マスタからセットする時の端数丸め方法を設定します。
- ・丸め小数点桁数 : 単価マスタからセットする時の丸め小数点を設定します。
- ・下見積端数調整 : 下見積画面で経費単価、業者単価、希望単価、査定単価の計算に使用する端数調整の初期値を設定します。

#### ④消費税

- ・消費税率 : 消費税率既定値を設定します。
- ・消費税丸め : 消費税率算出時の端数丸め方法を設定します。

#### ⑤物件一覧色

- ・色選択 : プロジェクト・物件一覧での物件行の色を設定します。

#### ⑥単価列設定

- ・列名称(見積書入力画面) : 見積書入力画面で単位～備考の列名称のタイトルを設定します。
- ・列背景色(見積書入力画面) : 見積書入力画面で単位～備考の列背景色を設定します。
- ・数量既定NET提出区分 : 見積書入力画面で数量の既定値を設定します。
- ・単価既定NET提出区分 : 見積書入力画面で単価の既定値を設定します。

## 2.4.2 鑑・要項書情報

物件の新規作成時の鑑、要項書の既定値を設定します。

1)リボンメニューの[物件共通]タブから、[鑑・要項書情報]をクリックします。



新規で物件を作成したときの鑑の既定値を設定します。

各項目とも直接入力します。ボタンでプレビュー、Excel出力、PDF作成と印刷がおこなえます。終了する場合は、[OK] ボタンをクリックして下さい。

### 鑑の印字例

御 見 積 書		No. _____
殿		平成 年 月 日
金 _____ 工事価格 _____ 消費税及び地方消費税額 _____ 見積有効期間 _____ 提出後一ヶ月		(請負者住所氏名) 東京都大田区平和島6丁目1番地1号 TRCアネックスビル 協栄産業株式会社 代表取締役 協栄太郎
工事名・工事場所 (仮称) 協栄ビル新築工事 渋谷区松涛2-20-4 工事概要 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 塔屋1階 1棟 建築面積 200.0㎡ 延床面積 300.0㎡	支払条件 前渡し10% 各月出来高90% 現金払 その他 下記工事は見積範囲外と致します。 1. 地中障害物撤去工事 2. 近隣補償(日照、電波、風害、眺望、営業) 3. 行政指導に伴う追加、変更工事 4. 各種設備接続に伴う負担金および分担金等 5. 家具、什器、備品、厨房器具 6. 確定測量費(有資格者による)	
工期 着工 平成 年 月 日 完成 平成 年 月 日	契約 平成 年 月 日	



## 2. 4. 3 見積書印刷書式

見積書印刷時の書式設定の既定値を作成しておきます。書式設定、ヘッダ・フッタ設定、全般、内訳、明細の詳細を設定します。

1)リボンメニューの[物件共通]タブから、[見積書印刷書式]をクリックします。



見積書印刷時の書式の出力既定値を設定します。



各項目を選択、または直接入力します。終了する場合は、[OK] ボタンをクリックして下さい。

## 2)書式の設定タブ

### 書式の設定

#### ①書式設定

帳票の書式を選択します。

- ・テンプレート名：11種類の印刷書式から選択します。
- ・複写：選択している行を複写し、最終行に新しい書式行を作成します。

#### ②単価区分

NET単価、提出単価、予備単価1～予備単価8のいずれを出力するかを選択します。

#### ③印刷範囲指定

- ・全帳票：鑑、要項書、大内訳、内訳、明細、別紙明細、2次3次明細の一式すべて印刷するときに選択します。
- ・個別指定：必要な帳票を選択して出力することができます。
- ・頁指定：全ての帳票を出力した時の通しのページ番号での範囲指定で出力することができます。

#### ④表示選択

鑑タイプ、鑑フォント、要項書フォント、表紙印刷を選択します。

#### ⑤内訳書の頁指定範囲

③印刷範囲指定で「頁指定」を選択した時に、出力したい開始頁と終了頁を入力します。

#### ⑥頁指定

- ・実際の頁で印字：実際のページ番号をそのまま出力します。
- ・先頭のページを[ ]Pとして変更：先頭のページ番号を実際の値ではなく、指定した値に変更して出力します。

#### ⑦印字指定

数量、単位、単価、金額、備考を印刷するかしないかの選択をします。

⑧罫線

- ・外枠罫線 : 外枠の罫線の種類を変更できます。
- ・内枠罫線 : 内枠の罫線の種類を変更できます。

(外枠罫線)


(内枠罫線)


⑨社内管理帳票

「①書式設定」で「社内管理票(横)」または「社内管理票(縦)」を選択した際に、どの単価をどのようなタイトルで出力するかを選択します。

「2)⑨社内管理帳票」と同じ設定項目です。

⑩タイトル設定

- ・別紙明細 : 別紙明細のページの1行目に出力する文字を設定します。

御 見 積 書				
名 称	規 格	単 位	数 量	
■内訳■	別紙2			
圧接費		式		1,0000
ガス圧接	D25+D25	カ所	5	885.00

### 3) ヘッダ・フッタの設定タブ

#### ヘッダ・フッタの設定

The screenshot shows the '見積書印刷書式設定' (Estimate Book Printing Style Setting) window. The 'ヘッダ・フッターの設定' (Header/Footer Setting) tab is selected. The window is divided into three main sections:

- 内訳書ヘッダー (Internal Letter Header):** Includes fields for '内訳書タイトル' (Internal Letter Title), '日付/社名' (Date/Company Name) with sub-fields for '社名' (Company Name) and '日付設定' (Date Setting), '印字位置' (Printing Position), 'フォント' (Font), and '画像表示' (Image Display).
- 内訳書明細 (Internal Letter Details):** Includes '列名の設定' (Column Name Setting) with a table for '名称' (Name), '規格・寸法' (Specification/Dimensions), '数量' (Quantity), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), and '備考' (Remarks). It also has a 'フォント' (Font) section for '列名' (Column Name), '親階層名' (Parent Layer Name), 'コメント' (Comment), '明細' (Details), and '計行' (Total Rows).
- 内訳書フッター (Internal Letter Footer):** Includes '左部' (Left), '中央部' (Center), and '右部' (Right) sections with dropdown menus and text input fields. It also has '内訳書コメント' (Internal Letter Comment) and 'フォント' (Font) settings.

At the bottom right, there is an 'OK' button.

#### ①内訳書ヘッダー

- ・内訳書タイトル : 内訳書のヘッダーに出力するタイトルを選択します。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
御見積書						

「親」を選択するとプロジェクト名、「子」を選択すると「物件名」が出力されます。

- ・日付/社名 : 日付、社名、タイトルの中から選択します。

(日付、右寄せ、西暦9999年99月99日の例)

規格	単位	数量	単価	金額	備考
御見積書					2015年10月31日

(社名、左寄せの例)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
協栄建設株式会社	御見積書					

- ・社名 : 上記「日付/社名」で「社名」を選択した時に、ここで入力した社名が出力されます。
- ・フォント : 内訳書ヘッダの文字フォントを選択します。
- ・画像表示 : 会社のロゴなど画像ファイルがあればこれを設定できます。

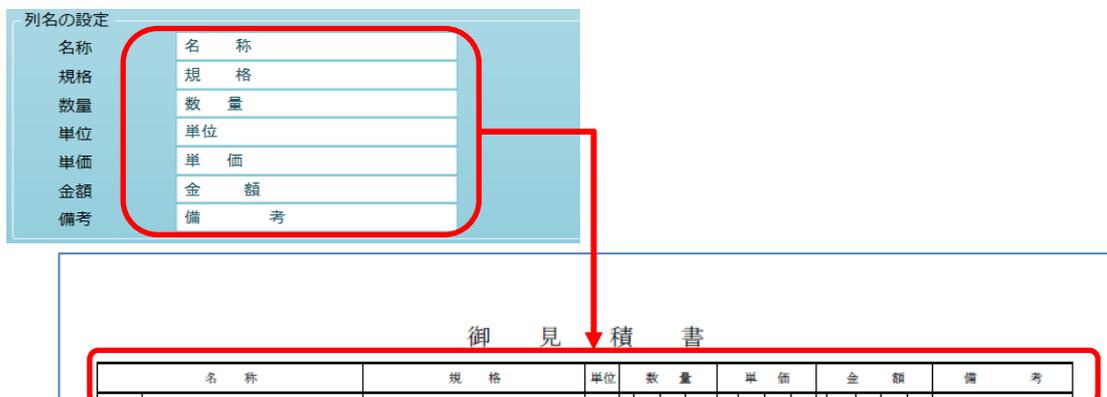


- ①画像選択ボタンで画像ファイルを選択します。
- ②画面右端に選択した画像イメージが表示されます。
- ③スライダーのつまみを左右にドラッグして、ヘッダ領域内での画像の配置位置を設定します。



## ②内訳書明細

- ・列名の設定  
印刷の列名を変更できます。



・フォント

列名、親内訳、コメント、明細、計行に対して文字フォントを選択できます。

御 見 積 書									
名 称	規 格			単 位	数 量	単 価	金 額		備 考
10. 石工事									
(外部)									
杏摺黒御影石	本磨	1800	110	30	か所	30.00	27,000	810,000	
張付モルタル					m <sup>3</sup>	0.40	23,000	9,200	
清掃費					m <sup>2</sup>	7.50	400	3,000	
	小	計							
(内部)									
操作盤大理石	W 本磨	D 604	H 454	982	か所	4.00	293,000	1,172,000	
	立上り共								
上り框大理石	W 既製品	H 90		18	m	550.00	14,600	8,030,000	
張付モルタル					m <sup>3</sup>	3.00	23,000	69,000	
清掃費					m <sup>2</sup>	82.00	400	32,800	
	小	計							
計								10,126,000	

- ・列名 : 先頭の列名を指します。
- ・親階層名 : 各ページの1行目に出力される科目名などを指します。
- ・コメント : コメントCを設定した行を指します。
- ・計行 : 階層の合計として自動で出力される行を指します。
- ・明細 : 上記以外は明細を指します。

③内訳書フッター

・左部、中央部、右部

左部、中央部、右部の各エリアに出力する項目を選択します。  
各エリアは領域巾が決まっているため、すべての文字が出力されないことがあります。

- ・工種名称 : 親階層名を出力します。この時、どの親階層を出力するかを選択します。

(左部に第一階層+第二階層+上位階層で設定した例)

B. 建築工事	B-1. 本館棟建築工事	14. 左	○×建設(株)
---------	--------------	-------	---------

※上記の例で上位階層とは、第四階層以降のページの時には直上の階層名が出力され、第三階層の階層名は出力されないことを意味します。

- ・頁記号 : ページ番号の出力書式を選択します。
- ・支店・会社名 : 支店名や会社名などを出力します。
- ・自由入力 : 毎ページに同じ内容を出力することができます。



#### 4) 詳細設定(全般・内訳)タブ

##### 詳細設定(全般・内訳)

The screenshot shows the '見積書印刷書式設定' (Estimate Book Printing Format Setting) window. The '詳細設定(全般・内訳)' (Detailed Setting (General/Details)) tab is active. The window is divided into two main sections: '全般' (General) and '内訳設定' (Details Setting).

**全般 (General):**

- 基準面積当り単価表示 (Unit Price per Standard Area Display):**
  - 単価を表示する (Display unit price):  する (Yes) /  しない (No)
  - 換算面積単位 (Conversion area unit):  坪 (Tsubo) /  m2
  - 基準数量は (Standard quantity): 連動しない (Not linked)
  - 直接入力 (Direct input):  坪 (Tsubo)
- 内訳・明細共通設定 (Details/Details Common Setting):**
  - 単位の列位置 (Unit column position):  数量・単位 (Quantity/Unit) /  単位・数量 (Unit/Quantity)
  - 金額欄上部に通貨単位の印字 (Print currency unit at top of amount column): 印刷しない (Do not print)
  - 上段の印字 (Print top line):  する (Yes) /  しない (No)
  - 規格行はグループで改行して印字 (Print specification rows with line breaks in groups):  する (Yes) /  しない (No)
  - 親階層名の次行に空白を挿入 (Insert blank line after parent layer name):  する (Yes) /  しない (No)
  - 数量=0の行を印字 (Print rows with quantity=0):  する (Yes) /  しない (No)
  - 金額=0・規格なし・備考なしの明細行を印字 (Print detail rows with amount=0, no spec, no remarks):  する (Yes) /  しない (No)
  - 単価・金額区切り (Unit price/amount separator):  カンマ区切り (Comma) /  点線区切り (Dotted line)
  - マイナス表示 (Minus display): -1234 (黒) (Black)
  - 金額=0印字 (Print amount=0):  する (Yes) /  しない (No)
  - 小数点以下0印字 (Print 0 below decimal point):
  - 数量小数点印字 (Print quantity decimal point):  カンマ区切り (Comma) /  点線区切り (Dotted line)
  - 機外買計を印字 (Print off-machine purchase):  する (Yes) /  しない (No)
  - 計行の単価を印字 (Print unit price of total row):  する (Yes) /  しない (No)
- 社内管理帳票固有設定 (In-house management form specific setting):**
  - 構成比・面積当り単価を印字 (Print composition ratio/unit price per area):  する (Yes) /  しない (No)

**内訳設定 (Details Setting):**

- 値引き項目名称 (Discount item name): 値引 (Discount)
- 番号 (Number):
- 番号印字 (Print number):  手入力印字 (Manual input) /  番号マスク印字 (Number mask) /  印字しない (Do not print)
- 階層 (Layer) table:

階層	内訳記号	内訳記号開始位	内訳記号幅
1	1	英字	1
2	2	半角数字	1
3	3	英字小文字	1
4	4	半角数字	1
5	5	半角数字	1
6	6	半角数字	1
- 第一階層 (First layer):
  - 第一階層物件名称表示 (Print first layer item name):
  - 計表現タイプ (Calculation type): 直接入力計 (Direct input)
  - 名称 (Name): 総 合 計 (Total)
  - 規格 (Specification):
  - 同上単位表現 (Same unit expression): そのまま印字 (Print as is)
- 第二階層以降 (From second layer):
  - 計表現タイプ (Calculation type): 直接入力計 (Direct input)
  - 名称 (Name): 計 (Total)
  - 規格 (Specification):
  - 同上単位表現 (Same unit expression): そのまま印字 (Print as is)

##### ① 基準面積当り単価表示

- ・単価を表示する  
選択した基準数量(延床面積)やこの面積当たりの単価を出力するか否かを選択します。
- ・換算面積単位  
面積当りの金額を出力する際、坪単価を出力するかm2単価を出力するかを選択します。
- ・基準数量の連動  
基準数量を物件情報で入力した法延床面積、施延床面積から連動させるか、連動させずにこの画面で入力するかを選択します。
- ・直接入力  
上記で「連動しない」を選択した時に、基準数量を直接入力します。

②内訳・明細共通設定

- ・単位の列配置  
(単位・数量の例)

御 見 積 書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考

(数量・単位の例)

御 見 積 書

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考

- ・金額欄上部に通貨単位の印字  
(印刷しないの例)

2016/02/19

数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	式			

(単位(円)の例)

2016/02/19

数 量	単 位	単 価	金 額(円)	備 考
1	式			

(単位(\$)の例)

2016/02/19

数 量	単 位	単 価	金 額(\$)	備 考
1	式			

- ・上段の印字  
名称欄の上段を印字するかしないかを選択します。

(上段印字する)

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額(\$)	備 考
ケ. 9. 防水工事						
屋根 断熱露出7ｽﾌﾙ防水	砂付きルーフィング 断熱材硬質ポリウレタンフォームAT30共	380.00	m <sup>2</sup>	7,200	2,736,000	

(上段印字しない)

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額(\$)	備 考
ケ. 9. 防水工事						
屋根 断熱露出7ｽﾌﾙ防水	砂付きルーフィング 断熱材硬質ポリウレタンフォームAT30共	380.00	m <sup>2</sup>	7,200	2,736,000	

- ・規格行はグループで改行して印字  
 (「する」を選択した時)

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
KD3□ 格子ドア	扉見込 W H 片開 20 1750 2000 両袖格子付 フレーム □-75×75×2.3 □-75×20×2.3 扉フレーム □-50×20×2.3 格子 □-20×20×1.6 #100 電気錠、オートロック組込み、制御盤共	105.00	枚	387.000	40,635.000	

規格行は必ず同じ  
ページの中で印字さ

「しない」を選択すると、規格のつづきが次のページにまたがってしまうことがあります。

- ・親階層名の次行に空白を挿入  
 (「する」を選択した時)

名称	規格	数量	単位	単価	金額
直接仮設工事					
やりかた畢出し		1	式		165.000
外部足場		1	式		1,287.000
内部足場		1	式		187.000

(「しない」を選択した時)

名称	規格	数量	単位	単価	金額
直接仮設工事					
やりかた畢出し		1	式		165.000
外部足場		1	式		1,287.000
内部足場		1	式		187.000

- ・数量=0行を印字  
 数量=0の行を印刷するかしないかを選択します。  
 「しない」を選択すると、数量=0の行が印刷されなくなります。

- ・金額=0・規格なし・備考なしの明細行を印字  
 (「する」を選択した時)

2016/02/19

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
土工事						
根切			m <sup>2</sup>	1,100		
残土処分		206.00	m <sup>3</sup>	3,300	679,800	
埋戻	購入土	70.00	m <sup>3</sup>	3,850	269,500	

(「しない」を選択した時)

2016/02/19

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
土工事						
残土処分		206.00	m <sup>3</sup>	3,300	679,800	
埋戻	購入土	70.00	m <sup>3</sup>	3,850	269,500	

・単価・金額区切り  
(カンマ区切り)

数量	単価	金額	備考
380.00	7,200	2,736,000	
121.00	5,400	653,400	
135.00	1,300	175,500	
1,970.00	5,400	10,638,000	

(点線区切り)

数量	単価	金額	備考
380.00	7.200	2.736.000	
121.00	5.400	653.400	
135.00	1.300	175.500	

・マイナス表示

数量、単価、金額欄でマイナスの時の符号と色を選択します。

・金額=0印字

金額が0の場合印字するかしないかの選択をします。

・小数点以下0表示

全データの数量の小数桁数が、指定した桁数で統一されて印字されます。

(ブランクを指定)

数量	単位
30	か所
1.5	m3
7.5	m <sup>2</sup>

(小数点以下3桁を指定)

数量	単位
30.000	か所
1.500	m3
7.500	m <sup>2</sup>

・数量小数点印字

数量欄3桁区切り線や小数桁の区切線を印字するか、印字しないかを選択します。  
(「する」を選択した時)

数量	単位	単価	金額
30	か所	27,000	810,000
1.5	m3	23,000	34,500
7.5	m <sup>2</sup>	400	3,000

(「しない」を選択した時)

数量	単位	単価	金額
30	か所	27,000	810,000
1.5	m3	23,000	34,500
7.5	m <sup>2</sup>	400	3,000

・欄外頁計を印字

金額欄の欄外に頁計を出力するかしないかを選択します。

ルーフドレイン	φ 横引型 (断熱材防用) 呼び径 L300共	100	14	か所	21,600	302,400
筋柱	L H 鉄-ブレン 900 250 250 内種 ステンレス T.O. 8 壁取合木切り 壁種落口加工共		3	か所	27,300	81,900
						6,905,600

13. 金属工事 ○×建設 (株) No. 2

・計行の単価を印字

小計や中計などの計行の単価を印字するかしないかを選択します。

### ③ 値引き項目名称

画面ヘッダー部の値引金額に入力を行った時に自動出力される値引名称を設定します。

	現階層値引	現階層改計	
提出	-23,400	16,700,000	
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
6,000,000,000	0	16,723,400	16,700,000

駐輪場 タイヤバイブ止め	H SP-442.7	300	56	m	8,900	498,400	
出征値引						-23,400	
計						16,700,000	

13. 金属工事 ○×建設(株) 9,794,400 No.3

### ④ 内訳記号印字

内訳記号の出力方法を選択します。

名	内訳記号
A.	共通仮設工事
B.	建築工事
C.	駐車場工事
D.	造成開発工事
E.	外構工事
F.	設備工事
G.	諸経費

#### ・手入力印字

:内訳編集画面のNET記号に入力された文字が出力されます。

※表示列パターンの設定でNET記号を表示しておく必要があります。

#### ・番号マスタ印字

選択した内訳記号パターンが自動で出力されます。  
(設定例)

階層	内訳記号	内訳記号開始位	内訳記号幅
1	英字	1	文字目~A.
2	ローマ数字	1	文字目~2.
3	カタカナ	1	文字目~イ.
4			文字目~
5			文字目~
6			文字目~
7			文字目~
8			文字目~
9			文字目~

#### ・印字しない

:名称欄に直接入力する時に設定します。

### ⑤ 第一階層

#### ・第一階層物件名称表示

大内訳の1行目に出力する物件名を選択します。

「親」を選択するとプロジェクト名、「子」を選択すると「物件名」が出力されます。

御 見 積 書

名 称	規 格	数 量	単 位
○○ビル新築工事			
A.	共通仮設工事	1	式
B.	建築工事	1	式
C.	駐車場工事	1	式
D.	造成開発工事	1	式
E.	外構工事	1	式
F.	設備工事	1	式
G.	諸経費	1	式

・計表現タイプ

大内訳のページの計の出力書式を選択します。

- ・直接入力計 :「総合計」と出力されます。名称、規格欄の文字を変更できます。

計表現タイプ	直接入力計
名称	総合計
規格	

- ・上位階層名称計 :「第一階層物件名表示」で選択した内容に従い、物件名＋計などの文字が出力されます。
- ・印字しない :計を印字しません。

・同上単位表現

同じ単位が連続する時の出力方式を選択します。

(「#」を印字を選択した例)

A.	共通仮設工事				1	式
B.	建築工事				1	#
C.	駐車場工事				1	#
D.	造成開発工事				1	#
E.	外構工事				1	#
F.	設備工事				1	#
G.	諸経費				1	#

⑥第二階層以降

・計表現タイプ

内訳のページの計の出力書式を選択します。

- ・直接入力計 :「計」と出力されます。名称、規格欄の文字を変更できます。

計表現タイプ	直接入力計
名称	計
規格	

- ・上位階層名称 計 :「上位階層名称＋計」の文字を出力します。
- ・上位階層番号 計 :「上位階層番号＋計」の文字を出力します。
- ・上位階層番号 上位階層名称 計 :「上位階層番号＋上位階層名称＋計」の文字を出力します。
- ・印字しない :計を印字しません。

・同上単位表現

同じ単位が連続する時の出力方式を選択します。

## 5) 詳細設定(明細)タブ

### 詳細設定(明細)

#### ①明細

##### ・部位を印字

部位に入力された文字を印刷するかしないかを選択します。

部位を表示しない運用を行っている時などで、外部からもらったデータに部位が入力されていると、画面に表示されていない文字が印刷されてくることになるので、画面と同期をとる目的で使用します。

##### ・単位をセンタリング

単位を左詰めで入力しても印刷時に中央寄せで出力できます。

##### ・計表現タイプ

明細の最終行に自動出力される階層計の名称を設定します。

・直接入力計 : 「小計」と出力されます。名称、規格欄の文字を変更できます。

計表現タイプ	直接入力計
名称	小 計
規格	

・上位階層名称 計

: 「上位階層名称＋計」の文字を出力します。

・上位階層番号 計

: 「上位階層番号＋計」の文字を出力します。

・上位階層番号 上位階層名称 計

: 「上位階層番号＋上位階層名称＋計」の文字を出力します。

・印字しない

: 計を印字しません。

##### ・明細小計印字後の制御

小計行、中計行などの計行を出力した時のふるまいを設定します。

・改頁 : 出力後にページを改めます。

・同上名称表現

名称が同じ行が連続する時の書式を選択します。  
(「#」を設定した時の例)

イ.	2. 土工事	
	掘削	壺、布掘
	#	岩盤掘削 壺、布掘

・同上規格・仕様表現

規格が同じ行が連続する時の書式を選択します。

・同上部位表現

部位が同じ行が連続する時の書式を選択します。

・同上単位表現

単位が同じ行が連続する時の書式を選択します。

②別紙

・計表現タイプ

明細の最終行に自動出力される階層計の名称を設定します。

・直接入力計 : 「小計」と出力されます。名称、規格欄の文字を変更できます。

計表現タイプ	直接入力計
名称	計
規格	

- ・上位階層名称 計 : 「上位階層名称+計」の文字を出力します。
- ・上位階層番号 計 : 「上位階層番号+計」の文字を出力します。
- ・上位階層番号 上位階層名称 計 : 「上位階層番号+上位階層名称+計」の文字を出力します。
- ・印字しない : 計を印字しません。

・単位数量及び単位の印字

別紙明細のページで親明細の基準数量、単位の印字可否を選択します。

名 称	規 格	数 量	単 位
■内訳■	別紙2		
圧接費		1.0000	式
ガス圧接	D25+D25	5 885	か所
ガス圧接	D25+D29	612	か所

③備考欄

・開始頁印字

備考欄に下階層の開始頁を印字します。

2016/02/19

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建築工事						
直接仮設工事		1	式		2 926 00	No. 5
土工事		1	式		4 461 40	No. 6
杭工事		1	式		3 916 00	No. 7
コンクリート工事		1	式		16 044 00	No. 8

・別紙番号

別紙明細がある時に、備考欄に別紙番号を出力することができます。

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ア. 1. 直接仮設工事						
足場棧橋設備費		1	式			800 別紙1

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
■内訳■	別紙1					
足場棧橋設備費		1,000	式			

・数量計算式備考欄上段に印字

数量入力時、計算式入力を行った場合、計算式を備考欄上段に出力することができます。

・単価計算式備考欄下段に印字

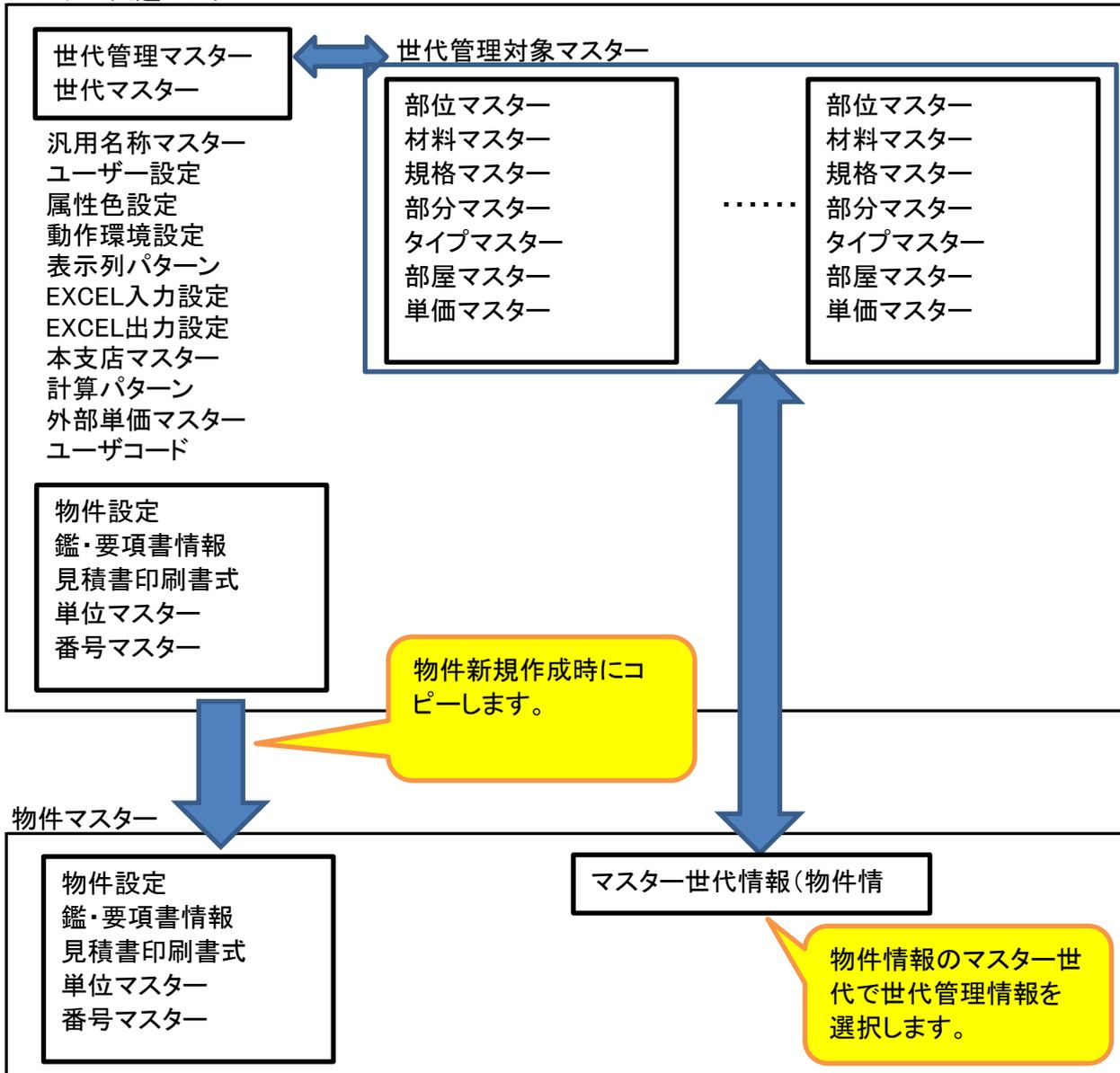
単価入力時、計算式入力を行った場合、計算式を備考欄下段に出力することができます。

## 2.5 マスター

マスターは、システム共通マスターと物件固有の物件マスターで構成されます。  
物件マスターは物件新規作成時にシステム共通マスターよりコピーされます。  
システム共通マスターの中で、単価マスターなどは世代別に管理されます。

### マスター構成

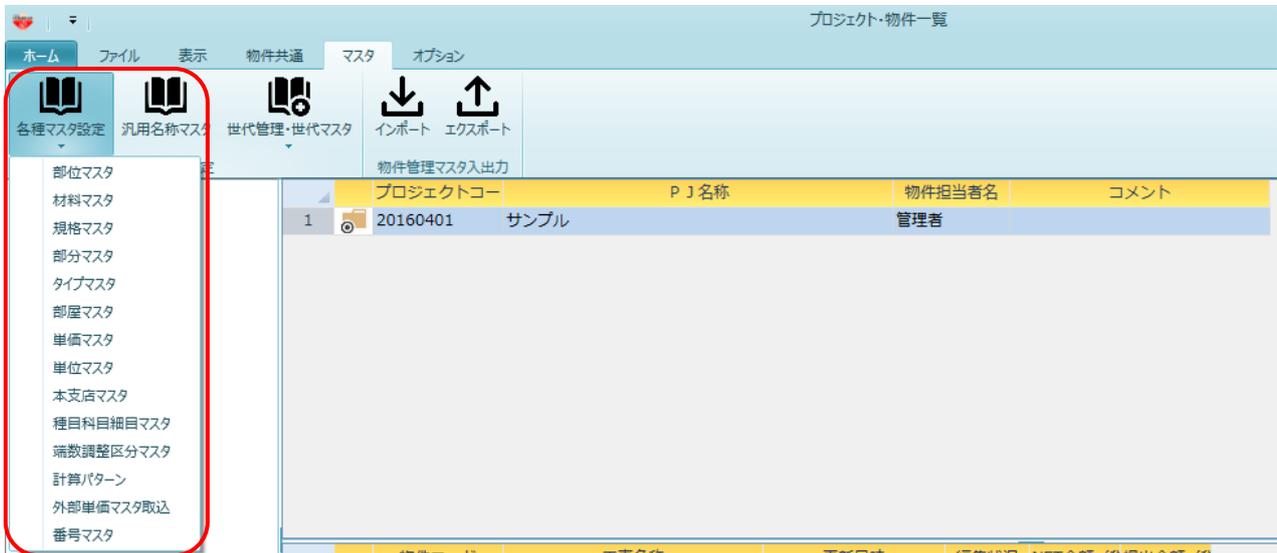
#### システム共通マスター



## 2.5.1 各種マスター設定

システムで使用する各種マスターのメンテナンスを行います。

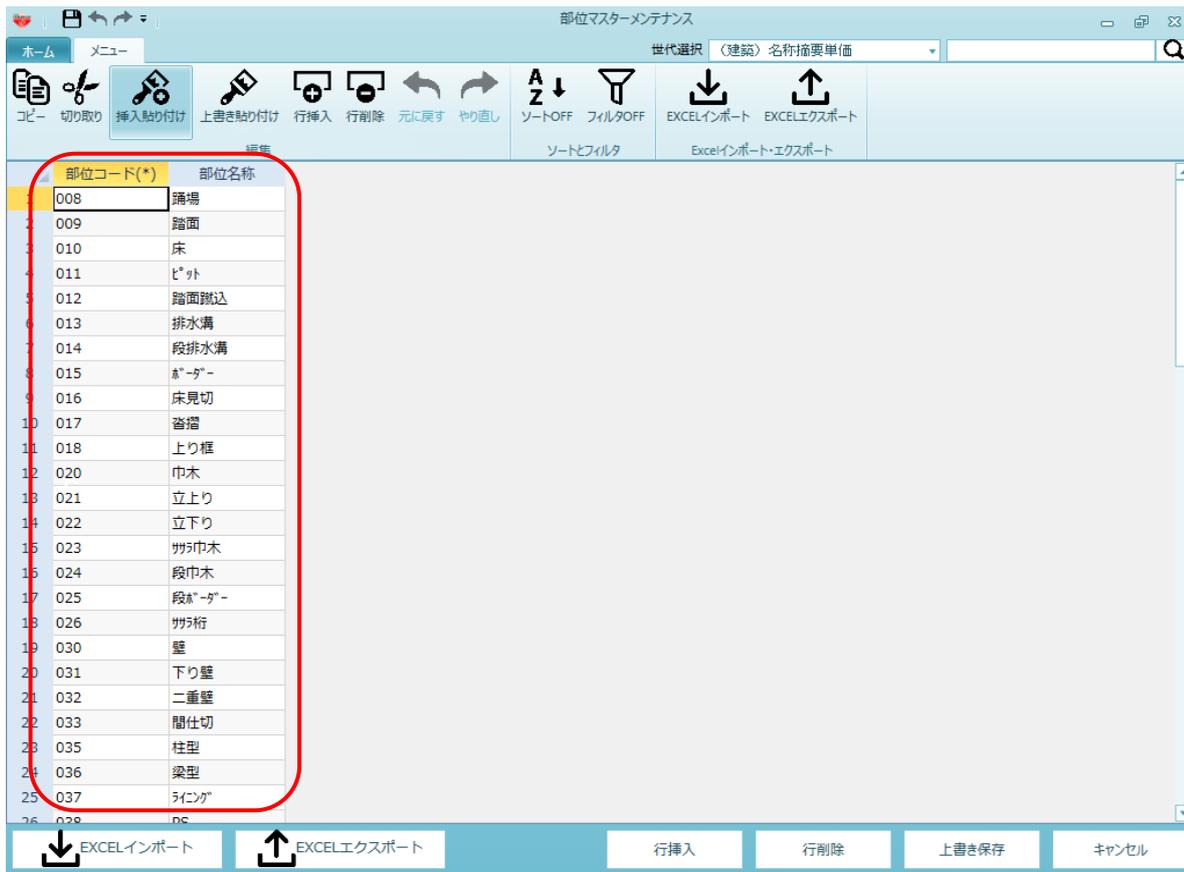
1)リボンメニューの[マスタ]タブから、[各種マスタ設定]をクリックします。



- ・各種マスター
  - 部位マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される部位名称
  - 材料マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される材料名称
  - 規格マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される規格名称
  - 部分マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される部分名称
  - タイプマスター 見積書入力のマスタ参照で表示されるタイプ名称
  - 部屋マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される部屋名称
  - 単価マスター 見積書入力のマスタ参照で表示される単価名称
  - 単位マスター 見積書入力の単位参照で表示される単位名称
  - 本支店マスター フォルダ登録、プロジェクト登録、物件登録で入力する本支店名
  - 種目科目細目マスター 見積書入力の科目・細目選択で表示される種目・科目・細目名称
  - 端数調整区分マスター 金額の端数を丸める条件
  - 計算パターン 自動的に計算する項目と計算式を設定
  - 外部単価マスター取込 建設物価調査会、経済調査会の単価ファイルを取込む
  - 番号マスター 内訳に印字する番号パターン
  - ユーザコードマスター 見積書入力のユーザコード参照で表示されるユーザコード名称

## ① 部位マスター

コード、名称のメンテナンスを行います。



- ・ホームタブ  
上書き保存  
閉じる

表示されているマスターを上書き保存します。  
マスターメンテナンスを終了し、プロジェクト・物件一覧画面に戻ります。

- ・メニュー  
コピー  
切り取り  
挿入貼り付け  
上書き貼り付け  
行挿入  
行削除  
元に戻す  
やり直し  
ソートON/OFF  
フィルタON/OFF  
EXCELインポート  
EXCELエクスポート

指定した項目、行をコピーします。  
指定した項目、行を切り取ります。  
コピー、切り取り行を指定行の前に挿入貼り付けします。  
コピー、切り取り行を指定行の上に貼り付けします。  
空白行を挿入します。  
指定した行を削除します。  
直前に操作した内容を元に戻します。  
「元に戻す」で元に戻した操作をやり直します。  
ソートONで項目単位に昇順、降順に並び替えます。  
フィルタONで項目単位で絞り込み表示します。  
エクスポートされたEXCELファイルを取込みます。  
マスターの内容をEXCELファイルに出力します。

- ・世代選択  
世代管理対象マスターは世代を設定します。

- ・検索  
入力した文字で検索します。

## ②材料マスター

コード、名称のメンテナンスを行います。

項目(*)	科目(*)	名称コード(*)	明細名称	
1	建築工事	直接仮設工事	100	水盛造方
2	建築工事	直接仮設工事	110	墨出し
3	建築工事	直接仮設工事	120	現寸型板
4	建築工事	直接仮設工事	130	地足場
5	建築工事	直接仮設工事	140	外部足場
6	建築工事	直接仮設工事	150	盛り橋脚
7	建築工事	直接仮設工事	160	鉄骨足場
8	建築工事	直接仮設工事	170	内部足場
9	建築工事	直接仮設工事	180	鉄筋・型枠・コンクリート足場
10	建築工事	直接仮設工事	190	コンクリート足場
11	建築工事	直接仮設工事	200	朝顔養生

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

## ③規格マスター

コード、名称のメンテナンスを行います。

項目(*)	科目(*)	規格コード(*)	規格名称	
1	建築工事	直接仮設工事	110	単管本足場
2	建築工事	直接仮設工事	111	単管抱足場
3	建築工事	直接仮設工事	112	丸太本足場
4	建築工事	直接仮設工事	113	丸太抱足場
5	建築工事	直接仮設工事	114	枠組本足場
6	建築工事	直接仮設工事	115	丸太
7	建築工事	直接仮設工事	116	単管
8	建築工事	直接仮設工事	117	枠組
9	建築工事	直接仮設工事	118	脚立足場
10	建築工事	直接仮設工事	119	丸太棚足場
11	建築工事	直接仮設工事	120	単管棚足場

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

## ④部分マスター

コード、名称のメンテナンスを行います。

部分コード(*)	部分名称	
1	001	内部仕上工事
2	002	内部仕上工事(1)
3	003	内部仕上工事(2)
4	004	内部仕上工事(3)
5	005	内部仕上工事(4)
6	006	内部仕上工事(5)
7	007	内部仕上工事(6)
8	008	内部仕上工事(7)
9	009	内部仕上工事(8)
10	050	躯体工事
11	051	躯体工事(1)

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

### ⑤タイプマスター

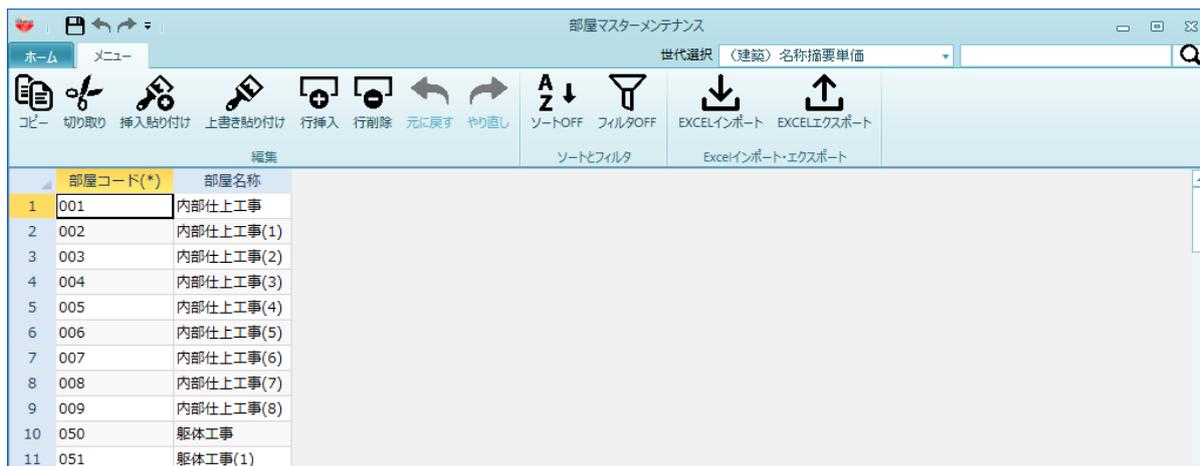
コード、名称のメンテナンスを行います。



※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

### ⑥部屋マスター

コード、名称のメンテナンスを行います。



※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

### ⑦単価マスター

単価のメンテナンスを行います。



※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

⑧単位マスター

コード、名称、区分のメンテナンスを行います。

単位コード(*)	単位名称	単位名称_言語2	建築数量小数有無	フラッシュメニュー	数量換率変更	建築表示順No(*)	単価非表示(見積書)(*)
001	式	式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1	<input checked="" type="checkbox"/>
002	m	m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		2	<input type="checkbox"/>
003	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		3	<input type="checkbox"/>
004	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		4	<input type="checkbox"/>
005	か所	か所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		5	<input type="checkbox"/>
006	枚	枚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		6	<input type="checkbox"/>
007	本	本	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		7	<input type="checkbox"/>
008	kg	kg	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		8	<input type="checkbox"/>
009	t	t	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		9	<input type="checkbox"/>
010	帖	帖	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		10	<input type="checkbox"/>
011	組	組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		11	<input type="checkbox"/>

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

⑨本支店マスター

コード、本支店名のメンテナンスを行います。

本支店コード(*)	本支店名称
00	本社
01	東京
02	札幌
03	東北
04	関東
05	千葉
06	横浜
07	北陸
08	名古屋
09	大阪
10	広島

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

⑩種目科目細目マスター

コード、名称、区分のメンテナンスを行います。

種目コード(*)	種目名称	区分フラグ	単位	内訳種別区分	内訳数量内訳区分	印刷時頁記号	印刷時
10	共通仮設工事	<input type="checkbox"/>	式				
11	総合仮設工事	<input type="checkbox"/>	式				
15	開発工事	<input type="checkbox"/>	式				
20	建築工事	<input type="checkbox"/>	式				
21	本體工事	<input type="checkbox"/>	式				
22	機械基礎工事	<input type="checkbox"/>	式				
30	電気設備工事	<input type="checkbox"/>	式				
40	給排水衛生設備工	<input type="checkbox"/>	式				
41	機械設備工事	<input type="checkbox"/>	式				
42	空調調和設備工事	<input type="checkbox"/>	式				
43	空調調和換気設備	<input type="checkbox"/>	式				

※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

⑪ 端数調整区分マスター

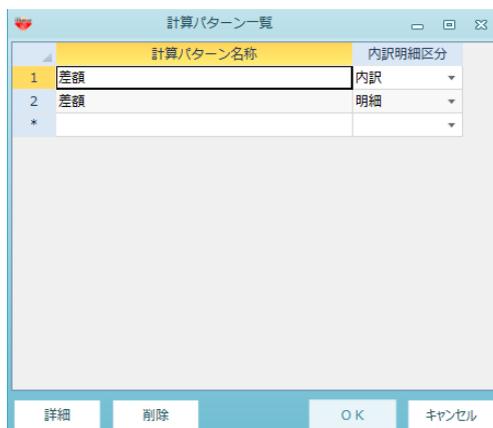
端数調整の範囲下限・上限、有効桁数、丸め方法を設定します。



※メニュー内容は①部位マスターを参照してください。

⑫ 計算パターン

計算パターン名称、計算パターン詳細の設定をします。



詳細



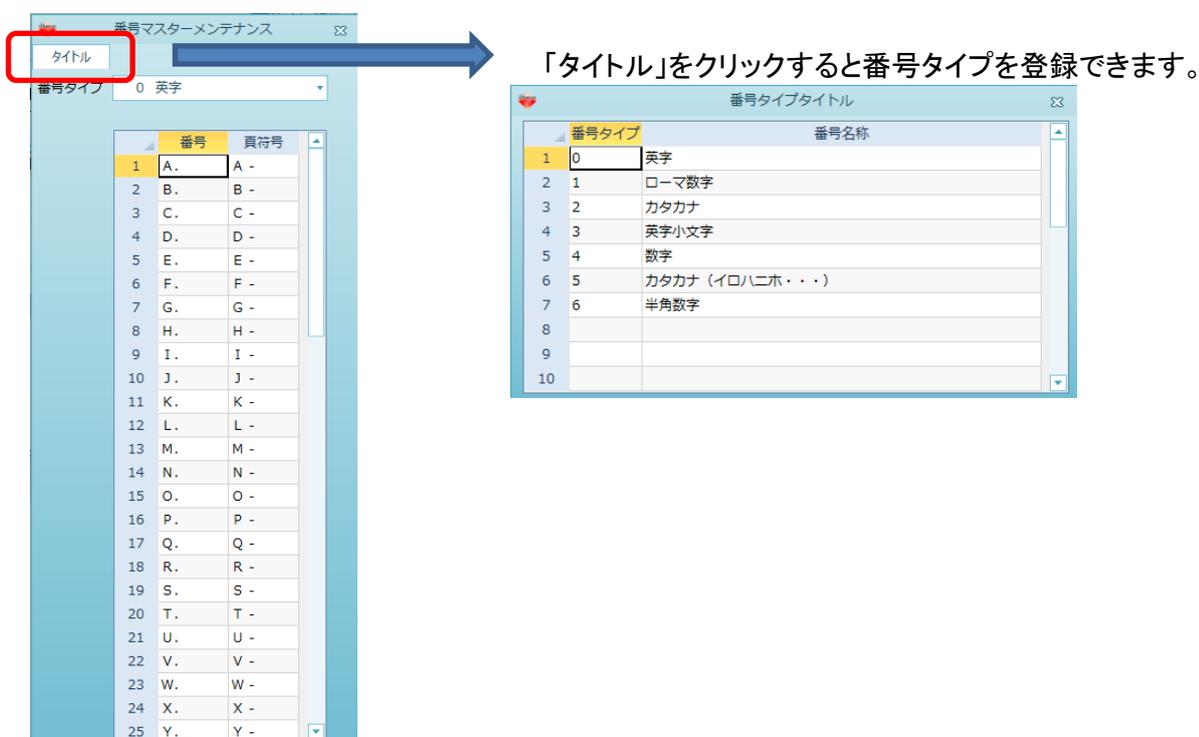
### ⑬外部単価マスター取込

一般財団法人 建設物価調査会あるいは、一般財団法人 経済調査会が提供する単価データを取り込みます。



### ⑭番号マスターメンテナンス

番号タイプと番号を登録します。



### ⑮ユーザコードマスターメンテナンス

コード、名称のメンテナンスを行います。



#### ・ユーザコードマスタ選択

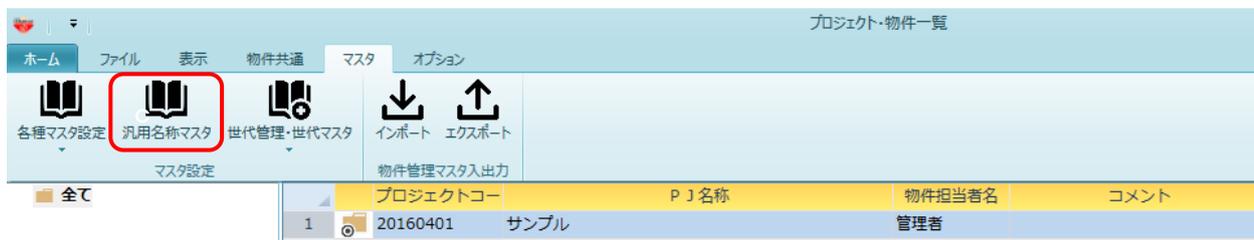
ユーザコード1～5を選択してメンテナンスが行えます。

※ユーザコードマスタ選択以外のメニュー内容は①部位マスターを参照してください。

## 2.5.2 汎用名称マスタ

システムで使用する各種名称のメンテナンスを行います。

1)リボンメニューの[マスタ]タブから、[汎用名称マスタ]をクリックします。



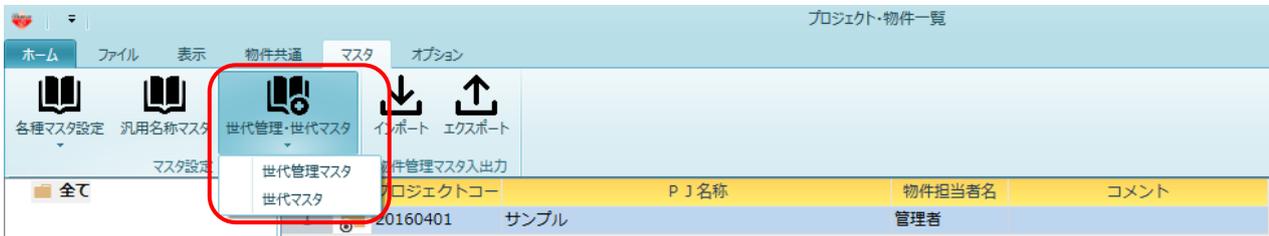
カテゴリNo毎に汎用名称区分、汎用名称のメンテナンスを行います。



## 2.5.3 世代管理・世代マスタ

世代管理マスターを設定することにより、複数の種目・科目・細目名称と単価マスターを管理で

1)リボンメニューの[マスタ]タブから、[世代管理・世代マスタ]をクリックします。



### ①世代マスタ

マスタ区分毎に世代名称および本支店を登録します。設定できるマスタ区分は「建築」と「種目」です。

- ・「建築」で管理するマスター  
 部位マスター、材料マスター、規格マスター、部分マスター、タイプマスター、部屋マスター、単価マスター
- ・「種目」で管理するマスター  
 種目・科目・細目マスター



### 単価マスターで世代選択する場合



### 種目・科目・細目マスターで世代選択する場合



## ② 世代管理マスタ

世代管理名称を登録し、①で登録したマスタ区分「建築」、「種目」の世代名称を選択します。  
世代管理名称は物件情報のマスタ世代で選択できます。  
選択された世代のマスタが科目・細目選択、マスタ参照で使用されるマスタになります。

世代管理名称(*)	本支店	見積期区分	マスタ区分(*)	世代(*)
1 2016年度(単価A)	本社		1 建築	(建築) 名称摘要単価A
2 2016年度(単価B)	本社		2 種目	(建築) 名称摘要単価A
3 2016年度(単価C)	本社			(建築) 名称摘要単価B
*				(建築) 名称摘要単価C

物件コード	201609
工事名称1	プロジェクト
工事名称2	東館新
本支店名	本社
見積期	2016年
発注主	〇〇不
建設地	東京都
工事場所	東京都
工事区分	増改築
物件担当者	担当A TANTOA
設計区分	他社設
設計事務所名	〇〇〇
着工年月日	2016年 月 10日
竣工年月日	2016年 月 31日
工事期間	ヶ月
決定区分	当社決
年月日	1 2016/ 日 2 日付の選択 15 3 日付の選択 15 4 日付の選択 15
見積担当者	建築 担当A TANTOA
電気	衛生
空調	その他
機工法種別	既製杭
外部クレーン	内部クレーン
マスタ世代	2016年度(単価A)

## 2.5.4 物件管理マスタ入出力

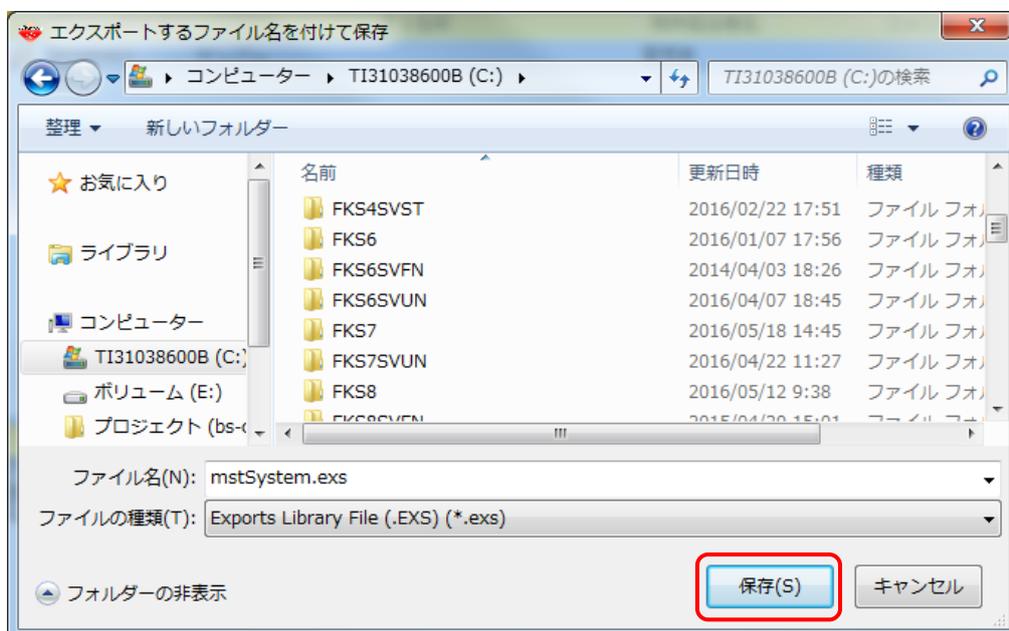
物件管理マスタ、鑑・要項書、マスタ環境設定、ログインユーザー、番号マスタ、EXCEL出力新規作成規定値を入出力します。

### 1) エクスポート

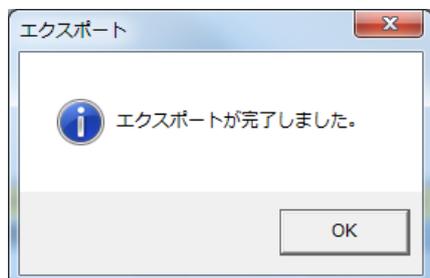
① リボンメニューの[マスタ]タブから、[エクスポート]をクリックします。



② エクスポートするファイルの出力先を選択し、[保存]ボタンをクリックします。



③ 下記のメッセージが表示されましたら完了です。

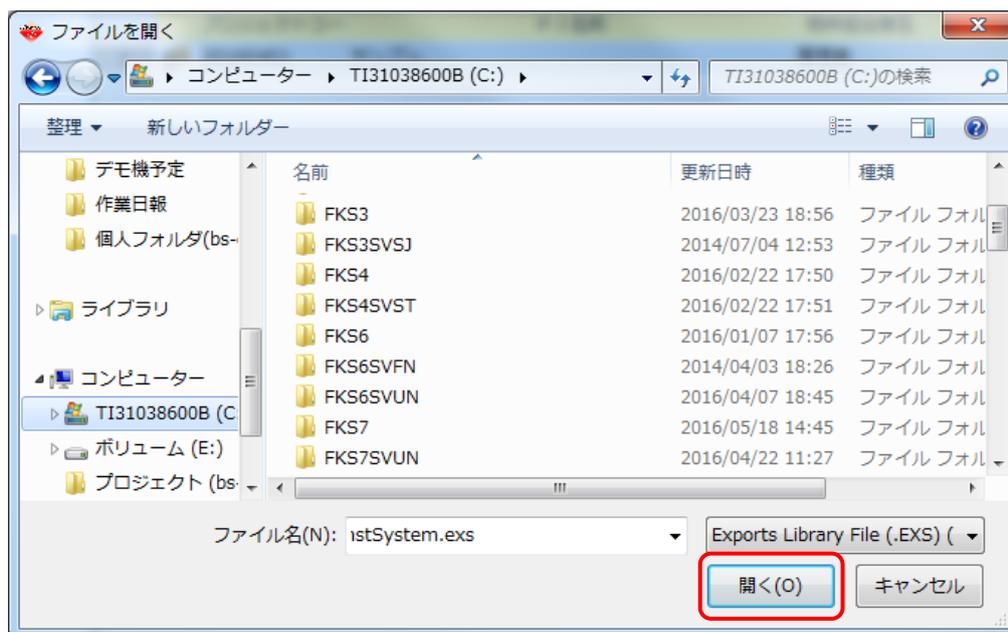


## 2) インポート

①リボンメニューの[マスタ]タブから、[インポート]をクリックします。



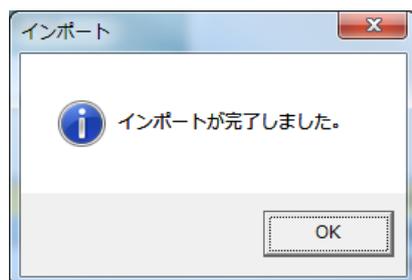
②インポートするファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



③読込する項目を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



④下記のメッセージが表示されましたら完了です。



## 2. 6 オプション

### 2. 6. 1 データ取込

2. 7各種データ形式の見積データの取込を行います。

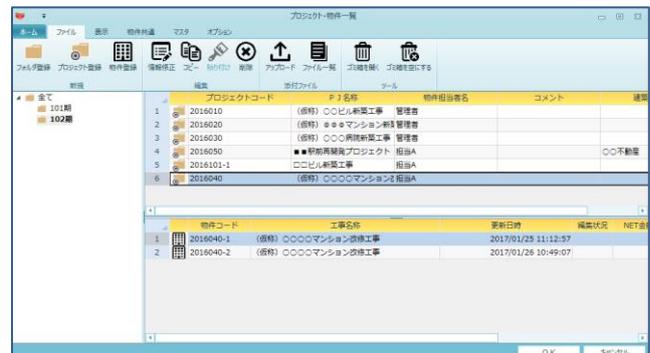
1)リボンメニューの[オプション]タブから、[データ取込]をクリックします。



#### データ取込画面



#### 取込先選択



取込先物件には、現在選択されている物件が表示されます。  
取込先選択で、対象物件を変更できます。

新規物件を選択すると、新しく物件を作成し取り込みを行います。

- ①データ形式  
以下のデータ形式の取込が出来ます。
- COMPASS標準テキスト形式
  - BCS形式
  - RIBC形式
  - Excel形式
  - CI-NET(設備見積)
  - COMPASSVer3 Excel形式

a. COMPASS標準テキスト形式

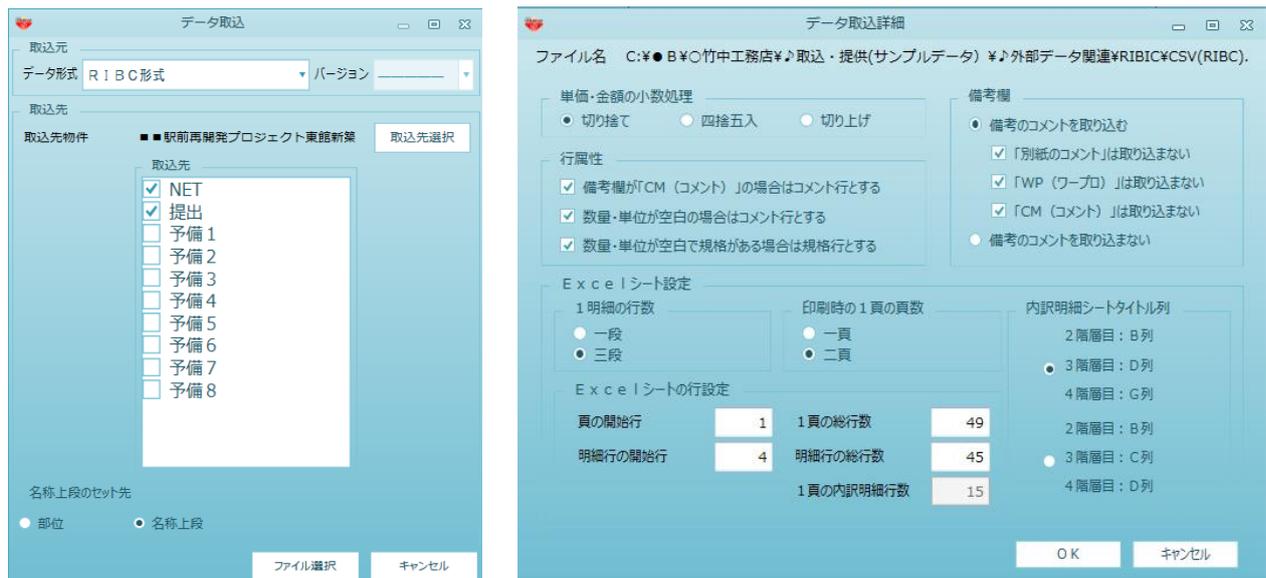
リボンメニュー[データ提供]で作成したCOMPASS標準TXTファイル、またはこのファイルレイアウトに則ったTXTファイルを取り込みます。  
また、FKS RCシステムVer. 8~Ver. 9、FKS 仕上システムVer. 7~Ver. 8で作成したCOMPASS標準TXTファイルを取込みます。

b. BCS形式

BCS. CSVファイル仕様に則ったCSVファイルから、物件データを取込みます。

### c. RIBC形式

一定規則に則ったRIBCフォーマットのExcelシート、またはCSVファイルから、物件データを取込みます。



#### [取込詳細]

- ・単価・金額の少数処理  
単価、金額の少数以下の数値の丸め方法を設定します。
- ・行属性
  - ・備考欄が「CM(コメント)」の場合はコメント行とする  
: 備考欄が「CM」で始まる場合、コメント属性にするか否かの設定をします。
  - ・数量・単位が空白の場合はコメント行とする  
: 数量・単位が未入力の場合、コメント属性にするか否かの設定をします。
  - ・数量・単位が空白で規格がある場合は規格行とする  
: 数量・単位が未入力で規格がある場合、規格行にするか否かの設定をします。
- ・備考欄
  - ・備考のコメントを取り込む  
: 備考欄のコメントを取り込む場合設定します。
    - ・「別紙コメント」は取り込まない  
: 備考欄が「別紙」で始まる場合取り込むか否かの設定をします。
    - ・「WP(ワープロ)」は取り込まない  
: 備考欄が「WP」で始まる場合取り込むか否かの設定をします。
    - ・「CM(コメント)」は取り込まない  
: 備考欄が「CM」で始まる場合取り込むか否かの設定をします。
  - ・備考のコメントを取り込まない  
: 備考欄のコメントを取り込まない場合設定します。
- ・Excelシート設定
  - ・1明細の行数  
: 見積明細行1行分が構成されるExcelの行数を設定します。
  - ・印刷時の1頁の頁数  
: 印刷した場合の1頁に表示される頁数を設定します。
  - ・内訳明細シートタイトル列  
: ヘッダ一部の階層名称の列を設定します。
  - ・Excelシートの行設定
    - ・頁の開始行  
: Excel入力ファイルの1頁目の開始行を設定します。
    - ・明細行の開始行  
: Excel入力ファイルの1頁目の明細行の開始行を設定します。
    - ・1頁の総行数  
: Excel入力ファイルの1頁目の1頁の総行数を設定します。
    - ・明細行の総行数  
: Excel入力ファイルの1頁目の明細行の総行数を設定します。

[データ形式]

i. 印刷イメージ形式

Excelシートを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。

集計階層1

	内容	最大文字数(半角文字)
B	集計階層1名称	24文字
B	集計階層2名称	24文字
CまたはD	集計階層3名称	24文字
DまたはG	集計階層4名称	24文字

集計階層2

	内容	最大文字数(半角文字)
B	集計階層の階層名称	24文字
C	集計階層の数量1(数量)	整数7桁 小数4桁
D	集計階層の単位1(単位)	4文字
E	集計階層の金額1(金額)	整数12桁
F	集計階層の備考	40文字

明細階層

	内容	最大文字数(半角文字)
B	明細階層の材料名称(材料)	40文字、64文字
C	明細階層の規格名称(規格)	40文字、64文字
D	明細階層の数量1(数量)	整数7桁 小数4桁
E	明細階層の単位1(単位)	4文字
F	明細階層の単価1(単価)	整数10桁
G	明細階層の金額1(金額)	整数12桁
H	明細階層の備考(備考)	40文字

・Excelシート1行を1行分のデータとして作成します。

・作成されるデータの最大階層構成は、第1、～第4階層を集計階層、第5階層を明細階層、6階層を別紙明細階層となります。必ずしも、階層2、～階層6の情報が必要とは限りません。

・明細階層の材料、規格、備考は取り込む際に、入力されている文字数を判断して、自動で上下段に割り振ります。上下振り分けの判定は、入力文字数が20文字または32文字以下の場合、下段へ、20文字または32文字より多い場合、前半20文字分または32文字分を上段へ、残りを下段として取り込みます。それより長い文字は次の行に作成されます。

・明細階層の備考欄に別紙明細リンクキーがある場合、別紙明細階層の名称欄のリンクキーとリンクします。

・階層名称で自動的に階層を作成しますので、集計データ部の階層名称と明細部のタイトルとなる階層名称を一致させて下さい。

## ii. CSVファイル形式

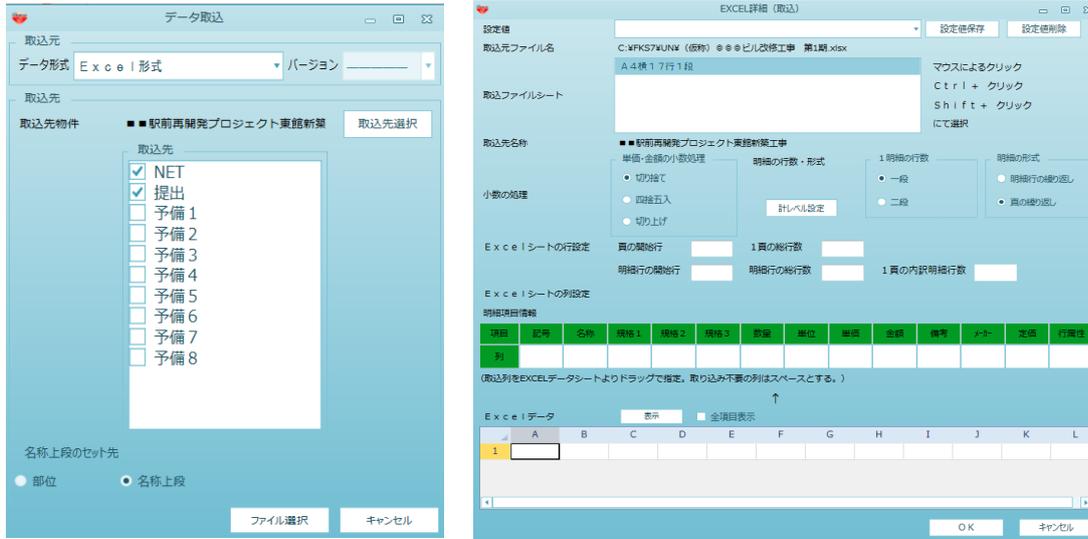
CSVファイルを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。以下の通りの列構成でデータを作成する必要があります。

	内容	最大文字数(半角文字)
B	集計階層1名称	24文字
C	集計階層2名称	24文字
D	集計階層3名称	24文字
E	集計階層4名称	24文字
F	別紙階層リンクキー	
G	集計階層、明細階層の材料名称(材料)	40文字、64文字
H	集計階層、明細階層の規格名称(規格)	40文字、64文字
I	集計階層、明細階層の数量1(数量)	整数7桁 小数4桁
J	集計階層、明細階層の単位1(単位)	4文字
K	集計階層、明細階層の単価1(単価)	整数10桁
L	集計階層、明細階層の金額1(金額)	整数12桁
M	集計階層、明細階層の備考(備考)	40文字

- ・CSVデータ1行を1行分のデータとして作成します。
- ・作成されるデータの最大階層構成は、第1、～第4階層を集計階層、第5階層を明細階層、6階層を別紙明細階層となります。必ずしも、階層2、～階層6の情報が必要とは限りません。
- ・明細階層の材料、規格、備考は取り込む際に、入力されている文字数を判断して、自動で上下段に割り振ります。上下振り分けの判定は、入力文字数が20文字または32文字以下の場合、下段へ、20文字または32文字より多い場合、前半20文字分または32文字分を上段へ、残りを下段として取り込みます。それより長い文字は次の行に作成されます。
- ・明細階層の備考欄に別紙明細リンクキーがある場合、別紙明細階層の名称欄のリンクキーとリンクします。

d. Excel形式

COMPASSで定める、一定規則に則ったExcelシートから、物件データを作成します。



[EXCEL詳細]

・登録済のExcel入力フォームを選択する場合

既に登録済の入力フォームを設定値プルダウンより選択してOKを押下します。



- ・新規に条件を入力する場合
  - ・取込先ファイル名  
入力ファイルとなるExcelファイルのファイル名のフォルダ名及びファイル名が表示されます。
  - ・入力シート選択  
指定した入力ファイルにあるシート名が表示されます。  
表示されたシート名から入力するシートを、マウスを使用して選択します。
  - ・取込先名称  
COMPASSでデータ取込するファイル名が表示されます。
  - ・単価・金額の小数処理  
Excelファイル取り込み後の金額欄の計算処理を設定します。
  - ・1明細の行数  
見積明細行1行分が構成されるExcelの行数を設定します。
  - ・明細の形式  
入力するExcelファイルが明細行のみか、印刷イメージで頁繰り返しかを選択します。
  - ・Excelシートの行設定
    - ・頁の開始行  
Excel入力ファイルの1頁目の開始行を設定します。
    - ・明細行の開始行  
Excel入力ファイルの1頁目の明細行の開始行を設定します。
    - ・1頁の総行数  
Excel入力ファイルの1頁目の1頁の総行数を設定します。  
(頁の繰り返しの場合のみ設定)
    - ・明細行の総行数  
Excel入力ファイルの1頁目の明細行の行数を設定します。  
(頁の繰り返しの場合のみ設定)
  - ・Excelシートの列設定  
取り込む列の指定をおこないます。
    - ・1明細の行数が1段の場合、材料上、材料下に違う列を設定した場合COMPASSでは材料上が上段に、材料下が下段にセットされます。

Excel取込シートの例  
頁繰り返し、明細行一段形式で明細行17行

	A	B	C	D	E	F	G	H
		名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
69								
70		②. 土工事						
71								
72		根切	機械	206.00	m <sup>3</sup>	1,100	226,600	
73		残土処分		206.00	m <sup>3</sup>	3,300	679,800	
74		埋戻	購入土	70.00	m <sup>3</sup>	3,850	269,500	
75		杭間溝い		1.00	式		16,500	
76		砕石地業	厚50	8.00	m <sup>3</sup>	8,800	70,400	
77		ポリエチレンシート敷	②0.15	70.00	m <sup>2</sup>	220	15,400	
78		山留		1.00	式		3,300,000	
79		水管巻		1.00	式		110,000	
80		値引					▲200	
81								
82								
83								
84								
85		小 計					4,688,000	
86								
87								
88			○×建設(株)					No.

- ・表示ボタン  
取り込みイメージをプレビューで表示します。

i. 印刷イメージ形式

Excelシートを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。取り込む列番号については、Excel入力画面において指定できます。必ずしも、以下の通りの列構成でデータを作成する必要はありません。また取り込み不要な列についてもExcel入力画面において指定できますので、以下の情報すべてが必要とは限りません

基本列番号	内容	最大文字数(半角文字)
A	階層記号	24文字
B	階層名称、明細階層の材料名称(材料)	40文字、64文字
C	明細階層の規格(規格)	40文字、64文字
D	明細階層の数量1(数量)	整数7桁 小数4桁
E	明細階層の単位1(単位)	4文字
F	明細階層の単価1(単価)	整数10桁
G	明細階層の金額1(金額)	整数12桁
H	明細階層の備考(備考)	40文字

・階層記号と階層名称で自動的に階層を作成しますので、集計データ部の階層記号と階層名称と明細部のタイトルとなる階層記号と階層名称を一致させて下さい。

Excel取込サンプル(印刷イメージ形式).xls (1)

	A	B	C	D	E	F	G	H
3	名 称		規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	I.	共通仮設工事		1.00	式		4,930,000	
5	II.	建築工事		1.00	式		52,592,731	
6	III.	電気設備工事		1.00	式		6,254,000	
7	IV.	給排水衛生設備工事		1.00	式		5,285,000	
8	V.	空調設備工事		1.00	式		4,086,000	
9	VI.	昇降機設備工事		1.00	式		7,000,000	
10	VII.	解体工事		1.00	式		1,200,000	
11	VIII.	諸経費		1.00	式		13,000,000	
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19		総 合 計					94,347,731	
20								
21								
22			○×建設(株)					No. 1

Excel取込サンプル(印刷イメージ形式).xls (2)

A	B	C	D	E	F	G	H
	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
3							
4	Ⅱ. 建築工事						
5							
6	1. 直接仮設工事		1.00	式		2,926,000	
7	2. 土工事		1.00	式		4,688,000	
8	3. 杭工事		1.00	式		3,916,000	
9	4. コンクリート工事		1.00	式		16,044,000	
10	5. 鉄筋工事		1.00	式		5,127,000	
11	6. 組積工事		1.00	式		16,000	
12	7. 防水工事		1.00	式		1,014,000	
13	8. 石・搬石工事		1.00	式			
14	9. タイル工事		1.00	式		1,643,000	
15	10. 木工事		1.00	式		620,000	
16	11. 屋根外装工事		1.00	式		614,000	
17	12. 金属工事		1.00	式		2,975,731	
18	13. 左官工事		1.00	式		1,605,000	
19	14. 木製建具工事		1.00	式		39,000	
20	15. 金属製建具工事		1.00	式		5,823,000	
21							
22							No. 3

Excel取込サンプル(印刷イメージ形式).xls (3)

A	B	C	D	E	F	G	H
	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
47							
48	1. 直接仮設工事						
49							
50	やりかた畢出し		1.00	式		165,000	
51	外部足場		1.00	式		1,287,000	
52	内部足場		1.00	式		187,000	
53	乗入檣台		1.00	式			
54	安全設備		1.00	式		627,000	
55	養生費		1.00	式		121,000	
56	雑仮設		1.00	式		539,000	
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63	小計					2,926,000	
64							
65							No. 5

- e. CI-NET(設備見積)  
一定規則に則ったCI-NETフォーマットのファイルから、物件データを取込みます。

データ取込

取込元  
データ形式 CI-NET (設備見積) バージョン 1.0 (\*.cii)

取込先  
取込先物件 ■■ 駅前再開発プロジェクト東館新築 取込先選択

取込先

- NET
- 提出
- 予備 1
- 予備 2
- 予備 3
- 予備 4
- 予備 5
- 予備 6
- 予備 7
- 予備 8

名称上段のセット先

部位  名称上段

ファイル選択 キャンセル

データ取込

取込元  
データ形式 CI-NET (設備見積) バージョン 2.0 (\*.dat)

取込先  
取込先物件 ■■ 駅前再開発プロジェクト東館新築 取込先選択

取込先

- NET
- 提出
- 予備 1
- 予備 2
- 予備 3
- 予備 4
- 予備 5
- 予備 6
- 予備 7
- 予備 8

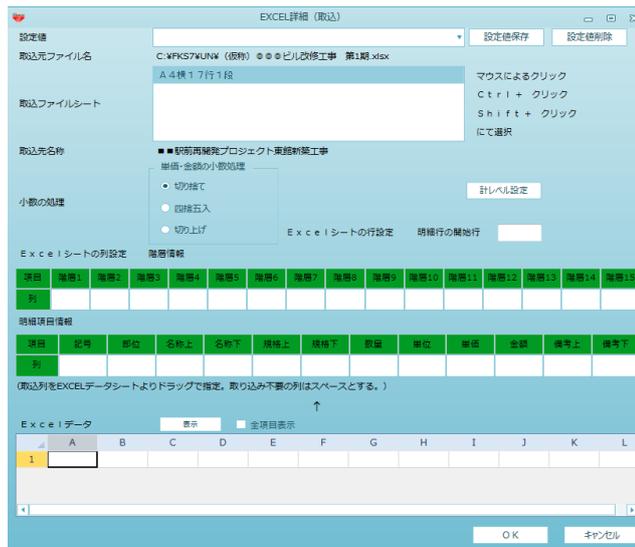
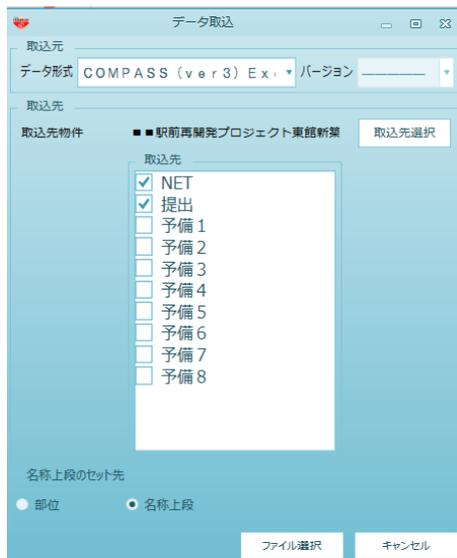
名称上段のセット先

部位  名称上段

ファイル選択 キャンセル

f. COMPASSver3 Excel形式

Excelシートを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。



取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。取り込む列番号については、Excel入力画面において指定できます。必ずしも、以下の通りの列構成でデータを作成する必要はありません。また取り込み不要な列についてもEXCEL入力画面において指定できますので、以下の情報すべてが必要とは限りません。

基本列番号	内容	最大文字数(半角文字)
A	集計階層となる第1階層名称(階層1)	24文字
B	集計階層となる第2階層名称(階層2)	24文字
C	集計階層となる第3階層名称(階層3)	24文字
D	明細階層のコメント行名称(コメント)	40文字、64文字
E	明細階層の部位名(部位)	24文字
F	明細階層の材料名称(材料)	40文字、64文字
G	明細階層の規格名称(規格)	40文字、64文字
H	明細階層の数量1(数量)	整数7桁 小数4桁
I	明細階層の単位1(単位)	4文字
J	明細階層の単価1(単価)	整数10桁
K	明細階層の金額1(金額)	整数12桁
L	明細階層の備考(備考)	40文字

- ・Excelデータ1行を1行分のデータとして作成します。
- ・Excelデータにはデータの終わり以外にスペース行を作成しないで下さい。データの途中にスペース行が存在する場合、スペース行より前の行データのみ取り込まれます。
- ・Excel入力画面において、階層1、階層2および階層3列として指定した列に、データが入力されている行は、それらを第1階層、第2階層、第3階層の集計階層データとして作成します。このとき、数量、単位以外の情報は取り込まれません。数量、単位に入力データがない場合、数量=1、単位=式として作成されます。
- ・作成されるデータの最大階層構成は、第1～第7階層を集計階層、第8階層を明細階層となります。別紙明細階層も作成できます。Excel入力画面において取り込む列を指定することができますので、必ずしも、階層2、～階層7列の情報が必要とは限りません。
- ・明細階層行には階層列の入力は不要です。Excel入力画面において階層列として指定した列に入力があった場合、その行は集計階層データとして扱います。
- ・明細階層の材料、規格、備考は取り込む際に、入力されている文字数を判断して、自動で上下段に割り振ります。上下振り分けの判定は、入力文字数が20文字または32文字以下の場合、下段へ、20文字または32文字より多い場合、前半20文字分または32文字分を上段へ、残りを下段として取り込みます。Excelデータとしては、上下段を意識することなく、セルに対して左詰でデータを入力して下さい。
- ・Excelデータにおける行データの構成は、集計階層データとなる階層1、階層2、その下階層となる階層3、明細階層データ行を作成します。集計階層を変更する場合、上記の行構成を続け、明細階層データを挟み込むような行データを作成します。集計階層データは必須です。

## Excel入力サンプル (COMPASS3形式).xlsx

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	建築工事									
2		直接仮設工事								
3			やりかた	量	出し		1 式	165,000	165,000	
4			外部	足場			1 式	1,287,000	1,287,000	
5			内部	足場			1 式	187,000	187,000	
6			乗入	構台			1 式			
7			安全	設備			1 式	627,000	627,000	
8			養生	費			1 式	121,000	121,000	
9			雑	仮設			1 式	539,000	539,000	
10		土工事								
11			根		切	機械	206 m <sup>3</sup>	1,100	226,600	
12			残土		処分		206 m <sup>3</sup>	3,300	879,800	
13			埋		戻	購入土	70 m <sup>3</sup>	3,850	269,500	
14			杭		深		1 式	16,500	16,500	
15			砕石		地業	厚50	8 m <sup>3</sup>	8,800	70,400	
16			ポリエチレンシート		敷	@0.15	70 m <sup>2</sup>	220	15,400	
17			山		留		1 式	3,300,000	3,300,000	
18			水		替	費	1 式	110,000	110,000	
19		杭工事								
20			場		所	打杭	700φ L=8.9	5 本		
21			"		"	800φ L=8.9	3 本			
22			"		"	1000φ L=8.9	4 本			
23			ミニアース		杭工事費		1 式	2,695,000	2,695,000	
24			杭		コンクリート	FC-180	67 m <sup>3</sup>	12,700	850,900	
25			杭		鉄筋		4.8 t	42,900	205,920	
26			杭		頭	処理費	1 式	165,000	165,000	
27					値	引				
28							1	-820	-820	
29		コンクリート工事								
30			躯体		コンクリート	FC-210	305 m <sup>3</sup>	12,600	3,843,000	
31			捨		コンクリート	FC-135	4 m <sup>3</sup>	11,900	47,600	

## COMPASSver3 Excel形式設定画面

EXCEL詳細 (取込)

設定値: [設定値保存] [設定値削除]

取込元ファイル名: C:\Users\%BS-OHBUCHI\Desktop\Excel入力サンプル (COMPASS3形式).xlsx

取込ファイルシート: サンプル

取込先名称: ○○ビル新築工事

小数の処理: 単価・金額の小数処理

- 切り捨て
- 四捨五入
- 切り上げ

Excelシートの行設定: 明細行の開始行: 1

Excelシートの列設定: 階層情報

項目	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	階層12	階層13	階層14	階層15
列	A	B													

明細項目情報

項目	記号	部位	名称上	名称下	規格上	規格下	数量	単位	単価	金額	備考上	備考下
列		C		D		E	F	G	H	I		J

(取込列をEXCELデータシートよりドラッグで指定。取り込み不要の列はスペースとする。)

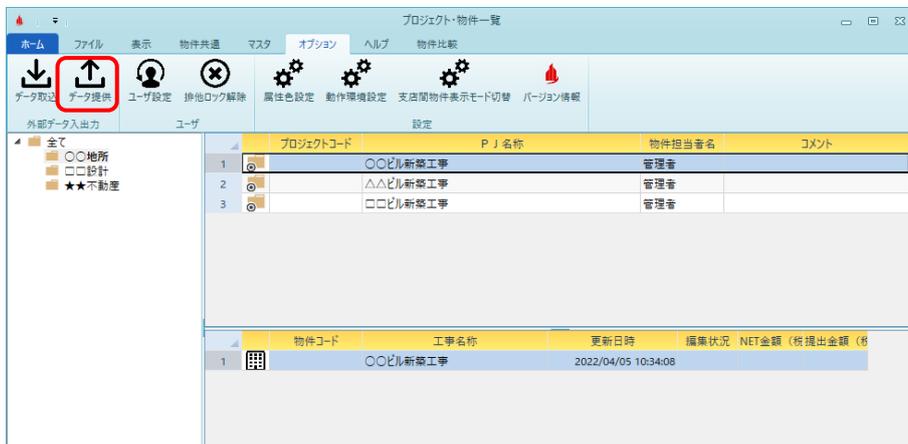
Excelデータ: [表示] [全項目表示]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												

## 2.6.2 データ提供

各種データ形式の見積データの出力を行います。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[データ提供]をクリックします。



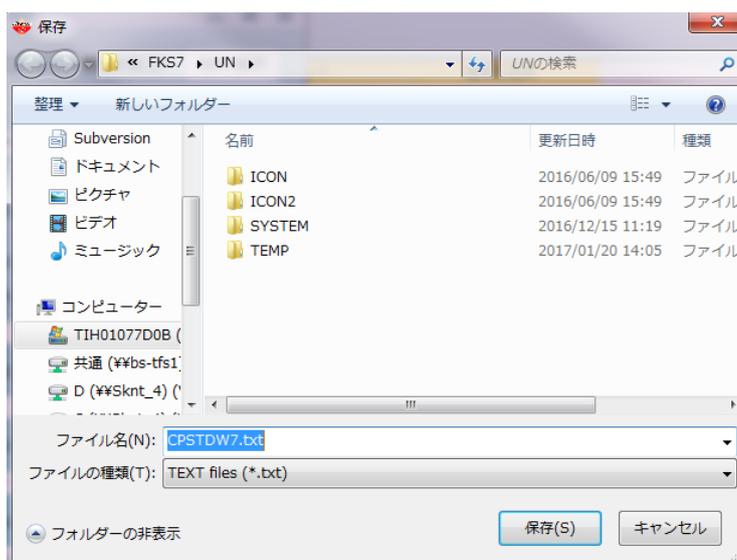
### データ提供画面

#### ①データ形式

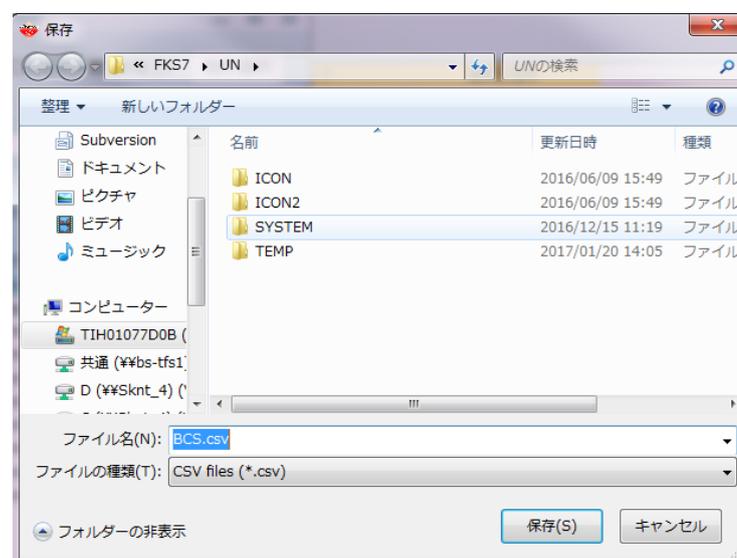
以下のデータ形式の提供が出来ます。

- a. COMPASS標準テキスト形式
- b. BCS形式
- c. Excel形式

- a. COMPASS標準テキスト形式  
物件を標準テキストフォーマットでファイルを出力します。



- b. BCS形式  
物件をBCS. CSVファイル仕様に則ったCSVファイルに出力します。



### c. Excel形式

物件をExcelファイルへ印刷イメージで出力します。

The image shows two screenshots of a software interface. The left screenshot is titled 'データ提供' (Data Provision) and shows a window with 'Excel形式' selected under 'データ形式'. The right screenshot is titled 'EXCEL出力' (Excel Output) and shows a detailed configuration screen for Excel output. It includes sections for '設定値' (Settings), '書式ファイル' (Format File), '書式シート' (Format Sheet), '出力タイプ' (Output Type), '明細の行数・形式' (Detail Rows/Format), '数量・単価・金額の設定' (Quantity/Unit Price/Amount Settings), '内訳印刷範囲' (Detail Printing Range), '書式設定' (Format Settings), '印刷設定' (Printing Settings), '備考印刷の設定' (Remarks Printing Settings), '1頁分の行数' (Rows per Page), '1頁分の行設定' (Row Settings per Page), '1頁分の列設定' (Column Settings per Page), and '明細項目情報' (Detail Item Information). At the bottom, there is a table with columns: 項目 (Item), 記号 (Symbol), 名称 (Name), 原価 (Cost), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 単価 (Unit Price), 金額 (Amount), 備考 (Remarks), 行属性 (Row Attribute), and 採用変名 (Adopted Variable Name).

- ・設定値の選択

定型的なExcel出力書式は、規定値登録することにより、Excel出力の都度設定する必要がなくなります。

新たな設定値を作成することにより、物件ごとにExcel出力書式を作成できます。

- ・書式ファイル

あらかじめEXCELで作成された、1頁分の書式ファイルを設定します。

- ・書式シート

設定した書式ファイルの書式シートを設定します。

- ・出力タイプ

- ・シート分割

1シートに出力するか、階層毎に複数シートに分割して出力するか指定します。

- ・計算式

明細、別紙明細に数量×単価、合計金額を親階層データの金額欄に参照式の計算式をつけて出力します。

- ・出力形式

1明細をExcelにおいて1行で表現するか、2行で表現するか指定します。

- ・出力順

明細行繰り返しか、1頁の繰り返し(印刷イメージ出力)で出力するか指定します。

- ・明細の行数・形式

- ・数量・単価・金額の設定

出力する単価を選択します。

- ・内訳印刷範囲

出力する内訳の範囲を選択します。

- ・数量の書式設定

数量の書式を選択します。

- ・単価・金額の設定

- 単価、金額の出力有無を選択します。
- ・備考印刷の設定  
備考の出力有無を選択します。
- ・第一階層先頭ページ数  
1枚目の頁数初期値を入力します。
- ・1頁分の行設定
  - ・頁先頭開始行  
Excel書式ファイルの開始行を設定します。
  - ・1頁の総行数  
Excel書式ファイルの1頁の総行数を設定します。
  - ・1頁分の内訳明細行数  
Excel書式ファイルの1頁分の明細行を設定します。
  - ・明細行の開始行  
Excel書式ファイルの明細行の開始行を設定します。
  - ・明細行の総行数  
EXCEL書式ファイルの明細行の総行数を設定します。
  - ・会社名の出力位置  
Excel書式ファイルの会社名の出力位置の列と行を設定します。
  - ・出力会社名  
Excel書式ファイルの会社名を設定します。
  - ・頁番号の出力位置  
Excel書式ファイルの頁番号の出力位置の列と行を設定します。
- ・1頁分の列設定  
Excel書式ファイルの明細項目を項目毎に列を設定します。

## 2.6.3 ユーザ設定

システム起動時に選択するログインIDの追加、削除、または変更をおこないます。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[ユーザ設定]をクリックします。

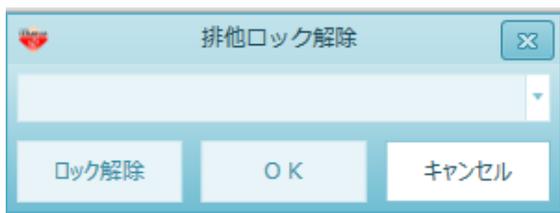
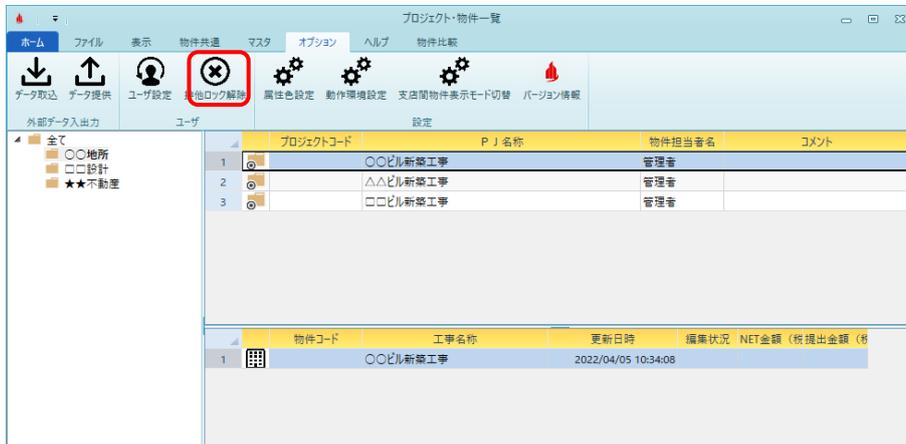


- ①ログインID  
追加するログイン名を入力します。512文字まで入力できます。
- ②権限区分  
権限を設定します。
- ③本支店  
所属する本支店を設定します。
- ④ユーザパスワード  
ユーザパスワードを入力します。
- ⑤ユーザ名  
ユーザ名を入力します。

## 2. 6. 4 排他ロックの解除

ログインの排他情報をクリアします。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[排他ロックの解除]をクリックします。



ログインの排他情報をクリアします。

## 2. 6. 5 属性色設定

行属性ごとにセル色を設定します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[属性色設定]をクリックします。



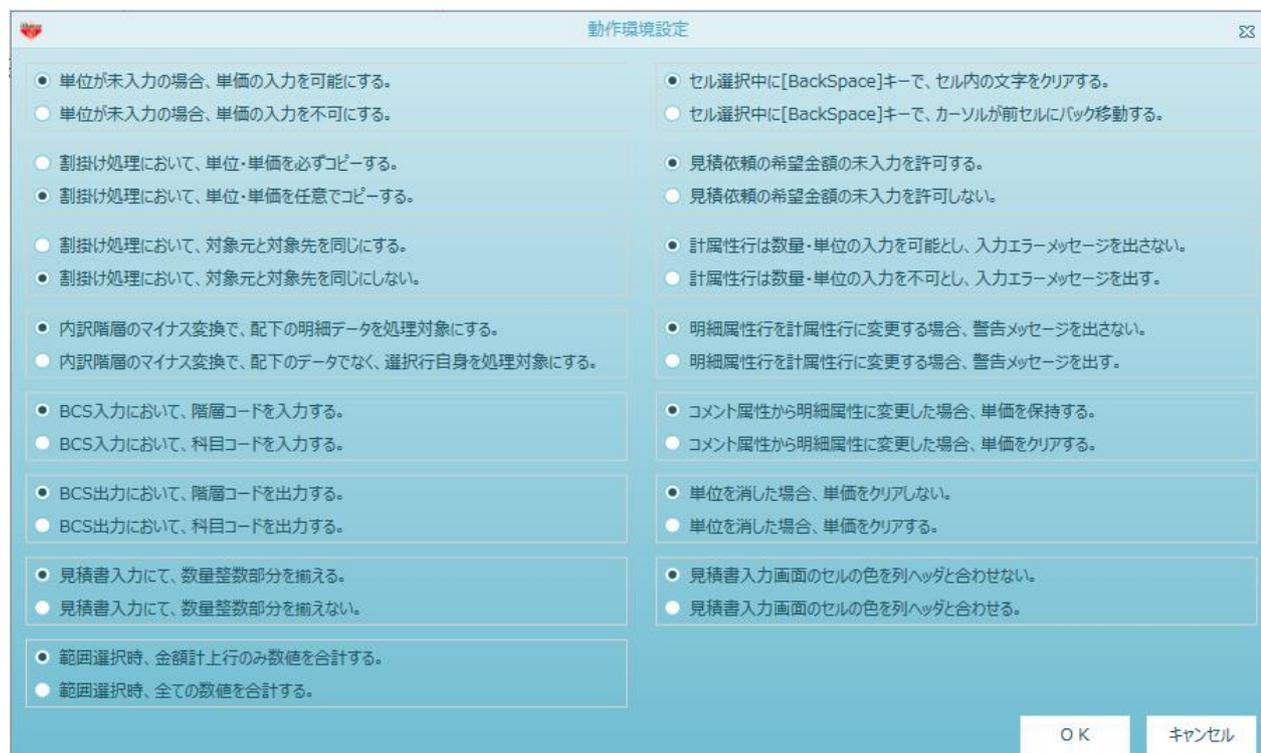
行属性ごとにセル色を設定します。  
この項目は設定を変更すると、随時反映されます

- ①テーマ  
システム全体の背景色を設定します。
- ②明細行  
明細行の属性毎の背景色を色選択で設定します。

## 2. 6. 6 動作環境設定

クライアント毎のCOMPASS動作環境を設定します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[動作環境設定]をクリックします。



### 単位未入力の場合の単価入力

- ・単位が未入力の場合、単価の入力を可能にする。
- ・単位が未入力の場合、単価の入力を不可にする。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入	明細	根切	機械			206.00	1,100	226,600	
2	直接入	明細	残土処分				206.00	3,300	679,800	
3	直接入	明細	埋戻				70.00	3		
4	直接入	明細	枕間深い					16		
5	直接入	明細	砕石地業				8.00	8		
6	直接入	明細	ポリエチレンシート敷				70.0	220	15,400	
7	直接入	明細	山留			式	1	3,300,000	3,300,000	
8	直接入	明細	水管費			式	1	110,000	110,000	



入力の可否とメッセージの表示を設定します。

### 割掛け処理の単位・単価コピー

- ・割掛け処理において、単位・単価を任意でコピーする。
- ・割掛け処理において、単位・単価を必ずコピーする。

処理対象: 単価 | 処理内容: 割掛

対象元: NET × 掛率: 100.00 ~ 100.00 = 対象先: 提出

端数調整: シミュレーション

	丸め範囲以上	丸め範囲未満	上有効桁数	丸め方法
1	0	10	1	切り捨て
2	10	100	1	切り捨て
3	100	1,000	2	切り捨て
4	1,000	10,000	3	切り捨て
5	10,000	100,000	3	切り捨て
6	100,000	1,000,000	3	切り捨て
7	1,000,000	10,000,000	2	切り捨て
8	10,000,000	100,000,000	3	切り捨て
9	100,000,000	1,000,000,000	4	切り捨て
10	1,000,000,000	10,000,000,000	5	切り捨て
11	10,000,000,000	100,000,000,000	6	切り捨て

数量・単価のコピー

- 数量をコピーする
- 単位をコピーする

割掛けで単位・単価をコピーするか初期値を設定します。

数量・単価のコピー

- 数量をコピーする
- 単位をコピーする

### 割掛け処理の対象元と対象先

- ・割掛け処理において、対象元と対象先を同じにする。
- ・割掛け処理において、対象元と対象先を同じにしない。

対象元: NET × 掛率: 100.00 ~ 100.00 = 対象先: 提出

割掛けで対象元と対象先を同じにするか初期値を設定します。

対象元: NET × 掛率: 100.00 ~ 100.00 = 対象先: NET

割掛けで対象元と対象先を同じにするか初期値を設定します。

### 内訳階層のマイナス変換

- ・内訳階層のマイナス変換で、配下の明細データを処理対象にする。  
内訳階層でマイナス変換を実行した時、最下層の明細データの数量をマイナス変換する。
- ・内訳階層のマイナス変換で、配下のデータをではなく、選択行自身を処理対象にする。  
内訳階層でマイナス変換を実行した時、最下層の明細データの数量をマイナス変換する。

### BCS入力

- ・BCS入力において、階層コードを入力する。  
科目コードではなく、階層コードを入力します。
- ・BCS入力において、科目コードを入力する。  
階層コードではなく、科目コードを入力します。

### BCS出力

- ・BCS出力において、階層コードを出力する。  
科目コードではなく、階層コードを出力します。
- ・BCS出力において、科目コードを出力する。  
階層コードではなく、科目コードを出力します。

### 数量整数部分の表示

- ・見積書入力にて、数量整数部分を揃える。
- ・見積書入力にて、数量整数部分を揃えない。

NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量
根切	機械	m <sup>3</sup>	206.00	根切		m <sup>3</sup>	206.00
残土処分		m <sup>3</sup>	206.00	残土処分		m <sup>3</sup>	206.00
埋戻	購入土	m <sup>3</sup>	70.00	埋戻	購入土	m <sup>3</sup>	70.00
杭間葉い		式	1	杭間葉い		式	1
砕石地業	厚50	m <sup>3</sup>	8.00	砕石地業	厚50	m <sup>3</sup>	8.00

見積書入力で数量の整数部分を揃えるか初期値を

### 範囲選択の合計

- ・範囲選択時、金額計上行のみ数値を合計する。  
範囲選択時、明細属性の数値のみを合計します。
- ・範囲選択時、全ての数値を合計します。  
範囲選択時、明細属性以外(計行など)も数値を合計します。

### BackSpaceキー

- ・セル選択中に[BackSpace]キーで、セル内の文字をクリアする。  
[BackSpace]キーで、セル内の文字をクリアします。
- ・セル選択中に[BackSpace]キーで、カーソルが前セルにバック移動する。  
[BackSpace]キーで、カーソルが前のセルに移動します。

### 見積依頼の希望金額

- ・見積依頼の希望金額の未入力を許可する。  
希望金額が未入力でも取込が可能になります。
- ・見積依頼の希望金額の未入力を許可しない。  
希望金額が未入力でも取込ができません。

### 計属性行の数量・単位入力

- ・計属性行は数量・単位の入力を可能とし、入力エラーメッセージを出さない。
- ・計属性行は数量・単位の入力を不可とし、入力エラーメッセージを出す。

### 明細属性行を計属性行に変更

- ・明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出さない。
- ・明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出す。

### コメント属性を明細属性に変更

- ・コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を保持する。

- ・コメント属性から明細属性に変更した場合、単価をクリアする。

#### 単位をクリア

- ・単位を消した場合、単価をクリアしない。
- ・単位を消した場合、単価をクリアする。

#### 列ヘッダとセルの色

- ・見積書入力画面のセルの色を列ヘッダと合わせない。
- ・見積書入力画面のセルの色を列ヘッダと合わせる。

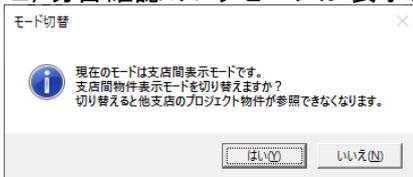
## 2. 6. 7 支店間物件表示モード切替

支店間物件表示モードの切替を行います。

- 1)リボンメニューの[オプション]タブから、[支店間物件表示モード切替]をクリックします。



- 2)切替確認のメッセージが表示されます。[はい]を選択します。



#### 支店間表示モード

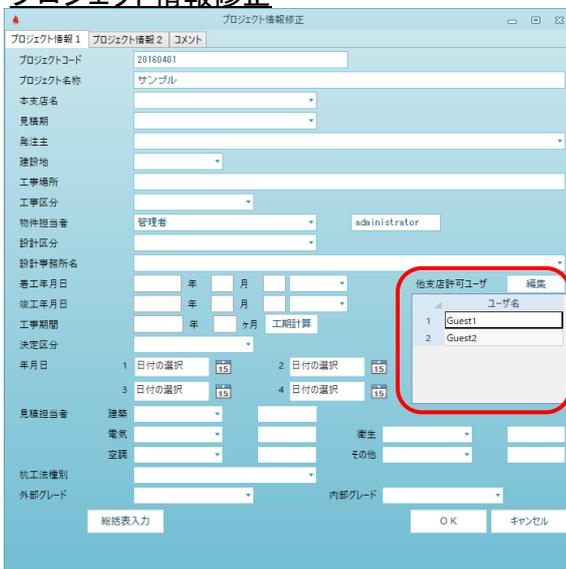
- ・ログインユーザに設定されている支店以外のプロジェクトや物件が表示されます。

#### 支店間非表示モード

- ・ログインユーザに設定されている支店以外のプロジェクトや物件が表示されません。

支店間非表示モードで、別支店のユーザにプロジェクトや物件を公開する場合は、プロジェクト情報修正画面から閲覧できるユーザを設定します。

#### プロジェクト情報修正



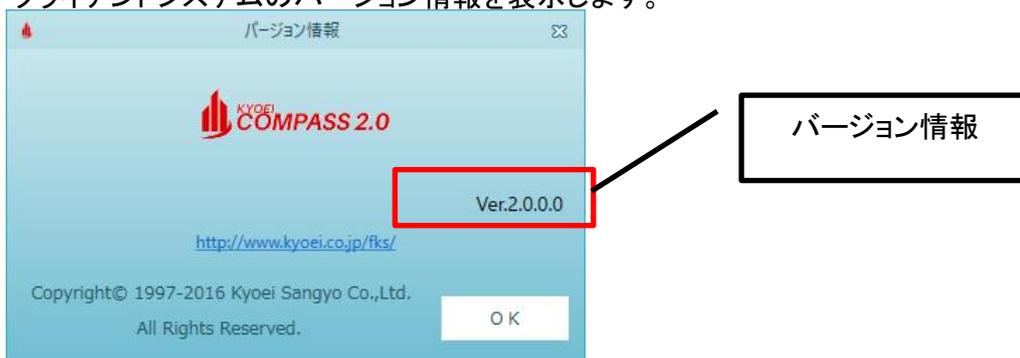
## 2.6.8 バージョン情報

クライアントシステムのバージョン情報を表示します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[バージョン情報]をクリックします。



クライアントシステムのバージョン情報を表示します。

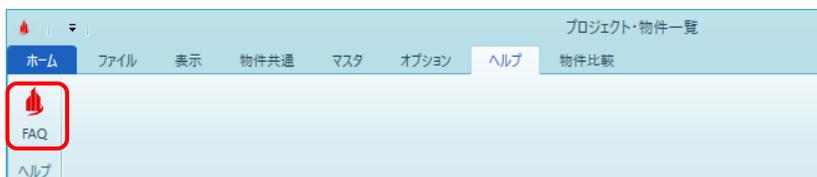


## 2.7 ヘルプ

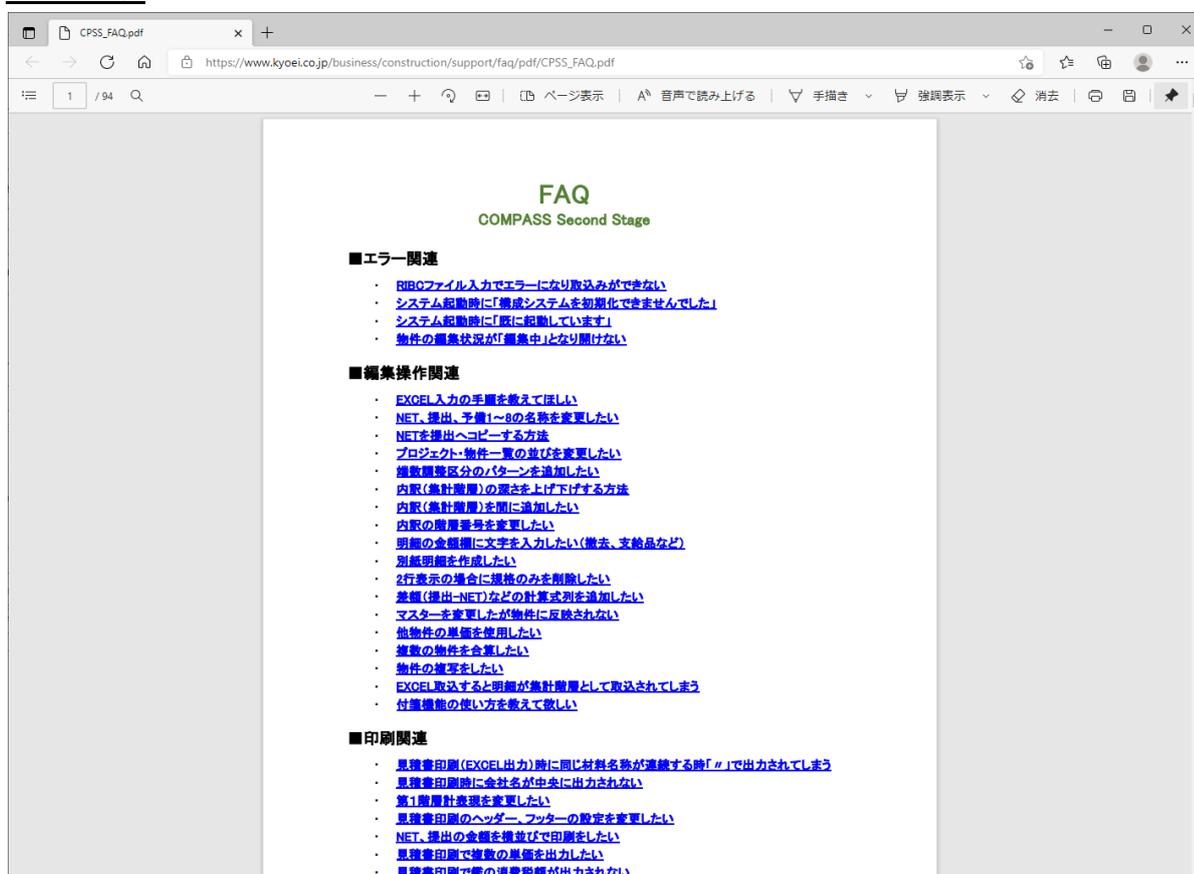
### 2.7.1 FAQ

FAQページを表示します。

1)リボンメニューの[ヘルプ]タブから、[FAQ]をクリックします。



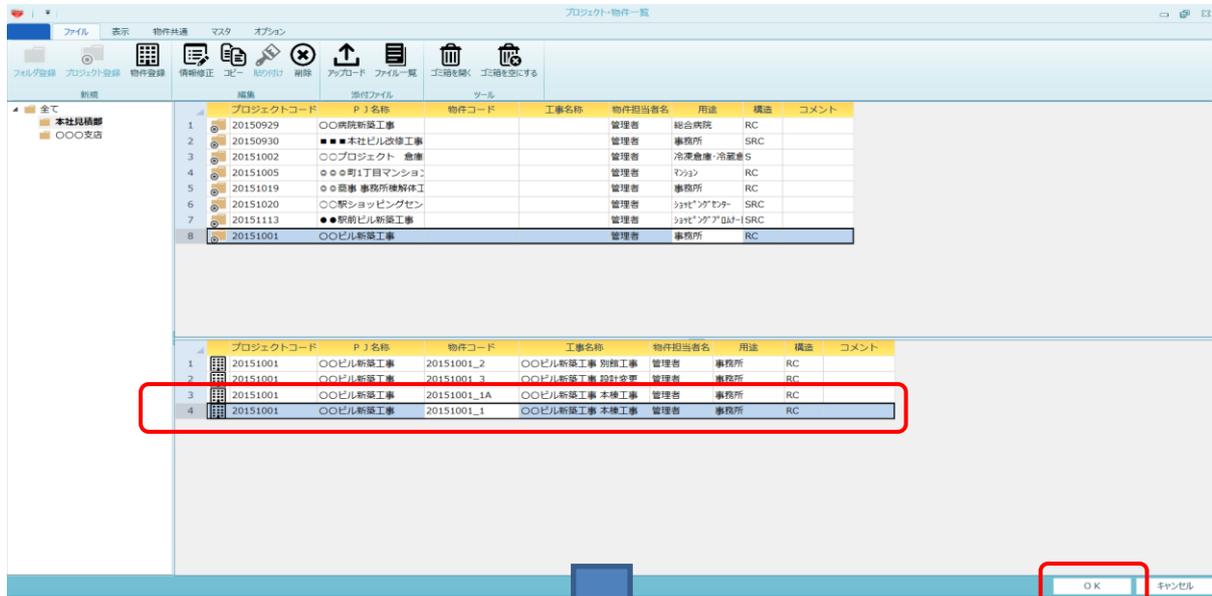
### FAQページ



### 3. 見積書入力

プロジェクト・物件一覧画面で物件を選択しダブルクリックするか、右下のOKをクリックすると、見積書入力画面が表示されます。

#### プロジェクト・物件一覧



#### 見積書入力



見積書入力画面はクイックアクセスツールバー、リボンメニュー、ヘッダー部、内訳ツリー、データ部より構成されます。  
この画面から見積書の作成、印刷を行います。

## 1) クイックアクセスツールバー

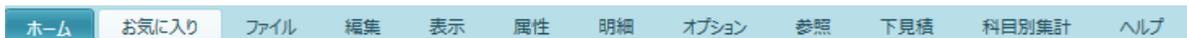
リボンメニューとは別に処理を実行できます。利用頻度の高い機能を集めています。



- |          |   |                        |
|----------|---|------------------------|
| ・上書き保存   |  | 表示されているデータを上書き保存します。   |
| ・元に戻す    |  | 直前に操作した処理内容を元に戻します。    |
| ・やり直し    |  | 「元に戻す」で元に戻した内容をやり直します。 |
| ・上位階層へ   |  | 上位階層に移動します。            |
| ・下位階層へ   |  | 下位階層に移動します。            |
| ・前の階層へ   |  | 前の階層に移動します。            |
| ・次の階層へ   |  | 次の階層に移動します。            |
| ・科目・細目選択 |  | 科目・細目選択画面を表示します。       |

## 2) リボンメニュー

メニューは機能毎にタブ内に納められてます。タブをクリックし処理するメニューを実行します。



- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| ・ホームタブ | 上書き保存、見積書印刷、閉じる         |
| ・お気に入り | ユーザー専用のメニューを作成できます。     |
| ・ファイル  | 物件単位に管理するファイルを関連付けます。   |
| ・編集    | 内訳、明細データを項目、行単位に編集します。  |
| ・表示    | 内訳、明細データの表示パターンを設定します。  |
| ・属性    | 内訳、明細データの行属性を設定します。     |
| ・明細    | 内訳、明細データを一括にチェック、編集します。 |
| ・オプション | 物件の規定値を編集します。           |
| ・参照    | マスタ、物件を参照します。           |
| ・下見積   | 下見積より、業者単価の比較、採用をします。   |
| ・科目別集計 | 科目コードで集計し、単価更新をします。     |
| ・ヘルプ   | キー操作を参照します。             |

### 3) ヘッダー部

表示された見積データの表示列パターンと見積金額合計が表示されます。



見積金額合計は表示列パターン左の切替ボタンをクリックすることで表示、非表示の切り替えができます。



#### ・表示列パターンの切替

データ部の表示列項目を切り替えることができます。

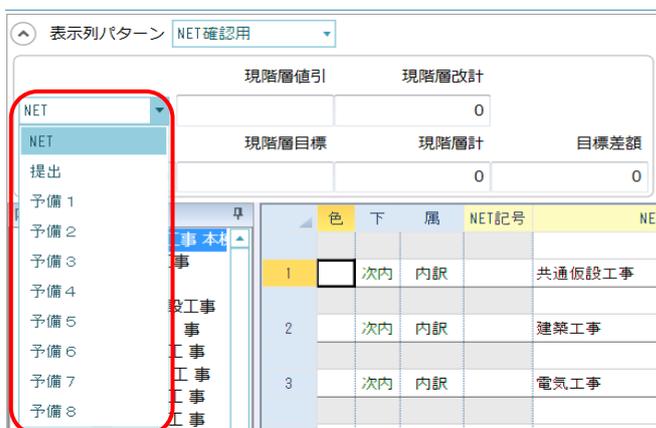


[表示]の[表示列パターンの登録]で設定されたパターンを選択します。  
初期設定されているパターンは、以下の8種類です。

- ・NET NETの項目を表示します。
- ・NETコード表示 NET、コード類の項目を表示します。
- ・提出 提出の項目を表示します。
- ・予備1 予備1の項目を表示します。
- ・予備2 予備2の項目を表示します。
- ・NET提出 NET、提出の項目を表示します。
- ・提出NET 提出、NETの項目を表示します。
- ・NET提出予備1 NET、提出、予備1の項目を表示します。
- ・NET提出予備12 NET、提出、予備1、予備2の項目を表示します。

#### ・見積金額計表示

NETと提出の総合計金額、表示されている階層合計金額が表示されます。  
NET、提出以外に予備1～予備8まで切り替えることで表示できます。



表示されている階層毎に目標金額の設定ができ、差額の確認ができます。  
表示されている階層毎に値引金額の設定ができ、印刷時に値引データを印刷します。

	現階層値引	現階層改計	
提出	-83,009	789,000,000	
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
789,000,000	780,000,000	789,083,009	9,000,000

#### 4) 内訳ツリー

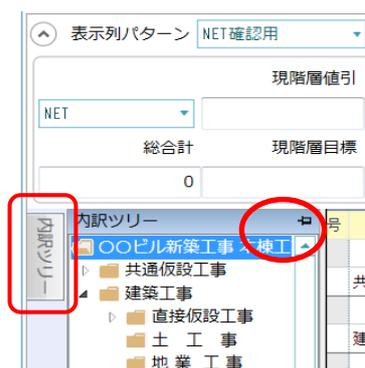
見積データの階層構成が表示されます。  
クリックすることにより、配下のデータがデータ部に表示されます。

・ツリーを自動的に隠す

内訳ツリー右上のマークをクリックすると内訳ツリーが左に隠れます。



内訳ツリーのタブをクリックすると表示され、右上のマークをクリックすると常に表示する状態になります。



5) データ部

明細の追加、単価の入力など主な編集作業はこの一覧表示の中で行います。

・階層構造

階層構造は内訳階層は最大15階層で、明細階層は明細、2次明細、3次明細を持つことができます。

- ・大内訳
- ・内訳
- ・明細
- ・2次明細
- ・3次明細

階層構造例

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層
大内訳	内訳	明細	2次明細	3次明細
建築工事	直接仮設	明細		
	土工事	明細		
	金属製建具	アルミ製建具	明細	…
鋼製建具		明細	…	

・1明細の構成

1明細は名称、規格、数量、単位、単価、金額、備考の組み合わせを10個持っています。NET、提出、予備1～8の構成になります。

NET	提出	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5	予備6	予備7	予備8
NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考			
共通仮設工事		式	1	3,750,000	3,750,000				
建築工事		式	1	58,230,949	58,230,949				
諸経費		式	1	13,000,000	13,000,000				

### 3.1 ホームタブ

リボンメニューの左端にある[ホームタブ]をクリックします。  
[ホームタブ]は以下の機能より構成されます。

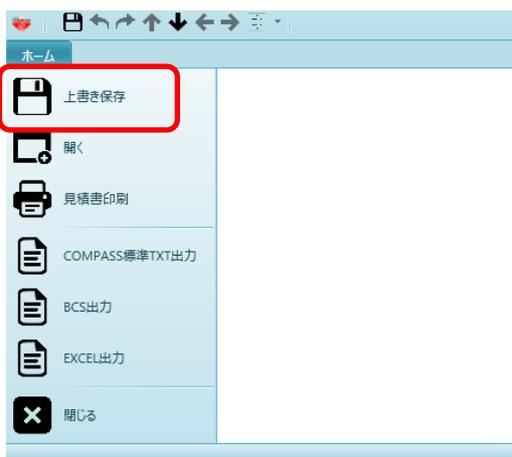


- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| ・上書き保存          | 表示されているデータを上書き保存します。        |
| ・開く             | 既に作成済の物件を開きます。              |
| ・見積書印刷          | 見積書を印刷します。                  |
| ・総括表出力          | 総括表を出力します。                  |
| ・コード集計物件作成      | コードで集計した物件を新規作成します。         |
| ・COMPASS標準TXT出力 | COMPASS標準テキスト形式ファイルで出力します。  |
| ・BCS出力          | BCS.CSV形式ファイルで出力します。        |
| ・EXCEL出力        | 指定した書式のExcelファイルで出力します。     |
| ・閉じる            | 見積書入力を終わり、プロジェクト・物件一覧に戻ります。 |

#### 3.1.1 上書き保存

編集中的数据を保存したい時に実行します。

1)メニューの、[上書き保存]をクリックします。



編集中的数据の見積データが保存されます。

※クイックアクセスツールバーにある[上書き保存]ボタンを押しても同じ動きになります。



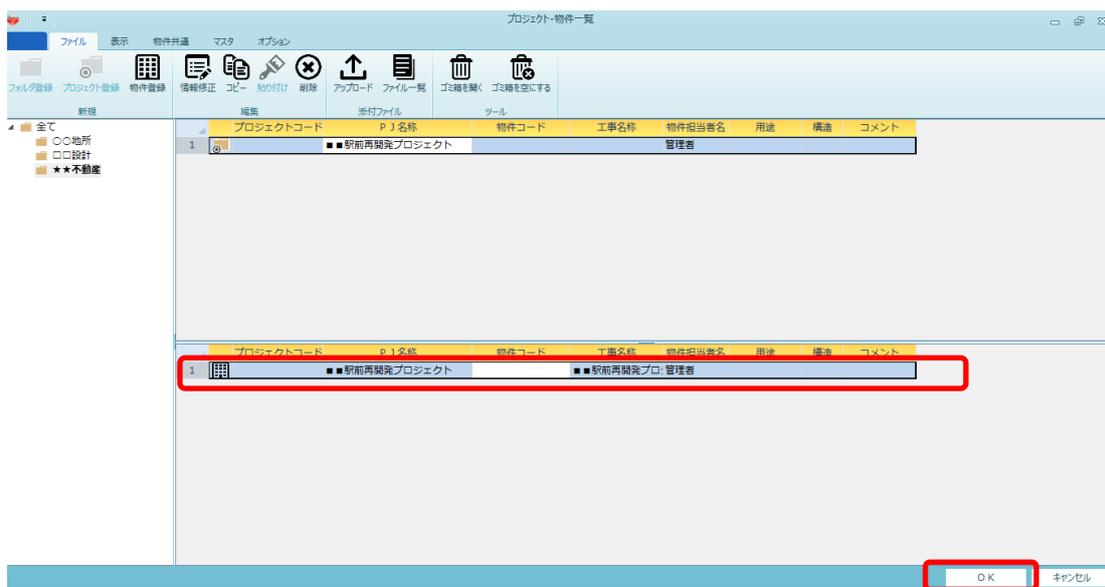
### 3. 1. 2 開く

作成済の物件を開きます。

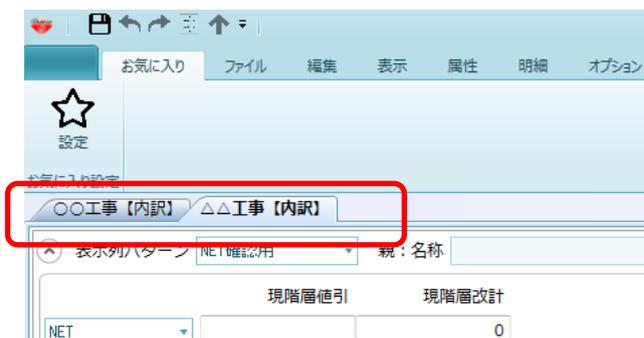
1)メニューの、[開く]をクリックします。



2)プロジェクト・物件一覧が表示されます。  
開きたい物件をダブルクリックするか、[OK]ボタンをクリックします。



3)物件をタブで切り替えます。



※最大5物件まで開けます。

### 3. 1. 3 見積書印刷

見積書の印刷を行います。

1)メニューの、[見積書印刷]をクリックします。



2)見積書印刷画面が表示されます。

2. 4. 2 見積書印刷書式 で設定された印刷条件が表示されます。書式の変更がある場合は表示された画面または書式設定で変更します。

#### 見積書印刷



#### ①書式

帳票の書式を選択します。書式としては以下の15種類が用意されています。  
A4横17行1段、A4横18行1段、A4横19行1段、A4横17行2段、A4横18行2段、  
A4横19行2段、  
A4縦24行1段、A4縦25行1段、A4縦26行1段、  
社内管理帳票(横)17行、社内管理帳票(横)18行、社内管理帳票(横)19行、  
社内管理帳票(縦)17行、社内管理帳票(縦)18行、社内管理帳票(縦)19行  
※社内管理帳票

2種類の単価(NETや提出など)を横並びあるいは上下段に出力する帳票。

※1段と2段の違い

EXCELに出力した際に、1明細を1行で表現するか2行で表現するかの違いとなります。

(1段の例)

A	B	C	D	E
	名 称	規 格	単 位	数 量
179				
180	防水工事			

(2段の例)

A	B	C	D	E
	名 称	摘 要	単 位	数 量
181				
182	(外部)			
183	塗膜防水			
184	屋根			
185	アスファルト防水			
186	立上り			
187	防水押えアングル止			
315				
316				
317	防水工事			
318				
319	(外部)			
320				
321	塗膜防水		m <sup>2</sup>	68
322	屋根			
323	アスファルト防水		m <sup>2</sup>	14
324	立上り			
325	シート防水		m <sup>2</sup>	2
326	立上りアスファルト系			
327	シーリング		m	17
328	立上り			
329	防水押えアングル止	アルミ	m	28

②単価区分

NET単価、提出単価、予備単価1～予備単価8のいずれを出力するかを選択します。

③印刷範囲指定

- ・全帳票 : 鑑、要項書、大内訳、内訳、明細、別紙明細、2次3次明細の一式すべて印刷するときに選択します。
- ・個別指定 : 必要な帳票を選択して出力することができます。
- ・頁指定 : 全ての帳票を出力した時の通しのページ番号での範囲指定で出力することができます。

④内訳書の頁指定範囲

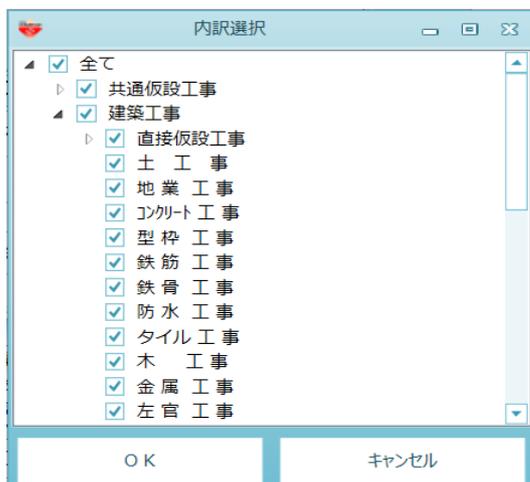
③印刷範囲指定で「頁指定」を選択した時に、出力したい開始頁と終了頁を入力します。

⑤頁指定

- ・実際の頁で印字 : 実際のページ番号をそのまま出力します。
- ・先頭のページを[ ]Pとして変更 : 先頭のページ番号を実際の値ではなく、指定した値に変更して出力します。

⑥内訳印刷範囲

- ・全帳票 : すべての内訳を出力します。
- ・指定内訳 : [内訳選択]ボタンをクリックし、指定した内訳階層だけを出力します。



⑦第一階層物件名称

- ・PJ名称 : プロジェクト名称をセットします。
- ・工事名称1 : 物件の工事名称1をセットします。
- ・工事名称2 : 物件の工事名称2をセットします。
- ・クリア : セットされた第一階層物件名称をクリアします。

第一階層物件名称

(仮称) ○○ビル新築工事 (プロジェクト)      PJ名称      工事名称1      工事名称2      クリア

名称	規格・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
(仮称) ○○ビル新築工事 (プロジェクト)						
A. 共通仮設工事		1	式		6,430,000	
B. 建築工事		1	式		50,006,438	
C. 電気設備工事		1	式		6,254,000	
D. 給排水衛生設備工事		1	式		5,285,000	
E. 空調設備工事		1	式		4,086,000	
F. 昇降機設備工事		1	式		7,000,000	

⑧印字指定

- ・数量を印刷 : 数量を印刷するかしないかを選択します。
- ・単位を印刷 : 単位を印刷するかしないかを選択します。
- ・単価を印刷 : 単価を印刷するかしないかを選択します。
- ・金額を印刷 : 金額を印刷するかしないかを選択します。
- ・備考を印刷 : 備考を印刷するかしないかを選択します。

⑨社内管理帳票

書式選択で社内管理帳票(横)または、社内管理帳票(縦)を選択した際に、どの単価をどのようなタイトルで出力するかを選択します。

社内管理帳票

併記	区分	見出しタイトル
<input checked="" type="checkbox"/>	NET	NET
<input checked="" type="checkbox"/>	提出	提出
<input type="checkbox"/>	予備1	予備1
<input type="checkbox"/>	予備2	予備2

上へ    下へ

NETと提出の2種をそれぞれ  
← 元積、提出というタイトルで出力  
する設定

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考	単位	数量	単価	金額	備考
共通仮設工事		式	1				式	1			
建築工事		式	1				式	1			

⑩表示選択

表示選択

鑑タイトル : 御見積書

鑑タイプ : 内訳書標準書式

表紙印刷 :

鑑フォント : MS 明朝

要項書フォント : MS 明朝

- ・鑑タイトル : 各ページのヘッダーに出力される文字を入力します。

御見積書											
名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考	単位	数量	単価	金額	備考
A. 共通仮設工事											

- ・鑑タイプ 内訳書標準書式 : 鑑の帳票を単票で1枚出力します。  
第1階層を載せる : 見積書の1ページ目のヘッダ部に一部の概要項目を出力します。

(内訳書標準書式)

御 見 積 書		NO. _____			
院 _____ 主 _____ 工事名称 _____ 消費税及び地方消費税 _____ 見積有効期間 _____ 提出後一か月	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (請負者住所氏名) 東京都大田区平和島6丁目1番地1号 TRCアクセスビル 協栄産業株式会社 代表取締役 協栄太郎				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">           工事名・工事場所            (名称) 協栄ビル新築工事            渋谷区松涛2-20-4            工事概要            鉄骨鉄筋コンクリート造            地下1階 地上3階 総層1階 1棟            建築面積 280.0㎡ 延床面積 300.0㎡         </td> <td style="width: 50%;">           実払条件            前渡金10%            毎月出率高90% 遅延払            その他            下記工事は見積範囲外と致します。            1. 地中障害物除去工事            2. 近隣補償(日照、電線、風害、眺望、客室)            3. 行政指導に伴う追加、変更工事            4. 各種設備接続に伴う負担金および分担金等            5. 家具、什器、備品、厨具器具            6. 確定測量費(有資格者による)         </td> </tr> <tr> <td>           工期            着工 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日            完成 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日         </td> <td>           契約            平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日         </td> </tr> </table>	工事名・工事場所 (名称) 協栄ビル新築工事 渋谷区松涛2-20-4 工事概要 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 総層1階 1棟 建築面積 280.0㎡ 延床面積 300.0㎡	実払条件 前渡金10% 毎月出率高90% 遅延払 その他 下記工事は見積範囲外と致します。 1. 地中障害物除去工事 2. 近隣補償(日照、電線、風害、眺望、客室) 3. 行政指導に伴う追加、変更工事 4. 各種設備接続に伴う負担金および分担金等 5. 家具、什器、備品、厨具器具 6. 確定測量費(有資格者による)	工期 着工 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 完成 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	契約 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	
工事名・工事場所 (名称) 協栄ビル新築工事 渋谷区松涛2-20-4 工事概要 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 総層1階 1棟 建築面積 280.0㎡ 延床面積 300.0㎡	実払条件 前渡金10% 毎月出率高90% 遅延払 その他 下記工事は見積範囲外と致します。 1. 地中障害物除去工事 2. 近隣補償(日照、電線、風害、眺望、客室) 3. 行政指導に伴う追加、変更工事 4. 各種設備接続に伴う負担金および分担金等 5. 家具、什器、備品、厨具器具 6. 確定測量費(有資格者による)				
工期 着工 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 完成 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	契約 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日				

(第1階層を載せる)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
共通保証工事		式	1.00			
建築工事		式	1.00			
電気工事		式	1.00			
衛生工事		式	1.00			
空調工事		式	1.00			
屋外工事		式	1.00			
計						

○×建設(株) No.1

- ・表紙印刷 : 「2. 4. 12 表紙作成」の機能により、差し替え用の表紙を作成した時に、プルダウンに表紙名が表示されます。  
これを指定すると、最初に表紙作成で作成したページが出力された後に、通常の内訳が出力されます。

- ・鑑フォント : 鑑の帳票の文字フォントを選択します。
- ・要項書フォント : 要項書の帳票の文字フォントを選択します。

⑪要項書範囲指定

- ・全て : 作成した要項書の全ページを出力します。
- ・個別 : 作成した要項書の出力したいページにチェックをつけます。

要項書範囲指定

要項書範囲指定  全て  個別

<input checked="" type="checkbox"/>	御 見 積 要 項 書
<input checked="" type="checkbox"/>	

要項書の作成は、「1. 25 表紙・鑑情報」を参照してください。

## ⑫書式設定

書式設定ボタンをクリックすると、細かい書式の変更が設定できます。



2. 4. 3 見積書印刷書式 参照

3)印刷します。

### ①プレビュー

画面上にプレビュー表示します。

### ②EXCEL

EXCEL形式でファイルを出力します。

### ③PDF

PDF形式でファイルを出力します。

### ④印刷

直接プリンタへ出力します。

## 3. 1. 4 総括表出力

編集集中の物件の総括表を出力します。

1)メニューの、[総括表出力]をクリックします。



2)総括表選択画面が表示されます。



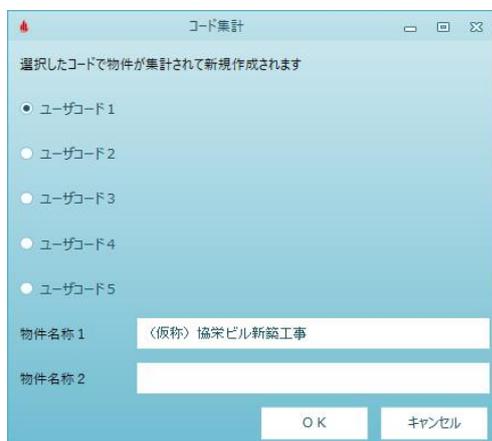
### 3. 1. 5 コード集計物件作成

編集中の物件をコードで集計し、新しく物件を作成します。

1)メニューの、[コード集計物件作成]をクリックします。



2)コードの選択、物件名称の入力を行い[OK]ボタンをクリックします。



コード集計物件作成で作成した物件  
選択した条件で集約します。

The screenshot shows the main window of the software. The title bar reads '(仮称) 協栄ビル新築工事【明細】'. The menu bar includes: ホーム, お気に入り, ファイル, 編集, 表示, 属性, 明細, オプション, 参照, 下見書, 科目別集計, ヘルプ. The main area displays a table with columns: 色1, 色2, NET, 属, 部位, NET 名称, NET 規格, NET 計量, NET 単位, NET 単価, NET 金額, NET 備考. The table contains 7 rows of data. The 'ユーザコード1' column is highlighted with a red rectangle.

色1	色2	NET	属	部位	NET 名称	NET 規格	NET 計量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考
			明細	整理清掃費			1.0000	式	70,000	70,000	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	やりかた出し			1.0000	式	185,000	185,000	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	外部定場			1.0000	式	1,287,000	1,287,000	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	内部定場			1.0000	式	187,000	187,000	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	乗入橋台			1.0000	式	0	0	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	安全設備			1.0000	式	627,000	627,000	ユーザコード1 0010 0000 0000
			明細	養生費			1.0000	式	121,000	121,000	ユーザコード1 0010 0000 0000

※内訳名称は、ユーザコードメンテナンスで設定した名称となります。

## ユーザコードメンテナンス

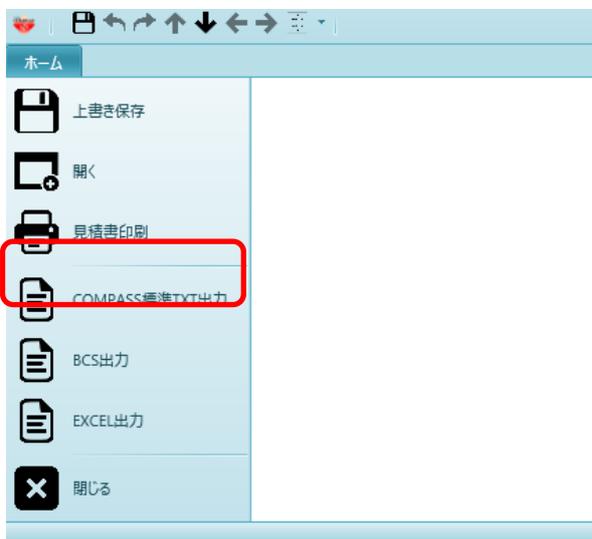
The screenshot shows the 'ユーザコードメンテナンス' (User Code Maintenance) application window. The window title is 'ユーザコードマスターメンテナンス'. The interface includes a ribbon with various icons for editing and data management. A table displays user codes and their names. At the bottom, there are buttons for 'EXCELインポート', 'EXCELエクスポート', '行挿入', '行削除', '上書き保存', and '閉じる'.

ユーザコード 1 (*)	名称
1 0000	ユーザ0
2 0010	ユーザ1
3 0020	ユーザ2
*	

### 3. 1. 6 COMPASS標準TXT出力

編集中の物件をCOMPASS標準テキスト形式ファイルで出力します。

1)メニューの、[COMPASS標準TXT出力]をクリックします。



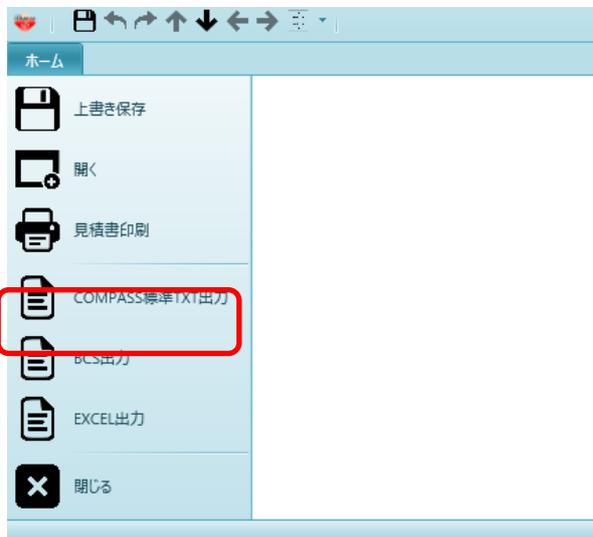
2)COMPASS標準データ提供画面が表示されます。



### 3. 1. 7 BCS出力

編集中の物件をBCS形式ファイルで出力します。

1)メニューの、[BCS出力]をクリックします。



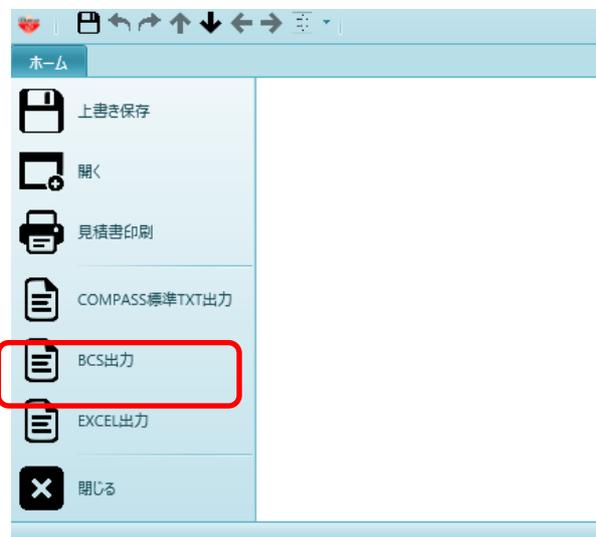
2)BCS形式データ提供画面が表示されます。



### 3. 1. 8 EXCEL出力

編集中の物件をEXCELファイルで出力します。

1)メニューの、[EXCEL出力]をクリックします。



2)EXCELデータ提供画面が表示されます。



### 3. 1. 9 COMPASS標準CSV出力

編集中の物件をCOMPASS標準CSV形式ファイルで出力します。

1)メニューの、[COMPASS標準CSV出力]をクリックします。



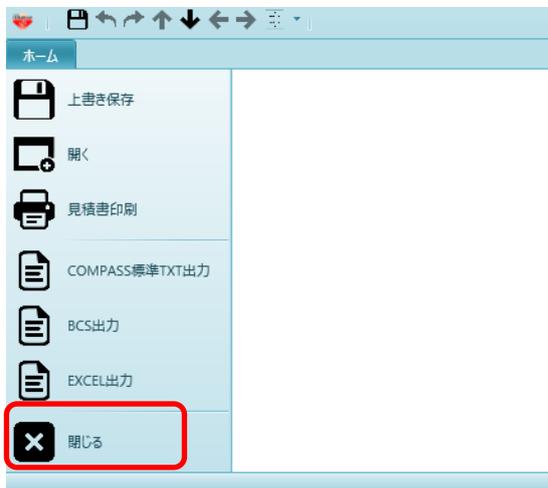
2)COMPASS標準データ提供画面が表示されます。



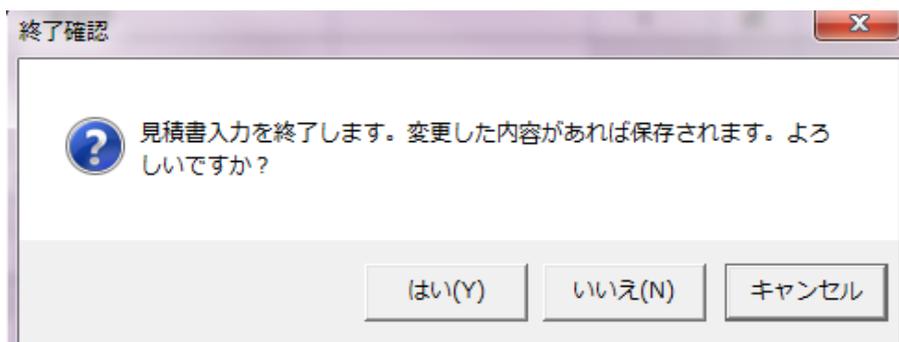
### 3. 1. 10 閉じる

編集中の物件を終了します。

1)メニューの、[閉じる]をクリックします。

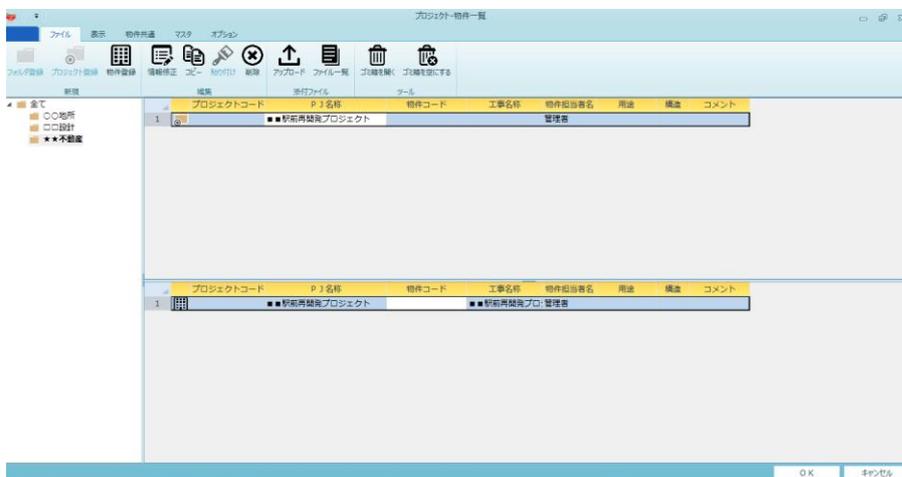


2)見積データの変更がある場合、確認画面が表示されます。



はいで変更内容を保存します。いいえは保存しません。  
キャンセルで元の画面に戻ります。

3)プロジェクト・物件一覧画面を表示します。



## 3.2 お気に入り

リボンメニューの[お気に入り]タブをクリックします。  
[お気に入り]タブは以下の機能より構成されます。



- ・設定 ユーザー毎によく使う機能を登録し、メニューを作成します。

### お気に入りの設定例



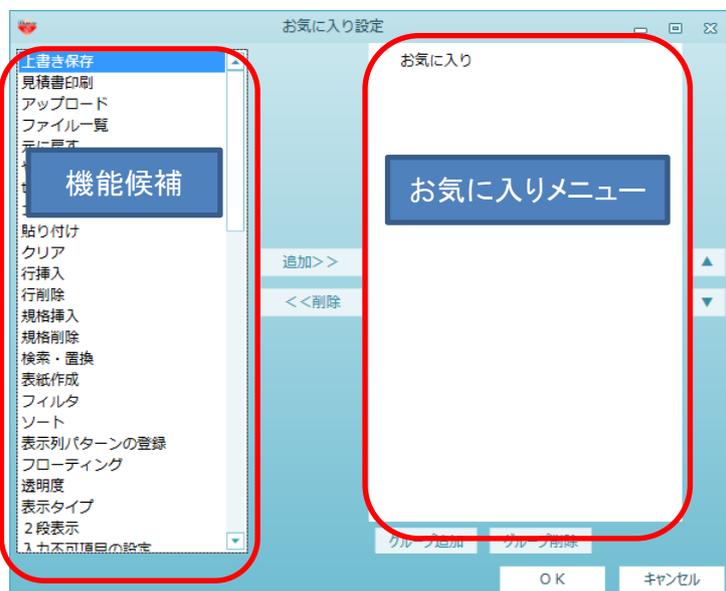
### 3.2.1 設定

ユーザー専用のメニューを作成することができます。  
よく使う機能などを集めて、自分が使いやすいように並べて利用することができます。

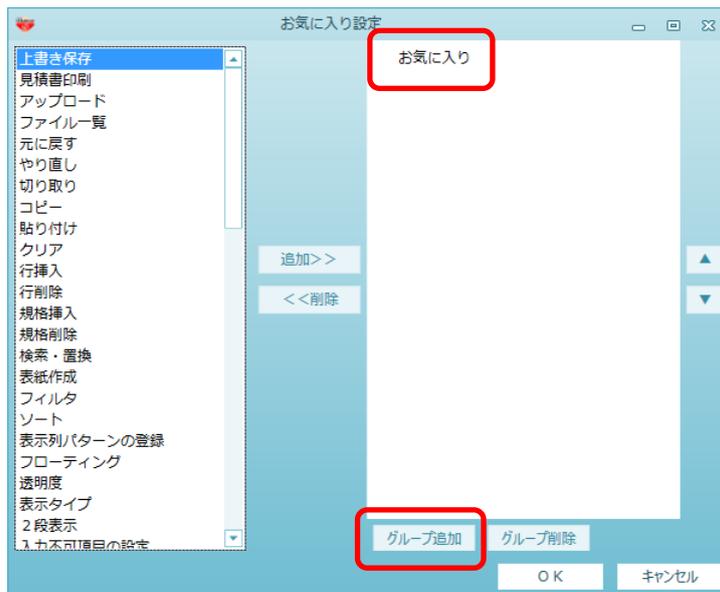
- 1)リボンメニューの[お気に入り]タブの[設定]をクリックします。



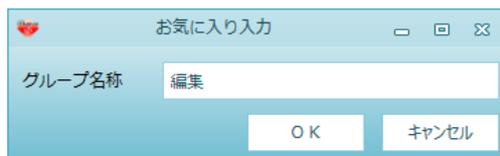
- 2)お気に入り設定画面が表示されます。



- 3) 右側が[お気に入り]のリボンメニューに表示される項目、左側が機能候補一覧になります。  
メニューのグループを作成するため、「お気に入り」をクリックしグループ追加をクリックします。

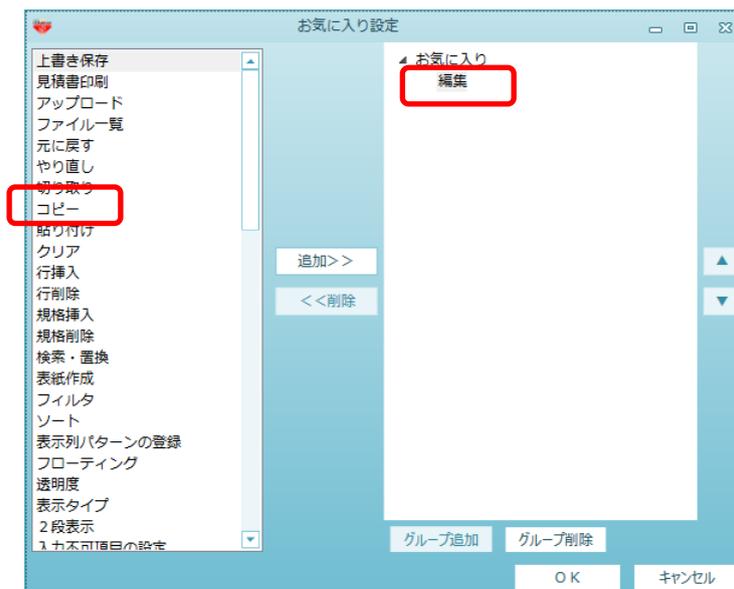


- 4) グループ名称の入力ダイアログが表示されるので、グループ名を入力し、OKをクリックします。

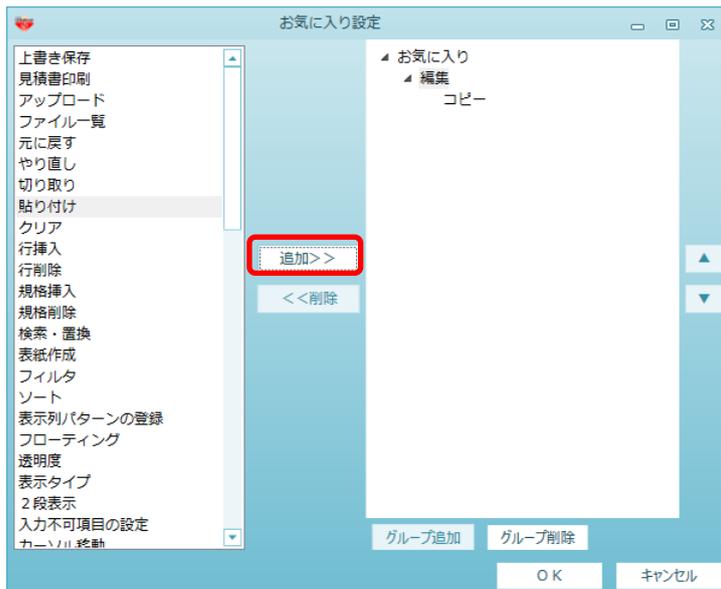


※リボンメニューに追加する機能は、グループ毎に登録する必要があるため、先にグループを作成します。

- 5) グループ名が表示されます。

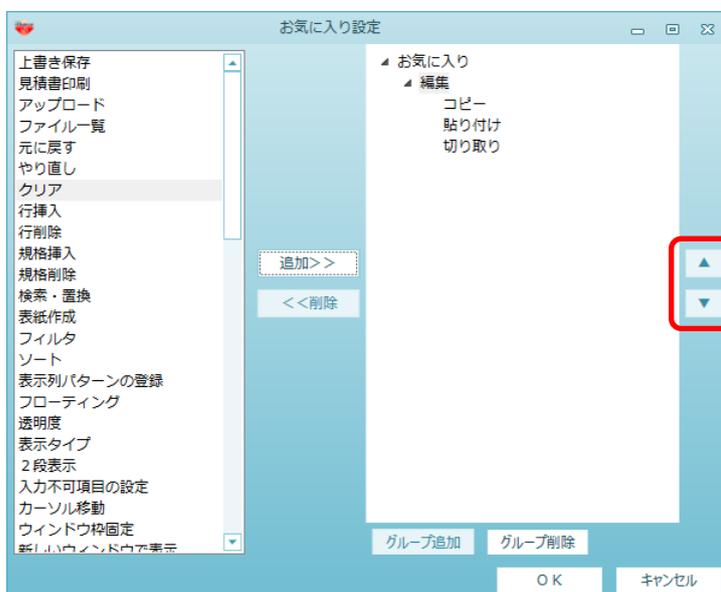


6) グループに属する機能を選択し追加します。



左の一覧から項目を選択し、追加したいグループをクリックし [追加] ボタンをクリックすると、メニューに追加されます。

7) 画面右端にある ▲ ▼ ボタンで順番を変更できます。



切り取りを選択し、▲をクリックし、切り取りを先頭に移動させます。

8) OKをクリックすると、お気に入りタブにグループと機能が追加されます。



### 3.3 ファイル

リボンメニューの「ファイル」タブをクリックします。  
「ファイル」タブは以下の機能より構成されます。



- ・アップロード 物件単位に管理するファイルに関連付けます。
- ・ファイル一覧 物件単位に関連付けられたファイルの一覧を表示します。

#### 3.3.1 アップロード

図面ファイルやカタログのファイルなどを、フォルダやプロジェクト単位で管理することができます。

- 2.2.8 アップロードと同じ機能となります。  
詳細はそちらを参照してください。

#### 3.3.2 ファイル一覧

アップロードされたファイルの一覧画面を表示します。

- 2.2.9 ファイル一覧と同じ機能となります。  
詳細はそちらを参照してください。

### 3.4 編集

リボンメニューの「編集」タブをクリックします。  
「編集」タブは以下の機能より構成されます。



- ・元に戻す  
・やり直し  
・切り取り  
・コピー
- 直前に操作した内容を元に戻します。  
「元に戻す」で元に戻した操作をやり直します。  
指定した項目、行を切り取ります。  
指定した項目、行をコピーします。
- ・貼り付け  
  貼り付け  
  貼り付け(回数指定)  
  マイナス貼り付け  
  前行データ貼り付け
- 切り取りまたはコピーした項目、行を貼り付けます。  
コピーした行を指定した行数分貼り付けます。  
コピーした行の数量の符号を反転して貼り付けます。  
指定した行の前の行を挿入貼り付けします。
- ・クリア
- 指定した項目、行をクリアします。
- ・行挿入  
  行挿入  
  計行挿入  
  コメント行挿入
- 空白行を挿入します。  
計行を挿入します。  
コメント行を挿入します。
- ・行削除  
  下位階層を含む行削除  
  選択階層のみ行削除  
  行削除
- 選択した内訳行と下位階層データを削除します。  
選択した内訳行削除し下階層を1階層上に上げます。  
指定した明細行を削除します。
- ・規格挿入  
・規格削除
- 規格行を挿入します。  
規格行を削除します。
- ・検索・置換
- 条件を設定し、データの検索、置換をします。
- ・表紙作成
- 規定の表紙とは別に表紙を作成します。

### 3. 4. 1 元に戻す

直前に操作した編集処理を取消、元に戻します。

- 1) リボンメニューの[編集]タブから、[元に戻す]をクリックします。  
直前の操作内容が元に戻ります。



編集後 単価: 100,000

異形鉄筋	SD295A D16	4.6	t	100,000	460,000
------	------------	-----	---	---------	---------

編集前 単価: 105,000

異形鉄筋	SD295A D16	4.6	t	105,000	483,000
------	------------	-----	---	---------	---------



- ※元に戻すメニューがオフの場合は戻りません。
- ※下位階層を持つ内訳データや、別紙明細データを持つ明細データを削除した後は元に戻すことはできません。

### 3. 4. 2 やり直し

「元に戻す」で元に戻した操作をやり直します。

- 1) リボンメニューの[編集]タブから、[やり直し]をクリックします。  
元に戻した操作をやり直します。



※3. 4. 1 元に戻す を参照してください。

### 3. 4. 3 切り取り

指定した文字、項目または行を切り取ります。

- 1) 切り取りたい文字の範囲をカーソルで設定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[切り取り]をクリックします。
  - ・右クリックメニューから、[切り取り]をクリックします。



※行全体を行う場合は対象行の行Noを選択した状態で切り取ります。

### 3. 4. 4 コピー

コピーしたい文字、項目または行を選択します。

- 1) コピーしたい文字の範囲をカーソルで設定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[コピー]をクリックします。
  - ・右クリックメニューから、[コピー]をクリックします。



※行全体を行う場合は対象行の行Noを選択した状態でコピーします。

### 3. 4. 5 貼り付け

切り取りまたはコピーした内容を選択した項目または行に貼り付けます。

- 1) 貼り付けたい項目、行を設定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[貼り付け]をクリックし、貼り付けを選択します。
  - ・右クリックメニューから、[貼り付け]をクリックし、貼り付けを選択します。

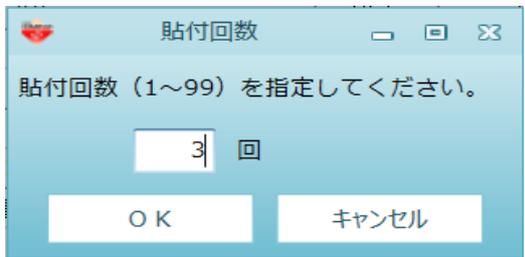


※行単位の貼り付けは、指定した行の直前に挿入されます。

### 3. 4. 6 貼り付け(回数指定)

コピーした行を、指定した行の直前に指定した行数分挿入します。

- 1) 貼り付けたい行をコピーした後に、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[貼り付け]をクリックし、貼り付け(回数指定)を選択します。
  - ・右クリックメニューから、[貼り付け]をクリックし、貼り付け(回数指定)を選択します。



色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000

### 3. 4. 7 マイナス貼り付け

コピーした行を、指定した行の直前に数量の符号を反転して挿入します。

- 1) 貼り付けたい行をコピーした後に、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[貼り付け]をクリックし、マイナス貼り付けを選択します。
  - ・右クリックメニューから、[貼り付け]をクリックし、マイナス貼り付けを選択します。



### 3.4.8 前行データ貼り付け

指定した行の直前に、直前にある行と同じ行を挿入します。

- 1) 貼り付けたい行の次の行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[貼り付け]をクリックし、前行データ貼り付けを選択します。
  - ・右クリックメニューから、[貼り付け]をクリックし、前行データ貼り付けを選択します。



### 3.4.9 クリア

指定した項目または行をクリアします。

- 1) クリアしたい項目、行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[クリア]をクリックします。
  - ・右クリックメニューから、[クリア]をクリックします。



### 3. 4. 10 行挿入

選択した行の前行に空白行を挿入します。

- 1) 直前に空白行を挿入したい行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[行挿入]をクリックし、行挿入を選択します。
  - ・右クリックメニューから、[行挿入]をクリックし、行挿入を選択します。



### 3. 4. 11 計行挿入

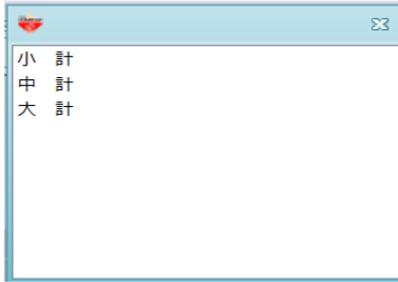
選択した行の前行に計行を挿入します。

- 1) 直前に計行を挿入したい行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[行挿入]をクリックし、計行挿入を選択します。
  - ・右クリックメニューから、[行挿入]をクリックし、計行挿入を選択します。



## 2) 計区分の選択

挿入する計行の計区分を選択すると計行が挿入されます。



見積書入力

編集

表示列パターン NET確認用(明細)

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	30	t	110,000	3,300,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	70	t	130,000	9,100,000
	直接入力	計		小計		1		12,400,000	12,400,000

## 3. 4. 12 コメント行挿入

選択した行の前行にコメント行を挿入します。

1) 直前に計行を挿入したい行を指定して、以下の操作を行います。

- ・リボンメニューの[編集]タブから、[行挿入]をクリックし、計行挿入を選択します。
- ・右クリックメニューから、[行挿入]をクリックし、計行挿入を選択します。

見積書入力

編集

表示列パターン NET確認用(明細)

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	30	t	110,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	70	t	130,000
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D16	10.5	t	130,000

見積書入力

編集

表示列パターン NET確認用(明細)

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	30	t	110,000
	直接入力	コメント						
	直接入力	明細		異形鉄筋	S0295A D10	70	t	130,000

### 3. 4. 13 下位階層を含む行削除

選択した内訳行と下位階層にあるデータを削除します。

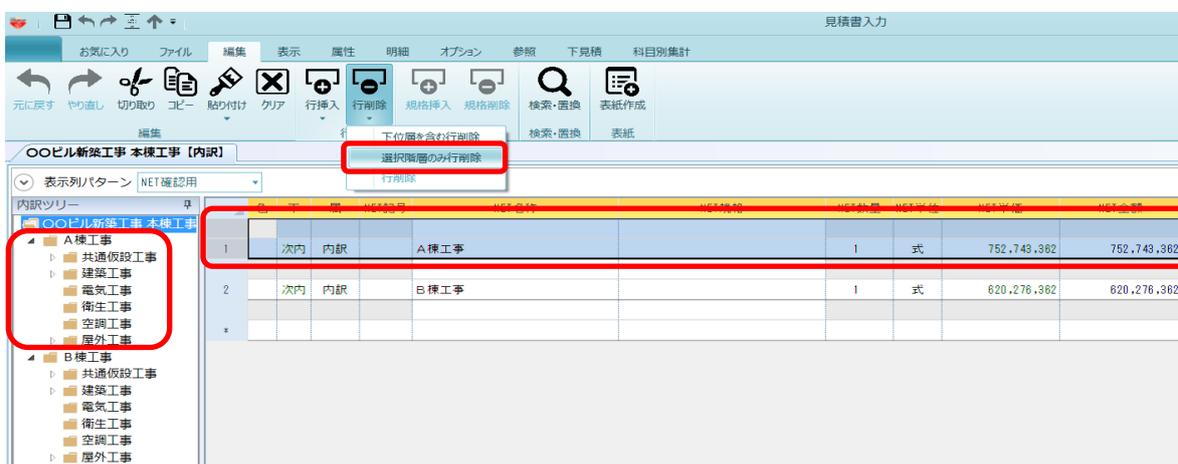
- 1) 削除したい内訳行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[行削除]をクリックし、下位階層を含む行削除を選択します。
  - ・右クリックメニューから、[行削除]をクリックし、下位階層を含む行削除を選択します。



### 3. 4. 14 選択階層のみ行削除

選択した内訳行のみ削除し、下位階層にあるデータの階層を1階層上にあげます。

- 1) 削除したい内訳行を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[行削除]をクリックし、選択階層のみ行削除を選択します。
  - ・右クリックメニューから、[行削除]をクリックし、選択階層のみ行削除を選択します。



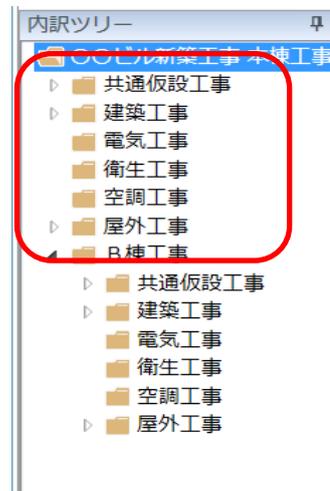
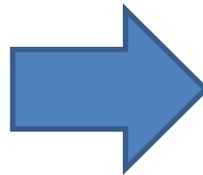
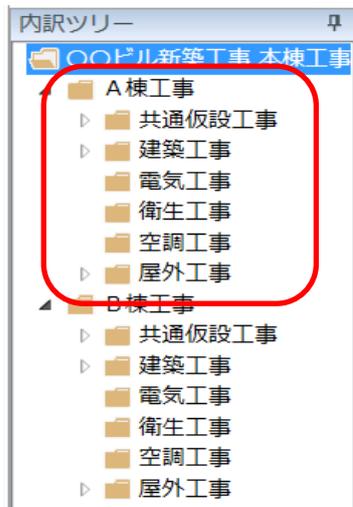
見積書入力

編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

編集 ツールバー: 元に戻す, やり直し, 切り取り, コピー, 貼り付け, クリア, 行挿入, 行削除, 規格挿入, 規格削除, 検索・置換, 表紙作成

表示列パターン: NET確認用

色	下	属	NET記号	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	1	次内	内訳	共通仮設工事		1	式	34,357,835	34,357,835
	2	次内	内訳	建築工事		1	式	442,826,005	442,826,005
	3	次内	内訳	電気工事		1	式	91,440,000	91,440,000
	4	次内	内訳	衛生工事		1	式	42,260,000	42,260,000
	5	次内	内訳	空調工事		1	式	94,027,000	94,027,000
	6	次内	内訳	屋外工事		1	式	47,832,522	47,832,522
	7	次内	内訳	B棟工事		1	式	620,276,362	620,276,362



### 3.4.15 行削除

選択した明細行を削除します。

1) 削除したい明細行を指定して、以下の操作を行います。

- ・リボンメニューの[編集]タブから、[行削除]をクリックし、行削除を選択します。
- ・右クリックメニューから、[行削除]をクリックし、行削除を選択します。

見積書入力

編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

編集 ツールバー: 元に戻す, やり直し, 切り取り, コピー, 貼り付け, クリア, 行挿入, 行削除, 規格挿入, 規格削除, 検索・置換, 表紙作成

表示列パターン: NET確認用(明細)

右クリックメニュー: 下位層を含む行削除, 選択範囲のみ行削除, 行削除

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
		直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000
	2	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
	3	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000

### 3. 4. 16 規格挿入

選択した規格の前に規格行を挿入します。

- 1) 規格を挿入したい明細の規格名称を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[規格挿入]をクリックします。
  - ・右クリックメニューから、[規格挿入]をクリックします。

見積書入力

お気に入り ファイル 編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

元に戻す やり直し 切り取り コピー 貼り付け クリア 行挿入 行削除 規格挿入 規格削除 検索・置換 表紙作成

編集 行 規格 検索・置換 表紙

〇〇ビル新築工事 本棟工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細)

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
1	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000
2	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000
3	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000

内訳ツリー

- 〇〇ビル新築工事 本棟工事
  - 共通仮設工事
  - 建築工事
    - 直接仮設工事
    - 土工事
    - 地業工事
    - コンクリート工事
    - 型枠工事

### 3. 4. 17 規格削除

選択した規格行を削除します。

- 1) 規格を削除したい明細の規格名称を指定して、以下の操作を行います。
  - ・リボンメニューの[編集]タブから、[規格削除]をクリックします。
  - ・右クリックメニューから、[規格削除]をクリックします。

見積書入力

お気に入り ファイル 編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

元に戻す やり直し 切り取り コピー 貼り付け クリア 行挿入 行削除 規格挿入 規格削除 検索・置換 表紙作成

編集 行 規格 検索・置換 表紙

〇〇ビル新築工事 本棟工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細)

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価
1	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000
2								
3	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000

内訳ツリー

- 〇〇ビル新築工事 本棟工事
  - 共通仮設工事
  - 建築工事
    - 直接仮設工事
    - 土工事
    - 地業工事
    - コンクリート工事
    - 型枠工事

見積書入力

お気に入り ファイル 編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

元に戻す やり直し 切り取り コピー 貼り付け クリア 行挿入 行削除 規格挿入 規格削除 検索・置換 表紙作成

編集 行 規格 検索・置換 表紙

〇〇ビル新築工事 本棟工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細)

内訳ツリー

- 〇〇ビル新築工事 本棟工事
  - 共通仮設工事
  - 建築工事
    - 直接仮設工事
    - 土工事
    - 地業工事
    - コンクリート工事
    - 型枠工事

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000	
2	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000	
3	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000	

### 3. 4. 18 排除

選択した行を計算、印刷の対象外にします。

1)内訳行または明細行をクリックし、右クリックメニューから、[排除]をクリックします。

見積書入力

お気に入り ファイル 編集 表示 属性 明細 オプション 参照 下見積 科目別集計

元に戻す やり直し 切り取り コピー 貼り付け クリア 行挿入 行削除 規格挿入 規格削除 検索・置換 表紙作成

編集 行 規格 検索・置換 表紙

〇〇ビル新築工事 本棟工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細)

内訳ツリー

- 〇〇ビル新築工事 本棟工事
  - 共通仮設工事
    - 準備費
    - 仮設建物
    - 借地・借家
    - 機械器具
    - 電気・給排水施設
    - 電気上下水道ガス料金
    - 整理清掃
    - 環境安全
    - その他
  - 建築工事
    - 直接仮設工事
      - やかた
      - 足場
      - 機械器具
      - 整理清掃
      - 災害防止
    - A棟工事
      - 土工事
      - 地業工事

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000	
2	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000	
3	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000	
4	直接入力	明細	異形鉄筋	SD345 D25			100,000	1,330,000	
5	直接入力	明細	鉄筋加工組立(基礎)	結束線・スレ・サブロック共加工材運搬費共			52,200	4,630,140	
6									
7	直接入力	明細	鉄筋加工組立(地上)	結束線・スレ・サブロック共加工材運搬費共				32,400	
8									

右クリックメニュー: マスタ参照, 上位階層へ, 下位階層へ, 前の階層へ, 次の階層へ, 最上位階層へ, コピー, 切り取り, 貼り付け, 行挿入, 排除, 前画面, 後画面

#### ①する(排除を設定)

指定した行がグレー表示になり、排除状態になります。  
 排除された行は、計算対象外となり、印刷されませんが、データは削除されません。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000	
2	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000	
3	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000	

↓

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000	
2	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000	
3	直接入力	明細	異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000	

### ②しない(排除を解除)

排除した行の排除状態が解除され、グレー表示から排除前の色に戻ります。  
解除された行は、計算対象となり、印刷されます。

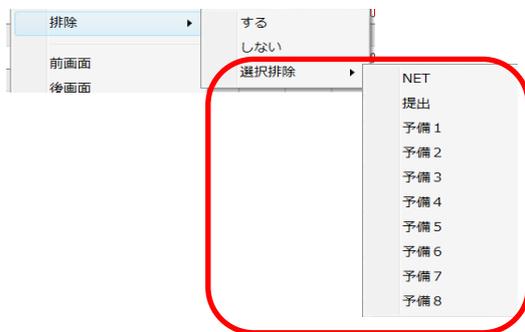
色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000
2	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000
3	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	30	t	110,000	3,300,000
2	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000
3	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D16	10.5	t	130,000	1,365,000

### ③選択排除

選択した行の、指定した列のみ排除されます。  
NETを選択した場合は、NETのみグレー表示になり、計算と印刷の対象外となります。



### 3. 4. 19 検索・置換

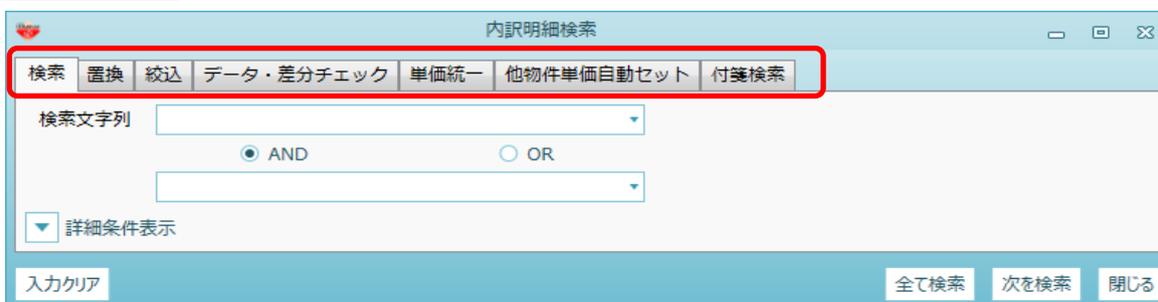
指定した条件で、同一の文字列データの検索、置換、絞込や、内訳・明細一括変換処理、差分データチェックを行います。

1)リボンメニューの[編集]タブから、[検索・置換]をクリックします。



内訳明細検索画面が表示されます。画面のタブをクリックし検索・置換機能を選択します。

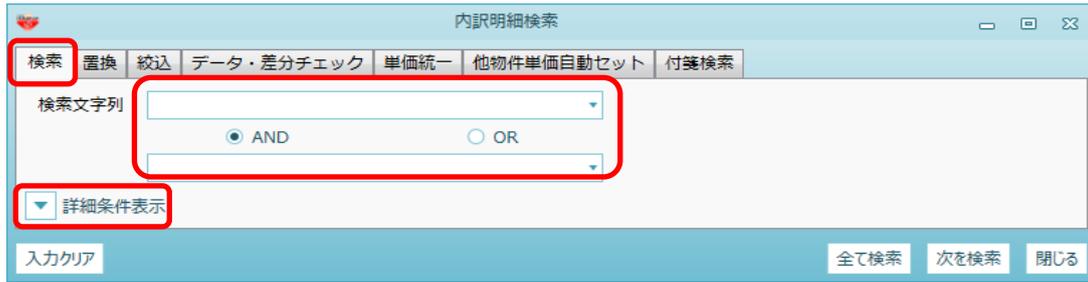
#### 内訳明細検索



- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| ・検索         | 指定した条件と一致したデータを表示します。         |
| ・置換         | 指定した条件と一致したデータを表示し置換します。      |
| ・絞込         | 指定した条件と一致したデータを表示し編集します。      |
| ・データ・差分チェック | データチェック・差分チェックと一致したデータを表示します。 |
| ・単価統一       | 単価を統一します。                     |
| ・他物件単価自動セット | 他物件の単価をセットします。                |
| ・付箋検索       | 付箋を付けたデータを表示します。              |

# ①検索

検索文字列に検索する文字を入力します。



## ・詳細条件表示

対象とするデータの規定値は列:NET、階層:明細、項目:名称です。  
変更する場合は、詳細条件表示をクリックし変更します。



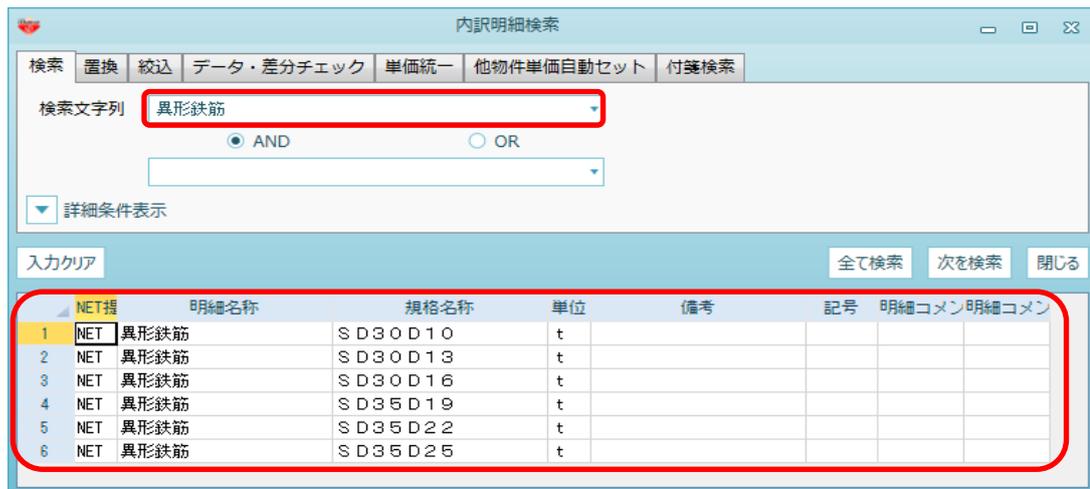
## 検索対象

- 対象列群
- 対象内訳明細
- 対象項目
- 対象項目(コード)
- 明細処理範囲
- 検索する期間
- 科目・細目検索

- NET、提出、予備1～8を選択します。
- 内訳または明細どちらを検索
- 検索する項目を指定します。
- 検索する項目を指定します。
- 検索する処理範囲を指定します。
- 検索する期間を指定します。
- 検索する科目・集計を指定します。

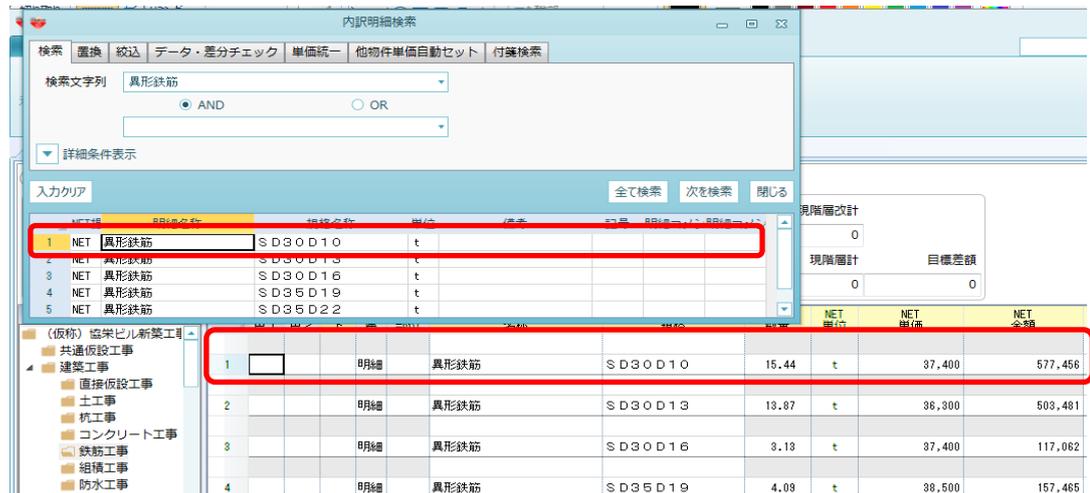
・全て検索

設定された条件のデータを対象に、検索文字列と一致するデータを一括して表示します。



・次を検索

設定された条件のデータを対象に、検索文字列と一致するデータにカーソル移動します。



## ②置換

検索文字列に検索する文字を入力し、置換文字列に置換する文字を入力します。

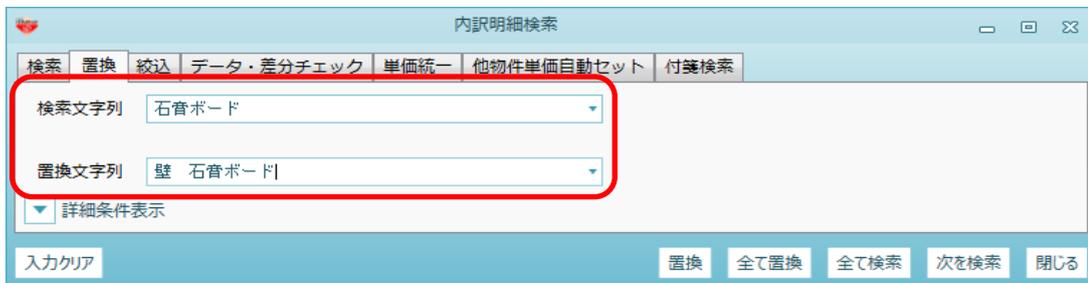


### ・詳細条件表示

①検索と同じです。

### ・置換

指定した行で、検索文字列と一致するデータを置換文字列に変換します。



5	直接入力	明細	石膏ボード	1張 t=9.5 不燃	520	m2	2,000	1,040,000
6								

↓

5	直接入力	明細	壁 石膏ボード	1張 t=9.5 不燃	520	m2	2,000	1,040,000
6								

### ・全て置換

設定された条件のデータを対象に検索文字列と一致するデータを一括して置換します。

### ・全て検索

①検索と同じです。

### ・次を検索

①検索と同じです。

### ③絞込

検索文字列に検索する文字を入力します。



- ・詳細条件表示  
検索と同じです。

#### ・絞込

絞込をクリックすると検索文字列と一致するデータを一括して表示します。  
データを修正して、更新をクリックするとデータが変更されます。  
絞込結果で単価シミュレーション・数量シミュレーションを行えます。

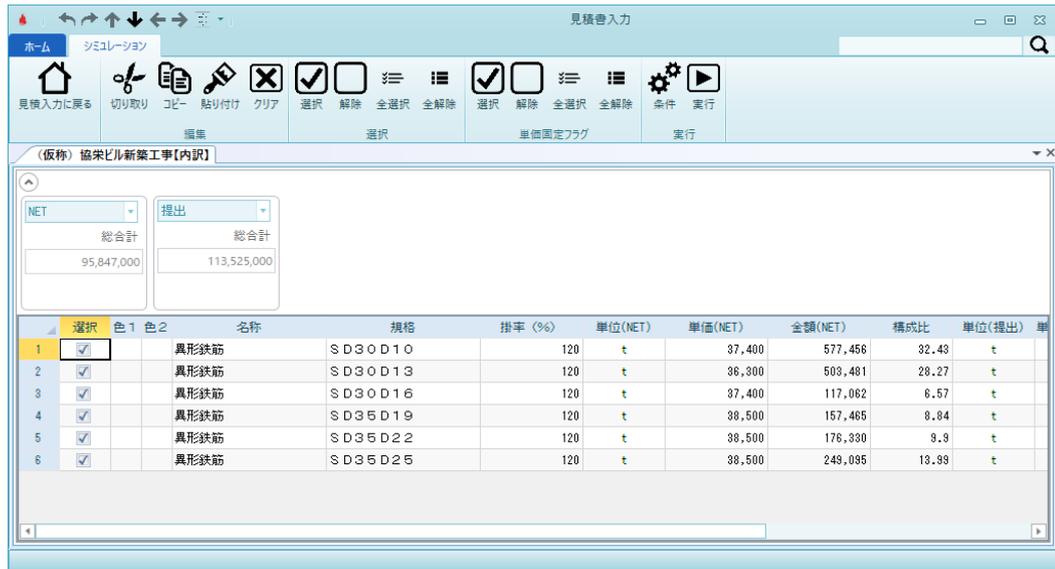


	明細	明細	明細	階層名称	部位名称	NET明細名称	NET規格名称	NET明細全	NET明細数量	NET明細単価	NET明細金額	NET明細備考	NET提出明細
1				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 0		15.44	t	37,400	577,456	
2				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 3		13.87	t	38,300	509,481	
3				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 6		3.13	t	37,400	117,062	
4				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 5 D 1 9		4.09	t	38,500	157,465	
5				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 5 D 2 2		4.58	t	38,500	176,330	
6				明細 / 建築工事/鉄筋		異形鉄筋	S D 3 5 D 2 5		6.47	t	38,500	249,035	

- ・絞込結果で単価シミュレーション  
メニュータブから[単価シミュレーション]をクリックします。



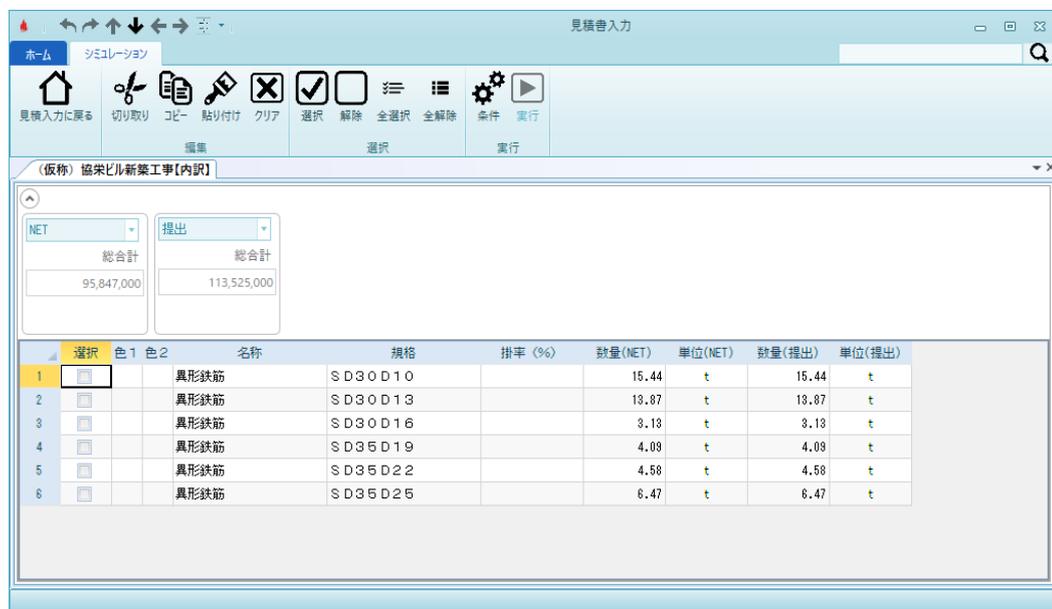
絞込結果で単価シミュレーションを行えます。



- ・絞込結果で数量シミュレーションメニュータブから[単価シミュレーション]をクリックします。



絞込結果で数量シミュレーションを行えます。



④データ・差分チェック  
データチェック、差分チェックの処理があります。

対象階層 内訳または明細から対象とする階層を選択します。  
 対象範囲 検索範囲を指定します。  
 レコード属性 検索するレコード属性を指定します。

・データチェック

データチェック条件、対象列を選択し[チェック]ボタンをクリックします。  
 条件に一致するデータを一覧表示します。  
 チェック結果で単価シミュレーション・数量シミュレーションを行えます。

明細	明細	明細	階層名称	部位名称	NET明細名称	NET規格名称	NET明細金	NET明細数量	NET明細単価	NET明細金額
1			明細 / 建築工事/直接	乗入構台				1 式	0	0
2			明細 / 建築工事/杭工	場所打杭	700φ L=8.9			5 本	0	0
3			明細 / 建築工事/杭工	場所打杭	800φ L=8.9			3 本	0	0
4			明細 / 建築工事/杭工	場所打杭	1000φ L=8.9			4 本	0	0

・差分チェック

・比較対象

数量  
単位  
単価  
金額

### 数量チェックの場合

内訳明細検索

検索 置換 絞込 内訳・明細一括処理 差分データチェック

対象階層  
 内訳  
 明細  
 二次以降

対象範囲  
 全階層  
 表示階層以下  
 表示階層のみ

レコード属性  
 明細・コメント属性  
 明細属性のみ

差分チェック

比較対象1 NET 比較対象2 提出

数量  
 NET ≠ 提出  
 NET と 提出 の数量± %以上

データ比較

メニュー  
行削除 一括削除  
フィルタOFF ソートOFF  
編集 ソートフィルター

名称	規格	数量		単位	単価		金額		備考
		NET 提出	差分		NET 提出	差分	NET 提出	差分	
1 場内仮道路	鉄板 t=22 運搬10tﾄﾗｯｸ	1,000	-1,000	m2	2,390	0	2,390,000	-2,390,000	
		2,000			2,390		4,780,000		
2 場内仮道路	鉄板 t=22 運搬10tﾄﾗｯｸ	1,000	-1,000	m2	2,470	0	2,470,000	-2,470,000	
		2,000			2,470		4,940,000		
3 異形鉄筋	SD295A D10	40	-10.45	t	110,000	10,000	4,400,000	-645,000	
		50.45			100,000		5,045,000		
4 異形鉄筋	SD345 D25	15.7	2.4	t	110,000	10,000	1,727,000	397,000	
		13.3			100,000		1,330,000		
5 異形鉄筋	SD295A D16	10.5	3.7	t	130,000	10,000	1,365,000	549,000	
		6.8			120,000		816,000		
6 異形鉄筋	SD295A D10	70	24.1	t	130,000	10,000	9,100,000	3,592,000	
		45.9			120,000		5,508,000		

更新 キャンセル

⑤ 単価統一

対象レコードと一致させる項目を設定し、単価を一括で対象レコードの単価をコピーします。

内訳明細検索

検索 置換 絞込 データ・差分チェック **単価統一** 他物件単価自動セット 付箋検索

対象階層:  内訳  明細  二次以降

対象範囲:  全階層  表示階層以下  表示階層のみ

レコード属性:  明細・コメント属性  明細属性のみ

単価統一

対象項目:  部位  名称  規格  数量  単位  単価  金額  備考

NET

	部位名称	明細名称	規格名称	NET数量	NET単位	NET明細単価	NET明細金額
1		根切	機械	206 m3		1,100	226,600

単価 = 0 の明細のみ  全ての明細

単価統一

入力クリア 閉じる

対象項目  
対象レコード

チェックを付けた項目が一致する場合に単価をコピーします。  
単価統一する対象レコードが表示されます。

絞込対象一覧

メモリー

コメント色クリア フィルタOFF ソートOFF

編集 ソートフィルター

	明細コメント	明細コメント 2	部位名称	NET明細名称	NET規格名称	NET明細数量	NET単位名称	NET明細単価	NET明細金額	NET明細備考
1				異形鉄筋	S0295A D10	40 t		110,000	4,400,000	
2				異形鉄筋	S0295A D10	70 t		130,000	9,100,000	
3				異形鉄筋	S0295A D16	10.5 t		130,000	1,365,000	
4				異形鉄筋	S0345 D25	15.7 t		110,000	1,727,000	
5				異形鉄筋	S0295A D10	2.1 t		108,000	226,800	
6				異形鉄筋	S0295A D13	3.8 t		106,000	402,800	

⑥ 他物件単価自動セット

他物件の単価を自動セットします。

内訳明細検索

検索 置換 絞込 データ・差分チェック **他物件単価自動セット** 付箋検索

対象階層:  内訳  明細  二次以降

対象範囲:  全階層  表示階層以下  表示階層のみ

レコード属性:  明細・コメント属性  明細属性のみ

他物件単価自動セット NET

対象項目:  部位  名称  規格  数量  単位  単価  金額  備考

参照物件

他物件参照

単価 = 0 の明細のみ  全ての明細

内部・外部を識別する  内部・外部を識別しない

1式データは対象外にする  科目コードも一致条件に加える

単価自動セット

入力クリア 閉じる

⑦付箋検索  
 設定した付箋の色と一致するデータを検索します。



付箋セット  
 付箋クリア  
 付箋一括検索  
 付箋検索

現在編集している物件の付箋色をセットします。  
 付箋1～12の色をクリアします。  
 付箋が付いている内訳・明細を一括検索します。  
 付箋1～12で付けた色を検索します。



### 3. 4. 20 表紙作成

規定の表紙とは別に表紙の作成を行います。表紙作成で作成した表紙は印刷設定画面で設定し使用します。

1)リボンメニューの[編集]タブから、[表紙作成]をクリックします。

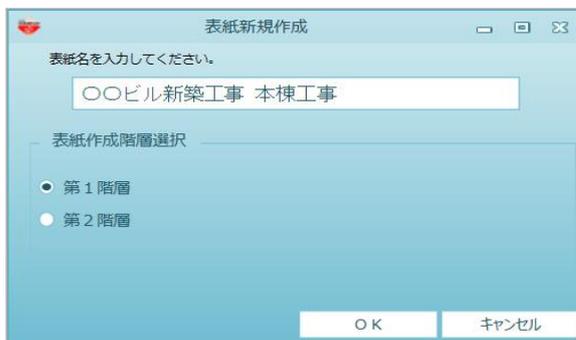


表示一覧が表示されます。

- ・新規作成 表紙を新規に作成します。
- ・削除 指定した表紙を削除します。
- ・名前の変更 指定した表示の名称を変更します。
- ・OK 表紙を表示します。
- ・閉じる 閉じます。

2)新規作成

新規作成をクリックすると新規作成画面が表示されます。  
表紙名を入力して、階層を選択します。



OKをクリックすると表紙データが表示されます。  
表紙の編集ができます。

表紙作成

編集

切り取り コピー 貼り付け 属性設定 展開 行挿入 行削除

NET

現業総合計 753,843,382

属性	計	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
M	0	〇〇ビル新築工事 本棟工事						
M	1	共通施設工事			1式	34,357,835	34,357,835	
M	1	建築工事			1式	443,926,005	443,926,005	
M	1	電気工事			1式	91,440,000	91,440,000	
M	3	衛生工事			1式	42,260,000	42,260,000	
M	1	空調工事			1式	94,027,000	94,027,000	
M	1	屋外工事			1式	47,832,522	47,832,522	
	8							

- ・切り取り 指定した項目、行を切り取ります。
- ・コピー 指定した項目、行をコピーします。
- ・貼り付け 切り取りまたはコピーした項目、行を貼り付けます。

- ・属性設定 指定した行の属性を設定します。

属性設定

属性設定

内訳行  
 計行  
 消費税行  
 出精値引行

OK キャンセル

- ・展開 見積書入力の変更内容を表紙に展開します。

展開

対象単価

NET  
 提出  
 予備 1  
 予備 2  
 予備 3  
 予備 4  
 予備 5  
 予備 6  
 予備 7  
 予備 8

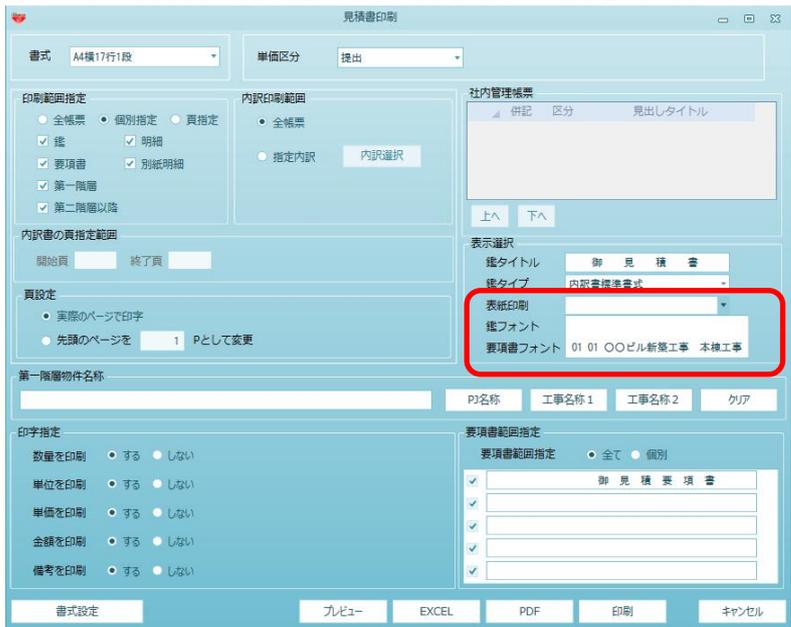
展開項目

名称  
 規格  
 数量  
 単位  
 単価  
 金額  
 備考

OK キャンセル

- ・行挿入 空白行を挿入します。
- ・行削除 選択した行を削除します。

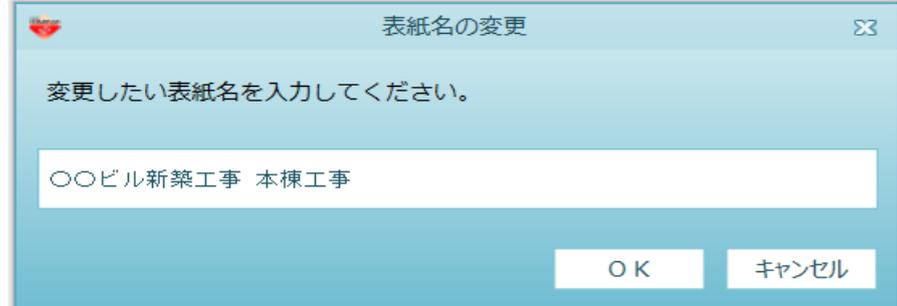
※作成した表紙は見積書印刷の表示選択で設定し出力します。



3) 削除  
表紙作成で作成した表紙データを削除します。



4) 名称の変更  
表紙データの名称を変更します。



### 3.4.21 物件差分比較

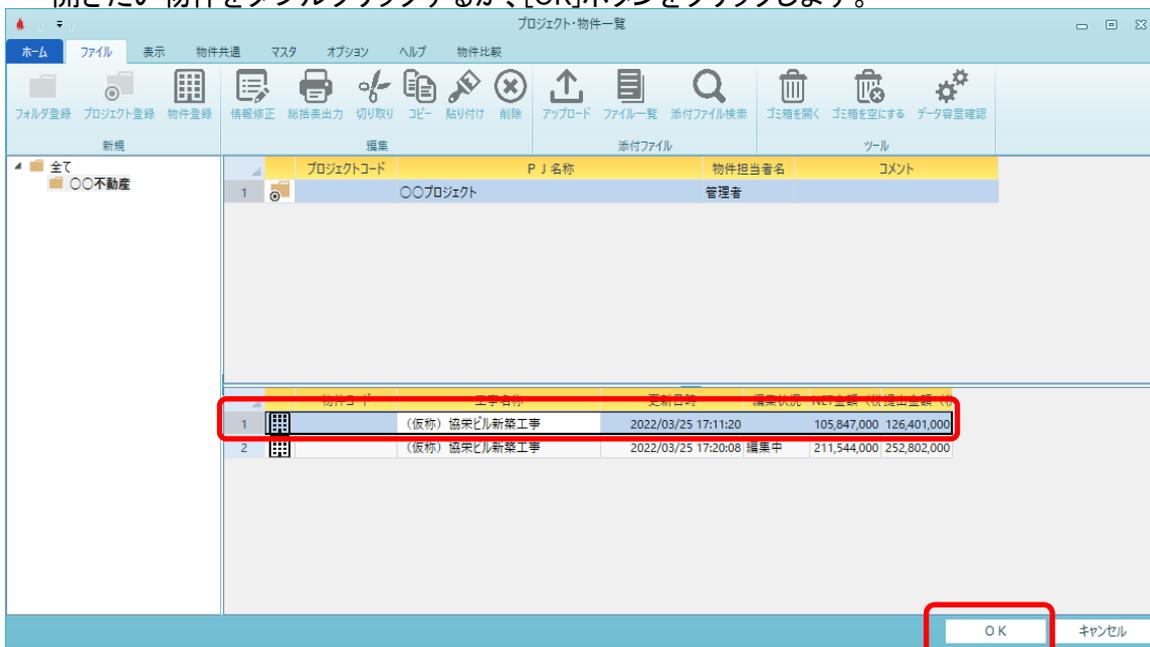
別物件との比較を行い、差分を色を付けて表示します。

1) リボンメニューの[編集]タブから、[物件差分比較]をクリックします。

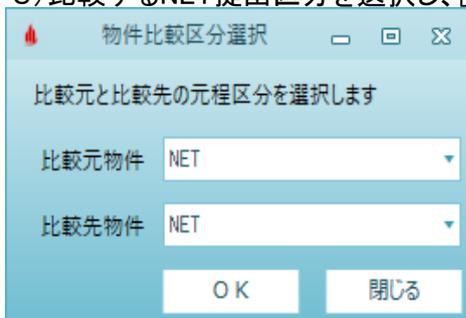


2) プロジェクト・物件一覧が表示されます。

開きたい物件をダブルクリックするか、[OK]ボタンをクリックします。



3) 比較するNET提出区分を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



4) 差分のある行が色付けされて表示されます。

- ・EXCEL出力  
比較の一覧を色がついた状態で出力します。
- ・前の差異へ  
選択行より前の差分のある行へカーソルが移動します。
- ・次の差異へ  
選択行より後の差分のある行へカーソルが移動します。
- ・ダブルクリック  
見積書入力画面で、ダブルクリックした行へ移動します。

### 3.5 表示

リボンメニューの「表示」タブをクリックします。  
「表示」タブは以下の機能より構成されます。



- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| ・表示列パターンの登録 | 表示列パターンの登録、変更をします。        |
| ・列幅を既定値に戻す  | 列幅を既定値に戻します。              |
| ・フローティング    | 内訳ツリーを浮動させます。             |
| ・透明度        | フローティングした内訳ツリーの透明度を設定します。 |
| ・表示行数切替     | 見積明細の表示行数パターンを設定します。      |
| ・2段表示       | 見積明細を上下にセット表示します。         |
| ・入力不可項目設定   | 入力できない項目を設定します。           |
| ・カーソル移動     | カーソルの移動方向を設定します。          |
| ・ウィンドウ枠     | ウィンドウ枠の固定表示を設定します。        |
| ・新しいウィンドウ表示 | 別のウィンドウを表示します。            |
| ・左右に並べて表示   | 2つのウィンドウ画面を左右に並べて表示します。   |
| ・上下に並べて表示   | 2つのウィンドウ画面を上下に並べて表示します。   |

### 3.5.1 表示列パターンの登録

内訳画面と明細画面に表示する列項目を設定します。

1) リボンメニューの[表示]タブから、[表示列パターンの登録]をクリックします。



2) 表示列パターン編集画面が表示されます。

#### ・内訳画面

内訳階層タブをクリックすると内訳階層項目の設定ができます。

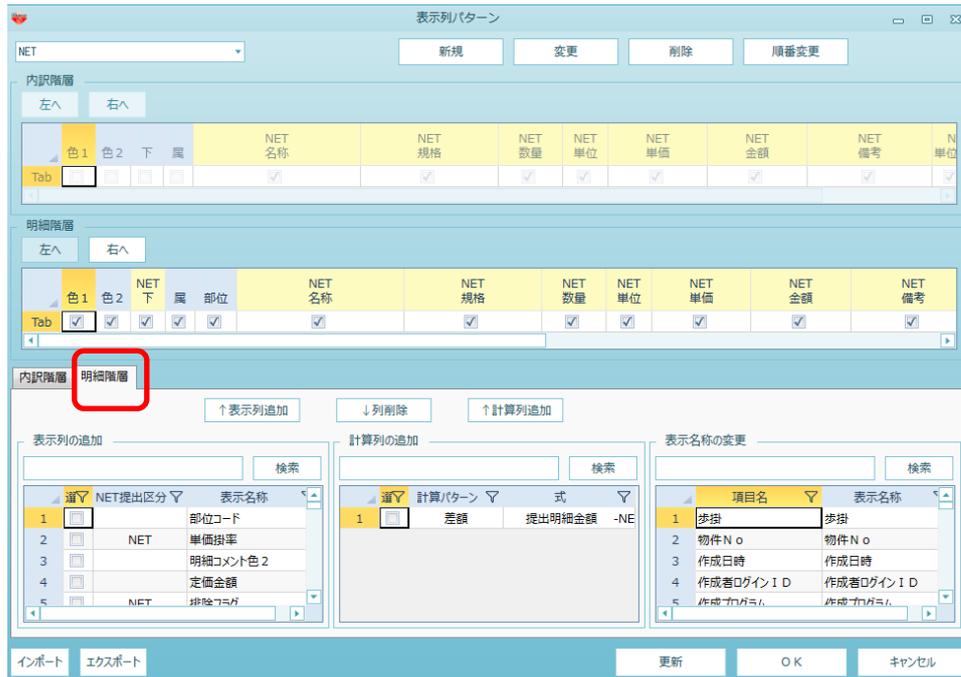


表示列にチェックが付いている項目が見積書入力画面上に表示されます。

色1	色2	下	属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考
			内訳	共通仮設工事		1	式	6,430,000	6,430,000	
			内訳	建築工事		1	式	52,582,781	52,582,781	

・明細画面

明細階層タブをクリックすると明細階層項目の設定ができます。

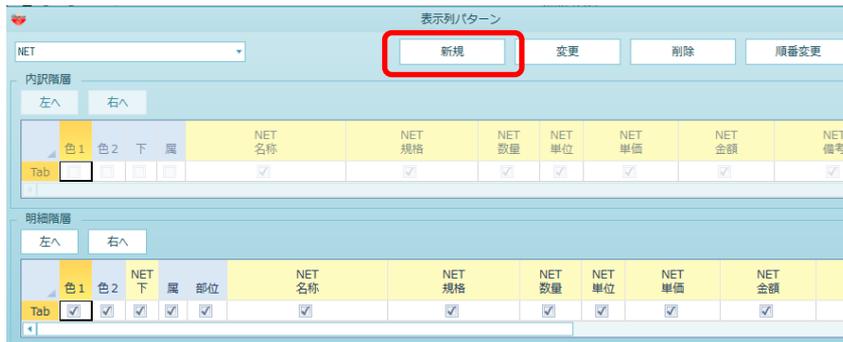


表示列にチェックが付いている項目が見積書入力画面上に表示されます。

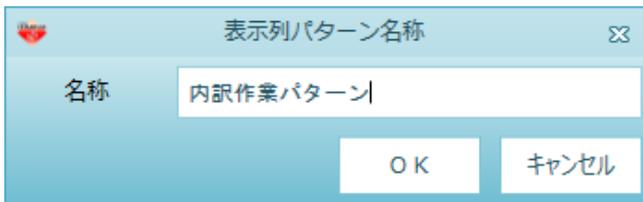
色1	色2	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
			明細	根切		根切	206.00	m3	1,100	226,800	
			明細	残土処分			206.00	m3	3,300	679,800	

### 3) 表示列パターンの新規登録。

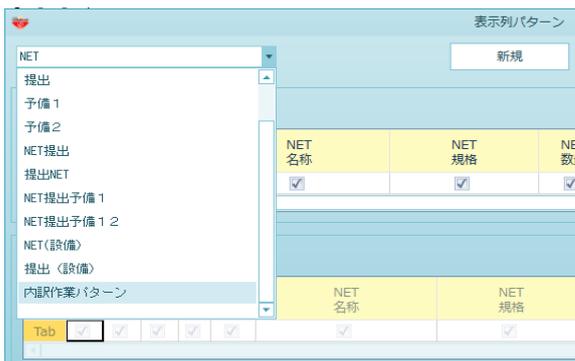
①[新規]ボタンをクリックします。



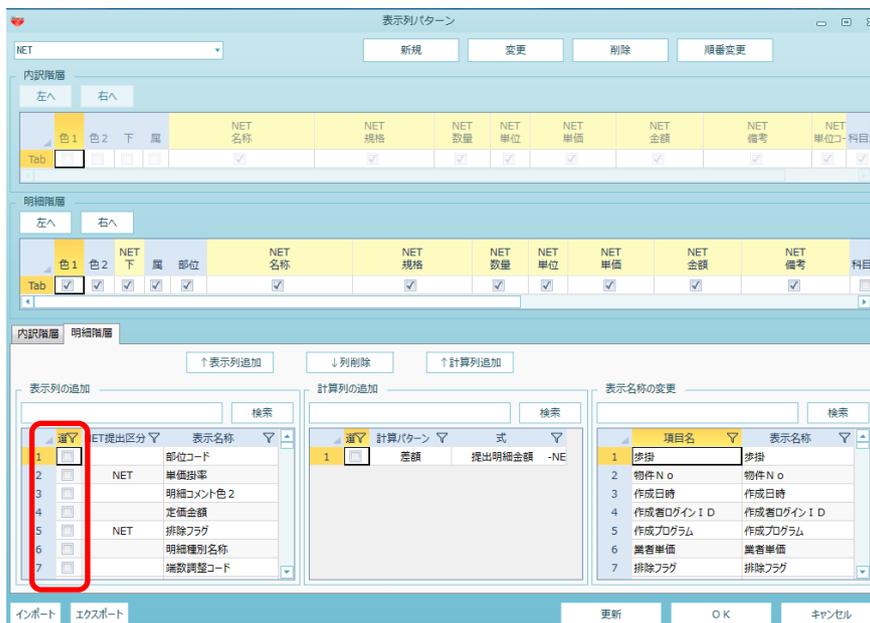
②表示列パターン名称画面の名称欄に、新規作成したい作業パターン名を入力します。



③[OK]ボタンをクリックすると、新規に表示列パターンが登録されます。



④表示したい「表示列の追加」の項目にチェックを付け、表示列追加をクリックします。  
削除する場合は、項目をクリックし、列削除をクリックします。



⑤表示名称を変更することで、見積書入力画面上に表示する列名称も変更が可能です。

表示名称の変更

項目名	表示名称
83 改ページフラグ	改ページフラグ
84 下位種別区分	下位種別区分
85 科目コード	科目CD
86 科目名称	科目名称
87 空行フラグ	空行フラグ
88 仮明細No	仮明細No
89 仮内訳No	仮内訳No

NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考	種目コード	科目CD
1	式	16,737,691	16,737,691		20	0010
1	式	16,849,980	16,849,980		20	0020
1	式	17,422,770	17,422,770		20	0030

#### 4) 表示列パターンの名称変更。

①名称を変更したい表示列パターンを選択します。

表示列パターン

内訳作業パターン

新規 変更

内訳階層

左へ 右へ

色1	色2	下	属	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
Tab				✓	✓	✓	✓		

②[変更]ボタンをクリックします。

表示列パターン

内訳作業パターン

新規 変更 削除

内訳階層

左へ 右へ

色1	色2	下	属	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
Tab				✓	✓	✓	✓	✓	✓

③変更後の名称を入力します。

表示列パターン名称

名称 明細作業パターン

OK キャンセル

④[OK]ボタンをクリックすると、表示列パターン名が変わります。

表示列パターン

明細作業パターン

提出  
予備 1  
予備 2  
NET提出  
提出NET  
NET提出予備 1  
NET提出予備 1 2  
NET(設備)  
提出(設備)  
明細作業パターン

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位 NET 単価

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位

Tab

新規 変更

5) 表示列パターンの削除。

①削除したい表示列パターンを選択します。

表示列パターン

明細作業パターン

新規 変更 削除 順番変更

内訳階層  
左へ 右へ

色 1 色 2 下 風

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位 NET 単価 NET 金額 NET 備考

Tab

明細階層  
左へ 右へ

②[削除]ボタンをクリックします。

表示列パターン

明細作業パターン

新規 変更 削除 順番変更

内訳階層  
左へ 右へ

色 1 色 2 下 風

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位 NET 単価 NET 金額 NET 備考

Tab

明細階層  
左へ 右へ

③選択した表示列パターンが削除されます。

表示列パターン

NET

NETコード表示

提出  
予備 1  
予備 2  
NET提出  
提出NET  
NET提出予備 1  
NET提出予備 1 2  
NET(設備)  
提出(設備)

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位 NET 単価 NET 金額

NET 名称 NET 規格 NET 数量 NET 単位 NET 単価

Tab

新規 変更 削除

### 3.5.2 列幅を既定値に戻す

変更した列幅を既定値に戻します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[列幅を既定値に戻す]をクリックします。



2)変更した列幅が既定値に戻ります。

	色1	色2	NET 下	属 部位	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考
1				明細	根切	機械	206.00	m3	1,100	226,600	
2				明細	残土処分		206.00	m3	3,300	679,800	
3				明細	埋戻	購入土	70.00	m3	3,850	269,500	

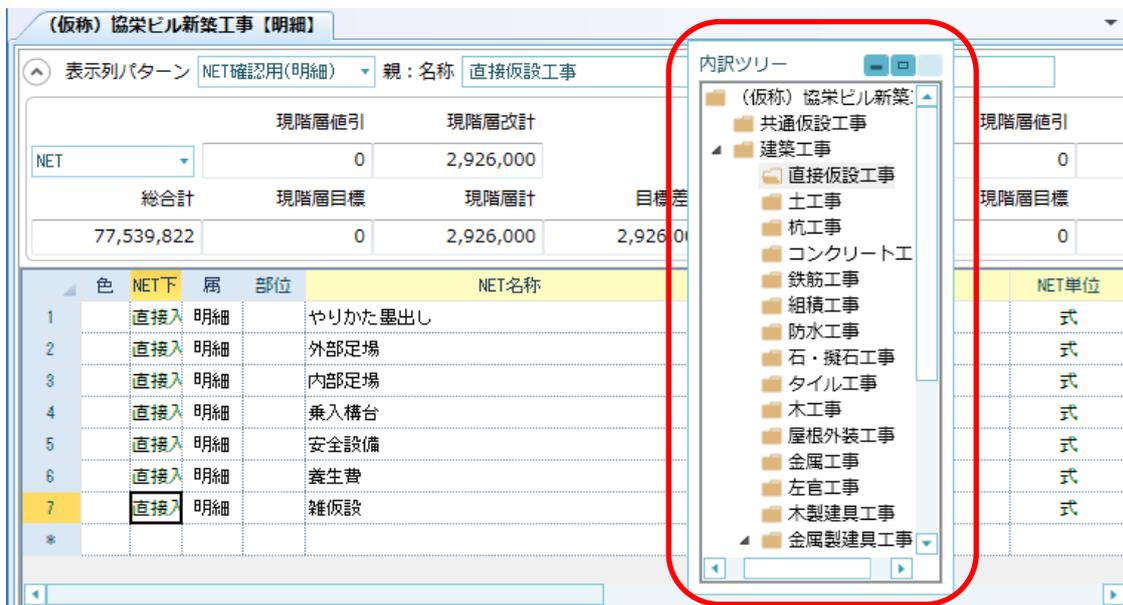
### 3. 5. 3 フローティング

見積書入力画面の内訳ツリーを浮動させます。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[フローティング]をクリックします。



2)内訳ツリーが浮動します。ツリー部をクリックして移動できます。



3)再度、[フローティング]ボタンをクリックすると元に戻ります。



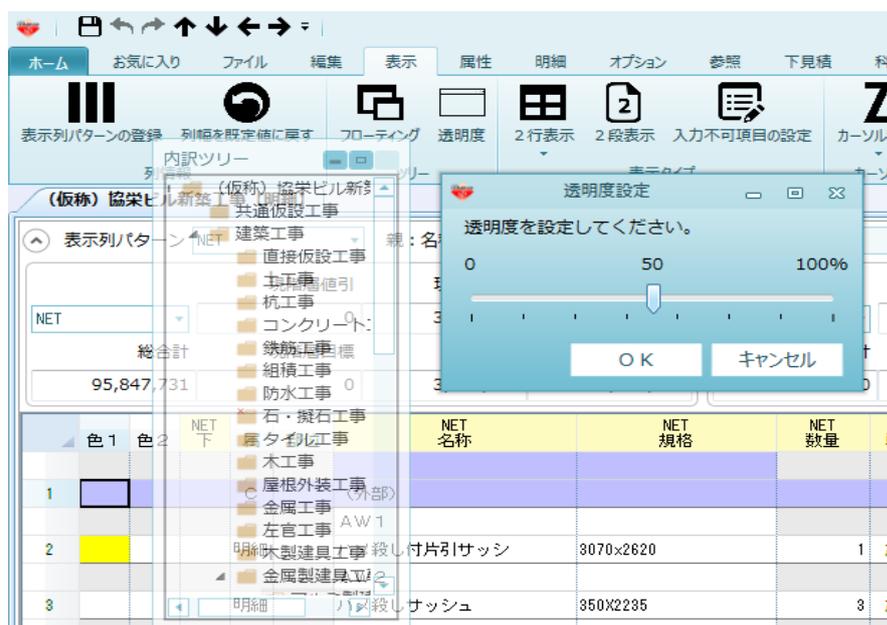
### 3.5.4 透明度

フローティングした内訳ツリーの透明度を設定します。

1) リボンメニューの[表示]タブから、[透明度]をクリックします。



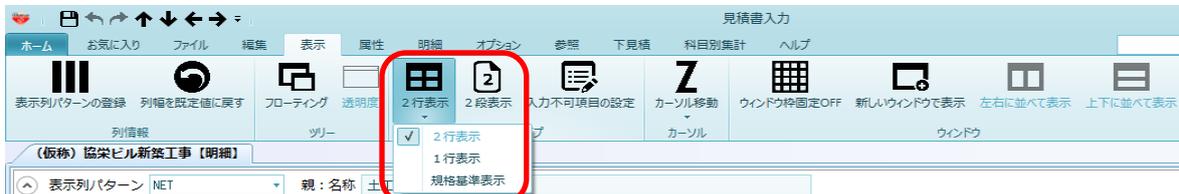
2) 透明度設定画面が表示されます。ツリー部の透明度を設定して[OK]をクリックします。



### 3.5.5 行数表示切替

見積書行の表示形式を2行表示、1行表示に切り替えを行います。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[行表示切替]をクリックします。



- ・2段表示                                    1明細を上下の2段で表示します。
- ・1段表示                                    1明細を1段で表示します。
- ・規格基準表示                            規格を基準として上下の2段で表示します。

2)2段表示

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
	直接入	コメン		<外部>					
1	直接入	明細		フロートガラス	6.81㎡以下厚8	㎡	5.0	9,900	49,500
2	直接入	明細		網入型板ガラス	2.18㎡以下6.8	㎡	4.5	5,500	24,750
3	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2140×1650	か所	2	38,500	77,000
4	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2540×1650	か所	2	46,200	92,400

3)1段表示

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	直接入	コメン		<外部>					
2	直接入	明細		フロートガラス	6.81㎡以下厚8	㎡	5.0	9,900	49,500
3	直接入	明細		網入型板ガラス	2.18㎡以下6.8	㎡	4.5	5,500	24,750
4	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2140×1650	か所	2	38,500	77,000
5	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2540×1650	か所	2	46,200	92,400

4)規格基準表示

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	直接入	コメン		<外部>					
2	直接入	明細		フロートガラス	6.81㎡以下厚8	㎡	5.0	9,900	49,500
3	直接入	明細		網入型板ガラス	2.18㎡以下6.8	㎡	4.5	5,500	24,750
4	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2140×1650	か所	2	38,500	77,000
5	直接入	明細		網入磨き板ガラス	@6.8R型 2540×1650	か所	2	46,200	92,400

### 3.5.6 2段表示切替

2段表示の上段と下段に表示する項目を設定します。

1) リボンメニューの[表示]タブから、[2段表示切替]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '2段表示切替' dialog box open. The '上段' (Upper) field contains '提出' and the '下段' (Lower) field contains 'NET'. The main table below shows a list of construction items with columns for NET specifications, quantity, unit, unit price, and amount. Red boxes highlight the '2段表示' button in the ribbon and the 'NET' value in the table.

	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	(外部)			0		
2	コーキング 突成シロン 15X10 (金属取合部)	804	m	510	481,040	
3						
4	建具枠廻りコーキング (二重) 突成シロン 15X10+15X10 h <sup>2</sup> タック <sup>2</sup> 材共	812	m	920	747,040	
5						

### 3. 5. 7 入力不可項目の設定

入力をできないように制御する項目を設定します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[入力不可項目の設定]をクリックします。



①入力を不可としたい項目にチェックを付けます。



②[OK]ボタンをクリックします。



③チェックを付けた項目に入力が出来なくなります。

	色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1		計算式	明細		異形鉄筋	SD295A D10	85	t	11,000	935,000
2		直接入	明細		異形鉄筋	SD295A D10	80	t	130,000	10,400,000



#### 4) 数量・単価移動

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
		直接入	コメン	(外部)					
1		直接入	明細	フロートガラス	6.8 1㎡以下厚8	㎡	5.0	9,900	49,500
3		直接入	明細	網入型板ガラス	2.1 8㎡以下6.8 @6.8 R型	㎡	4.5	5,500	24,750
4		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2140×1650 @6.8 R型	か所	2	38,500	77,000
5		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2540×1650	か所	2	46,200	92,400
6		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2.1 8㎡以下6.8	㎡	17.8	11,000	195,800

#### 5) 単価移動

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
		直接入	コメン	(外部)					
1		直接入	明細	フロートガラス	6.8 1㎡以下厚8	㎡	5.0	9,900	49,500
3		直接入	明細	網入型板ガラス	2.1 8㎡以下6.8 @6.8 R型	㎡	4.5	5,500	24,750
4		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2140×1650 @6.8 R型	か所	2	38,500	77,000
5		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2540×1650	か所	2	46,200	92,400
6		直接入	明細	網入磨き板ガラス	2.1 8㎡以下6.8	㎡	17.8	11,000	195,800

#### 6) 未入力単価移動

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
		直接入	コメン	(外部)					
2		直接入	明細	SOP塗 壁	鋼建面	㎡	42.6	880	39,618
3		直接入	明細	洗水剤塗布		㎡	318		
4		直接入	明細	AEP塗 雑	軒ドヨ	㎡	27.0	880	23,760
5		直接入	明細	マリンペイント	H-150×150	m	16.6		
6		直接入	明細	マリンペイント	樋φ75鉄部	m	5.2	550	2,860

### 3. 5. 9 ウィンドウ枠固定ON/OFF

カーソルの位置よりウィンドウ枠の固定と解除をします。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[ウィンドウ枠固定]をクリックします。



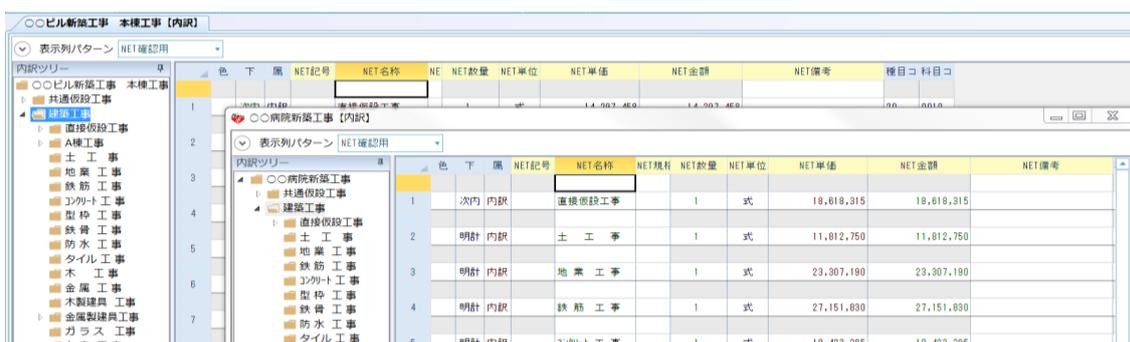
選択している行列を基準として、ウィンドウが固定されます。  
下図の場合、色～NET規格までの列が固定されます。



### 3. 5. 10 新しいウィンドウで表示

自物件参照または他物件参照している場合に、参照画面を新しいウィンドウ画面で表示しま

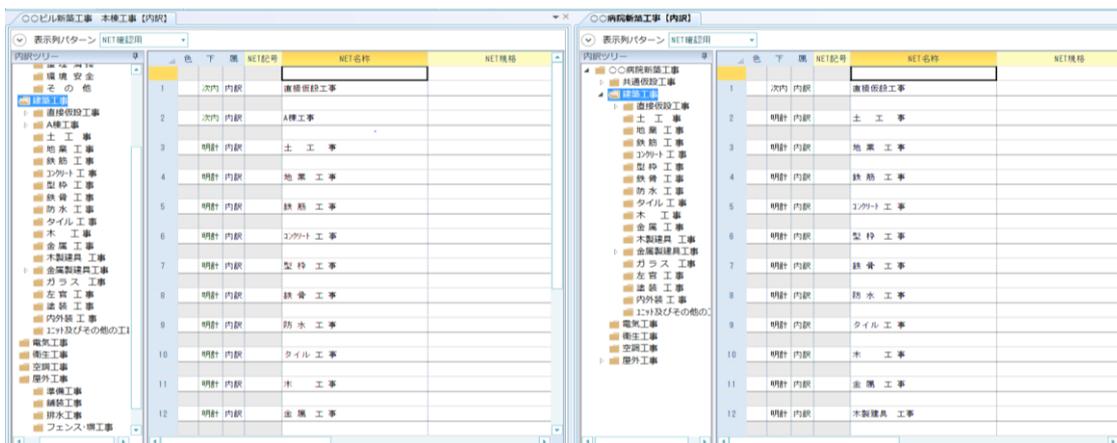
1)リボンメニューの[表示]タブから、[新しいウィンドウで表示]をクリックします。



### 3. 5. 11 左右に並べて表示

開いている2画面を左右に並べて表示します。

1)リボンメニューの[表示]タブから、[左右に並べて表示]をクリックします。



### 3. 5. 12 上下に並べて表示

開いている2画面を上下に並べて表示します。



色	下 属	NET記号	NET名称	NET種別	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考	種目コ	科目コ
1	次内	内訳	直接費総工事		1	式	14,297,450	14,297,450		20	0010
2	次内	内訳	A種工事		1	式	34,272,750	34,272,750			
3	明計	内訳	土工事		1	式	16,849,980	16,849,980		20	0020
4	明計	内訳	地業工事		1	式	17,422,770	17,422,770		20	0030
5	明計	内訳	鉄筋工事		1	式	20,692,700	20,692,700		20	0060

色	下 属	NET記号	NET名称	NET種別	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考	種目コ	科目コ
1	次内	内訳	直接費総工事		1	式	16,610,315	16,610,315		20	0010
2	明計	内訳	土工事		1	式	11,812,750	11,812,750		20	0020
3	明計	内訳	地業工事		1	式	23,307,190	23,307,190		20	0030
4	明計	内訳	鉄筋工事		1	式	27,151,630	27,151,630		20	0060
5	明計	内訳	コンクリート工事		1	式	19,423,385	19,423,385		20	0040

### 3.6 属性

リボンメニューの「属性」タブをクリックします。  
「属性」タブは以下の機能より構成されます。



- |        |                      |
|--------|----------------------|
| ・属性    | 行の属性情報を設定します。        |
| ・明細    | 行属性を内訳または明細にします。     |
| ・コメントC | 行属性をコメントCにします。       |
| ・コメントP | 行属性をコメントPにします。       |
| ・小々計   | 行属性を小々計にします。         |
| ・小計    | 行属性を小計にします。          |
| ・計     | 行属性を計にします。           |
| ・中計    | 行属性を中計にします。          |
| ・大計    | 行属性を大計にします。          |
| ・合計    | 行属性を合計にします。          |
| ・改計    | 行属性を改計にします。          |
| ・総計    | 行属性を総計にします。          |
| ・参考計   | 行属性を参考計にします。         |
| ・消費税   | 消費税を自動計算します。         |
| ・関係切り  | 下位階層にあるデータとの関連を切ります。 |
| ・改頁    | 指定した行で改頁します。         |
| ・番号無   | 番号を印字しません。           |

### 3.6.1 属性

内訳行、明細行の行属性を設定します。

1) 行属性を設定する行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[属性]をクリックします。



#### ・内訳行



- ・印刷時均等割付 印刷時の均等割付の設定を行います。
- ・数量小数桁数 数量の小数桁数を設定します。
- ・行設定
  - ・改頁行 改頁行の設定を行います。
  - ・印刷時番号無 印刷時番号無の設定を行います。
- ・属性 行の属性を設定します。
- ・計名称 属性を各計行にした場合の名称を設定します。
  - 小々計行名称 属性が小々計の場合の計名称
  - 小計行名称 属性が小計の場合の計名称
  - 内部計行名称 属性が内部計の場合の計名称
  - 外部計行名称 属性が外部計の場合の計名称
  - 計行名称 属性が計の場合の計名称
  - 中計行名称 属性が中計の場合の計名称
  - 大計行名称 属性が大計の場合の計名称
  - 合計行名称 属性が合計の場合の計名称
  - 改計行名称 属性が改計の場合の計名称
  - 総計行名称 属性が総計の場合の計名称

- 参考計行
- ・関係切り
- ・消費税

属性が参考計の場合の計名称  
関係切りする単価列の設定を行います。  
消費税行の名称の設定を行います。

### ・明細行

- ・印刷時均等割付
- ・数量小数桁数
- ・行設定
  - ・改頁行
- ・属性
- ・計名称
  - 小々計行名称
  - 小計行名称
  - 内部計行名称
  - 外部計行名称
  - 計行名称
  - 中計行名称
  - 大計行名称
  - 合計行名称
  - 改計行名称
  - 総計行名称
  - 参考計行
- ・関係切り
- ・消費税

印刷時の均等割付の設定を行います。  
数量の小数桁数を設定します。

改頁行の設定を行います。  
行の属性を設定します。  
属性を各計行にした場合の名称を設定します。  
属性が小々計の場合の計名称  
属性が小計の場合の計名称  
属性が内部計の場合の計名称  
属性が外部計の場合の計名称  
属性が計の場合の計名称  
属性が中計の場合の計名称  
属性が大計の場合の計名称  
属性が合計の場合の計名称  
属性が改計の場合の計名称  
属性が総計の場合の計名称  
属性が参考計の場合の計名称  
関係切りする単価列の設定を行います。  
消費税行の名称の設定を行います。

### 3.6.2 明細

行属性を内訳または明細にします。

1) 行属性を明細にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから[明細]をクリックします。

・内訳行

色	下	属	NET記号	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1		内訳		共通仮設工事		1	式	29,617,734	29,617,734
2		内訳		建築工事		1	式	459,265,792	459,265,792
3		内訳		電気工事		1	式	91,440,000	91,440,000

※行属性を指定しなかった場合は、自動で内訳行になります。

・明細行

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1		明細		異形鉄筋	SD295A 010	23	t	110,000	2,530,000
2		明細		異形鉄筋	SD295A 010	45.9	t	120,000	5,508,000
3		明細		異形鉄筋	SD295A 016	6.8	t	120,000	816,000

※行属性を指定しなかった場合は、自動で明細行になります。

### 3. 6. 3 コメントC

行属性をコメントCにします。

- 1) 行属性をコメントCにする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[コメントC]をクリックします。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	直接入	明細		異形鉄筋	SD295A D10	23	t	110,000	2,530,000
	直接入	コメントC		異形鉄筋	SD295A D10	45.9	t	120,000	5,508,000
	直接入	明細		異形鉄筋	SD295A D16	6.8	t	120,000	816,000

※コメント行は金額が入っていても階層計には集計しません。

### 3. 6. 4 コメントP

行属性をコメントPにします。

- 1) 行属性をコメントPにする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[コメントP]をクリックします。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	直接入	明細		異形鉄筋	SD295A D10	23	t	110,000	2,530,000
	直接入	コメントP		異形鉄筋	SD295A D10	45.9	t	120,000	5,508,000
	直接入	明細		異形鉄筋	SD295A D16	6.8	t	120,000	816,000

※ コメントCとの違いは、コメントC行は印刷時にも出力されますが、コメントP行は印刷時に出力されません。  
見積書入力画面上でのみコメントを入りたい場合に使用します。

### 3.6.5 小々計

行属性を小々計にします。

1) 行属性を小々計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから[小々計]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '属性' (Attribute) ribbon menu active. The '小々計' (Sub-total) button is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table is displayed with the following data:

色1	色2	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1			明細	根切	機械		206.00	m3	1,100	226,600
2			明細	残土処分			206.00	m3	3,300	679,800
3			小々計	小々計						906,400

### 3.6.6 小計

行属性を小計にします。

1) 行属性を小計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから[小計]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '属性' (Attribute) ribbon menu active. The '小計' (Total) button is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table is displayed with the following data:

2			明細	残土処分			206.00	m3	3,300	679,800
3			小々計	小々計						906,400
4			明細	埋戻	購入土		70.00	m3	3,850	269,500
5			小計	小計						1,175,900

### 3. 6. 7 計

行属性を計にします。

1) 行属性を計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[計]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '属性' (Attribute) ribbon tab selected. The '計' (Total) button is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table displays data for rows 4 through 7. Row 7 is highlighted in pink, indicating the '計' (Total) operation.

4		明細	埋戻	精入土	70.00	m3	3,850	269,500
5		小計	小計					1,175,900
6		明細	杭間深い		1	式	16,500	16,500
7		計	計					1,192,400

### 3. 6. 8 中計

行属性を中計にします。

1) 行属性を中計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[中計]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '属性' (Attribute) ribbon tab selected. The '中計' (Mid Total) button is highlighted with a red box. Below the ribbon, a table displays data for rows 6 through 9. Row 9 is highlighted in pink, indicating the '中計' (Mid Total) operation.

6		明細	杭間深い		1	式	16,500	16,500
7		計	計					1,192,400
8		明細	砕石地盤	厚50	8.00	m3	8,800	70,400
9		中計	中計					1,262,800

### 3.6.9 大計

行属性を大計にします。

1) 行属性を大計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[大計]をクリックします。



8	明細	砕石地業	厚50	8.00	m <sup>3</sup>	8,800	70,400
9	中計	中計					1,262,800
10	明細	ポリエチレンシート敷	@0.15	70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400
11	大計	大計					1,278,200

### 3.6.10 合計

行属性を合計にします。

1) 行属性を合計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[合計]をクリックします。



10	明細	ポリエチレンシート敷	@0.15	70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400
11	大計	大計					1,278,200
12	明細	山留		1	式	3,300,000	3,300,000
13	合計	合計					4,976,200

### 3. 6. 11 改計

行属性を改計にします。

1) 行属性を改計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[改計]をクリックします。

12		明細	山留			1	式	3,300,000	3,300,000
13		合計	合 計						4,578,200
14		明細	水替費			1	式	110,000	110,000
15		改計	改 計						4,688,200

### 3. 6. 12 総計

行属性を総計にします。

1) 行属性を総計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[総計]をクリックします。

14		明細	水替費			1	式	110,000	110,000
15		改計	改 計						4,688,200
16		明細	総計			1		200	200
17		総計	総 計						4,688,000

### 3. 6. 13 参考計

行属性を参考計にします。

- 1) 行属性を参考計にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[参考計]をクリックします。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 0	t	15.44	37,400	577,456
2	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 3	t	13.87	36,300	503,481
3	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 6	t	3.13	37,400	117,062
4	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 5 D 1 9	t	4.09	38,500	157,465
5	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 5 D 2 2	t	4.58	38,500	176,330
6	直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 5 D 2 5	t	6.47	38,500	249,095
7	直接入	参考計		<参考計>					1,780,889

- ※ 小・中・大計との違いは、小・中・大計行は印刷時にも出力されますが、参考計行は印刷時に出力されません。  
見積書入力画面上でのみ計を確認したい場合に使用します。

### 3. 6. 14 消費税

消費税行にします。

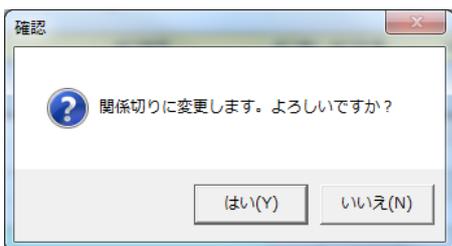
- 1) 消費税にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[消費税]をクリックします。

色	下	属	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	明計	内訳	共通仮設工事		式	1	6,430,000	6,430,000
2	次内	内訳	建築工事		式	1	52,366,131	52,366,131
3	次内	内訳	諸経費		式	1	13,000,000	13,000,000
4	次内	内訳	消費税					5,743,631

### 3. 6. 15 関係切り

関係切り行にします。  
下階層との金額の関係が切れ、集計されません。

1)関係切りにする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[関係切り]をクリックします。



色	下	属	NET記号	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	次内	内訳		共通仮設工事		1	式	29,617,734	29,617,734
	次内	内訳		建築工事		1	式	458,265,792	458,265,792
	次内	内訳		電気工事		1	式	91,440,000	91,440,000

### 3. 6. 16 改頁

改頁行にします。

1)改頁にする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[改頁]をクリックします。



色	下	属	NET記号	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
	次内	内訳		直接仮設工事		1	式	14,297,458	14,297,458
	次内	内訳		A棟工事		1	式	34,272,750	34,272,750
	明計	内訳		土 工 事		1	式	16,849,980	16,849,980

### 3. 6. 17 番号無

番号無行にします。

1) 番号無しにする行をクリックし、リボンメニューの[属性]タブから、[番号無]をクリックします。



色	下	属	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	明計	内訳	共通仮設工事		式	1	6,430,000	6,430,000
2	次内	内訳	建築工事		式	1	52,366,131	52,366,131
3	次内	内訳	諸経費		式	1	13,000,000	13,000,000

#### 見積書印刷

名称	規格	数量	単位	単価
A. 共通仮設工事		1	式	
B. 建築工事		1	式	
諸経費		1	式	

### 3.6.18 現場管理費

現場管理費を作成する行に設定します。

- 1) 現場管理費を作成する行をクリックし、属をダブルクリックすると下記のリストが表示され、現場管理費を選択します。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額
1		内訳	高压線引込設備工事		1	式	3,031,000	3,031,000
2		内訳	幹線動力引込設備工事		1	式	214,070	214,070
3		内訳	電燈コンセント設備工事		1	式	2,261,630	2,261,630
4		内訳	電話設備工事		1	式	271,850	271,850
5		内訳	テレビ共聴設備工事		1	式	298,450	298,450
6		内訳	非常警報設備工事		1	式	177,000	177,000
*								

内部計  
外部計  
計  
中計  
大計  
合計  
改計  
総計  
参考計  
消費税  
消費税  
**現場管理費**  
諸経費

- 2) 現場管理費の行より上の行の金額の合計金額から、汎用名称マスターメンテナンス画面で設定した掛率で自動計算された金額が設定されます。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額
1		内訳	高压線引込設備工事		1	式	3,031,000	3,031,000
2		内訳	幹線動力引込設備工事		1	式	214,070	214,070
3		内訳	電燈コンセント設備工事		1	式	2,261,630	2,261,630
4		内訳	電話設備工事		1	式	271,850	271,850
5		内訳	テレビ共聴設備工事		1	式	298,450	298,450
6		内訳	非常警報設備工事		1	式	177,000	177,000
7		現場	現場管理費		1	式	625,400	625,400
*								

汎用名称マスターメンテナンス  
掛率の設定ができます。

カテゴリNo(*)	汎用名称	汎用名称桁	汎用名称区分(*)	汎用名称	削除フラグ(*)
128	8260	外部単価種別区分	200	1 0	10
129	8270	単価マスターコード検索	200	2 1	11
130	8280	単価マスター採用単価	200	3 2	10
131	8350	内訳属性計区分	200	4 3	10
132	8360	明細属性計区分	200	5 4	10
133	5	PJ物件表現区分	40	6 5	10
134	8700	計算経費区分	200	7 6	10
135	8760	現場管理費率区分	40	8 7	10
136	8770	諸経費率区分	40	9 8	10
137	8820	支店間物件表示	40	10 9	10
*				*	

- 3) 計算経費率セルから、掛率の変更が行えます。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 計算経費率
1		内訳	高压線引込設備工事		1	式	3,031,000	3,031,000	
2		内訳	幹線動力引込設備工事		1	式	214,070	214,070	
3		内訳	電燈コンセント設備工事		1	式	2,261,630	2,261,630	
4		内訳	電話設備工事		1	式	271,850	271,850	
5		内訳	テレビ共聴設備工事		1	式	298,450	298,450	
6		内訳	非常警報設備工事		1	式	177,000	177,000	
7		現場	現場管理費		1	式	687,940	687,940	11%
*									

### 3.6.19 諸経費

諸経費を作成する行に設定します。

- 1) 現場管理費を作成する行をクリックし、属をダブルクリックすると下記のリストが表示され、諸経費を選択します。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 計算経费率
1		内訳	高压線引込設備工事	内部計	1	式	3,031,000	3,031,000	
2		内訳	幹線動力引込設備工事	外部計	1	式	214,070	214,070	
3		内訳	電燈コンセント設備工事	計	1	式	2,261,630	2,261,630	
4		内訳	電話設備工事	中計	1	式	271,850	271,850	
5		内訳	テレビ共聴設備工事	大計	1	式	298,450	298,450	
6		内訳	非常警報設備工事	合計	1	式	177,000	177,000	
7		現場	現場管理費	改計	1	式	687,940	687,940	11%
*				総計					

- 2) 諸経費の行より上の行の金額の合計金額から、汎用名称マスタメンテナンス画面で設定した掛率で自動計算された金額が設定されます。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 計算経费率
1		内訳	高压線引込設備工事		1	式	3,031,000	3,031,000	
2		内訳	幹線動力引込設備工事		1	式	214,070	214,070	
3		内訳	電燈コンセント設備工事		1	式	2,261,630	2,261,630	
4		内訳	電話設備工事		1	式	271,850	271,850	
5		内訳	テレビ共聴設備工事		1	式	298,450	298,450	
6		内訳	非常警報設備工事		1	式	177,000	177,000	
7		現場	現場管理費		1	式	687,940	687,940	11%
8		諸経	諸経費		1	式	347,097	347,097	5%
*									

汎用名称マスタメンテナンス  
掛率の設定ができます。

カテゴリNo(*)	汎用名称	汎用名称桁	汎用名称区分(*)	汎用名称	削除フラグ(*)
128	8260	外部単価別区分	200	1	0
129	8270	単価マスタコード検索	200	2	1
130	8280	単価マスタ採用単価	200	3	2
131	8350	内訳属性計区分	200	4	3
132	8360	明細属性計区分	200	5	4
133	5	PJ物件表現区分	40	6	5
134	8700	計算経費区分	200	7	6
135	8760	現場管理費率区分	40	8	7
136	8770	諸経費率区分	40	9	8
137	8820	支店間物件表示	40	10	9
*				*	

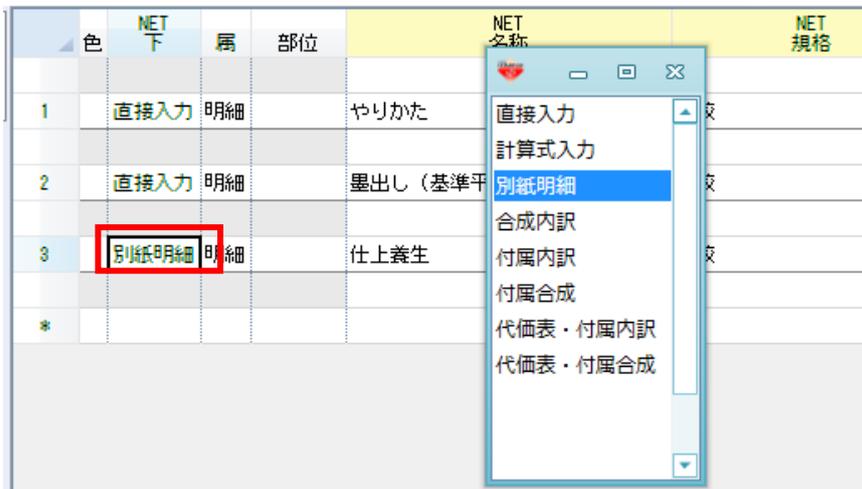
- 3) 計算経费率セルから、掛率の変更が行えます。

色1	色2	下 属	NET 名称	NET 規格	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 計算経费率
1		内訳	高压線引込設備工事		1	式	3,031,000	3,031,000	
2		内訳	幹線動力引込設備工事		1	式	214,070	214,070	
3		内訳	電燈コンセント設備工事		1	式	2,261,630	2,261,630	
4		内訳	電話設備工事		1	式	271,850	271,850	
5		内訳	テレビ共聴設備工事		1	式	298,450	298,450	
6		内訳	非常警報設備工事		1	式	177,000	177,000	
7		現場	現場管理費		1	式	687,940	687,940	11%
8		諸経	諸経費		1	式	418,516	418,516	6%
*									

### 3. 6. 20 別紙内訳

別紙内訳を作成する行に設定します。  
別紙明細、合成内訳、付属内訳、付属合成、代価表・付属内訳、代価表・付属合成のいずれかを選択します。

- 1) 別紙内訳を作成する行をクリックし、NET下をダブルクリックすると下記のリストが表示され、別紙内訳の種類を選択します。  
別紙明細と付属内訳は同じ処理になります。



#### (a) 別紙明細

別紙内訳の金額合計が親項目の単価にセットされ、印刷時は、階層の最後に別紙内訳として出力されます。

#### 別紙明細親項目

サンプルビル新築工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細) 親:名称 やりかた

現階層他引				現階層改計			
NET				提出			
	0	770,234		0	23,582,560		
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額	総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	0	770,234	770,234	5,961,149,789	0	23,582,560	23,582,560

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細	やりかた	学校		2,000	m2	130	260,000	
2	直接入力	明細	墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校		456.7	m2	820	374,494	
3	別紙明細	明細	仕上養生	学校		1,234	m2	110	135,740	

#### 別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】

表示列パターン NET確認用(明細) 親:名称 仕上養生 / 規格 学校

現階層他引				現階層改計			
NET				提出			
	110				102		
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額	総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	110	110	110	5,961,149,789	102	102	102

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細	仕上養生材料			1	m2	50	50	
2	直接入力	明細	仕上養生手間	外二ツ工		1	m2	60	60	

### 別紙明細印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
A. やりかた						
やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
畢出し(基準平面・仕上基準畢)	学校	456.7	m2	820	374,494	
仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	別紙1

### 別紙内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
別紙明細	別紙1					
仕上養生	学校	1	m2			
仕上養生材料		1	m2	50	50	
仕上養生手間	クリーニング工	1	m2	60	60	

(b)合成内訳

別紙内訳の金額合計が親項目の単価にセットされ、印刷時には、親項目に続いて別紙内訳が出力されます。

合成内訳親項目

サンプルビル新築工事【明細】

表示列パターン NET確認用(明細) 親:名称 やりかた

現階層他引	現階層改計	現階層他引	現階層改計
NET	0	770,234	
提出	0	23,582,560	
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	0	770,234	770,234
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,961,149,789	0	23,582,560	23,582,560

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
2	直接入力	明細		墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校	456.7	m2	820	374,494	
3	合成内訳	明細		仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	
*										

別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】

表示列パターン NET確認用(明細) 親:名称 仕上養生 / 規格 学校

現階層他引	現階層改計	現階層他引	現階層改計
NET	110	102	
提出		102	
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	110	110	110
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,961,149,789		102	102

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		仕上養生材料		1	m2	50	50	
2	直接入力	明細		仕上養生手間	クリーニング工	1	m2	60	60	
*										

合成内訳印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
A. やりかた						
やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校	456.7	m2	820	374,494	
仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	
・仕上養生材料		1	m2	50	50	
・仕上養生手間	クリーニング工	1	m2	60	60	

(C)付属内訳

付属内訳は別紙明細と同じ処理になります。

付属内訳親項目

サンプルビル新築工事【明細】

表示列/ボタン NET確認用(明細) 親:名称 やりかた

現階層他引	現階層改計	現階層他引	現階層改計
NET 0	770,234	提出 0	23,582,560
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	0	770,234	770,234

NET	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	2,000	m2	130	260,000	
2	456.7	m2	820	374,494	
3	1,234	m2	110	135,740	

別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】

表示列/ボタン NET確認用(明細) 親:名称 仕上養生 /規格 学校

現階層他引	現階層改計	現階層他引	現階層改計
NET 110	110	提出 102	102
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	110	110	110

NET	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	1	m2	50	50	
2	1	m2	60	60	

付属内訳印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
A. やりかた						
やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校	456.7	m2	820	374,494	
仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	別紙1

別紙内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
別紙明細	別紙1					
仕上養生	学校	1	m2			
仕上養生材料		1	m2	50	50	
仕上養生手間	クリーニング工	1	m2	60	60	

(d)付属合成

別紙内訳の金額合計を親項目の数量で除して単価を算出。(円未満切り捨て)  
印刷時は、階層の最後に別紙内訳として出力されます。

付属合成親項目

サンプルビル新築工事【明細】

表示列/ボタン NET確認用(明細) 親: 名称 鉄骨工事

現階層値引	現階層改計	現階層値引	現階層改計
NET 0	142,148,066	提出 0	100,403,916
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,094,628,232	0	142,148,066	142,148,066

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
19	付属合成	明細		置き構台	構台杭	100		18,000	1,800,000	
20	付属合成	明細		アトリカ~受け		4	か所	315,000	1,260,000	
21	直接入力	明細		地盤安定処置	敷鉄板	50	m <sup>2</sup>	2,300	115,000	

別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】

表示列/ボタン NET確認用(明細) 親: 名称 置き構台 / 規格 構台杭

現階層値引	現階層改計	現階層値引	現階層改計
NET 1,800,000	0	提出 0	0
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
5,114,621,732	1,800,000	1,800,000	0

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		材料費 運搬共		1	式	900,000	900,000	
2	直接入力	明細		施工費 架組		100	m <sup>2</sup>	5,000	500,000	
3	直接入力	明細		施工費 重機		100	m <sup>2</sup>	2,000	200,000	
4	直接入力	明細		現場管理費		5	日	40,000	200,000	

※1,800,000 ÷ 100 = 18,000

付属合成印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
建方手間	畢出し合板	488.5	t	200	97,700	
建方機械	50t57k~カレ~y 17台日	488.5	t	5,700	2,784,450	
直接仮設	安全ロープ 垂直しり竹~等	488.5	t	1,200	586,200	
置き構台	構台杭	100	m	18,000	1,800,000	別紙5
アトリカ~受け		4	か所	315,000	1,260,000	別紙6
地盤安定処置	敷鉄板	50	m <sup>2</sup>	2,300	115,000	

別紙内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
別紙明細	別紙5					
置き構台	構台杭	1	m			
材料費 運搬共		1	式		900,000	
施工費 架組		100	m <sup>2</sup>	5,000	500,000	
施工費 重機		100	m <sup>2</sup>	2,000	200,000	
現場管理費		5	日	40,000	200,000	

(e)代価表・付属内訳  
別紙内訳の金額合計が親項目の単価にセットされ、印刷時は、全内訳の最後に代価表として出力されます。

### 代価表・付属内訳親項目

サンプルビル新築工事【明細】										
表示列/ボタン NET確認用(明細) 親:名称 やりかた										
現階層他引		現階層改計		現階層他引		現階層改計				
NET	0	770,234		提出	0	23,582,560				
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額	総合計	現階層目標	現階層計	目標差額			
5,094,628,232	0	770,234	770,234	5,961,149,789	0	23,582,560	23,582,560			
色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
2	直接入力	明細		墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校	456.7	m2	820	374,494	
3	代価表・付属内訳	明細		仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	
*										

### 別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】										
表示列/ボタン NET確認用(明細) 親:名称 仕上養生 /規格 学校										
現階層他引		現階層改計		現階層他引		現階層改計				
NET		110		提出		102				
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額	総合計	現階層目標	現階層計	目標差額			
5,094,628,232		110	110	5,961,149,789		102	102			
色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		仕上養生材料		1	m2	50	50	
2	直接入力	明細		仕上養生手間	クレンジグ工	1	m2	60	60	
*										

### 代価表・付属内訳印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
A. やりかた						
やりかた	学校	2,000	m2	130	260,000	
墨出し(基準平面・仕上基準墨)	学校	456.7	m2	820	374,494	
仕上養生	学校	1,234	m2	110	135,740	代価001

### 別紙内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
代価001						
仕上養生		1	m2			
仕上養生材料		1	m2	50	50	
仕上養生手間	クレンジグ工	1	m2	60	60	

(f)代価表・付属合成

別紙内訳の金額合計を親項目の数量で除して単価を算出。(円未満切り捨て)  
印刷時は、全内訳の最後に代価表として出力されます。

代価表・付属合成親項目

サンプルビル新築工事【明細】										
表示列/パターン		NET確認用(明細)		親: 名称		鉄骨工事				
現階層値引	NET	0	現階層改計	142,148,066	提出	0	現階層改計	100,403,916		
総合計	現階層目標	0	現階層計	142,148,066	総合計	現階層目標	0	現階層計	100,403,916	目標差額
5,094,628,232					5,961,149,789					100,403,916

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
19	代価表・付属合成	明細		置き構台	構台杭	100	m	18,000	1,800,000	
20	付属合成	明細		アブリが-受け		4	か所	315,000	1,260,000	
21	直接入力	明細		地盤安定処置	敷鉄板	50	m <sup>2</sup>	2,300	115,000	
22	直接入力	明細								

別紙内訳

サンプルビル新築工事【2次明細】										
表示列/パターン		NET確認用(明細)		親: 名称		規格 構台杭				
現階層値引	NET	1,800,000	現階層改計	0	提出	0	現階層改計	0		
総合計	現階層目標	1,800,000	現階層計	1,800,000	総合計	現階層目標	0	現階層計	0	目標差額
5,094,628,232					5,961,149,789					0

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考
1	直接入力	明細		材料費 運搬共		1	式	900,000	900,000	
2	直接入力	明細		施工費 架払		100	m <sup>2</sup>	5,000	500,000	
3	直接入力	明細		施工費 重機		100	m <sup>2</sup>	2,000	200,000	
4	直接入力	明細		現場管理費		5	日	40,000	200,000	
*										

※1,800,000 ÷ 100 = 18,000

代価表・付属合成印刷時

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
建方手間	畢出し合板	488.5	t	200	97,700	
建方機械	50tトラック 17台日	488.5	t	5,700	2,784,450	
直接仮設	安全ロープ 垂直シロ付等	488.5	t	1,200	586,200	
置き構台	構台杭	100	m	18,000	1,800,000	代価001
アブリが-受け			か所	315,000	1,260,000	別紙5
地盤安定処置	敷鉄板	50	m <sup>2</sup>	2,300	115,000	

別紙内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備
代価001						
置き構台		1	m			
材料費 運搬共		1	式	900,000	900,000	
施工費 架払		100	m <sup>2</sup>	5,000	500,000	
施工費 重機		100	m <sup>2</sup>	2,000	200,000	
現場管理費		5	日	40,000	200,000	

### 3.7 明細

リボンメニューの「明細」タブをクリックします。  
「明細」タブは以下の機能より構成されます。



- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| ・計算式クリア       | 計算式入力で設定された計算式をクリアします。         |
| ・単価チェック       | 単価未入力をチェックします。                 |
| ・数量チェック       | 数量未入力をチェックします。                 |
| ・割掛け          | 指定項目の単価または数量を掛率で一括変換します。       |
| ・シミュレーション     |                                |
| 単価シミュレーション    | 単価を掛率で一括変換し金額算出します。            |
| 数量シミュレーション    | 数量を掛率で一括変換し金額算出します。            |
| 総額固定シミュレーション  | 目標金額を入力し、単価を逆算し金額算出します。        |
| グループ別シミュレーション | グループコードごとに、単価を掛率で一括変換し金額算出します。 |
| ・グループ参照       | グループコードを参照します。                 |
| ・再集計          | 金額を上位に集計します。                   |
| ・NET⇒提出コピー    | NETの項目を提出にコピーします。              |
| ・掛率を100%へ戻す   | 掛率を100%に戻します。                  |
| ・NET提出クリア     | NETと提出の指定項目をクリアします。            |
| ・単価マスタ自動セット   | 単価マスタより単価をセットします。              |
| ・マイナス変換       | 数量符号を反転した行をコピー貼り付けします。         |
| ・カンマ除去        | 名称、規格のカンマを削除します。               |
| ・明細合算         | 明細を合算します。                      |
| ・数量小数桁一括変換    | 数量がの小数桁を一括で変換します。              |
| ・数量=0行削除      | 数量がゼロでデータを削除します。               |
| ・コメントP行一括削除   | コメントP行を一括して削除します。              |
| ・数量小数部0除去     | 数量の小数部以下のゼロを除去します。             |
| ・名称規格文字数変換    | 名称、規格の文字数を20文字または32文字に変換します。   |
| ・現階層値引一括計算    | 現階層値引を一括で計算し設定します。             |

### 3.7.1 計算式クリア

計算式入力された数量、単価の計算式をクリアします。

1) 数量または単価をクリックし、リボンメニューの[明細]タブから、[計算式クリア]をクリックします。



#### ・数量

計算式クリアを行うと、計算式がクリアされ文字の太さも戻ります。

NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
計算式	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 0	t	50.45	130,000	6,558,500
直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 3	t	13.87	36,300	503,481

#### ・単価

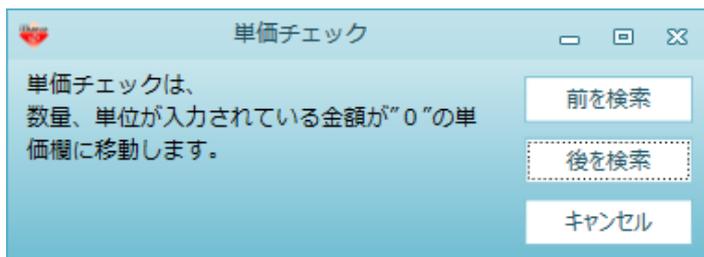
計算式クリアを行うと、計算式がクリアされ文字の太さも戻ります。

NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 0	t	50.45	130,000	6,558,500
直接入	明細		異形鉄筋	S D 3 0 D 1 3	t	13.87	36,300	503,481

### 3.7.2 単価チェック

数量、単位が入力されているが単価が未入力の単価に移動します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[単価チェック]をクリックします。



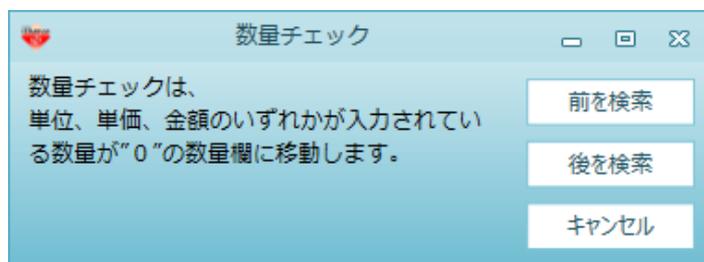
- ・前を検索
- ・後を検索

現在選択されている行から上を検索します。  
現在選択されている行から下を検索します。

### 3.7.3 数量チェック

単位、単価、金額のいずれかが入力されていて数量が未入力の数量欄に移動します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[数量チェック]をクリックします。



- ・前を検索
- ・後を検索

現在選択されている行から上を検索します。  
現在選択されている行から下を検索します。

### 3.7.4 割掛け

指定した項目の単価または数量に掛率をかけて試算します。

1) 割掛けする行をクリックし、リボンメニューの[明細]タブから、[割掛け]をクリックします。



2) 割掛けの条件を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

#### ① 単価の割掛け

割掛け

---

処理

処理対象: 単価      処理内容: 割掛け

対象元: NET      掛率: 100.00 ~ 100.00      対象先: 提出

---

単価丸め単位

端数調整: 建築シミュレーション

	丸め範囲以上	丸め範囲未満	上有効桁数	丸め方法
1	0	1	0	切り捨て
2	1	10	1	切り捨て
3	10	100	1	切り捨て
4	100	1,000	2	切り捨て
5	1,000	10,000	3	切り捨て
6	10,000	100,000	3	切り捨て
7	100,000	1,000,000	3	切り捨て
8	1,000,000	10,000,000	2	切り捨て
9	10,000,000	100,000,000	3	切り捨て
10	100,000,000	1,000,000,000	4	切り捨て
11	1,000,000,000	10,000,000,000	5	切り捨て

---

数量・単位のコピー

数量をコピーする

単位をコピーする

#### ・処理

対象単価  
処理内容  
対象元  
掛率  
対象先

単価または数量を選択します。  
割掛、率消去、ランダム掛率のいずれかを選択します。  
割掛の対象元を選択します。  
対象元に対して掛ける掛率を入力します。  
割掛の結果を設定する対象を選択します。  
丸めの計算方法を選択します。

#### ・単価の丸め単位

・数量・単位のコピー  
数量をコピーする  
単位をコピーする

対象元の数量をコピーします。  
対象元の単位をコピーします。

## ①数量の割掛け

割掛け

処理対象: 数量  
処理内容: 割掛け

対象元: NET × 掛率: 100.00 ~ 100.00 = 対象先: 提出

端数丸め方法  
丸め方法: 切り捨て  
丸め小数点桁数: 積算基準

数量・単位のコピー  
 単位をコピーする  
 単価をコピーする

未登録単位  
 計算対象とする  
 計算対象外とする

OK キャンセル

### ・処理

対象単価  
処理内容  
対象元  
掛率  
対象先

単価または数量を選択します。  
割掛け、率消去、ランダム掛率のいずれかを選択します。  
割掛けの対象元を選択します。  
対象元に対して掛ける掛率を入力します。  
割掛けの結果を設定する対象を選択します。

### ・端数丸め方法

丸め方法  
丸め小数点桁数

丸め方法を切り上げ、切り捨て、四捨五入から選択します。  
小数点桁数を積算基準、小数点第一～三位から選択します。

### ・数量・単位のコピー

単位をコピーする  
単価をコピーする

対象元の単位をコピーします。  
対象元の単価をコピーします。

### ・未登録単位

単位マスター未登録の単位を数量割掛けの対象とするか  
選択します。

※ 単位マスターに登録済の単位は、単位マスターにて、数量割掛けの対象とするか  
選択ができます。

## 単位マスターメンテナンス

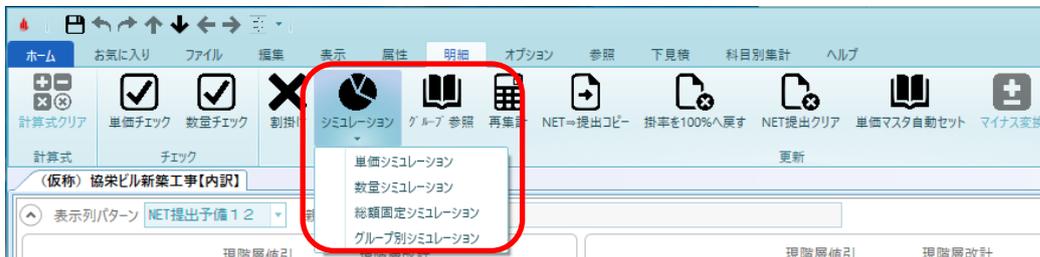
単位コード	単位名称	単位名称_言語2	建築数量小数有無	設備数量小数有無	数量割掛け	建築表示順No	設備表示順No
1 001	式	式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
2 002	m	m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	2
3 003	m	m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	3
4 004	m3	m3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	4
5 005	か所	か所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	5
6 006	枚	枚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	6
7 007	本	本	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7	7
8 008	kg	kg	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8	8
9 009	t	t	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9	9
10 010	帖	帖	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	10

EXCELインポート EXCELエクスポート 行挿入 行削除 上書き保

### 3.7.5 シミュレーション

項目を一括指定して単価、数量または金額指定で試算します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[シミュレーション]をクリックします。



2)単価シミュレーション

①対象元、対象先を選択します。左:対象元 右:対象先

The screenshot shows the simulation setup screen. Two dropdown menus are highlighted with red boxes: 'NET' for the source and '提出' (Submission) for the destination. Below these are summary tables for '総合計' (Total) and '現階層計' (Current Layer Total).

対象元	総合計	現階層計	対象先	総合計	現階層計
NET	74,980,949	58,230,949	提出	58,048,976	58,048,976

選択	名称	規格	掛率 (%)	単位(NET)	単価(NET)	金額(NET)	構成比
<input checked="" type="checkbox"/>	直接仮設工事		100	式	2,926,000	2,926,000	5.02
<input checked="" type="checkbox"/>	土工事		100	式	4,461,400	4,461,400	7.66
<input checked="" type="checkbox"/>	杭工事		100	式	3,916,000	3,916,000	6.72
<input type="checkbox"/>	コンクリート工事		100	式	16,044,000	16,044,000	27.55
<input type="checkbox"/>	鉄筋工事		100	式	11,108,044	11,108,044	19.08

②シミュレーションの対象行を選択して、掛率を入力します。

The screenshot shows the simulation table with the '選択' (Select) column checkboxes and the '掛率 (%)' (Rate) column highlighted with red boxes. The rate for the selected items is set to 120.

選択	名称	規格	掛率 (%)	単位(NET)	単価(NET)	金額(NET)	構成比
<input checked="" type="checkbox"/>	直接仮設工事		120	式	2,926,000	2,926,000	5.02
<input checked="" type="checkbox"/>	土工事		120	式	4,461,400	4,461,400	7.66
<input checked="" type="checkbox"/>	杭工事		120	式	3,916,000	3,916,000	6.72
<input type="checkbox"/>	コンクリート工事		100	式	16,044,000	16,044,000	27.55
<input type="checkbox"/>	鉄筋工事		100	式	11,108,044	11,108,044	19.08

③[実行]ボタンをクリックします。



④割掛けの条件を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

単価シミュレーション条件

対象単価  
単価(NET) × 掛率 = 単価(提出)

単価丸め単位  
端数調整: 建築シミュレーション

	丸め範囲以上	丸め範囲未満	上有効桁数	丸め方法
1	0	1	0	切り捨て
2	1	10	1	切り捨て
3	10	100	1	切り捨て
4	100	1,000	2	切り捨て
5	1,000	10,000	3	切り捨て
6	10,000	100,000	3	切り捨て
7	100,000	1,000,000	3	切り捨て
8	1,000,000	10,000,000	2	切り捨て
9	10,000,000	100,000,000	3	切り捨て
10	100,000,000	1,000,000,000	4	切り捨て
11	1,000,000,000	10,000,000,000	5	切り捨て

数量・単位のコピー  
 数量をコピーする  
 単位をコピーする

OK キャンセル

- ・対象単価 対象単価を確認します。
- ・単価丸め単位 丸めの計算方法を選択します。
- ・数量・単位のコピー  
 数量をコピーする 対象元の数量をコピーします。  
 単位をコピーする 対象元の単位をコピーします。

3)数量シミュレーション

①対象元、対象先を選択します。 左:対象元 右:対象先

(仮称) 協栄ビル新築工事【内訳】

NET	現階層計	提出	現階層計
74,980,949	58,230,949	58,048,976	58,048,976

選択	名称	規格	掛率 (%)	数量(NET)	単位(NET)	数量(提出)	単位(提出)
<input checked="" type="checkbox"/>	直接仮設工事		120	1	式	1	式
<input checked="" type="checkbox"/>	土工事		120	1	式	1	式
<input checked="" type="checkbox"/>	杭工事		120	1	式	1	式
<input type="checkbox"/>	コンクリート工事			1	式	1	式
<input type="checkbox"/>	鉄筋工事			1	式	1	式

②シミュレーションの対象行を選択して、掛率を入力します。

選択	名称	規格	掛率 (%)	数量(NET)	単位(NET)	数量(提出)	単位(提出)
<input checked="" type="checkbox"/>	直接仮設工事		120	1	式	1	式
<input checked="" type="checkbox"/>	土工事		120	1	式	1	式
<input checked="" type="checkbox"/>	杭工事		120	1	式	1	式
<input type="checkbox"/>	コンクリート工事			1	式	1	式

③[実行]ボタンをクリックします。



④割掛けの条件を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

- ・対象数量  
対象単価を確認します。
- ・端数丸め方法  
丸め方法を切り上げ、切り捨て、四捨五入から選択します。  
丸め小数点桁数を積算基準、小数点第一～三位から選択します。
- ・単位・単価のコピー  
単位をコピーする  
対象元の単位をコピーします。  
単価をコピーする  
対象元の単価をコピーします。
- ・未登録単価  
単位マスター未登録の単位を数量割掛けの対象とするか  
選択します。

※ 単位マスターに登録済の単位は、単位マスターにて、数量割掛けの対象とするかを選択ができます。

### 単位マスターメンテナンス

単位コード	单位名称	単位名称_言語2	建築数量小数有無	設備数量小数有無	シミュレーション数量掛率	建築表示順No	設備表示順No
1 001	式	式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
2 002	m	m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	2
3 003	m	m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	3
4 004	m3	m3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	4
5 005	か所	か所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	5
6 006	枚	枚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	6
7 007	本	本	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7	7
8 008	kg	kg	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8	8
9 009	t	t	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9	9
10 010	帖	帖	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	10

#### 4) 総額固定シミュレーション

① 設定したい金額を入力します。

内訳ツリー	名称	規格	数量 (NET)	単位 (NET)	単価 (NET)	金額 (NET)	構成比	設定金額
〇〇ビル新築工事	直接仮設工事		1	式	23,723,555	23,723,555	6.0	25,000,000
共通仮設工事	土工事		1	式	12,048,850	12,048,850	3.0	14,000,000
建築工事	地業工事		1	式	15,282,790	15,282,790	3.8	16,000,000
直接仮設工事	鉄筋工事		1	式	14,832,230	14,832,230	3.7	14,832,230
土工事	コンクリート工事		1	式	16,235,885	16,235,885	4.1	16,235,885
地業工事	型枠工事		1	式	6,642,590	6,642,590	1.8	6,642,590

② 総額固定シミュレーション条件を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

単価丸め単位  
端数調整: 建築シミュレーション

	丸め範囲以上	丸め範囲未満	上有効桁数	丸め方法
1	0	1	0	切り捨て
2	1	10	1	切り捨て
3	10	100	1	切り捨て
4	100	1,000	2	切り捨て
5	1,000	10,000	3	切り捨て
6	10,000	100,000	3	切り捨て
7	100,000	1,000,000	3	切り捨て
8	1,000,000	10,000,000	2	切り捨て
9	10,000,000	100,000,000	3	切り捨て
10	100,000,000	1,000,000,000	4	切り捨て
11	1,000,000,000	10,000,000,000	5	切り捨て

OK      キャンセル

#### 5) グループ別シミュレーション

① グループの「コード」「名称」「会社名」を入力します。

内訳ツリー	コード	名称	会社名	指率	NET金額 (A)	提出金額 (B)	端数調整	註
(仮称) 協栄ビル新築工事								
共通仮設工事								
建築工事								
直接仮設工事								
土工事								
杭工事								
コンクリート工事								
鉄筋工事								
組構工事								
防水工事								
石・凝石工事								
タイル工事								
木工事	100	根代り	A社					建築シミュ
屋根外装工事								
金庫工事	110	埋戻し	A社					建築シミュ
左官工事								
木製建具工事	241	既存杭	B社					建築シミュ
金属製建具工事								
アルミ製建具								
銅製建具								
銅製シャッター	B10	地業	B社					建築シミュ
値引								
ガラス工事								
塗装工事								
内装工事								
雑工事								
電気設備工事								
高圧線引込設備工事								

- ② 見積書入力画面で、グループコードを設定します。  
 グループCDを入力したいセルをクリックし、グループ参照ボタンをクリックすると  
 集計用グループ参照画面が表示されます。  
 グループをダブルクリック、または行を選択し「OK」ボタンをクリックでグループCDの入力ができ

	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考	グループCD	提出 数量	提出 単位	提出 単価	提出 金額
	206.00	m <sup>3</sup>	1,100	226,600			206.00	m <sup>3</sup>	1,320	271,920
	206.00	m <sup>3</sup>	3,300	679,800			206.00	m <sup>3</sup>	3,960	815,760
	70.00	m <sup>3</sup>	3,850	269,500			70.00	m <sup>3</sup>	4,620	323,400
	1	式	16,500	16,500			1	式	19,800	19,800
	8.00	m <sup>3</sup>	8,800	70,400			8.00	m <sup>3</sup>	10,500	84,000
	70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400			70.0	m <sup>2</sup>	260	18,200
	1	式	3,300,000	3,300,000			1	式	3,900,000	3,900,000
	1	式	110,000	110,000			1	式	132,000	132,000



集計用グループ参照

コード	名称	会社名	掛率
100	根伐り	A社	
110	埋戻し	A社	
241	既存杭	B社	
B10	地業	B社	
B20	山留	C社	

OK 閉じる

	NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考	グループCD	提出 数量	提出 単位	提出 単価	提出 金額
	206.00	m <sup>3</sup>	1,100	226,600		100	206.00	m <sup>3</sup>	1,320	271,920
	206.00	m <sup>3</sup>	3,300	679,800			206.00	m <sup>3</sup>	3,960	815,760
	70.00	m <sup>3</sup>	3,850	269,500			70.00	m <sup>3</sup>	4,620	323,400
	1	式	16,500	16,500			1	式	19,800	19,800
	8.00	m <sup>3</sup>	8,800	70,400			8.00	m <sup>3</sup>	10,500	84,000
	70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400			70.0	m <sup>2</sup>	260	18,200
	1	式	3,300,000	3,300,000			1	式	3,900,000	3,900,000
	1	式	110,000	110,000			1	式	132,000	132,000
	1		-200	-200			1		-1,080	-1,080

- ③ 掛率入力%を入力します。

コード	名称	会社名	掛率	NET金額 (A)	提出金額 (B)	端数調整	総額入力	掛率入力%	掛率% (B/A)	構成比率% (B/C)
1	合計			4,688,000 (C)	5,564,000	建築シミュ			118.69	100
2	グループなし合計			109,800	130,820	建築シミュ		120	119.23	2.35
3	グループあり合計			4,578,200	5,433,080	建築シミュ			118.67	97.65
4	100	根伐り	A社	906,400	1,087,680	建築シミュ		98	120	19.55
5	110	埋戻し	A社	269,500	323,400	建築シミュ		87	120	5.81
6	241	既存杭	B社	16,500	19,800	建築シミュ		75	120	0.36
7	B10	地業	B社	70,400	84,000	建築シミュ		86	118.32	1.51
8	B20	山留	C社	3,315,400	3,918,200	建築シミュ		95	118.18	70.42

④ リボンメニューの[実行]ボタンをクリックします。



### 3.7.6 グループ参照

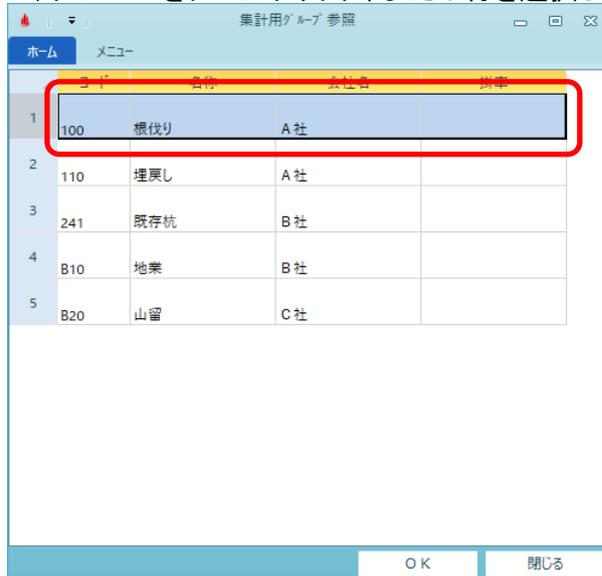
グループコードを設定します。

1) グループコードを入力したいセルをクリックし、リボンメニューの[明細]タブから、[グループ参照]をクリックします。

NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考	グループCD	提出数量	提出単位	提出単価	提出金額
206.00	m3	1,100	226,600			206.00	m3	1,320	271,920
206.00	m3	3,300	679,800			206.00	m3	3,960	815,760
70.00	m3	3,850	269,500			70.00	m3	4,620	323,400
1	式	16,500	16,500			1	式	19,800	19,800
8.00	m3	8,800	70,400			8.00	m3	10,500	84,000
70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400			70.0	m <sup>2</sup>	260	18,200
1	式	3,300,000	3,300,000			1	式	3,900,000	3,900,000
1	式	110,000	110,000			1	式	132,000	132,000



2) グループをダブルクリック、または行を選択し[OK]ボタンをクリックします。



3) グループコードが入力されます。

NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	NET備考	グループCD	提出数量	提出単位	提出単価	提出金額
206.00	m3	1,100	226,600		100	206.00	m3	1,320	271,920
206.00	m3	3,300	679,800			206.00	m3	3,960	815,760
70.00	m3	3,850	269,500			70.00	m3	4,620	323,400
1	式	16,500	16,500			1	式	19,800	19,800
8.00	m3	8,800	70,400			8.00	m3	10,500	84,000
70.0	m <sup>2</sup>	220	15,400			70.0	m <sup>2</sup>	260	18,200
1	式	3,300,000	3,300,000			1	式	3,900,000	3,900,000
1	式	110,000	110,000			1	式	132,000	132,000
1		-200	-200			1		-1,080	-1,080

### 3.7.7 再集計

金額計算および積上計算を再度行います。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[再集計]をクリックします。



・通常自動でこれら処理は行っていますが、外部からのデータ連動などで金額計算に確認がもてない場合に実行して下さい。

### 3.7.8 NET⇒提出コピー

コピー元の指定した項目をコピー先に複写します。

1)コピーする行をクリックし、リボンメニューの[明細]タブから、[NET⇒提出コピー]をクリックします。



2)コピー条件を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

A screenshot of the 'NET⇒提出コピー' dialog box. It has a title bar with a close button. The 'コピー元' (Copy Source) dropdown is set to 'NET'. The 'コピー先' (Copy Destination) dropdown is set to '提出'. Under the '実行項目' (Execution Items) section, there are six checkboxes: '数量' (Quantity), '単価' (Unit Price), '単価' (Unit Price), '備考' (Remarks), and '関係切り' (Relationship Cut-off), all of which are checked. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- ・コピー元
- ・コピー先
- ・実行項目

コピー元をNET～予備8から選択します。  
コピー先をNET～予備8から選択します。  
コピーしたい項目を選択します。

### 3. 7. 9 掛率を100%に戻す

選択した掛率を100%に戻します。

- 1) 連動を戻すセルをクリックし、リボンメニューの[明細]タブから、[掛率を100%に戻す]をクリックします。



NET 数量	NET 単位	NET 単価	NET 金額	NET 備考	提出 下 明細数量	提出 数量	提出 単位	提出 単価掛率	提出 単価	提出 金額	
20	m <sup>2</sup>	10,000	200,000		NET提出	100%	20	m <sup>2</sup>	200%	20,000	400,000

- 2) 戻す条件を設定し、[OK]ボタンをクリックします。



- ・デフォルトへ戻す
- ・現状の設定を維持する

単価端数調整区分を物件設定の区分へ戻します。  
単価端数調整区分の設定を現在のまま維持します。

※物件設定で連動を設定しないと掛率を100%に戻すことはできません。

#### 物件設定画面



### 3. 7. 10 NET提出クリア

指定した項目をクリアします。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[NET提出クリア]をクリックします。



2)クリア条件を設定し、[OK]ボタンをクリックします。



- ・クリア対象                      クリア対象をNET～予備8から選択します。
- ・実行項目                        クリアしたい項目を選択します。

### 3. 7. 11 単価マスタ自動セット

指定した項目に単価マスタの単価をセットします。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[単価マスタ自動セット]をクリックします。



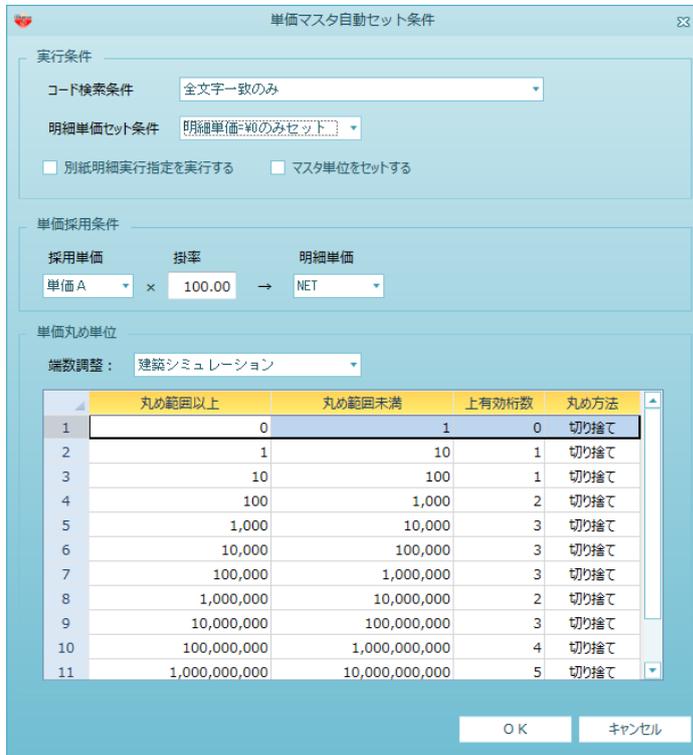
2)単価マスタから単価をセットしたい項目を選択します。

	選択	名称	規格	単位(NET)	単価(NET)	金額(NET)	構成比
1	<input checked="" type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 0 D 1 0	t	130,000	6,558,500	59.04
2	<input checked="" type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 0 D 1 3	t	36,300	503,481	4.53
3	<input checked="" type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 0 D 1 6	t	37,400	117,062	1.05
4	<input checked="" type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 5 D 1 9	t	38,500	157,465	1.42
5	<input type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 5 D 2 2	t	38,500	176,330	1.59
6	<input type="checkbox"/>	異形鉄筋	SD 3 5 D 2 5	t	38,500	249,095	2.24
7	<input type="checkbox"/>	(参 考 計)				7,761,933	
8	<input type="checkbox"/>	鉄筋ガス圧接		式	526,000	526,000	4.74
9	<input type="checkbox"/>	スリーブ補強筋		式	82,500	82,500	0.74
10	<input type="checkbox"/>	鉄筋加工組立		t	55,000	2,572,900	23.16

3)[実行]ボタンをクリックします。



4)単価マスタ自動セット条件を設定し、[OK]ボタンをクリックします。



#### ・実行条件

##### コード検索条件

###### 全文字一致のみ

部位、名称、規格文字が全て一致した場合のみ、対象とします。

###### 全文字一致がない場合、部位名称を除外

全文字一致でない場合でも名称、規格が一致する場合、対象とします。

###### 全文字一致がない場合、規格名称を除外

全文字一致でない場合でも部位、名称が一致する場合、対象とします。

###### 全文字一致がない場合、部位・規格名称を除外

全文字一致でない場合でも名称が一致する場合、対象とします。

###### 全コード一致のみ

部位、名称、摘要コードが全て一致した場合のみ、対象とします。

###### 全コード一致がない場合、部位コードを除外

全コード一致でない場合でも名称、摘要コードが一致する場合、対象とします。

###### 全コード一致がない場合、摘要コードを除外

全コード一致でない場合でも部位、名称コードが一致する場合、対象とします。

###### 全コード一致がない場合、部位・摘要コードを除外

全コード一致でない場合でも名称コードが一致する場合、対象とします。

##### 明細単価セット条件

###### 明細単価=¥0のみセット

単価が¥0の場合のみセットします。

###### 全て上書きする

全ての明細にセットします。

##### 別紙明細実行指定を実行する

別紙明細を対象とするか指定します。

##### マスタ単位をセットする

マスタの単位をセットするか指定します。

- ・単価採用条件  
採用単価  
掛率  
明細単価

セットする単価マスタの単価を指定します。  
単価マスタからセットするときの掛率を指定します。(%)  
セットする明細単価を指定します。

- ・単価丸め単位

単価丸め単位桁数と端数丸め方法を設定します。

### 3. 7. 12 マイナス変換

指定した数量欄の符号を逆転します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[マイナス変換]をクリックします。



2) マイナス変換を掛けたい数量を選択して、[マイナス変換]をクリックします。

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	計算式	明細		異形鉄筋	SD295A D10	40	t	11,000	440,000
2	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10		t	130,000	9,100,000

↓

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額
1	計算式	明細		異形鉄筋	SD295A D10	-40	t	11,000	-440,000
2	直接入力	明細		異形鉄筋	SD295A D10	70	t	130,000	9,100,000

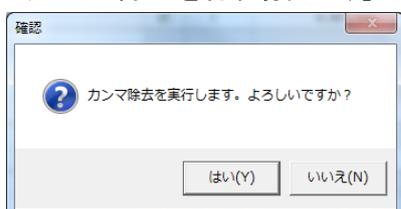
### 3. 7. 13 カンマ除去

全データの名称、規格、備考の中から、カンマ(,)とダブルクォーテーション(")の文字を一括

1)リボンメニューの[明細]タブから、[カンマ除去]をクリックします。



2)カンマ除去を行う場合は、[はい]ボタンをクリックします。



### 3.7.14 明細合算

指定階層(編集集中の階層)における明細の合算を行います。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[明細合算]をクリックします。



・指定階層を明細合算すると、指定した階層の明細が1つに合算されます。

色	下	属	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考
1	明計	内訳	直接仮設工事		式	1	2,926,000	2,926,000	
2	明計	内訳	土工事		式	1	4,461,400	4,461,400	
3	明計	内訳	杭工事		式	1	3,916,000	3,916,000	

色	NET下	属	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額
1	直接入	明細		やりかた墨出し		式	1	165,000	165,000
2	直接入	明細		外部足場		式	1	1,287,000	1,287,000
3	直接入	明細		内部足場		式	1	187,000	187,000
4	直接入	明細		安全設備					627,000
5	直接入	明細		養生費					121,000
6	直接入	明細		雑仮設		式	1	539,000	539,000
7	直接入	計		小計			1	2,926,000	2,926,000
8	直接入	明細		残土処分		m3	206.00	3,300	679,800
9	直接入	明細		埋戻	購入土	m3	70.00	3,950	269,500
10	直接入	明細		杭間洗い		式	1	16,500	16,500
11	直接入	明細		砕石地業		m3	8.00	8,800	70,400
12	直接入	明細		ポリエチレンシート敷	@0.15	m2	70.0	220	15,400
13	直接入	明細		山留					3,300,000
14	直接入	明細		水督費					110,000
15	直接入	明細		値引			1	-200	-200
16	直接入	計		小計			1	4,461,400	4,461,400
17	直接入	明細		場所打杭	700φL=8.9	本	5	0	0
18	直接入	明細		場所打杭	800φL=8.9	本	3	0	0
19	直接入	明細		場所打杭	1000φL=8.9	本	4	0	0
20	直接入	明細		杭鉄筋					205,920
21	直接入	明細		杭頭処理費					165,000
22	直接入	明細		値引			1	-820	-820
23	直接入	計		小計			1	370,100	370,100

※下記の場合は明細合算は実行できません。

色	下	属	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考
1	明計	内訳	直接仮設工事		式	1	2,926,000	2,926,000	
2	明計	内訳	土工事		式	1	4,461,400	4,461,400	
3	明計	内訳	杭工事		式	1	3,916,000	3,916,000	
4	明計	内訳	コンクリート工事		式	1	16,044,000	16,044,000	
5	明計	内訳	鉄筋工事		式	1	12,000,000	12,000,000	
6	明計	内訳	木製建具工事		式	1	39,000	39,000	
7	次内	内訳	金属製建具工事		式	1	5,623,000	5,623,000	

- ・第1階層では明細合算は実行できません。
- ・下階層に集計階層がある場合、明細合算は実行できません。
- ・集計階層の関係切行の下階層がある場合、明細は合算されません。

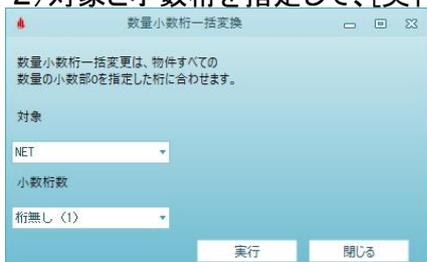
### 3. 7. 15 数量小数桁一括変換

物件すべての数量の小数桁を変更します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[数量小数桁一括変換]をクリックします。



2)対象と小数桁を指定して、[実行]ボタンをクリックします。



### 3. 7. 16 数量=0行削除

指定した列項目の数量がゼロの明細行を削除します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[数量=0行削除]をクリックします。



2)削除条件を指定して、[OK]ボタンをクリックします。



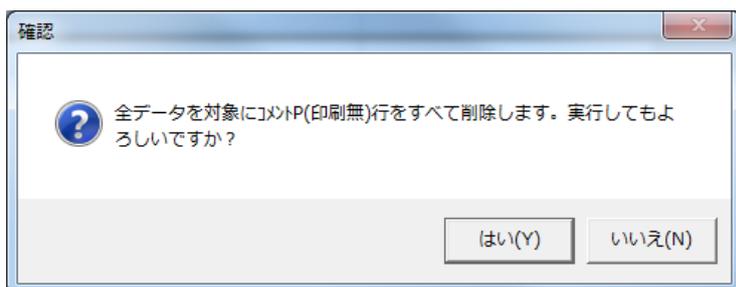
### 3. 7. 17 コメントP行一括削除

属性がコメントPの行を全て削除します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[コメントP行一括削除]をクリックします。



2)削除する場合は、[はい]をクリックします。



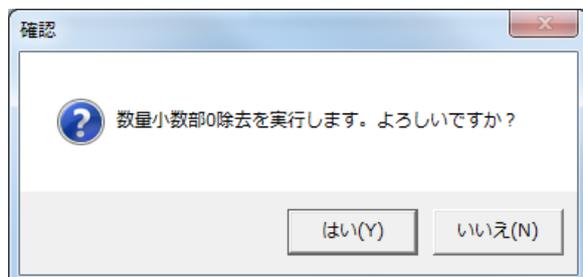
### 3. 7. 18 数量小数部0除去

数量の小数部以下がゼロの場合、小数部を全て削除します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[数量少数部0除去]をクリックします。



2)削除する場合は、[はい]をクリックします。



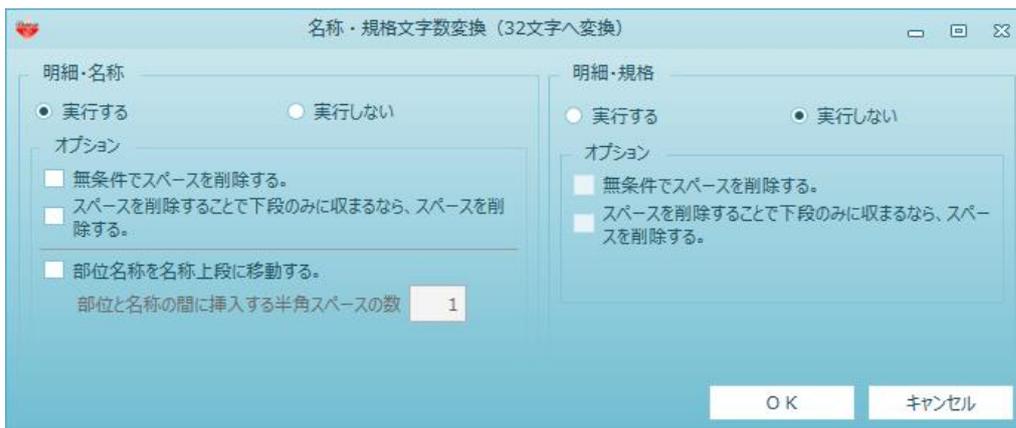
### 3. 7. 19 名称規格文字数変換

名称、規格の文字数を32文字タイプに変換します。

1)リボンメニューの[明細]タブから、[名称規格文字数変換]をクリックします。



2)[OK]ボタンをクリックすると、設定内容に従い、再配置を実行します。



#### 明細・名称

- ・実行する 名称の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 名称の文字数変換を実行しません。

#### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する  
上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。
- ・スペースを削除することで下段のみに収まるなら、スペースを削除する。  
上下段で合成後、スペースを削除することで、下段のみ(32文字)で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。
- ・部位名称を名称上段に移動する。  
明細、別紙明細階層で部位に入力されている内容を、材料名称上段へ再配置します。この場合、材料名称上段は部位名称単独、または部位名称と材料名称となるので、部位名称と材料名称の間に何文字スペースを挿入するか指定します。

#### 明細・規格

- ・実行する 名称の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 名称の文字数変換を実行しません。

#### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する  
上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。
- ・スペースを削除することで下段のみに収まるなら、スペースを削除する。  
上下段で合成後、スペースを削除することで、下段のみ(32文字)で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。

## ・20文字へ変換

名称・規格文字数変換 (20文字へ変換)

内訳・名称

実行する  実行しない

オプション

- 無条件でスペースを削除する。
- スペースを削除することで上下段合わせて半角40文字以内に収まるなら、スペースを削除する。
- 上下段合わせて半角41文字以上なら、スペースを削除する。
- 上下段編集は行わず、無条件に上下段各々で半角21文字以降の文字を削除する。

内訳・規格

実行する  実行しない

オプション

- 無条件でスペースを削除する。
- 各規格をつなげて半角20文字以内に収まるなら、スペースを削除する。

明細・名称

実行する  実行しない

オプション

- 無条件でスペースを削除する。
- スペースを削除することで上下段合わせて半角40文字以内に収まるなら、スペースを削除する。
- 上下段合わせて半角41文字以上なら、スペースを削除する。
- 上下段編集は行わず、無条件に上下段各々で半角21文字以降の文字を削除する。
- 上段の内容を、部位名称へ移動させる。

明細・規格

実行する  実行しない

オプション

- 無条件でスペースを削除する。
- 各規格をつなげて半角20文字以内に収まるなら、スペースを削除する。

OK キャンセル

### 内訳・名称

- ・実行する 名称の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 名称の文字数変換を実行しません。

### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する  
上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。
- ・スペースを削除することで上下段合わせて半角40文字以内に収まるならスペースを削除する。  
上下段で合成後、スペースを削除することで、上下段合わせて半角40文字以内で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。
- ・上下段編集は行わず、無条件に上下段各々で半角21文字以降の文字を削除する。  
半角21文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。

### 内訳・規格

- ・実行する 規格の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 規格の文字数変換を実行しません。

### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する  
上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。
- ・各規格をつなげて半角20文字以内に収まるなら、スペースを削除する。  
スペースを削除することで、半角20文字以下で表現することが出来る場合、再配置のときにスペースを削除します。

#### 明細・名称

- ・実行する 名称の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 名称の文字数変換を実行しません。

#### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する。  
上下段を合成後、再配置する時にスペースを削除します。
- ・スペースを削除することで上下段合わせて半角40文字以内に収まるなら、スペースを削除する。  
上下段を合成後、スペースを削除することで、40文字以下で表現できる場合、再配置のときにスペースを削除します。
- ・上下段合わせて半角41文字以上なら、スペースを削除する。  
上下段を合成して半角で41文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。
- ・上下段編集は行わず、無条件に上下段各々で半角21文字以降の文字を削除する。  
上下段の合成は行わず、上段、下段各々で半角20文字以降は削除します。
- ・上段の内容を、部位名称へ移動させる。  
各条件による再配置後、上段名称の内容を部位名称に移動する。  
上段名称は、未入力状態となります。

#### 明細・規格

- ・実行する 規格の文字数変換を実行します。
- ・実行しない 規格の文字数変換を実行しません。

#### ・オプション

- ・無条件でスペースを削除する  
上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。
- ・各規格をつなげて半角20文字以内に収まるなら、スペースを削除する。  
スペースを削除することで、半角20文字以下で表現することが出来る場合、再配置のときにスペースを削除します。

## ・スペース削除

スペース削除

内訳

名称上段  備考上段  
 名称下段  規格  単位  備考下段

名称オプション

スペースを削除した結果、上下段を合わせた内容が下段のみに収まるなら、その内容を下段にセットする。

明細

部位  名称上段  備考上段  
 名称下段  規格  単位  備考下段

名称オプション

スペースを削除した結果、上下段を合わせた内容が下段のみに収まるなら、その内容を下段にセットする。

OK キャンセル

### 内訳階層実行項目

内訳階層において、スペースを削除する項目を選択します。

スペースを削除した結果、上下段を合わせた内容が下段のみに収まるなら、その内容を下段にセットする。

名称・規格については、スペースを削除したことにより上下段合わせ、下段だけで表現できる文字数になった場合、上段を未使用として、下段に結果をセットします。

### 明細階層実行項目

明細階層において、スペースを削除する項目を選択します。

スペースを削除した結果、上下段を合わせた内容が下段のみに収まるなら、その内容を下段にセットする。

名称・規格については、スペースを削除したことにより上下段合わせ、下段だけで表現できる

文字数になった場合、上段を未使用として、下段に結果をセットします。

### 3. 7. 20 現階層値引一括計算

現階層値引きを計算し、設定します。

1) リボンメニューの[明細]タブから、[現階層値引一括計算]をクリックします。



2) 値引を設定するNET提出区分、端数調整を選択し[OK]をクリックします。

現階層値引一括計算

処理対象

NET提出区分  
NET

上有効桁数

端数調整: 建築シミュレーション

	丸め範囲以上	丸め範囲未満	上有効桁数	丸め方法
1	0	1	0	切り捨て
2	1	10	1	切り捨て
3	10	100	1	切り捨て
4	100	1,000	2	切り捨て
5	1,000	10,000	3	切り捨て
6	10,000	100,000	3	切り捨て
7	100,000	1,000,000	3	切り捨て
8	1,000,000	10,000,000	2	切り捨て
9	10,000,000	100,000,000	3	切り捨て
10	100,000,000	1,000,000,000	4	切り捨て
11	1,000,000,000	10,000,000,000	5	切り捨て

OK      キャンセル

3) 現階層値引が設定されます。

表示列ボタン NET      親: 名称 共通仮設工事

	現階層値引	現階層改計	
NET	-200	325,000	
総合計	現階層目標	現階層計	目標差額
89,742,000	0	325,200	325,000

#### ・計算対象

ツリー電選択している内訳の配下の、末端の集計階層のみ計算します。  
別紙明細は対象外です。

## 3.8 オプション

### 3.8.1 物件設定

物件の明細既定、割掛・シミュレーション既定、消費税情報、物件一覧色の既定値情報を設定します。

1) リボンメニューの[オプション]タブの[物件設定]をクリックします。



物件の明細既定、割掛・シミュレーション既定、消費税情報、物件一覧色の既定値を設定します。

物件コード: 2016040-2  
 物件名称1: (仮称) ○○○○マンション改修工事  
 物件名称2:

**明細既定設定**

名称欄文字数: 32文字 | 規格欄文字数: 32文字 | 規格開始行区分: 下段  
 印刷時均等割: しない | 明細追加時既定端数調整: 整数(切り捨) | 明細追加時既定金額端数調整: 整数(切り捨)  
 既定数量丸め小数点桁数区分: 積算基準 | 既定数量端数丸め方法区分: 切り捨て  
 印詳区計行名称印刷区分: する | 印詳内訳計行名称印刷区分: する  
 小計行名称: 小計 | 中計行名称: 中計 | 大計行名称: 大計 | 参考計行: 参考計  
 消費行名称: 消費税 | 内部計行名称: 内部計 | 外部計行名称: 外部計

**割掛・シミュレーション既定設定**

数量をコピーする |  単位をコピーする |  単価をコピーする |  未登録単位を計算対象にする  
 マスタ単位をセットする |  別紙明細実行指定を実行する  
 コード検索条件: 全文一致のみ | 明細単価セット条件: 明細単価=0の | 単価マスタ採用単価: 単価A  
 単価マスタ採用単価掛率: 100.00 | 単価マスタ採用単価NET提出区分: NET  
 建築既定端数調整: 建築シミュレ | 端数丸め方法: 切り捨て | 丸め小数点桁数: 積算基準

**消費税**  
 消費税率: 8% | 消費税丸め: 切り捨て

**物件一覧色**

列名称 (見積書入力画面)	NET	提出	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5	予備6	予備7	予備8
列背景色 (見積書入力画面)	色選択									
数量既定NET提出区分	NET									
単価既定NET提出区分	NET									

色選択 | 色サンプル

OK | キャンセル

#### ① 明細既定設定

- ・名称欄文字数 : 名称欄の文字数を「32文字」、「20文字」を選択します。
- ・規格欄文字数 : 規格欄の文字数を「32文字」、「20文字」を選択します。
- ・規格開始行区分 : 規格名称の開始行を「下段」、「上段」、「次行上段」から選択します。
- ・印刷時均等割 : 印刷時の名称欄の均等割付を「しない」、「上段のみする」、「上段のみする」、「上下段両方する」から選択します。
- ・明細追加時既定端数調整 : 明細追加時の単価の端数調整単位を「整数」、「シミュレーション」から選択します。
- ・明細追加時既定金額端数調整 : 明細追加時の金額の端数調整単位を「整数」、「四捨五入」から選択します。
- ・既定数量丸め小数点桁数区分 : 数量丸めの少数桁数を選択します。
- ・既定数量端数丸め方法区分 : 数量丸めの端数処理を選択します。
- ・印詳区計行名称印刷区分 : 未使用
- ・印詳内訳計行名称印刷区分 : 未使用
- ・小々計行名称 : 小々計行の名称規定値を設定します。
- ・小計行名称 : 小計行の名称規定値を設定します。
- ・計行名称 : 計行の名称規定値を設定します。
- ・中計行名称 : 中計行の名称規定値を設定します。

- ・大計行名称 : 大計行の名称規定値を設定します。
- ・合計行名称 : 合計行の名称規定値を設定します。
- ・改計行名称 : 改計行の名称規定値を設定します。
- ・総計行名称 : 総計行の名称規定値を設定します。
- ・参考計行 : 参考計行の名称規定値を設定します。
- ・消費行名称 : 消費税行の名称規定値を設定します。
- ・内部計行名称 : 内部計行の名称規定値を設定します。
- ・外部計行名称 : 外部計行の名称規定値を設定します。

## ②割掛・シミュレーション既定設定

- ・数量をコピーする : 割掛・シミュレーションで「数量」をコピーするか初期値を設定します。
- ・単位をコピーする : 割掛・シミュレーションで「単位」をコピーするか初期値を設定します。
- ・単価をコピーする : 割掛・シミュレーションで「単価」をコピーするか初期値を設定します。
- ・未登録単位を計算対象にする : 単位マスタに未登録の単位を割掛・シミュレーションの対象にするか初期値を設定します。
- ・マスタ単位をセットする : 割掛・シミュレーションでマスタ単位をセットする初期値を設定します。
- ・別紙明細実行指定を実行する : 割掛・シミュレーションで別紙明細実行指定を実行するか初期値を設定します。

## ③単価マスタ自動セット設定

- ・コード検索条件 : 単価マスタ自動セットで検索条件の初期値を設定します。
  - 全文字一致のみ : 部位、材料、及び規格文字のすべてが一致した場合のみ、対象とします。
  - 部位文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも材料、規格文字が一致した場合、対象とします。
  - 規格文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも部位、材料文字が一致した場合、対象とします。
  - 部位、規格文字を無視 : 全文字一致を優先とし、全文字一致しない場合でも材料文字のみ一致した場合、対象とします。
  - 全コード一致のみ : 部位、材料、及び規格コードのすべてが一致した場合のみ、対象とします。
  - 部位コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合でも材料、規格コードが一致した場合、対象とします。
  - 規格コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合でも部位、材料コードが一致した場合、対象とします。
  - 部位、規格コードを無視 : 全コード一致を優先とし、全コード一致しない場合でも材料コードのみ一致した場合、対象とします。
- ・明細単価セット条件 : 単価マスタ自動セットで明細単価をセットする条件の初期値を設定します。
  - 明細単価=¥0のみセット : セットする単価番号の単価が「0」の時のみセットします。
  - すべて上書きする : セットする単価番号の単価が「0」でない場合でも、セットします。
- ・単価マスタ採用単価 : セットする単価マスタの単価を選択します。
- ・単価マスタ採用単価掛率 : 単価マスタからセットするときの掛け率を設定します。単位は「%」、整数3桁で設定します。
- ・単価マスタ採用単価NET提出区 : 単価マスタからセットする時の単価にセットするかを設定します。
- ・建築既定端数調整 : 単価マスタからセットする時の端数調整の初期値を設定します。
- ・端数丸め方法 : 単価マスタからセットする時の端数丸め方法を設定します。
- ・丸め小数点桁数 : 単価マスタからセットする時の丸め小数点を設定します。
- ・下見積端数調整 : 下見積画面で経費単価、業者単価、希望単価、査定単価の計算に使用する端数調整の初期値を設定します。

## ④消費税

- ・消費税率 : 消費税率既定値を設定します。
- ・消費税丸め : 消費税率算出時の端数丸め方法を設定します。

## ⑤物件一覧色

- ・色選択 : プロジェクト・物件一覧での物件行の色を設定します。

### ⑥単価列設定

- ・列名称(見積書入力画面) : 見積書入力画面で単位～備考の列名称のタイトルを設定します。
- ・列背景色(見積書入力画面) : 見積書入力画面で単位～備考の列背景色を設定します。
- ・数量既定元提区分 : 見積書入力画面で数量の既定値を設定します。
- ・単価設定NET提出区分 : 見積書入力画面で単価の既定値を設定します。

## 3. 8. 2 鑑・要項書情報

物件の鑑、要項書の既定値を設定します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[表紙・鑑情報]をクリックします。



物件の鑑の既定値を設定します。

消費税	8 %	税計算	税額クリア	NET提出区分		反映	<input type="checkbox"/>	金額手入力
御 見 積 書								No.
御 見 積 書								
殿								平成 年 月 日
金		-	(請負者住所氏名)					
工事価格		-	東京都大田区平和島6丁目1番地1号					
消費税及び地方消費税額		-	TRCアネックスビル					
見積有効期間	提出後一か月		協栄産業株式会社					
			代表取締役 協栄太郎					
工事名・工事場所			支払条件					
(仮称) 協栄ビル新築工事			前渡金10%					
渋谷区松濤2-20-4			各月出来高90% 現金払					
工事概要			その他					
鉄骨鉄筋コンクリート造			下記工事は見積範囲外と致します。					
地下1階 地上3階 塔屋1階 1棟			1. 地中障害物撤去工事					
建築面積 200.0㎡ 延床面積 300.0㎡			2. 近隣補償 (日照、電波、風害、眺望、 営業)					
			3. 行政指導に伴う追加、変更工事					
			4. 各種設備接続に伴う負担金および 分担金等					
工期			契約					
着工 平成 年 月 日								
完成 平成 年 月 日			平成 年 月 日					
			5. 家具、什器、備品、厨房器具					
			6. 確定測量費 (有資格者による)					

各項目とも直接入力します。

ボタンでプレビュー、Excel出力、PDF作成と印刷がおこなえます。

終了する場合は、[OK] ボタンをクリックして下さい。

物件の要項書の既定値を設定します。

窓・要項書情報設定(物件データ)

要項書

タイトル印字	タイトル
<input checked="" type="checkbox"/>	御見積要項書
<input type="checkbox"/>	

1	1	工事場所	東京都渋谷区松濤2-20-4
2			
3	2	工事概要	建築構造:鉄骨鉄筋コンクリート造
4			階数:地下1階 地上3階 搭屋1階 1棟
5			建築面積:200.00㎡(60.61坪)
6			延床面積:300.00㎡(90.91坪)
7			
8		設備	電気、給排水衛生、空調和、昇降機
9			
10			
11	3	工期	自平成27年10月6日～至平成28年3月末日
12			
13	4	支払条件	前渡金 10%、各月出来高 90% 現金払い
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

プレビュー EXCEL PDF 印刷 OK キャンセル

各項目とも直接入力します。

ボタンでプレビュー、Excel出力、PDF作成と印刷がおこなえます。

終了する場合は、[OK] ボタンをクリックして下さい。

### 3. 8. 3 番号マスタ

番号マスタは印刷時に集計階層において、名称の前に印字される項目番号を設定するマスタです。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[番号マスタ]をクリックします。



物件毎に番号マスタの内容は変更できます。



### 3. 8. 4 単位マスタ

物件内で使用する単位マスタを編集します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[単位マスタ]をクリックします。



物件毎に単位マスタの内容は変更できます。



### 3. 8. 5 端数調整区分マスタ

物件内で使用する端数調整区分マスタを編集します。

1) リボンメニューの[オプション]タブから、[端数調整区分マスタ]をクリックします。



物件毎に端数調整区分マスタの内容は変更できます。

(物件)端数調整区分マスタメンテナンス

メニュー

コピー 切り取り 挿入貼り付け 上書き貼り付け 行挿入 行削除 元に戻す やり直し ソートOFF フィルタOFF EXCELインポート EXCELEXポート

編集

端数調整コード(*)	端数調整名称	丸め範囲以上(*)	丸め範囲未満(*)	上有効桁数(*)	丸め方法(*)
1	000	0	0.001	-3	切り捨て
2	003	0.001	0.01	-2	切り捨て
3	001	0.01	0.1	-1	切り捨て
4	002	0.1	1	0	切り捨て
5		1	10	1	切り捨て
6		10	100	2	切り捨て
7		100	1,000	3	切り捨て
8		1,000	10,000	4	切り捨て
9		10,000	100,000	5	切り捨て
10		100,000	1,000,000	6	切り捨て
11		1,000,000	10,000,000	7	切り捨て
12		10,000,000	100,000,000	8	切り捨て
13		100,000,000	1,000,000,000	9	切り捨て
14		1,000,000,000	10,000,000,000	10	切り捨て
15		10,000,000,000	100,000,000,000	11	切り捨て
16		100,000,000,000		12	切り捨て
*					

EXCELインポート EXCELEXポート 行挿入 行削除 上書き保存 キャンセル

### 3. 8. 6 名称文字数

編集画面において名称の最大入力文字数を指定します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[名称文字数]をクリックします。



編集画面において名称の最大入力文字数を指定します。  
内訳階層、明細・別紙明細階層での名称の最大入力文字数は以下のようになります。

名称欄文字数	名称欄最大文字数
20文字	上段:全角10文字 下段:全角10文字
32文字	上段:全角16文字 下段:全角16文字

### 3. 8. 7 規格文字数

編集画面において規格の最大入力文字数を指定します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[規格文字数]をクリックします。



編集画面において規格の最大入力文字数を指定します。  
内訳階層、明細・別紙明細階層での規格の最大入力文字数は以下のようになります。

規格欄文字数	規格欄最大文字数
20文字	上段:全角10文字 下段:全角10文字
32文字	上段:全角16文字 下段:全角16文字

### 3. 8. 8 付箋色

内訳、明細行に付箋色を設定します。

1) リボンメニューの[オプション]タブから、[付箋色]を設定します。



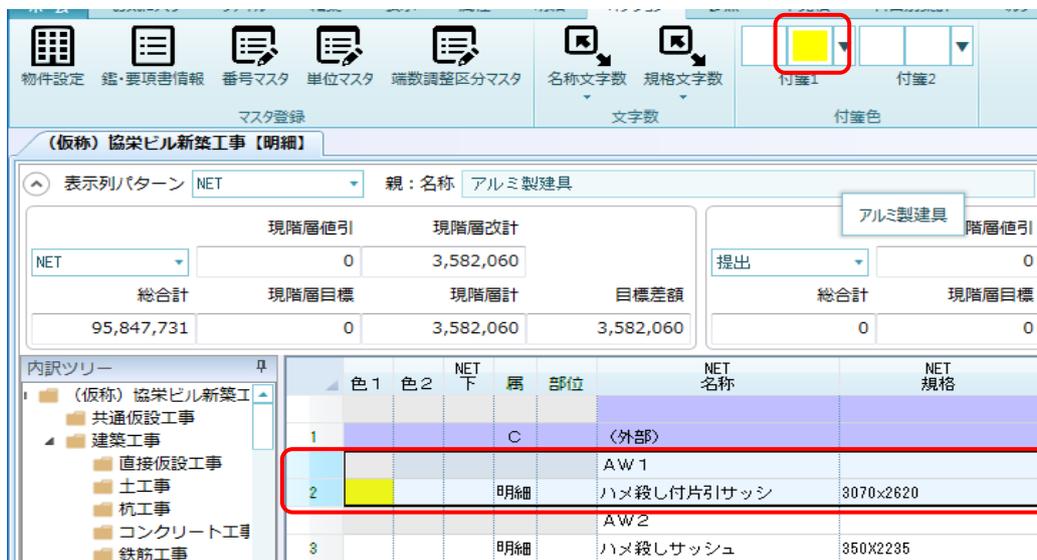
2) ▼をクリックします。



3) 付けたい付箋色を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



4) 付箋色を付けたい行を選択し、3) で選択した付箋色をクリックします。



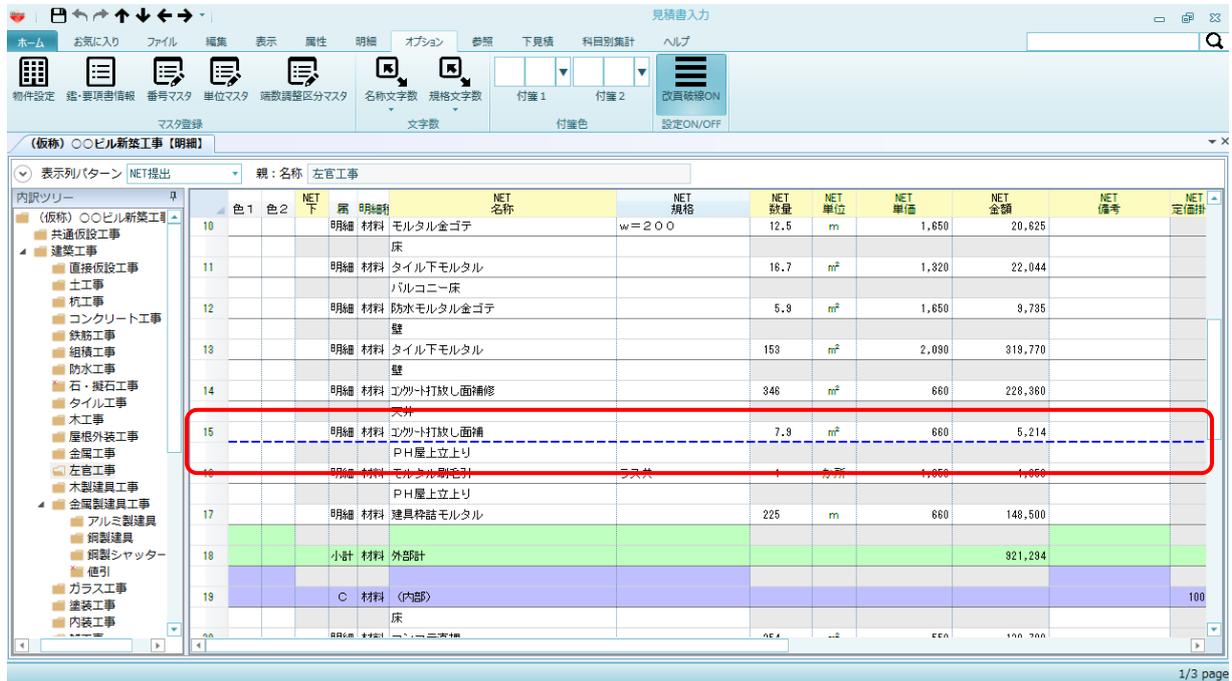
### 3. 8. 9 改頁破線ON/OFF

改頁位置に破線を表示します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[改頁破線ON/OFF]をクリックします。



2)改頁破線ONの時、改頁位置に破線が表示されます。



### 3. 8. 10 法定福利費自動計算

法定福利費を自動計算し、一覧出力します。

1)内訳階層で法定福利率、明細階層で労務フラグを設定します。

色1	色2	下	階	提出 名称	提出 規格	提出 数量	提出 単位	提出 単価	提出 金額	提出 備考	法定福利率
				内訳 共通仮設工事		1	式	7,520,000	7,520,000		20%
				内訳 建築工事		1	式	62,307,000	62,307,000		0%
				内訳 電気設備工事		1	式	7,475,000	7,475,000		0%
				内訳 給排水衛生設備工事		1	式	6,251,000	6,251,000		0%
				内訳 空調設備工事		1	式	4,848,000	4,848,000		0%
				内訳 昇降機設備工事		1	式	8,400,000	8,400,000		0%
				内訳 解体工事		1	式	1,400,000	1,400,000		0%
				内訳 諸経費		1	式	15,600,000	15,600,000		0%

色1	色2	提出 下	層	部位	提出 名称	提出 規格	提出 数量	提出 単位	提出 単価	提出 金額	提出 備考	労務フラグ
				明確	仮設建物		1	式	240,000	240,000		<input checked="" type="checkbox"/>
				明確	工事施設		1	式	780,000	780,000		<input checked="" type="checkbox"/>
				明確	機械器具材料		1	式	1,500,000	1,500,000		<input checked="" type="checkbox"/>
				明確	動力用水費		1	式	984,000	984,000		<input checked="" type="checkbox"/>
				明確	地代家賃		1	式	1,000,000	1,000,000		<input type="checkbox"/>
				明確	環境安全費		1	式	1,600,000	1,600,000		<input type="checkbox"/>
				明確	整理清掃費		1	式	840,000	840,000		<input type="checkbox"/>
				明確	運搬費		1	式	576,000	576,000		<input type="checkbox"/>

2)リボンメニューの[オプション]タブから、[法定福利費自動計算]をクリックします。



3)NET提出区分を選択し、[保存]をクリックして一覧を出力します。

#### 計算方法

- ①内訳に法定福利費率が入力されており、その明細に労務フラグが1つも立っていない場合  
→内訳の金額を元に法定福利費を算出します。
- ②内訳に法定福利費率が入力されており、その明細に労務フラグが1つ以上立っている場合  
→法定福利費フラグが立っている明細の金額合計を元に法定福利費を算出します。

### 3. 8. 11 ログイン情報

ログイン情報を表示します。

1)リボンメニューの[オプション]タブから、[ログイン情報]をクリックします。



2)ログイン情報の確認ができます。

The image shows a window titled 'ログイン情報' (Login Information) with a subtitle 'ログイン人数：1'. The window contains a table with the following data:

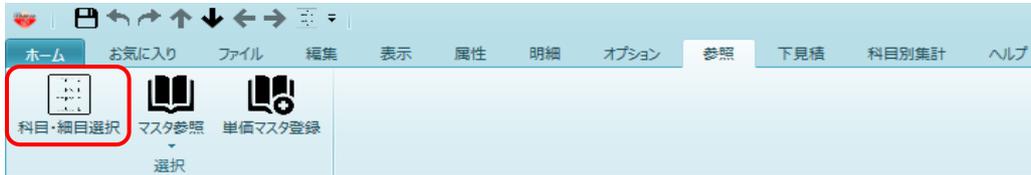
ユーザー名称	プロジェクト名称	物件名称	編集状況	編集階層
管理者			ログイン	
管理者	サンプル	(仮称) 協栄ビル新築工事	編集 中 (物件)	

## 3.9 参照

### 3.9.1 科目・細目選択

マスタ参照で種目、科目、細目の名称を参照入力することができます。

1)リボンメニューの[参照]タブの[科目・細目設定]をクリックします。



内訳書を入力する場合、直接入力の他にマスタから参照入力することができます。

マスタ参照は以下の方法でおこなえます

ポップアップメニュー、[科目・細目選択]ボタン、F1キー(参照)によるマスタ参照画面を開いて入力の方法があります。

マスタ参照入力可能な項目が選択または編集状態にあるとき、手入力を行わなくても、上記の処理をおこなうことで自動的にその項目に適したマスタが選択され開かれます。開かれた科目・細目選択画面から、入力したい項目をダブルクリック または[種目決定]、[科目決定]、[細目決定]の各ボタンをクリックすることで、入力がおこなえます。複数項目を選択して1度に複数行入力することも可能です。

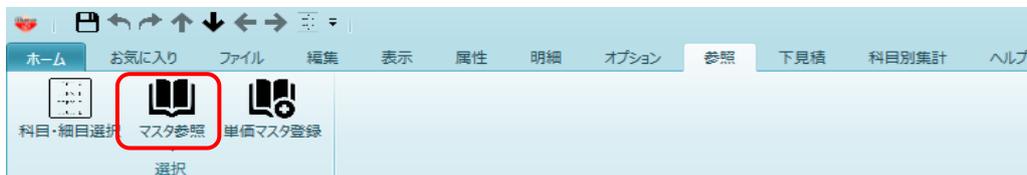
#### 科目・細目選択画面



### 3.9.2 マスタ参照

マスタ参照で部位、材料、規格、部分、タイプ、部屋、単価、外部単価を参照入力することが

1) リボンメニューの[参照]タブの[科目・細目設定]をクリックします。



マスタ参照は以下の方法でおこなえます

- ① ポップアップメニュー、[マスタ参照]ボタン、F1キー(参照)によるマスタ参照画面を開いて入力
- ② 単価マスタ参照について
- ③ 外部単価マスタ参照について

① ポップアップメニュー、[マスタ参照]ボタン、F1キー(参照)によるマスタ参照入力  
 マスタ参照入力可能な項目が選択または編集状態にあるとき、手入力を行わなくても、上記の処理をおこなうことで自動的にその項目に適したマスタが選択され開かれます。開かれたマスタ参照画面から、入力したい項目をダブルクリック または[OK]ボタンをクリックすることで、入力がおこなえます。

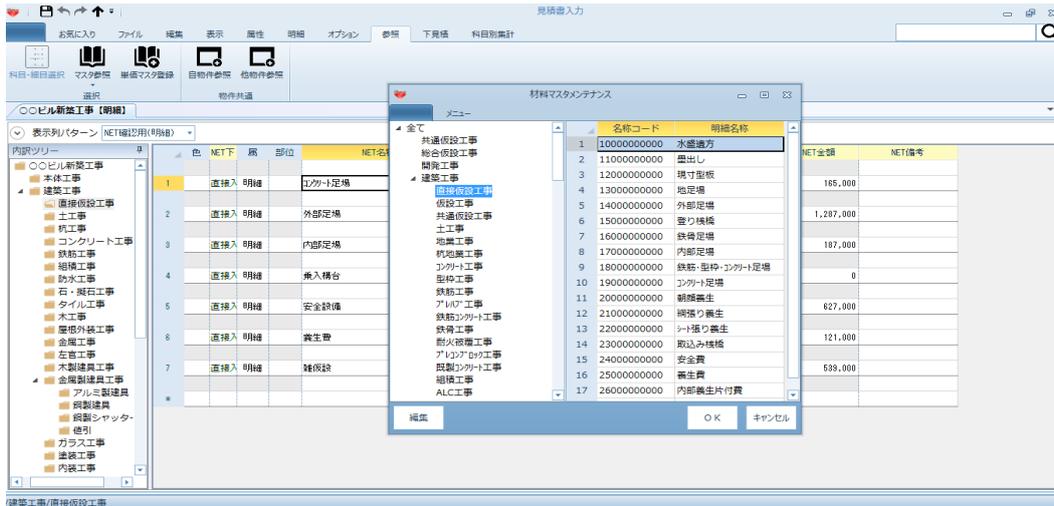
参照しているマスタは編集モードにすることで、マスタの編集もおこなえます。

#### 内訳画面



名称は、部分、タイプ、部屋マスタから参照入力が可能です。

## 明細画面



名称は、部位、材料、規格、タイプ、部屋マスタから参照入力が可能です。

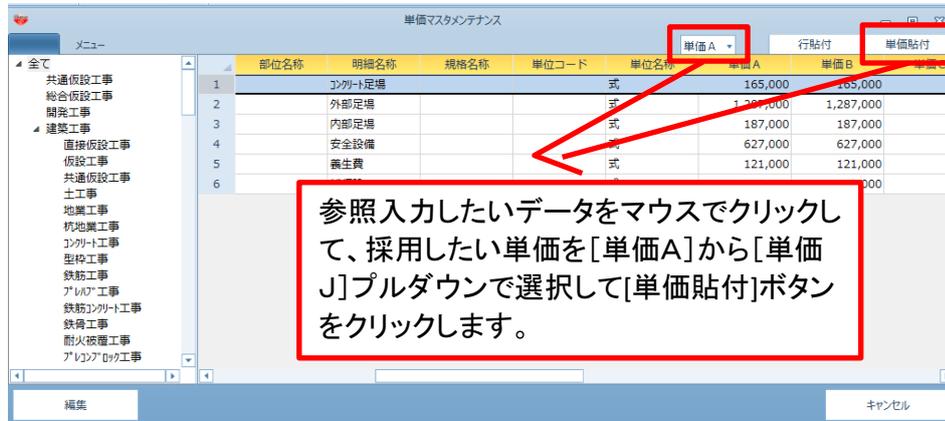
### ②単価マスタ参照について

単価マスタからの参照入力は、明細、2次明細及び3次明細階層のみで可能です。参照機能としては、下記の機能があります。

- 単価のみを入力する
- 単価マスタから1行分をそのまま貼り付ける

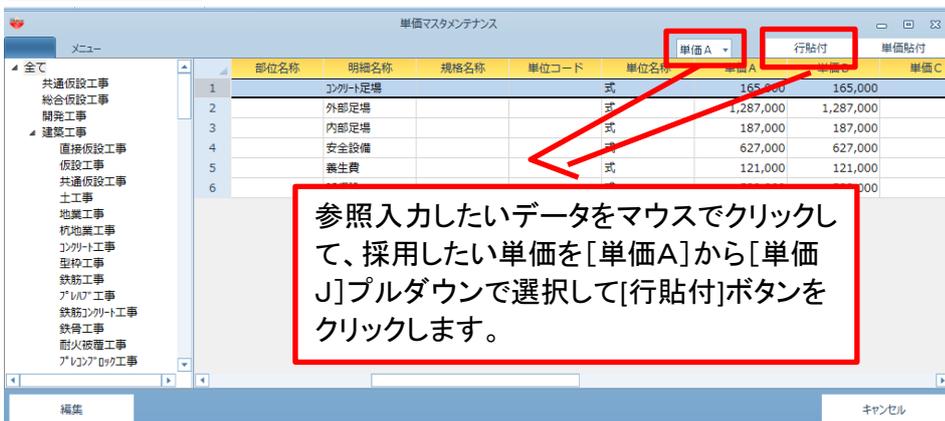
#### a. 単価のみを入力する

##### 単価マスタ参照



#### b. 単価マスタから1行分をそのまま貼り付ける

##### 単価マスタ参照



### ③外部単価マスタ参照について

外部単価マスタからの参照入力は、明細、2次明細及び3次明細階層のみで可能です。  
参照機能としては、下記の機能があります。

- a. 単価のみを入力する
- b. 外部単価マスタから1行分をそのまま貼り付ける

#### a. 単価のみを入力する

##### 外部単価マスタ参照

外部単価マスタ参照

コード	名称	規格	単位	単価
1	H52100100103	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,260
2	H52100100106	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,710
3	H52100100109	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,130
4	H52100100203	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,350
5	H52100100206	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,780
6	H52100100209	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,190
7	H52100100212	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,610
8	H52100100303	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,440
9	H52100100306	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,850
10	H52100100309	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	2,260

挿入貼付 単価貼付 削除 キャンセル

#### b. 外部単価マスタから1行分をそのまま貼り付ける

##### 外部単価マスタ参照

外部単価マスタ参照

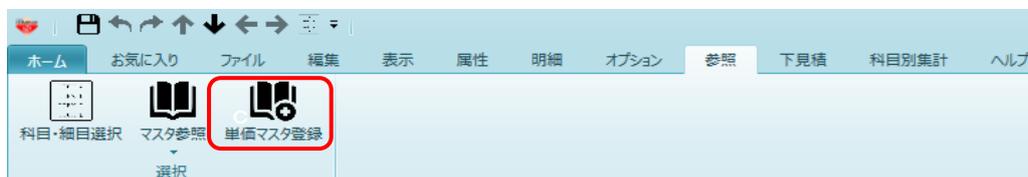
コード	名称	規格	単位	単価
1	H52100100103	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,260
2	H52100100106	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,710
3	H52100100109	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,130
4	H52100100203	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,350
5	H52100100206	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,780
6	H52100100209	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,190
7	H52100100212	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,610
8	H52100100303	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,440
9	H52100100306	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	1,850
10	H52100100309	外部足場工事 枠組本足場	築m <sup>2</sup>	2,260

挿入貼付 単価貼付 削除 キャンセル

### 3.9.3 単価マスタ登録

明細行の単価を単価マスタに登録します。

1) リボンメニューの[参照]タブの[単価マスタ登録]をクリックします。



単価マスタ登録は内訳階層、明細階層、2次明細階層及び3次明細階層で可能です。カーソルの位置は行内であればどの位置でもかまいません。複数行の選択も可能です。また、集計階層で指定した場合は、集計階層下の全明細が単価登録の対象になります。

#### 単価マスタ登録

色	NET	種	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考
	1	直接入	明細	ユカト足場		式	1	165,000	165,000	
	2	直接入	明細	外部足場			1	1,287,000	1,287,000	
	3	直接入	明細	内部足場			1	187,000	187,000	
	4	直接入	明細	乗入構台			1	0	0	
	5	直接入	明細	安全設備			1	627,000	627,000	
	6	直接入	明細	養生費		式	1	121,000	121,000	
	7	直接入	明細	雑仮設		式	1	539,000	539,000	
	8									

単価マスタ登録

採用元単価: NET

採用先単価: 単価 A

OK キャンセル

明細の単価欄 (NET～予備8) と単価マスタの単価欄 (単価A～単価J) の指定画面が表示されます。明細行の単価欄、単価マスタの単価欄を設定し [OK] をクリックします。

### 3. 10 下見積

#### 3. 10. 1 業者見積比較

下見積を入力し、業者単価の比較、採用等を行います。

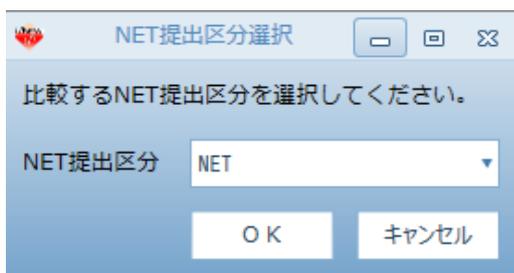
1)リボンメニューの[下見積]タブの[業者見積比較]をクリックします。



下見積を入力し、業者単価の比較、採用等を行います。

#### 業者見積比較画面

色	NET下	部	部位	NET名称	NET規格	NET単位	NET数量	NET単価	NET金額	NET備考
				直接入 コモン	<外部>					
				AW 1						
1	直接入	明細		ハゾ殺し付片引サッシ		所	1	106,000	106,000	
2	直接入	明細		AW2						
3	直接入	明細		ハゾ殺しサッシュ		所	3	14,800	44,400	
4	直接入	明細		AW3						
5	直接入	明細		内閉しサッシュ		所	3	86,600	259,800	
6	直接入	明細		AW5						
7	直接入	明細		ハゾ殺しサッシュ		所	1	32,400	32,400	
8	直接入	明細		AW6	ハゾ殺し付片閉き					
9	直接入	明細		サッシ		5060X1850	か所	1	919,000	919,000
10	直接入	明細		AW7	ハゾ殺し付片閉き					
11	直接入	明細		サッシ		3200X2325	か所	1	275,000	275,000
12	直接入	明細		AW8						
13	直接入	明細		サッシ	縦横両開きサッシ	1640X1840	か所	2	110,000	220,000
14	直接入	明細		AW9						
15	直接入	明細		サッシ	ハゾ殺しサッシュ	1240X1240	か所	2	16,000	32,000
16	直接入	明細		AW10						
17	直接入	明細		スベリ出しサッシュ		600X800	か所	2	6,900	13,800
18	直接入	明細		AW11						



比較する単価欄(NET～予備8)が表示されます。  
明細行の単価欄を設定し[OK]をクリックします。

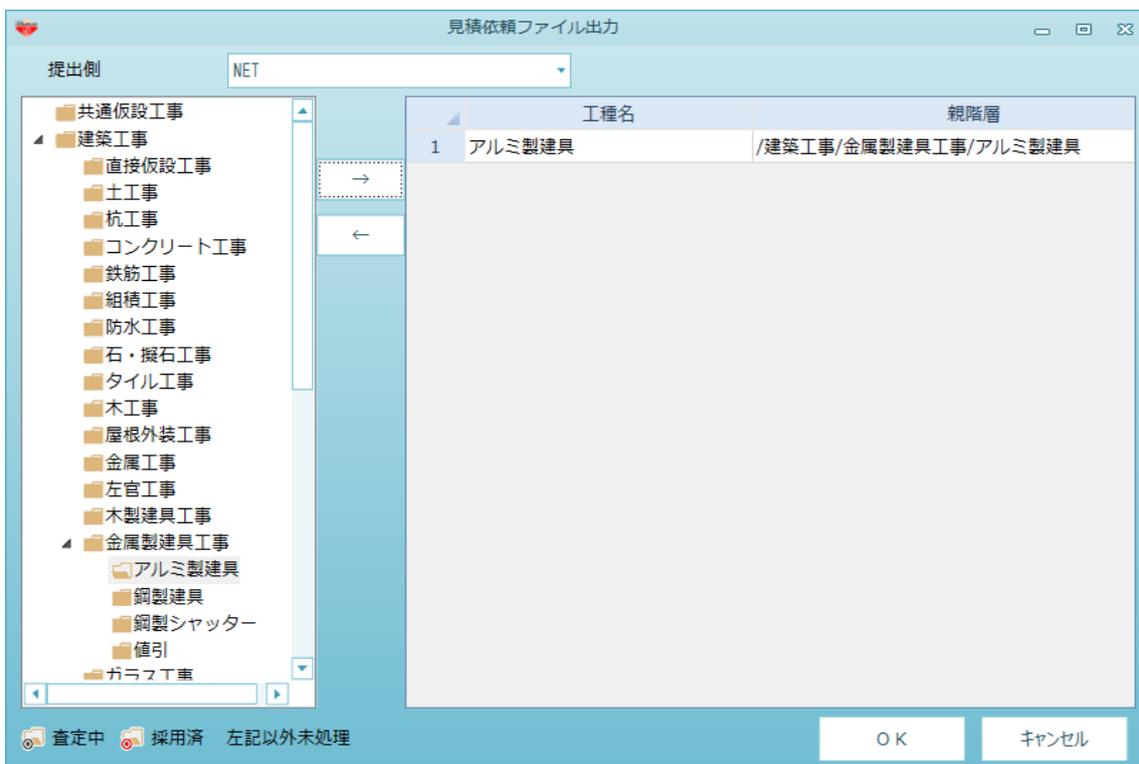
## 下見積ボタン



ここでは、ボタンの順番に従い、以下の手順で説明します。

- ① 見積依頼出力
- ② 見積回答ファイル取込
- ③ 業者情報登録
- ④ 掛率変更
- ⑤ 単価採用
- ⑥ 採用取消
- ⑦ 業者クリア
- ⑧ 見積比較表(Excel)
- ⑨ 下見業者見積検索対象
- ⑩ 業者見積検索

- ① 見積依頼出力  
工種を選択して、見積依頼用Excelファイルを作成します。



出力する工種を選択ができます。

- ・「→」  
選択した工種を出力枠に移動します。
- ・「←」  
選択した工種を出力枠よりクリアします。
- ・「OK」  
選択された工種の明細を見積依頼用Excelファイルに出力します。
- ・「キャンセル」  
出力せずに画面を閉じます。
- ・ツリーで右クリックすると、「査定中」「採用済」の設定ができます。

- ② 見積回答ファイル取込  
業者が単価入力した見積回答ファイルを取込みます。

### 見積回答ファイル取込確認

業者選択 業者1

依頼日付 2022年03月25日

工事番号

物件番号

工事名称 サンプル

見積担当

法定福利費の明細行追加  なし  あり 諸経費の明細行追加  しない  する

査定掛率を入力してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	工種名	アルミ製建具【建築工事・金属製建具工
	会社名	業者A
	担当	
	明細金額計	249,000
	経費金額計	60,000
	見積金額合計	349,000
	希望金額	300,000
	経费率	140.16%
	希望掛率	85.96%
	査定掛率	100%
	法定福利費金額計	40,000
	見積条件	
	備考	

OK キャンセル

- ・業者単価の取り込み先を、業者1～業者10より選択します。
- ・法定福利費を明細行追加して取り込むか選択します。
- ・諸経費を明細行追加して取り込むか選択します。
- ・査定掛率を入力します。

- ③ 業者情報登録  
業者情報(業者名、経费率、希望掛率、査定掛率)を編集します。

### 業者情報登録

業者名 協栄産業株式会社

経费率 100 %

希望掛率 97.71 %

査定掛率 100 %

OK キャンセル

- ・業者名、経费率、希望掛率、査定掛率の編集をします。
- ・経费率～査定掛率は、未入力の際の初期値を設定します。



- ⑤ 単価採用  
 選択範囲の査定単価を内訳書のNETにセットします。

### 単価採用



見積書入力

下見帳

見積入力に関する 見積依頼ファイル取込 業者情報登録 単価変更 単価採用 採用取消 業者クア 見積比較表(Excel)

下見帳

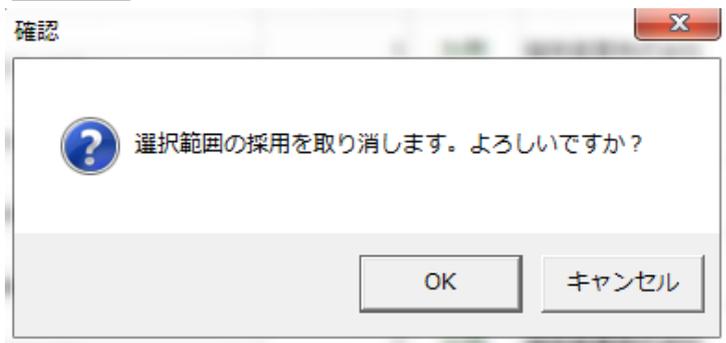
表示列/ボタン NET確認用(明細)

内訳ツリー	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	採用業者名	協栄産業株式会社					下見	
							業者単価	経費平	希望単価	希望単価	査定単価		査定金額
1	(外部)							100%	97.71%	100%		0	
2	AW1	ハム殺し付片引サッシ	3070x2620	1	カ所	協栄産業株式会社	106,000	106,000	100,000	90%	95,400	95,400	
3	AW2	ハム殺しサッシュ	3500x235	3	カ所	協栄産業株式会社	14,800	14,800	14,400	90%	13,320	39,960	
4	AW3	内閉しサッシュ	3080x500	3	カ所	協栄産業株式会社	86,600	86,600	84,600	90%	77,940	233,820	
5	AW5	ハム殺しサッシュ	2400x2325	1	カ所	協栄産業株式会社	32,400	32,400	31,600	90%	29,160	29,160	
6	AW5	ハム殺し付片閉サッシ	5060x1650	1	カ所	協栄産業株式会社	313,000	313,000	305,000	90%	281,700	281,700	
7	AW7	ハム殺し付両開きサッシ	3230x2325	1	カ所		275,000	275,000	268,000	100%	275,000	275,000	
8	AW9	縦軸回転サッシ	1640x1640	2	カ所		110,000	110,000	107,000	100%	110,000	220,000	
9	AW9	ハム殺しサッシュ	1240x1240	2	カ所		16,000	16,000	15,600	100%	16,000	32,000	
10	AW10	スベリ出しサッシュ	600x600	2	カ所		6,930	6,930	6,770	100%	6,930	13,860	

## ⑥ 単価取消

選択行の採用単価を取り消し、内訳書のNETをクリアします。

### 単価取消



見積書入力

表示列(ターン) NET確認用(明細)

内訳ツリー	部位	NET名称	NET規格	NET数量	NET単位	採用業者名	業者単価	経費率	希望単価	希望単価	査定単価	査定金額	下見
内訳ツリー	1	<外部>						100%	97.71%	100%	100%	0	
建築工事	2	AW 1 ハゾ殺し付片サッシ	3078x2820		1	か所	106,000	106,000	103,000	90%	86,490	95,400	
建築工事	3	AW 2 ハゾ殺しサッシュ	950x2395		3	か所	14,800	14,800	14,400	80%	13,320	39,960	
建築工事	4	AW 3 内開しサッシュ	3060x500		3	か所	86,600	86,600	84,600	80%	77,940	233,820	
建築工事	5	AW 5 ハゾ殺しサッシュ	2400x2325		1	か所	32,400	32,400	31,800	80%	28,160	28,160	
建築工事	6	AW 6 ハゾ殺し付片開き サッシ	5060x1850		1	か所	313,000	313,000	305,000	80%	281,700	281,700	
建築工事	7	AW 7 ハゾ殺し付両開き サッシ	3230x2325		1	か所	275,000	275,000	268,000	80%	275,000	275,000	
建築工事	8	AW 8 縦開きサッシ	1640x1840		2	か所	110,000	110,000	107,000	100%	110,000	220,000	
建築工事	9	AW 9 ハゾ殺しサッシュ	1240x1240		2	か所	16,000	16,000	15,800	100%	16,000	32,000	
建築工事	10	AW 10 スベリ出しサッシュ	600x800		2	か所	6,930	6,930	6,770	100%	6,930	13,860	
建築工事								100%	97.71%	100%			

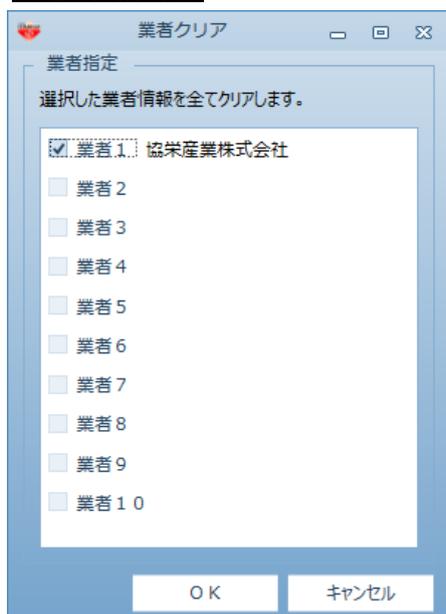
協栄産業株式会社  
3,508,500

建築工事/金属製建具工事/アルミ製建具

## ⑦ 業者クリア

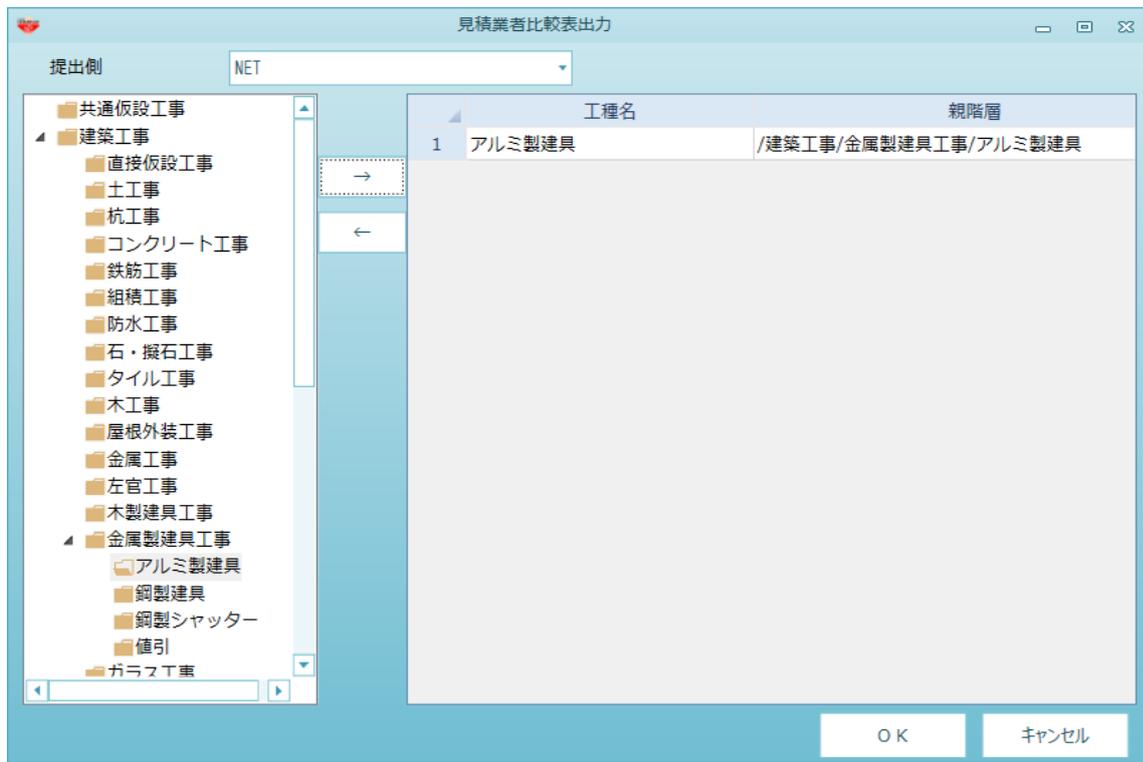
選択した業者情報をクリアします。

### 業者情報クリア



- ⑧ 見積比較表(Excel)  
選択した工種の見積比較表を出力します。

### 見積比較表出力



出力する工種の選択ができます。

- ・「→」  
選択した工種を出力枠に移動します。
- ・「←」  
選択した工種を出力枠よりクリアします。
- ・「OK」  
選択された工種の明細を見積比較表用Excelファイルに出力します。
- ・「キャンセル」  
出力せずに画面を閉じます。

- ⑨ 下見業者見積検索対象  
下見積を行っている物件を、業者見積検索対象に設定します。

### 下見業者見積検索対象



## ⑩ 業者見積検索

業者見積検索対象に設定した物件から、下見業者の検索を行います。

### 業者見積検索



検索条件を設定できます

- ・「物件一覧」  
検索対象の物件の一覧を表示します。
- ・「OK」  
検索を行います。
- ・「キャンセル」  
検索を行わずに画面を閉じます。

### 物件一覧



選択	物件コード	物件名	登録日
1		(仮称) 協栄ビル新築工事	2022/03/25
2		(仮称) 協栄ビル新築工事	2022/03/23

検索対象の物件の一覧の表示、削除を行います。

- ・「全選択」  
すべての物件を選択します。
- ・「全解除」  
すべての物件の選択を解除します。
- ・「削除」  
選択した物件を検索対象から外します。
- ・「閉じる」  
画面を閉じます。

### 業者見積検索結果



業者名	部位	名称	規格	NET数量	NET単位	提出数量	提出単位	子備1数量	子備1単位
1 業者A		地代家賃		1.0000	式	1.0000	式		
2 業者A		環境安全費		1.0000	式	1.0000	式		
3 業者A		整理清掃費		1.0000	式	1.0000	式		
4 業者A		運搬費		1.0000	式	1.0000	式		

検索結果を表示します。

- ・「EXCEL出力」  
検索結果をEXCELに出力します。
- ・「戻る」  
画面を閉じて、検索画面に戻ります。

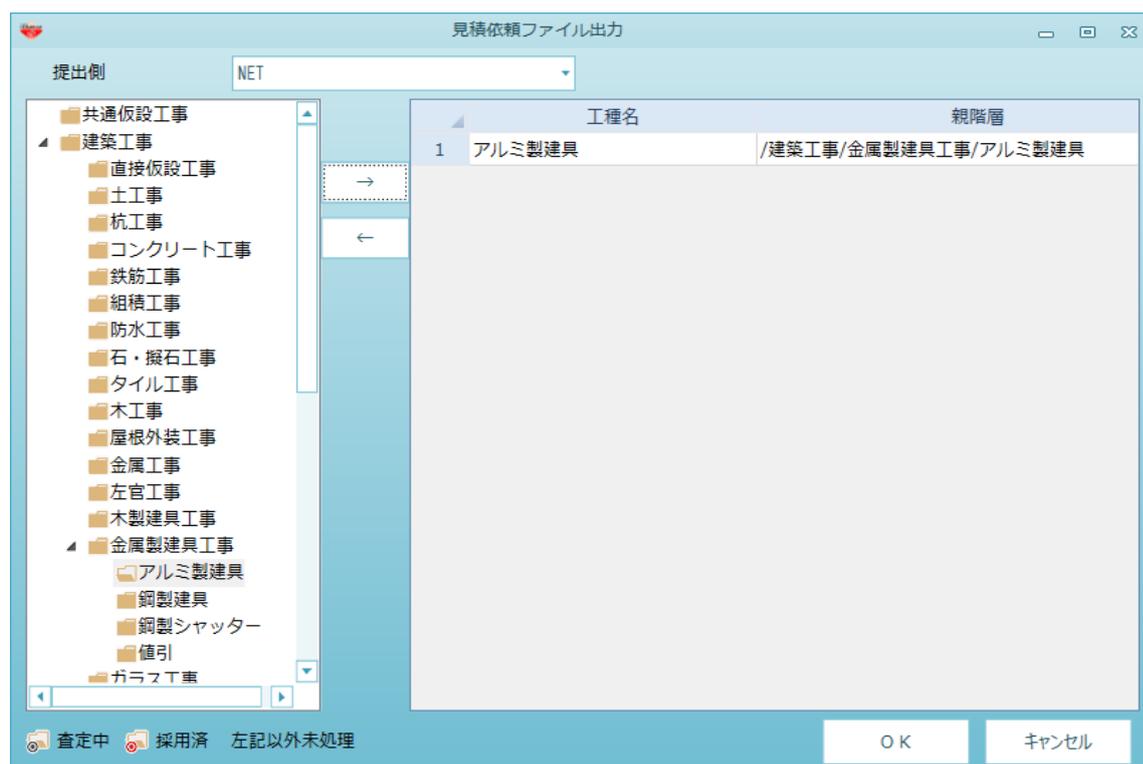
### 3. 10. 2 見積依頼出力

工種を選択して、見積依頼用Excelファイルを作成します。

1) リボンメニューの[下見積]タブの[見積依頼出力]をクリックします。



工種を選択して、見積依頼用Excelファイルを作成します。



出力する工種を選択ができます。

- ・「→」  
選択した工種を出力枠に移動します。
- ・「←」  
選択した工種を出力枠よりクリアします。
- ・「OK」  
選択された工種の明細を見積依頼用Excelファイルに出力します。
- ・「キャンセル」  
出力せずに画面を閉じます。

### 3. 11 科目別集計

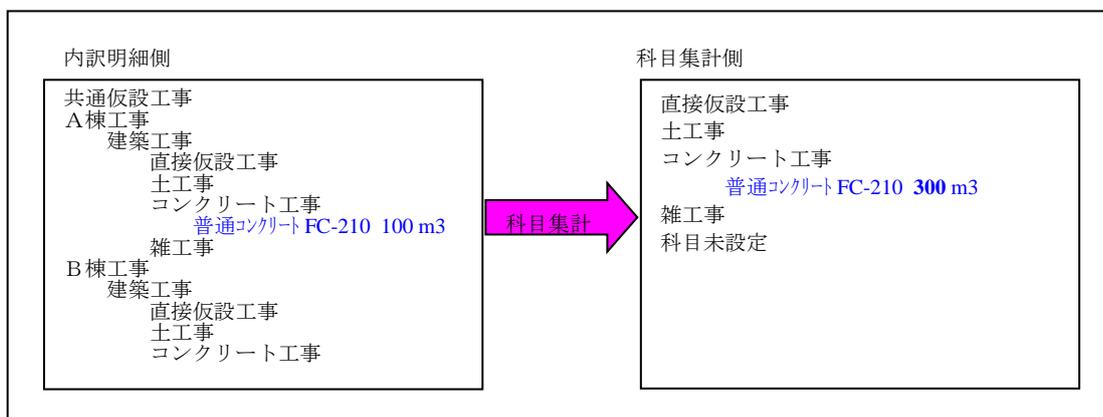
#### 3. 11. 1 科目別集計

部別、棟別などの形式で作成された内訳データを明細データが持つ科目コードで集計します。

1) リボンメニューの[科目別集計]タブの[科目別集計]をクリックします。



部別、棟別などの形式で作成された内訳データを、明細データが持つ科目コードで集計します。  
 (同一材料の数量は集計されます)  
 科目集計で入力した単価を一斉に元の内訳明細の単価に更新することができます。



#### 科目別集計画面

内訳コード	名称	規格	NET数量	NET単位	NET単価	NET金額	提出数量	提出単位	提出単価	提出金額
1	<名称なし>		1	式	0	9,481,000	1	式	0	11,143,840
2	直接仮設工事		1	式	0	1,639,000	1	式	0	1,922,000
3	仮設工事		1	式	0	627,000	1	式	0	752,000
4	共通仮設工事		1	式	0	121,000	1	式	0	145,000
5	土工事		1	式	0	5,227,000	1	式	0	5,334,000
6	地業工事		1	式	0	3,918,000	1	式	0	4,682,000
7	コンクリート工事		1	式	0	16,044,000	1	式	0	18,241,000
8	鉄筋工事		1	式	0	5,127,000	1	式	0	6,143,000
9	組積工事		1	式	0	16,000	1	式	0	19,000
10	防水工事		1	式	0	1,014,000	1	式	0	1,213,000
11	外土工事		1	式	0	1,643,000	1	式	0	1,971,000
12	木工工事		1	式	0	620,000	1	式	0	742,450
13	屋根工事		1	式	0	614,000	1	式	0	735,160
14	金網工事		1	式	0	2,975,000	1	式	0	3,564,000
15	左官工事		1	式	0	1,695,000	1	式	0	1,921,000
16	木製建具工事		1	式	0	39,000	1	式	0	48,000
17	金網製建具工事		1	式	0	5,623,060	1	式	0	6,738,020
18	硝子工事		1	式	0	2,328,000	1	式	0	2,783,000
19	塗装工事		1	式	0	604,000	1	式	0	719,000
20	内装工事		1	式	0	2,273,000	1	式	0	2,722,550
21	雑工事		1	式	0	539,000	1	式	0	648,000

## 2) 科目集計側での内訳編集

- ・科目集計側では、行の追加や削除といった作業は行えません。  
名称、規格の変更と単価の入力に限定した編集作業しか行えません。
- ・数量根拠の確認

同じ材料が集計された行は、数量が太字で表示されます。  
この数量のセルをダブルクリックにより数量の集計根拠が表示されます。

部位	名称	規格	NET数量	NET単位		
2	屋根 アスファルト防水		42.9	m <sup>2</sup>	3,630	155,727
3	屋上 シート防水		6	m <sup>2</sup>	3,300	19,800
4	立上り アスファルト系 シーリング		51	m	880	44,880
5	立上り 防水押えアングル止	アルミ	69	m	1,650	113,850

ダブルクリック

注) 別紙内訳明細の数量は、親項目の数量を乗じた値で表示されます。

(集計根拠)

名称	規格	NET		提出		予備1		予備2	
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
立上り アスファルト系 シーリング		51	m	0		0		0	
元階層									
1	/建築物2/1. A棟本体工事/1. 建築物/1. 防水	17	m	0		0		0	
2	/建築物1/1. B棟本体工事/1. 建築物/1. 防水	17	m	0		0		0	
3	/建築物2/1. B棟本体工事/1. 建築物/1. 防水	17	m	0		0		0	

注) この画面では、別紙内訳明細の数量は、そのままの値で表示されます。

## 3) 科目集計側でのCOMPASS標準TXT出力

- ・科目別集計された状態を、COMPASS標準TXT形式ファイルで出力します。

## 4) 科目集計側でのBCS出力

- ・科目別集計された状態を、BCS形式ファイルで出力します。

## 5) 科目集計側でのEXCEL出力

- ・科目別集計された状態を、EXCEL形式ファイルで出力します。

## 6) 科目集計側でのCOMPASS標準CSV出力

- ・科目別集計された状態を、COMPASS標準CSV形式ファイルで出力します。

## 7) 科目別集計側での単価シミュレーション

- ・科目別集計で単価を掛率で一括変換し金額算出します。

## 8) 科目別集計側での総額固定シミュレーション

- ・科目別集計で目標金額を入力し、単価を逆算し金額算出します。

## 9) 科目別集計側での下見積

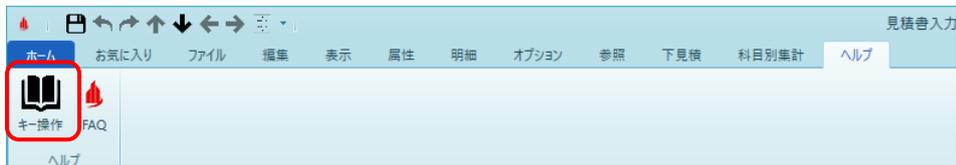
- ・科目別集計で下見積を入力し、業者単価の比較、採用等を行います。

## 3. 12 ヘルプ

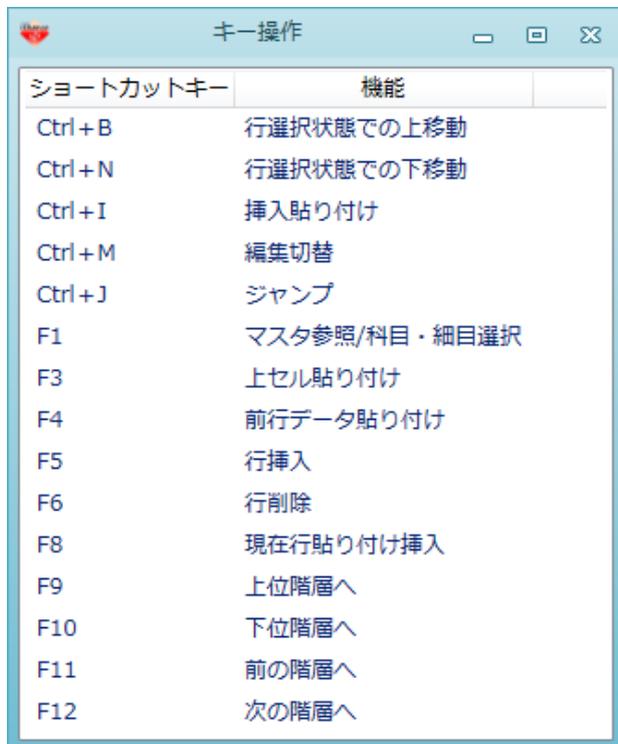
### 3. 12. 1 キー操作

ショートカットキーの一覧を表示します。

1)リボンメニューの[ヘルプ]タブの[キー操作]をクリックします。



ショートカットキーと機能を表示します。

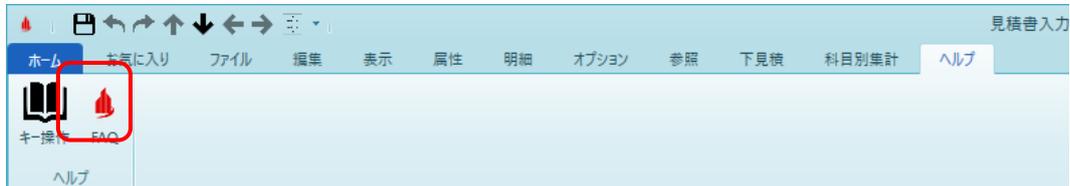


ショートカットキー	機能
Ctrl+B	行選択状態での上移動
Ctrl+N	行選択状態での下移動
Ctrl+I	挿入貼り付け
Ctrl+M	編集切替
Ctrl+J	ジャンプ
F1	マスタ参照/科目・細目選択
F3	上セル貼り付け
F4	前行データ貼り付け
F5	行挿入
F6	行削除
F8	現在行貼り付け挿入
F9	上位階層へ
F10	下位階層へ
F11	前の階層へ
F12	次の階層へ

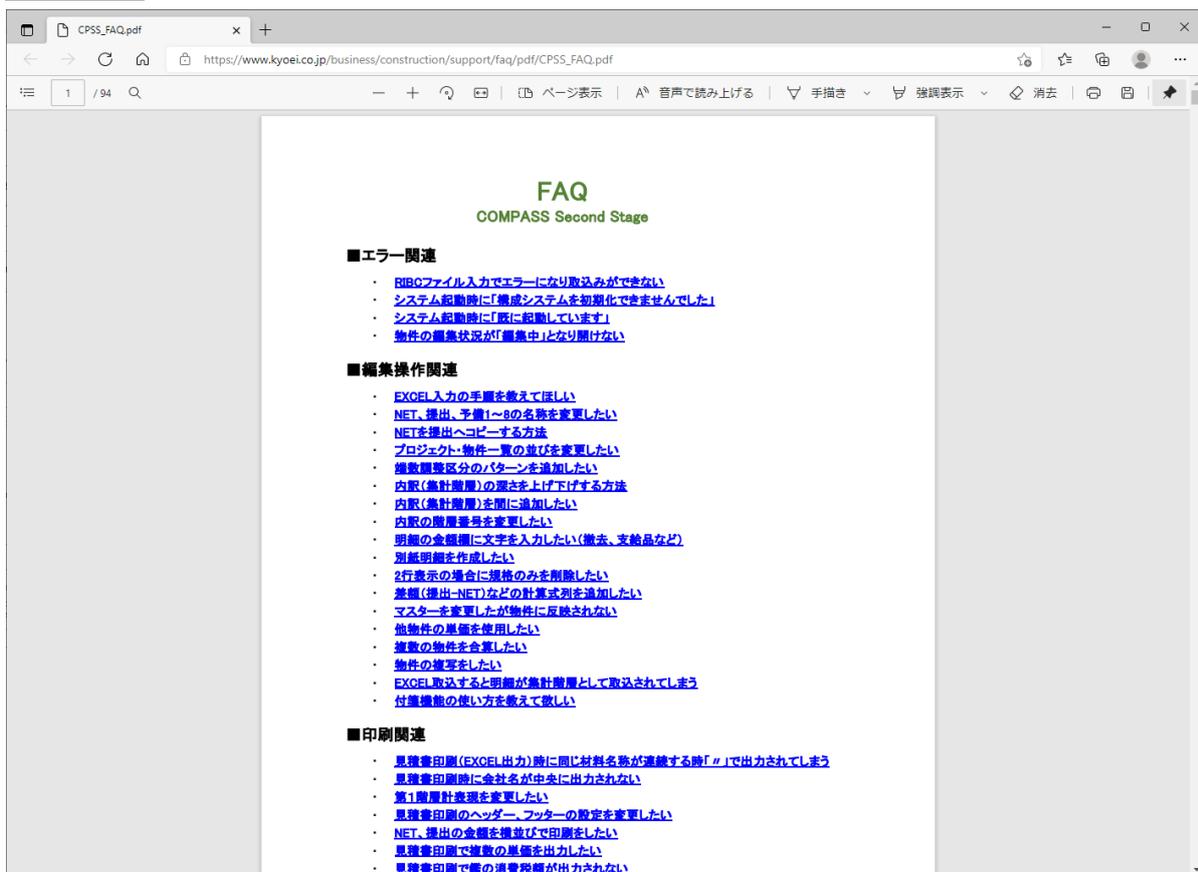
### 3. 12. 2 FAQ

FAQページを表示します。

1) リボンメニューの[ヘルプ]タブの[FAQ]をクリックします。



#### FAQページ



## 4 バックアップ

サーバーのバックアップを行います。

- 1) バックアップフォルダから、Create\_ESCP\_Backup.exeをダブルクリックして起動します。  
設定を選択して、[出力]ボタンをクリックします。

バックアップ設定バッチ出力

バックアップ先フォルダ  
C:\FKS\_SS\_2\_SERVER\KC\_SS\_SERVER\バックアップ 参照

バックアップ実行

月曜日  金曜日  
 火曜日  土曜日  
 水曜日  日曜日  
 木曜日

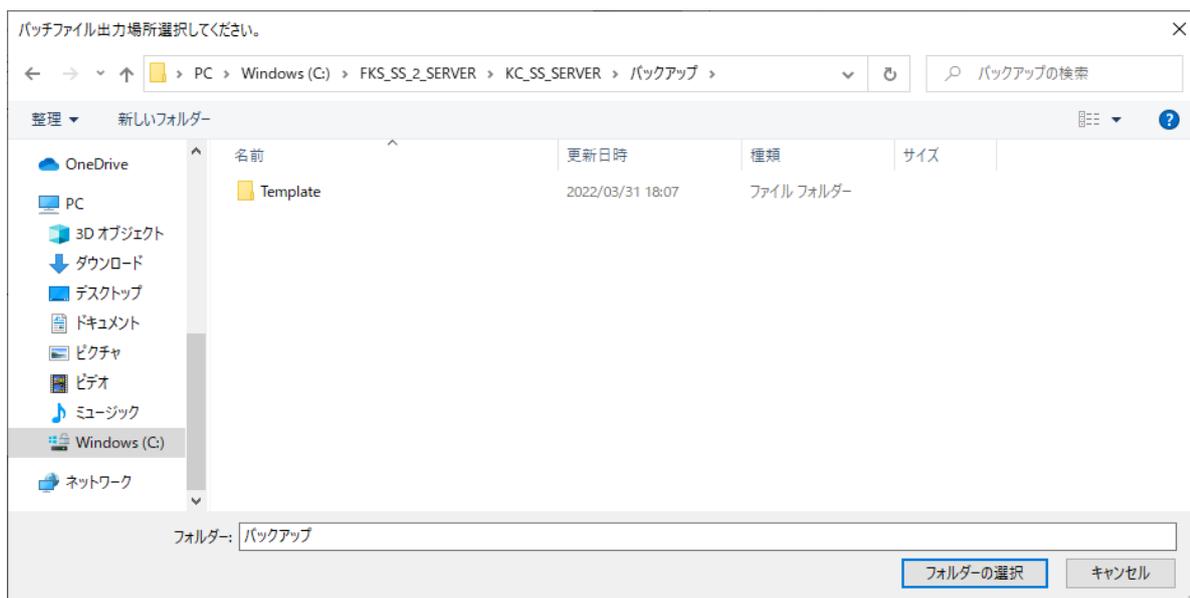
バックアップ開始時刻 00:00

曜日別にバックアップフォルダを分ける

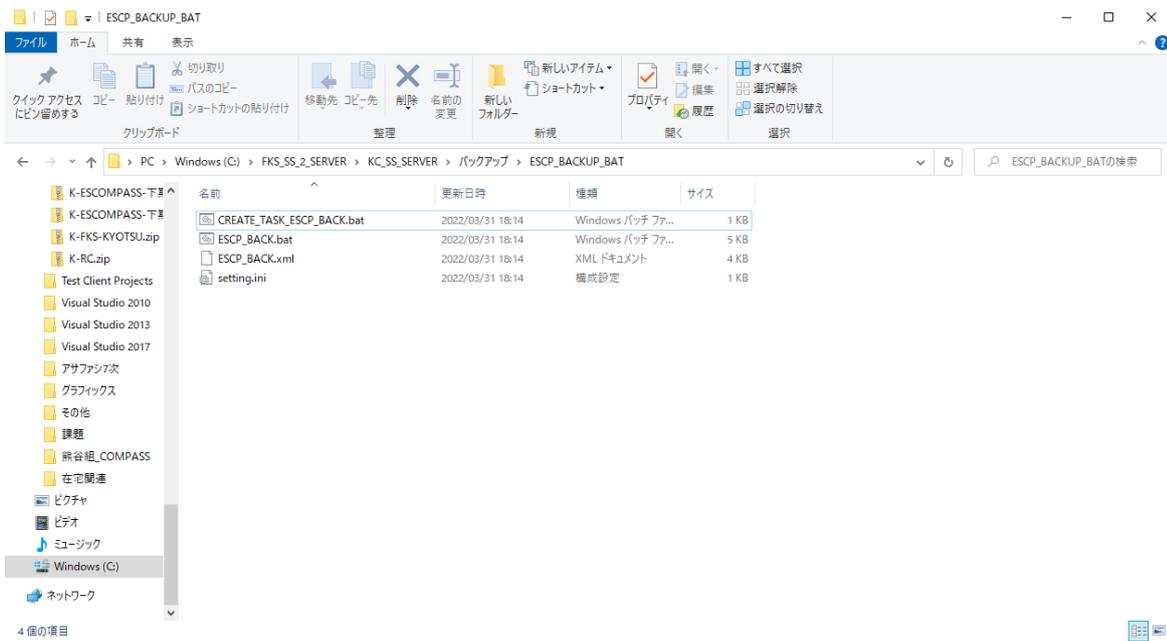
出力 閉じる

バックアップ先フォルダ バックアップファイルを出力するフォルダを選択します。  
バックアップ実行曜日 バックアップを行いたい曜日を選択します。  
バックアップ開始時刻 バックアップを開始したい時刻を選択します。  
曜日別選択 曜日別にバックアップフォルダを分けたい場合はチェックを付けます。

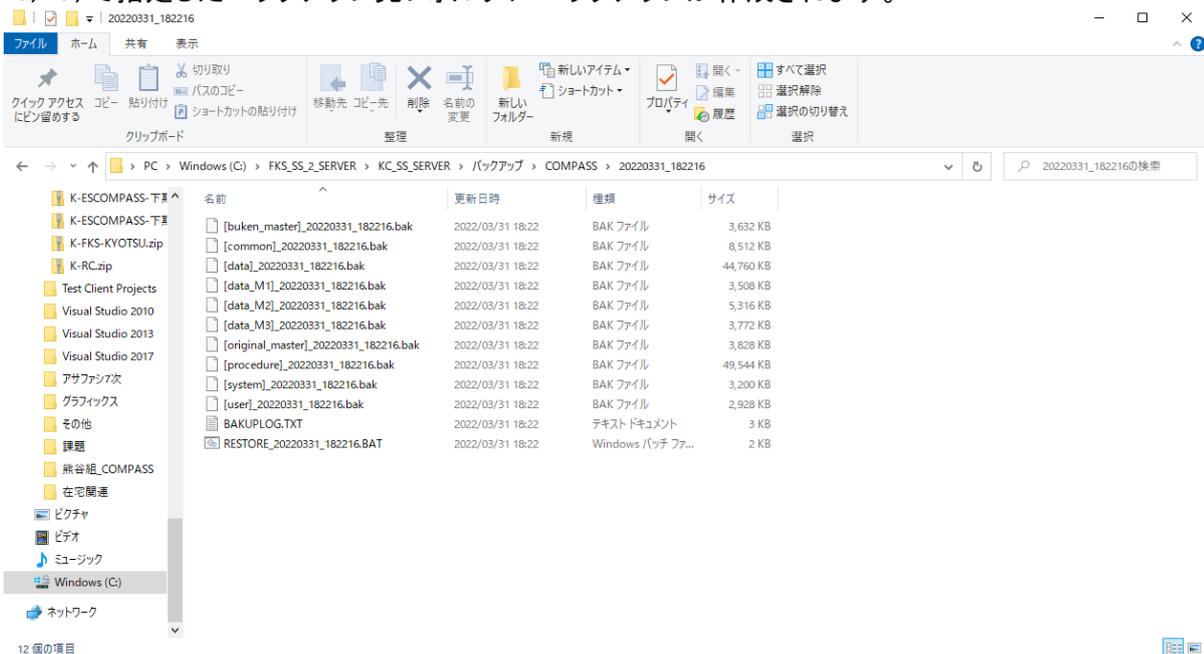
- 2) バッチファイルを出力したいフォルダを選択します。



3) 2)で選択したフォルダにバッチが出力されます。CREATE\_TASK\_ESCP\_BACK.batをダブルクリックして、タスクスケジューラにバックアップを作成するバッチを登録します。



4) 1)で指定したバックアップ先フォルダにバックアップが作成されます。



5) 復元する場合は、RESTORE\_XXXXXXXX\_XXXXXX.BATをダブルクリックで実行します。  
 復元すると、バックアップ後に作成した物件は削除されます。  
 新規作成した物件を削除したくない場合は、別のパソコンにCOMPASSのサーバーをインストールし、新しくCOMPASSを入れたパソコンでRESTORE\_XXXXXXXX\_XXXXXX.BATを実行します。  
 実行後、バックアップを実行したサーバーから物件をエクスポートし、バックアップを実行したサーバーへインポートしてください。

Microsoft Windowsは 米国Microsoft Corporationの商標です。

その他本書に記載される会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

## 見積書作成システム KYOEI COMPASS 2.0 操作マニュアル

### 発行日

2016年 5月31日 第1版第1刷発行  
2022年 4月 1日 第4版第1刷発行

### 発行所

協栄産業株式会社

ITソリューション事業部

建設営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6 品川シーサイドキャナルタワー18F

TEL 03(4241)8841 FAX 03(5479)3564

URL <http://www.kyoei.co.jp/fks/>

- 
- ・本書は改善のため事前予告なしに変更することがあります。
  - ・本システムの運用による影響、結果については、当社はその責任を一切負いません。
  - ・無断転載を禁じます。